

茅ヶ崎市
子ども・子育て支援に関するアンケート調査
調査結果報告書

令和6年3月

茅ヶ崎市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	就学前児童（保護者）	2
(1)	お住まいの地域について	2
(2)	封筒の宛名のお子さんご家族の状況について	4
(3)	宛名のお子さんの保護者の就労状況について	8
(4)	宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	18
(5)	宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について	36
(6)	宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	51
(7)	宛名のお子さんの病気の際の対応について（平日の教育・保育事業を利用する方のみ）	56
(8)	宛名のお子さんの一時預かりや宿泊を伴う一時預かり等の利用について	71
(9)	宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について	83
(10)	すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	95
(11)	こどもの権利について	112
(12)	こどもの育ちをめぐる環境について	114
2	小学生（保護者）	134
(1)	お住まいの地域について	134
(2)	封筒の宛名のお子さんご家族の状況について	136
(3)	保護者の就労状況について	140
(4)	放課後の過ごし方について	151
(5)	病気の際の対応について	172
(6)	不定期の一時預かりや宿泊を伴う一時預かり等の利用について	181
(7)	こどもの権利について	191
(8)	こどもの育ちをめぐる環境について	193

3 小学生（本人）	206
(1) あなたのふだんの家庭や学校での生活について	206
(2) あなたの考えについて.....	212

I 調査の概要

1 調査の目的

現在本市が推進している「第2期茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画」の進行管理と、令和7年度を始期とする5年間の「(仮称)茅ヶ崎市こども計画」を策定する大切な資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

就学前児童（保護者）：市内在住の就学前児童がいる家庭の中から無作為抽出

小学生（保護者）：市内在住の小学生がいる家庭の中から無作為抽出

小学生（本人）：市内の小学生の中から無作為抽出

3 調査期間

令和5年12月～令和6年1月

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

		配布数	有効回答数	有効回答率
就学前児童（保護者）	令和5年度調査	5,000通	2,517通	50.3%
	平成30年度調査	5,000通	2,845通	56.9%
小学生（保護者）	令和5年度調査	2,500通	1,152通	46.1%
	平成30年度調査	2,500通	1,343通	53.7%
小学生（本人）	令和5年度調査	1,401通	599通	42.8%
	平成30年度調査	1,266通	611通	48.3%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

II 調査結果

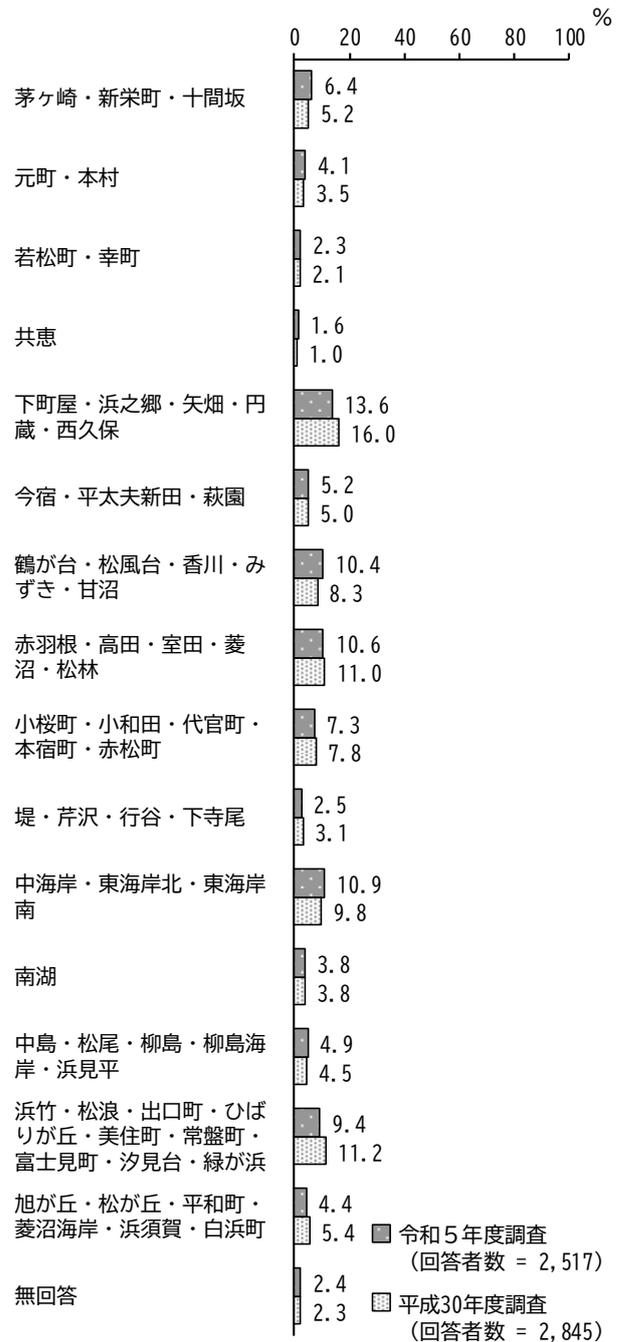
1 就学前児童（保護者）

（1）お住まいの地域について

問1 あなたがお住まいの地区をお答えください。（1つだけに○）

「下町屋・浜之郷・矢畑・円蔵・西久保」の割合が13.6%と最も高く、次いで「中海岸・東海岸北・東海岸南」の割合が10.9%、「赤羽根・高田・室田・菱沼・松林」の割合が10.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問1-2 宛名のお子さんが通う予定の小学校をご記入ください。
(現時点での予定で構いません)

「茅ヶ崎市立の小学校」の割合が79.9%と最も高く、次いで「検討中・不明」の割合が11.7%となっています。

回答者数 = 2,517

茅ヶ崎市立の小学校

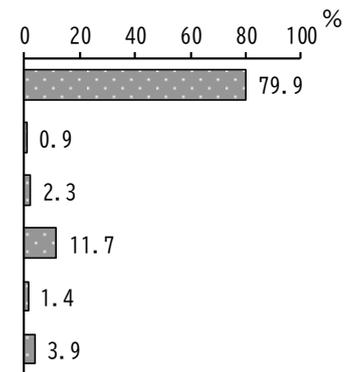
私立小学校

市外の小学校（転居予定）

検討中・不明

その他

無回答



【その他の主な意見】

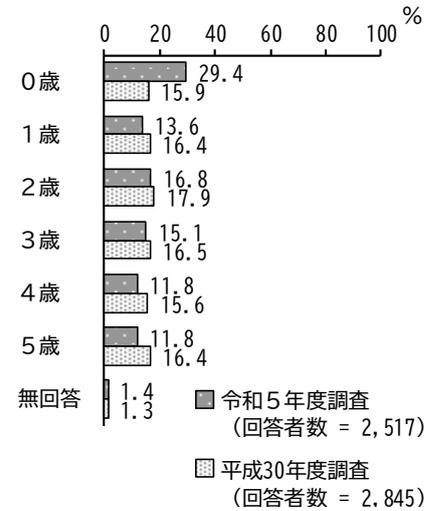
- ・茅ヶ崎支援学校
- ・東海岸小学校
- ・横浜学校
- ・支援学校
- ・特別養護学校
- ・藤沢市立大庭小学校
- ・県外の小学校（転居予定）
- ・ボーディングスクールも可能性あり
- ・海外
- ・未定

(2) 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。(() 内に数字を記入)

「0歳」の割合が29.4%と最も高く、次いで「2歳」の割合が16.8%、「3歳」の割合が15.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「0歳」の割合が増加しています。

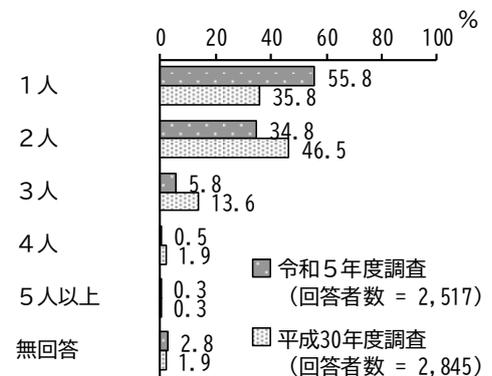


問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を()内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがある場合は、一番下の子の生年月をご記入ください。

きょうだい数

「1人」の割合が55.8%と最も高く、次いで「2人」の割合が34.8%となっています。

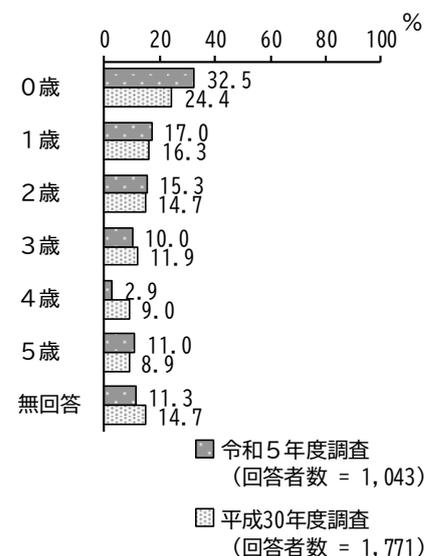
平成30年度調査と比較すると、「1人」の割合が増加しています。一方、「2人」、「3人」の割合が減少しています。



末子の年齢

「0歳」の割合が32.5%と最も高く、次いで「1歳」の割合が17.0%、「2歳」の割合が15.3%となっています。

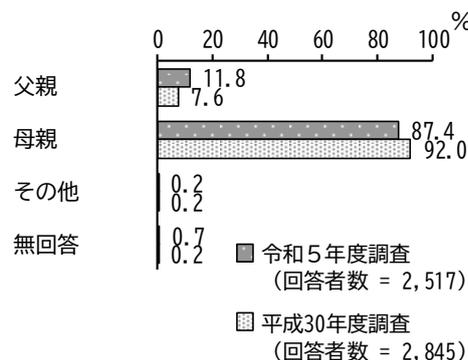
平成30年度調査と比較すると、「0歳」の割合が増加しています。一方、「4歳」の割合が減少しています。



問4 この調査票にご回答する方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つだけに○)

「父親」の割合が 11.8%、「母親」の割合が 87.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、父親の割合が増加しています。



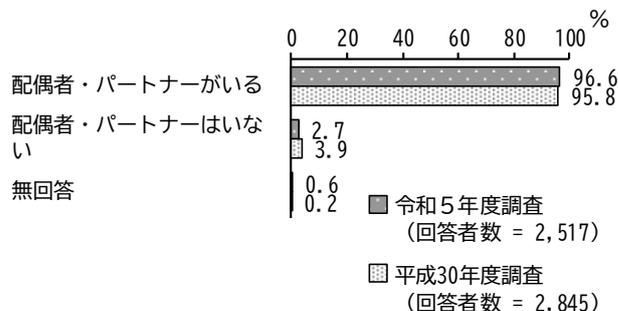
【その他の意見】

- ・両親
- ・里親

問5 この調査票にご回答する方の配偶関係についてお答えください。(1つだけに○)

「配偶者・パートナーがいる」の割合が 96.6%、「配偶者・パートナーはいない」の割合が 2.7% となっています。

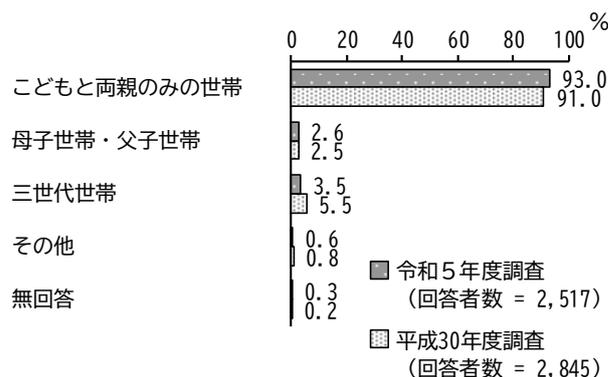
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問6 宛名のお子さんと生計を同一にしている家族構成は次のうち、どれにあたりますか。(1つだけに○)

「子どもと両親のみの世帯」の割合が 93.0%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



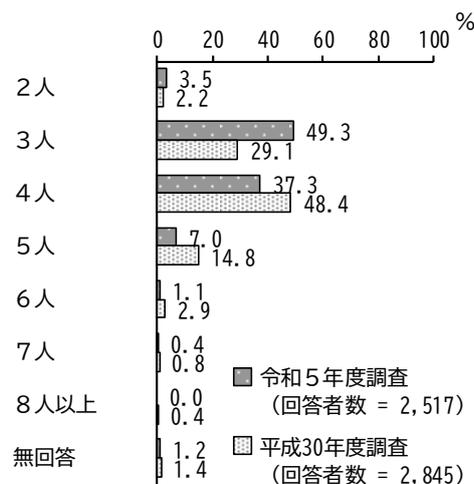
【その他の意見】

- ・子ども、母、祖母、叔母
- ・子ども、母、祖母、叔父
- ・父は現在、別居中
- ・義父、義母、義妹、義弟
- ・子ども、両親、祖母、伯父
- ・子ども、曾祖母、祖父、祖父、母
- ・子ども、両親、祖母
- ・四世代世帯・夫の両親と子どもと両親（二世帯）
- ・子ども、両親、父方の妹2人

問7 宛名のお子さんと生計を同一にしているご家族の人数を教えてください。
 (あなたと宛名のお子さんも含む。単身赴任をしている家族も含む。)()内に
 数字を記入)

「3人」の割合が 49.3%と最も高く、次いで
 「4人」の割合が 37.3%となっています。

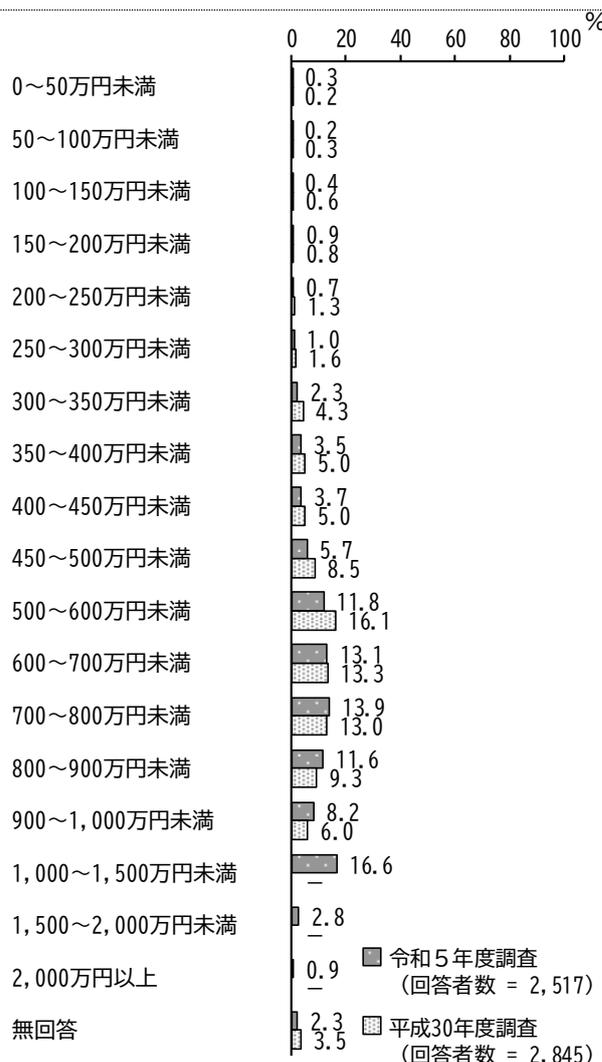
平成 30 年度調査と比較すると、「3人」の割合
 が増加しています。一方、「4人」、「5人」の割合
 が減少しています。



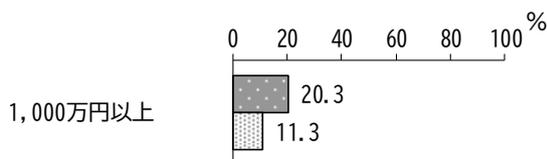
問8 世帯の年収は、次のうち、どれにあたりますか。(1つだけに○) 世帯とは、生計
 を同一にしている家族のことを指します。

「1,000～1,500万円未満」の割合が 16.6%と
 最も高く、次いで「700～800万円未満」の割合が
 13.9%、「600～700万円未満」の割合が 13.1%と
 なっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「1,000万円以
 上」の世帯の割合が増加しています。



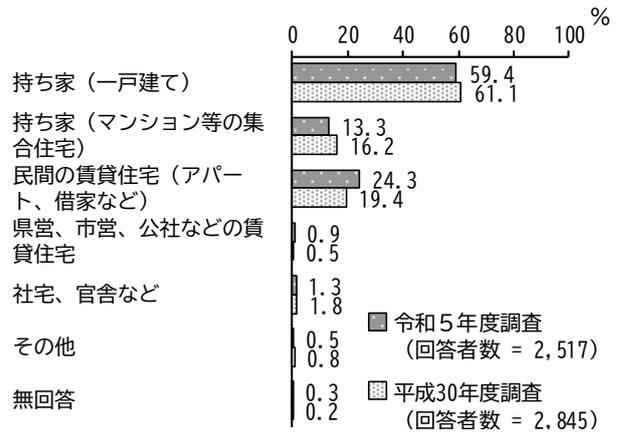
【参考】



※前回調査では、「1,000～1,500万円未満」、「1,500～2,000万円未満」、「2,000万円以上」の選択肢はありませんでした。

問9 お住まいの住居の状況は、次のうち、どれにあたりますか。(1つだけに○)

「持ち家（一戸建て）」の割合が59.4%と最も高く、次いで「民間の賃貸住宅（アパート、借家など）」の割合が24.3%、「持ち家（マンション等の集合住宅）」の割合が13.3%となっています。平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

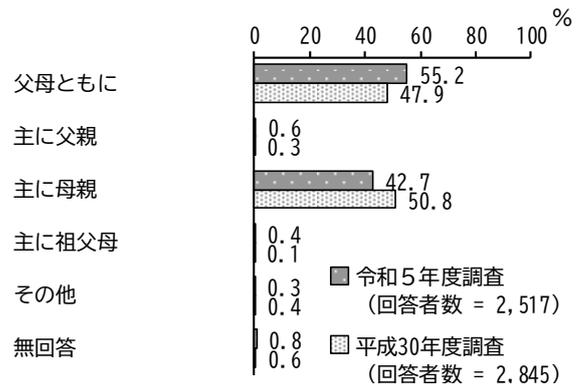


【その他の意見】

- ・実家に同居
 - ・親所有の家
 - ・親族所有の家
- ・親類の家に間借り

問10 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(1つだけに○)

「父母ともに」の割合が55.2%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が42.7%となっています。平成30年度調査と比較すると、「父母ともに」の割合が増加しています。一方、「主に母親」の割合が減少しています。



【その他の意見】

- ・父母と祖母
 - ・母と祖母
 - ・父と祖父母
- ・祖母
 - ・保育園

(3) 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問 11 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】（1つだけに○）

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が94.9%と最も高くなっています。

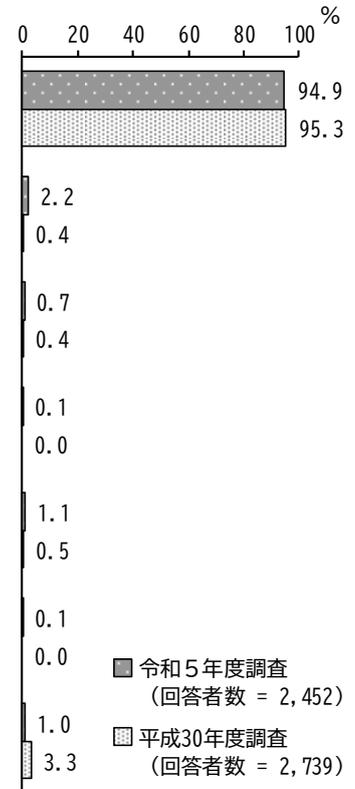
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である

以前は就労していたが、現在は就労していない

これまで就労したことがない

無回答



(1) - 1 (1) で「1～4」(就労している) に○をつけた方うかがいます。

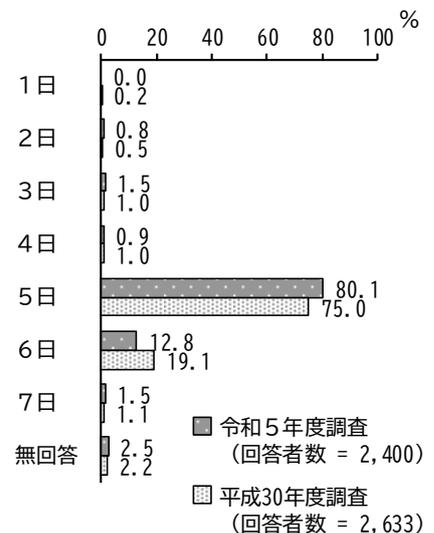
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンを、育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をお答えください。

(() 内に数字を記入)

ア. 1週当たりの就労日数

「5日」の割合が80.1%と最も高く、次いで「6日」の割合が12.8%となっています。

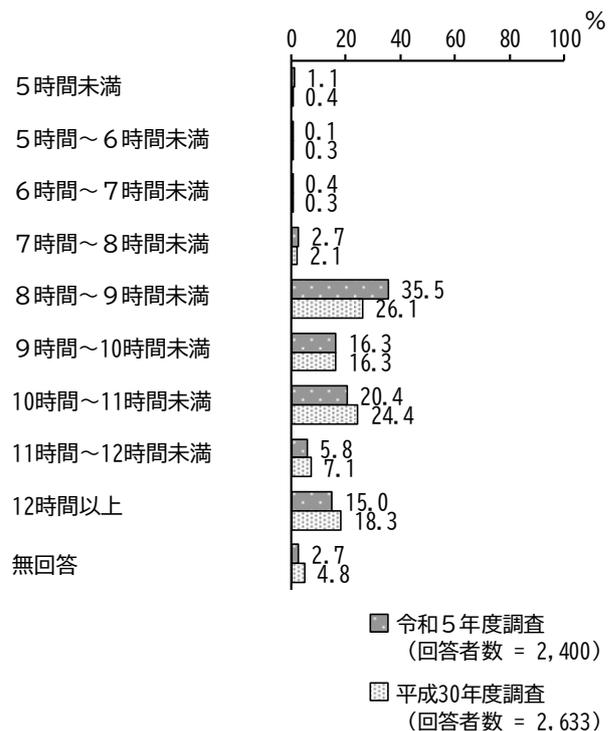
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。一方、「6日」の割合が減少しています。



イ. 1日当たりの就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が35.5%と最も高く、次いで「10時間～11時間未満」の割合が20.4%、「9時間～10時間未満」の割合が16.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8時間～9時間未満」の割合が増加しています。

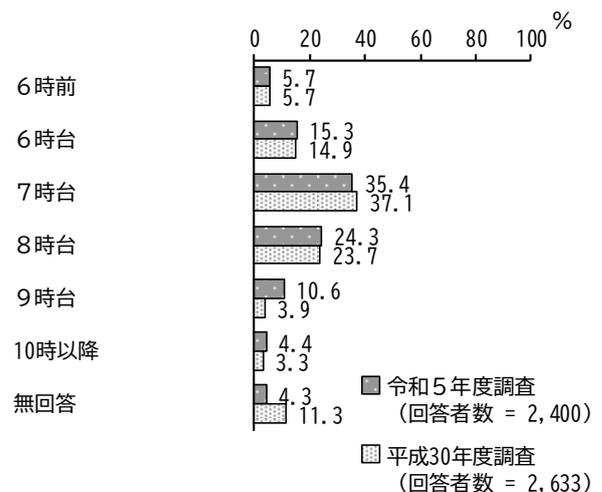


(1) - 2 (1) で「1～4」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻及び勤務地をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンを、育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をお答えください。リモートワークの場合は始業時間と終業時間を記入してください。時間は必ず(例)8時～18時のように、24時間制でお答えください。()内に数字を記入)

ウ. 家を出る時刻

「7時台」の割合が35.4%と最も高く、次いで「8時台」の割合が24.3%、「6時台」の割合が15.3%となっています。

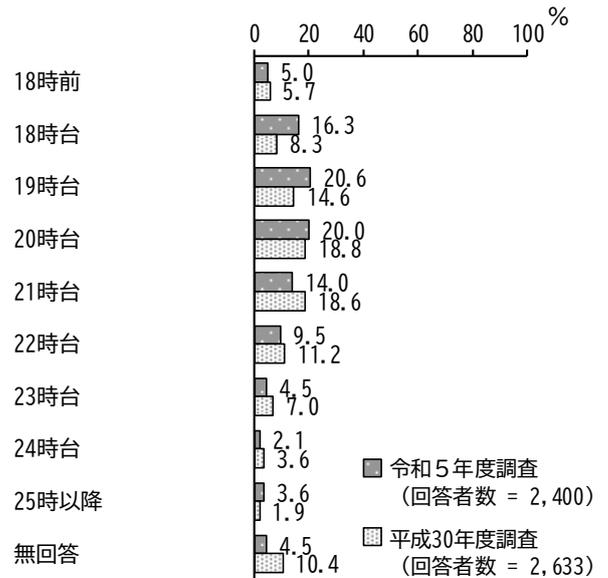
平成30年度調査と比較すると、「9時台」の割合が増加しています。



工. 帰宅時刻

「19 時台」の割合が 20.6%と最も高く、次いで「20 時台」の割合が 20.0%、「18 時台」の割合が 16.3%となっています。

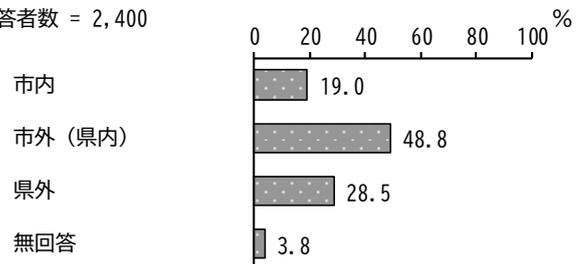
平成 30 年度調査と比較すると、「18 時台」、「19 時台」の割合が増加しています。



オ. 勤務地 (1つだけに○)

「市外 (県内)」の割合が 48.8%と最も高く、次いで「県外」の割合が 28.5%、「市内」の割合が 19.0%となっています。

回答者数 = 2,400



(2) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】(1つだけに○)

「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が28.0%と最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が27.7%、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が19.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」の割合が増加しています。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。

フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない

フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である

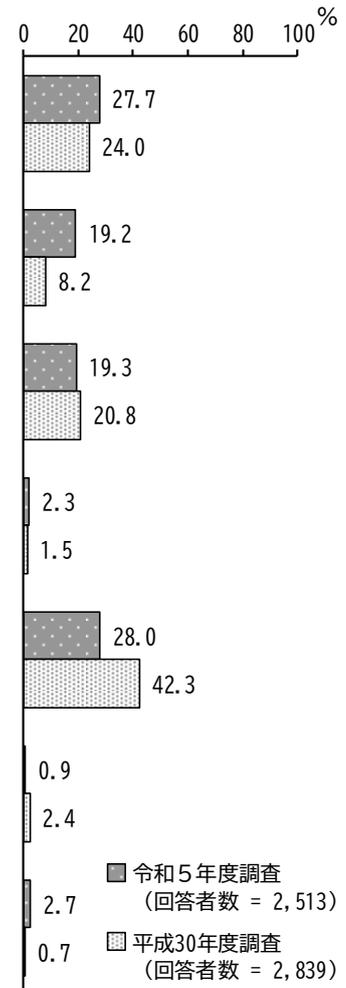
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない

パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である

以前は就労していたが、現在は就労していない

これまで就労したことがない

無回答



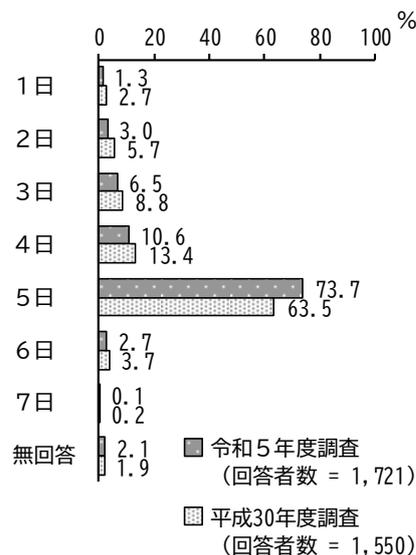
(2) - 1 (2) で「1~4」(就労している)に○をつけた方にかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンを、産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をお答えください。(() 内に数字を記入)

ア. 1週当たりの就労日数

「5日」の割合が73.7%と最も高く、次いで「4日」の割合が10.6%となっています。

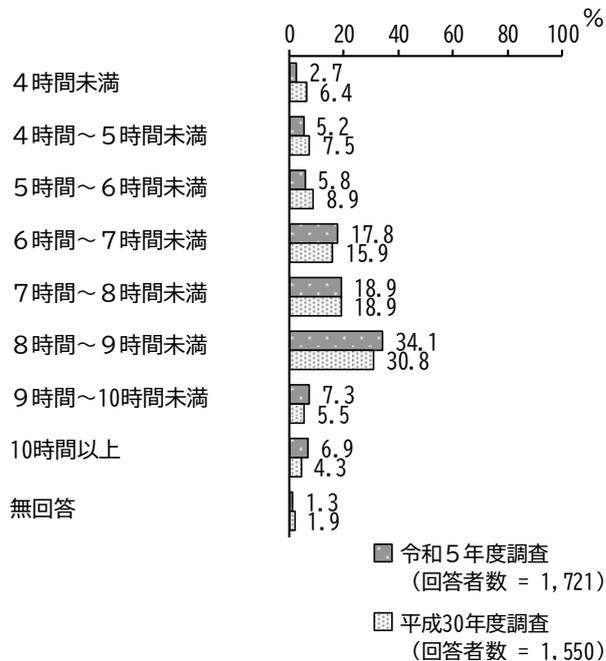
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。



イ. 1日当たりの就労時間

「8時間~9時間未満」の割合が34.1%と最も高く、次いで「7時間~8時間未満」の割合が18.9%、「6時間~7時間未満」の割合が17.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

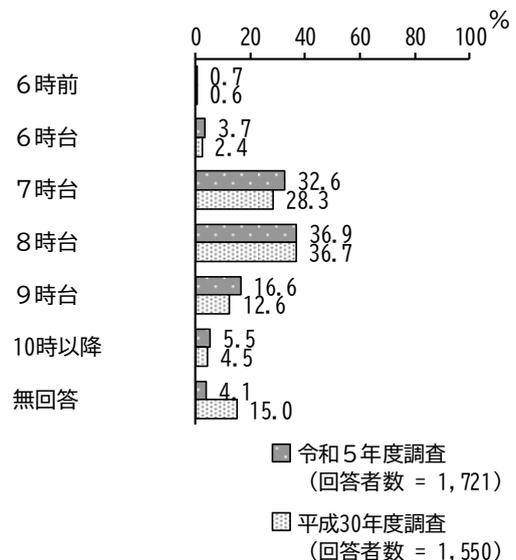


(2) - 2 (2)で「1~4」(就労している)に○をつけた方いかがいます。
 家を出る時刻と帰宅時刻及び勤務地をお答えください。時間が一定でない場合は、
 もっとも多いパターンを、産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況
 をお答えください。リモートワークの場合は始業時間と終業時間を記入してくださ
 い。時間は必ず(例)8時~18時のように、24時間制でお答えください。()
 内に数字を記入)

ウ. 家を出る時刻

「8時台」の割合が36.9%と最も高く、次いで
 「7時台」の割合が32.6%、「9時台」の割合が
 16.6%となっています。

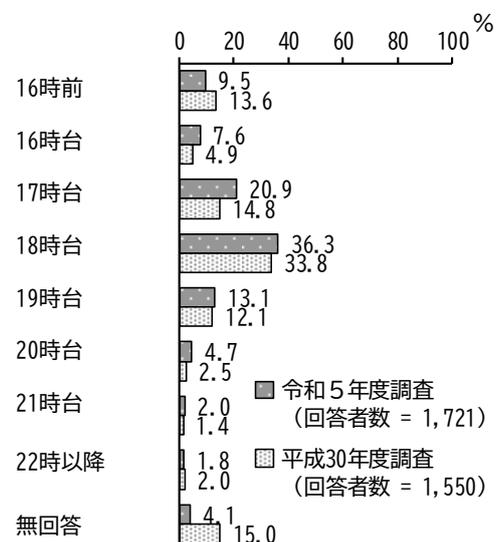
平成30年度調査と比較すると、大きな変化は
 みられません。



エ. 帰宅時刻

「18時台」の割合が36.3%と最も高く、次い
 で「17時台」の割合が20.9%、「19時台」の割合
 が13.1%となっています。

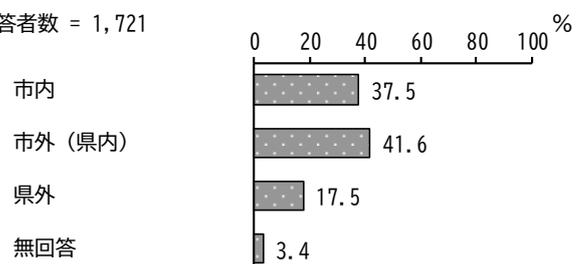
平成30年度調査と比較すると、「17時台」の割
 合が増加しています。



オ. 勤務地 (1つだけに○)

「市外(県内)」の割合が41.6%と最も高く、
 次いで「市内」の割合が37.5%、「県外」の割合
 が17.5%となっています。

回答者数 = 1,721



問12 問11の(1)または(2)で「3」、「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。
フルタイムへの転換希望はありますか。(1つだけに○)

(1) 父親

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が47.4%と最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が10.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい」の割合が減少しています。

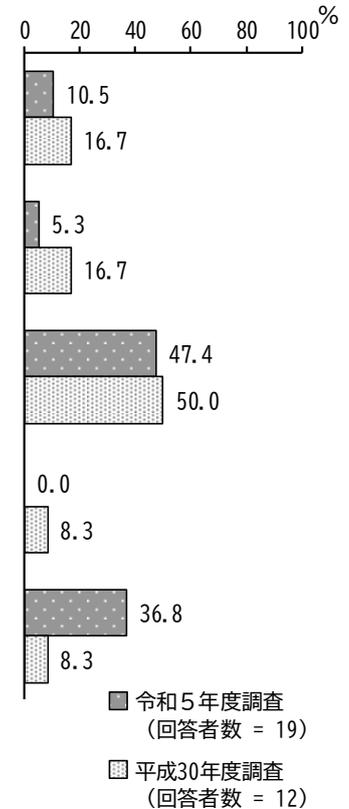
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある

フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない

パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望

パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

無回答



(2) 母親

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が47.4%と最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が24.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

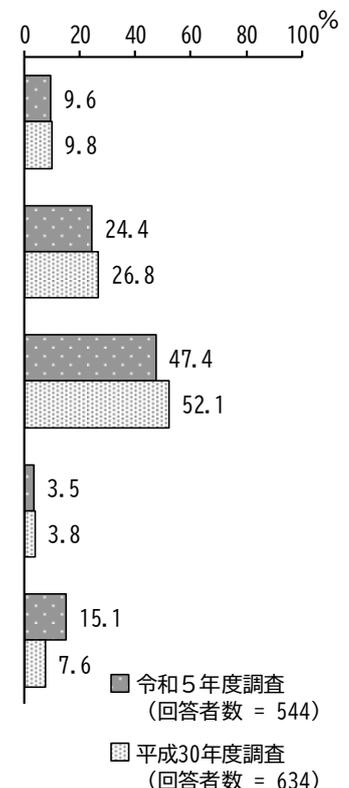
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある

フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない

パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望

パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

無回答

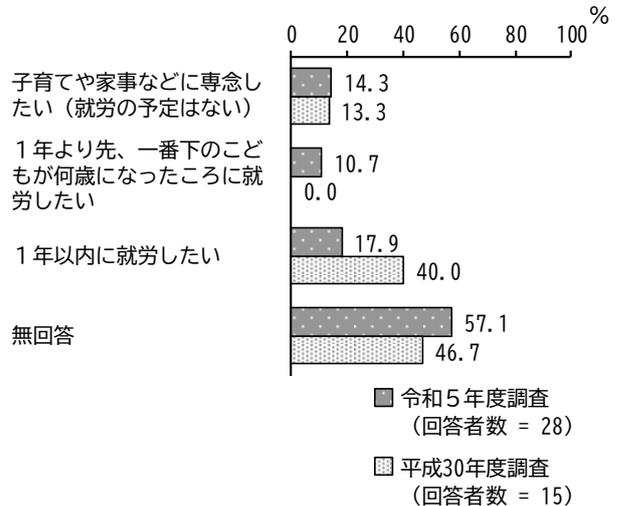


問13 問11の(1)または(2)で「5 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6 これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください。

(1) 父親

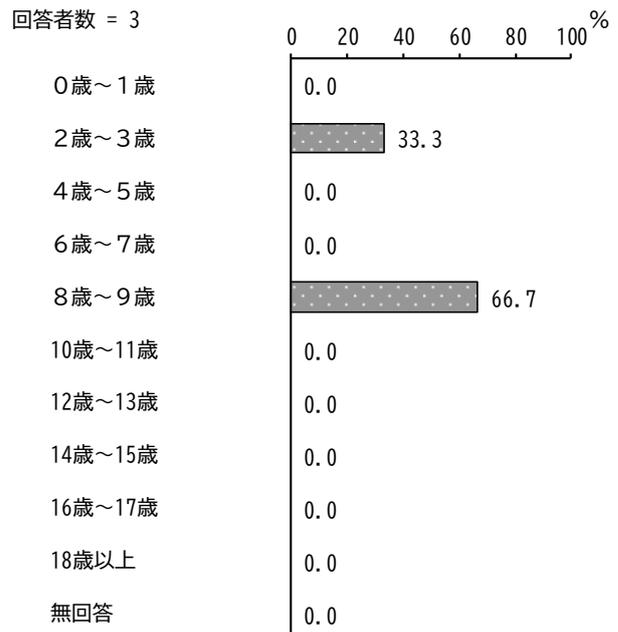
「1年以内に就労したい」の割合が17.9%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が14.3%、「1年より先、一番下のこどもが何歳になったところに就労したい」の割合が10.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1年より先、一番下のこどもが何歳になったところに就労したい」の割合が増加しています。一方、「1年以内に就労したい」の割合が減少しています。



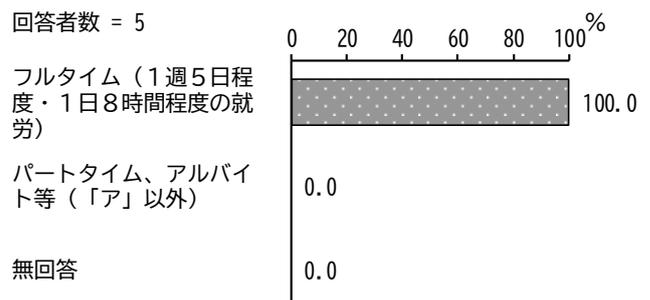
ア. 就労を希望するときの末子の年齢

「8歳～9歳」が2件となっています。「2歳～3歳」が1件となっています。



イ. 1年以内に就労したい人の希望する就労形態

「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」が5件、「パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)」が0件となっています。



ウ. 就労を希望するときの1週当たり就労日数

有効回答がありませんでした。

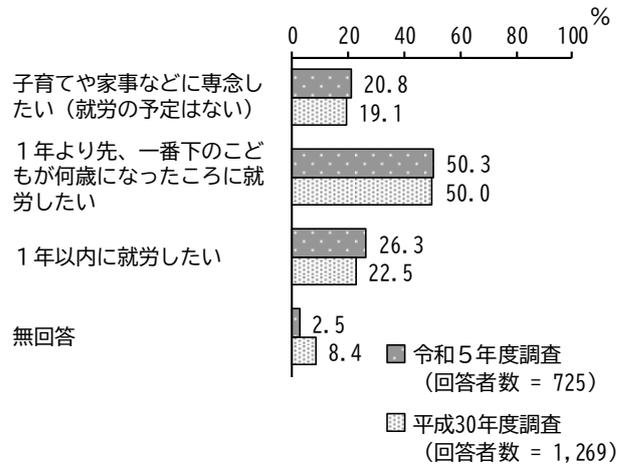
エ. 就労を希望するときの1日当たり就労時間

有効回答がありませんでした。

(2) 母親

「1年より先、一番下のこどもが何歳になったころに就労したい」の割合が50.3%と最も高く、次いで「1年以内に就労したい」の割合が26.3%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が20.8%となっています。

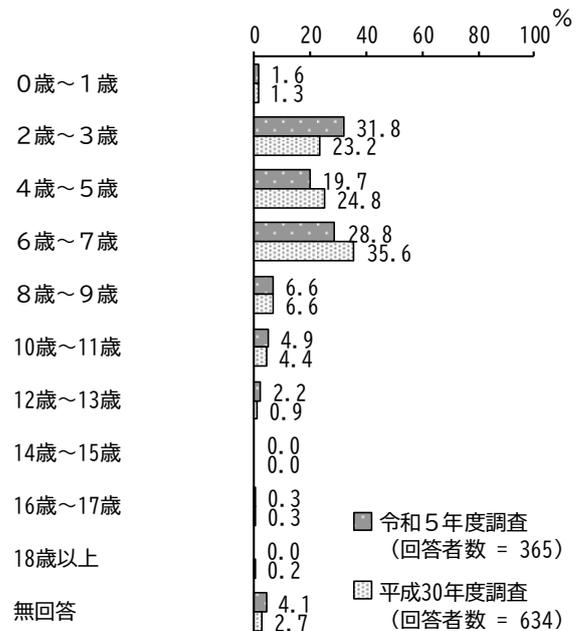
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



ア. 就労を希望するときの末子の年齢

「2歳～3歳」の割合が31.8%と最も高く、次いで「6歳～7歳」の割合が28.8%、「4歳～5歳」の割合が19.7%となっています。

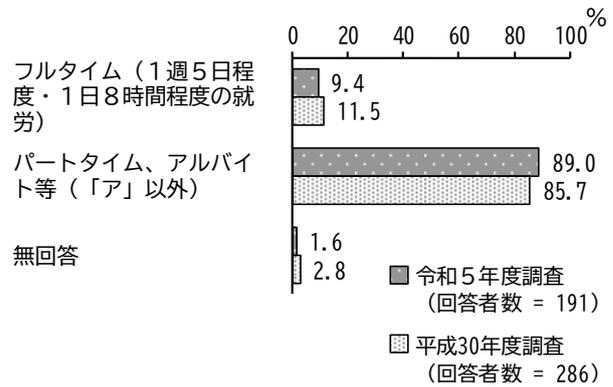
平成30年度調査と比較すると、「2歳～3歳」の割合が増加しています。一方、「4歳～5歳」、「6歳～7歳」の割合が減少しています。



イ. 1年以内に就労したい人の希望する就労形態

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が9.4%、「パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）」の割合が89.0%となっています。

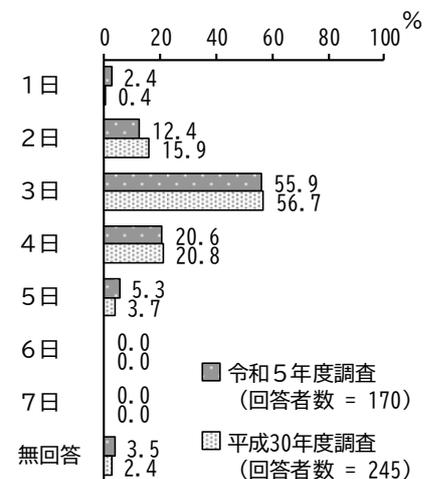
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



ウ. 就労を希望するときの1週当たり就労日数

「3日」の割合が55.9%と最も高く、次いで「4日」の割合が20.6%、「2日」の割合が12.4%となっています。

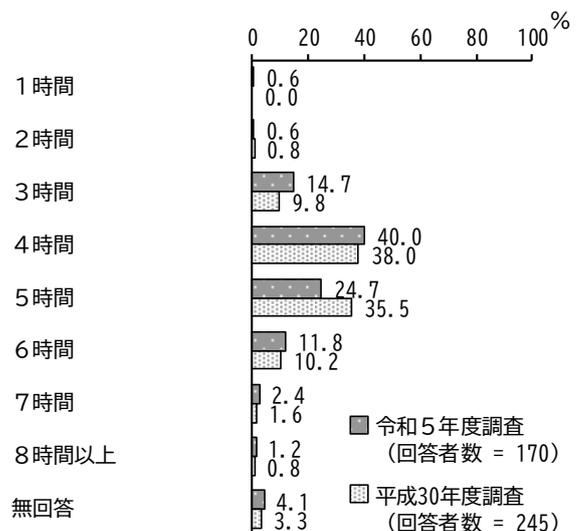
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



エ. 就労を希望するときの1日当たり就労時間

「4時間」の割合が40.0%と最も高く、次いで「5時間」の割合が24.7%、「3時間」の割合が14.7%となっています。

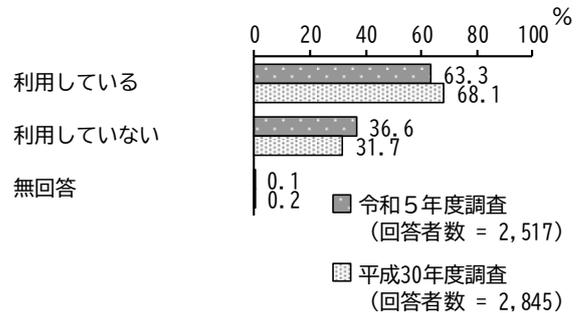
平成30年度調査と比較すると、「5時間」の割合が減少しています。



(4) 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

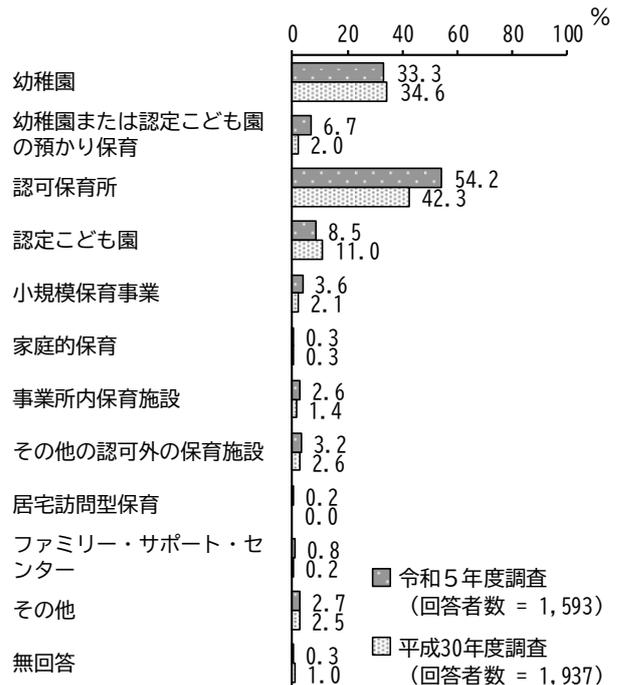
問 14 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所（園）などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。（1つだけに○）

「利用している」の割合が63.3%、「利用していない」の割合が36.6%となっています。
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 14-1 問 14-1～問 14-5は、問 14で「1 利用している」に○をつけた方がいます。宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

「認可保育所」の割合が54.2%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が33.3%となっています。
平成30年度調査と比較すると、「認可保育所」の割合が増加しています。



【その他の主な意見】

- ・ 児童発達支援センターつつじ学園
- ・ 幼稚園のプレ教室
- ・ 横浜聾学校
- ・ 日中一時支援 ・ 児童発達支援事業
- ・ 療育の保育園
- ・ 職場内の託児施設
- ・ 一時あずかり市外保育園
- ・ 英語特化型学童保育
- ・ 青空自主保育

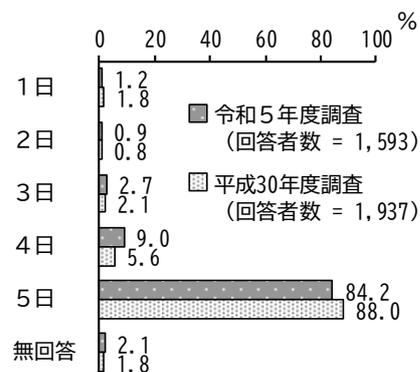
問 14-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。(問 14-1 で複数選択した方は、その合計をご記入ください。) 1 週当たり何日、1 日当たり何時間(何時から何時まで)か、() 内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず(例) 9 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

(1) 現在

ア. 1 週当たり利用日数

「5 日」の割合が 84.2% と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

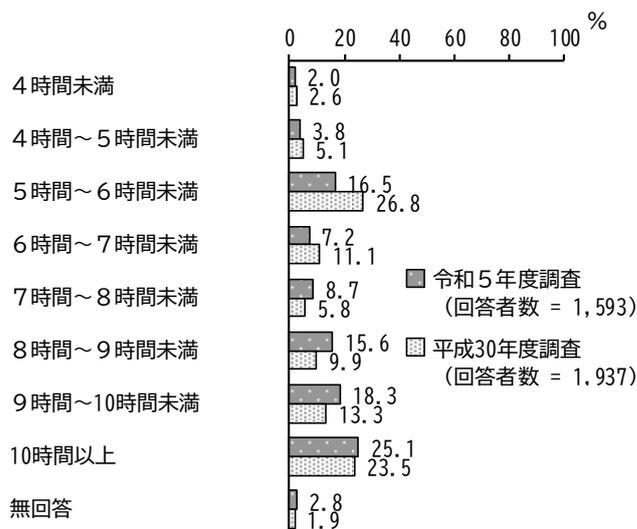


イ. 1 日当たり利用時間

「10 時間以上」の割合が 25.1% と最も高く、次いで「9 時間～10 時間未満」の割合が 18.3%、

「5 時間～6 時間未満」の割合が 16.5% となっています。

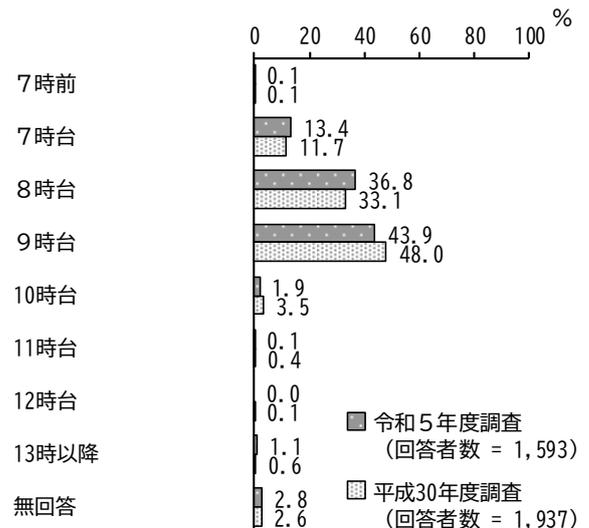
平成 30 年度調査と比較すると、「8 時間～9 時間未満」、「9 時間～10 時間未満」の割合が増加しています。一方、「5 時間～6 時間未満」の割合が減少しています。



ウ. 開始時間

「9時台」の割合が43.9%と最も高く、次いで「8時台」の割合が36.8%、「7時台」の割合が13.4%となっています。

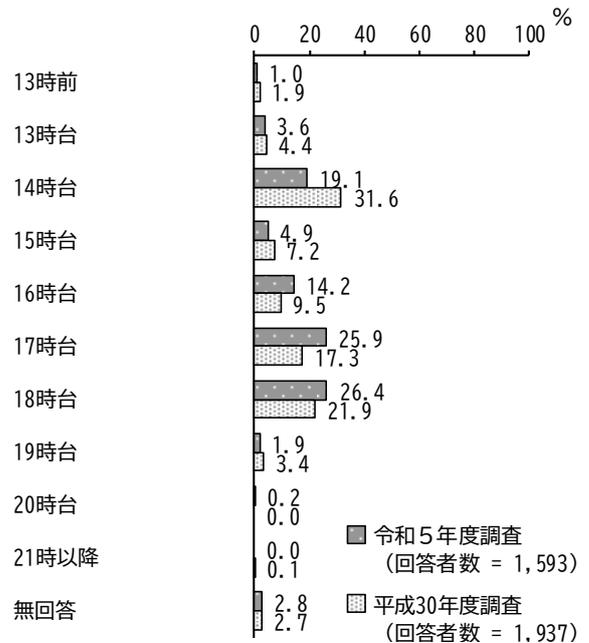
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



エ. 終了時間

「18時台」の割合が26.4%と最も高く、次いで「17時台」の割合が25.9%、「14時台」の割合が19.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「17時台」の割合が増加しています。一方、「14時台」の割合が減少しています。

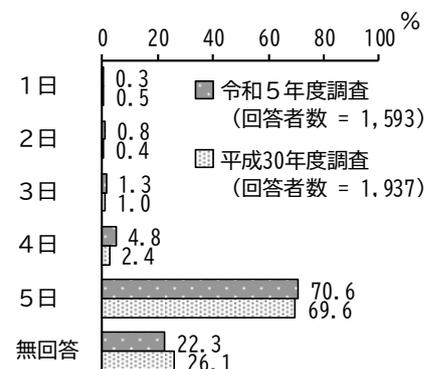


(2) 希望

ア. 1週当たり利用日数

「5日」の割合が70.6%と最も高くなっています。

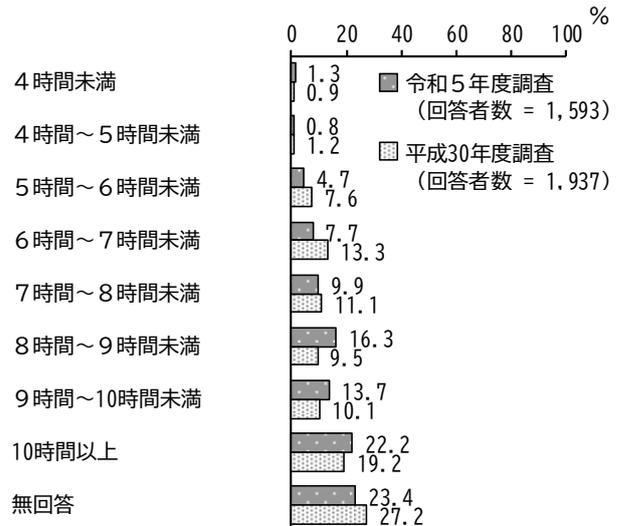
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



イ. 1日当たり利用時間

「10 時間以上」の割合が 22.2%と最も高く、次いで「8時間～9 時間未満」の割合が 16.3%、「9 時間～10 時間未満」の割合が 13.7%となっています。

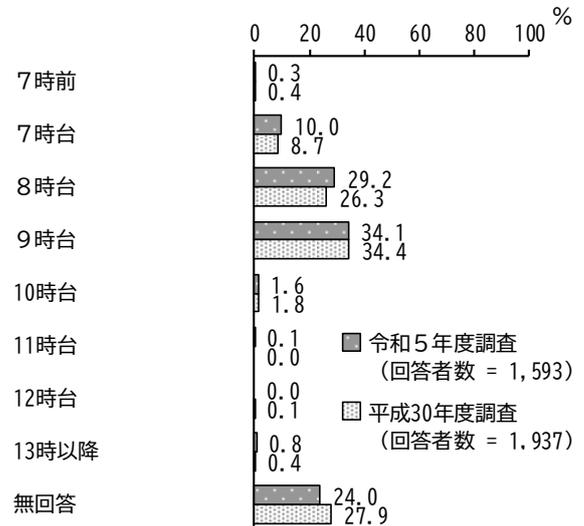
平成 30 年度調査と比較すると、「8 時間～9 時間未満」の割合が増加しています。一方、「6 時間～7 時間未満」の割合が減少しています。



ウ. 開始時間

「9 時台」の割合が 34.1%と最も高く、次いで「8 時台」の割合が 29.2%、「7 時台」の割合が 10.0%となっています。

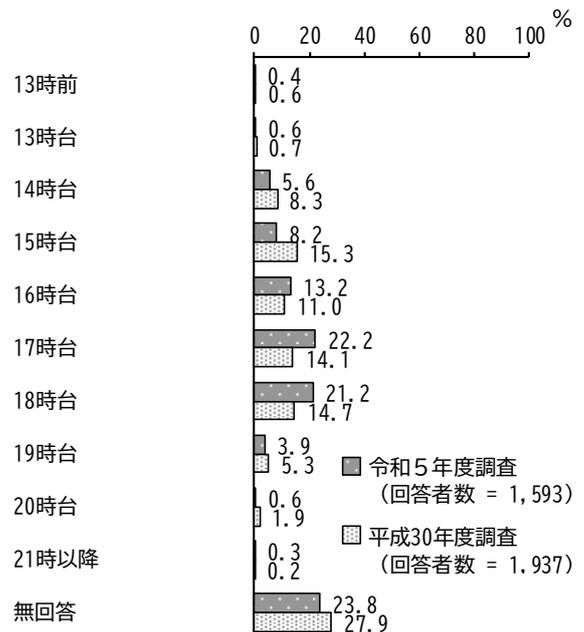
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



エ. 終了時間

「17 時台」の割合が 22.2%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 21.2%、「16 時台」の割合が 13.2%となっています。

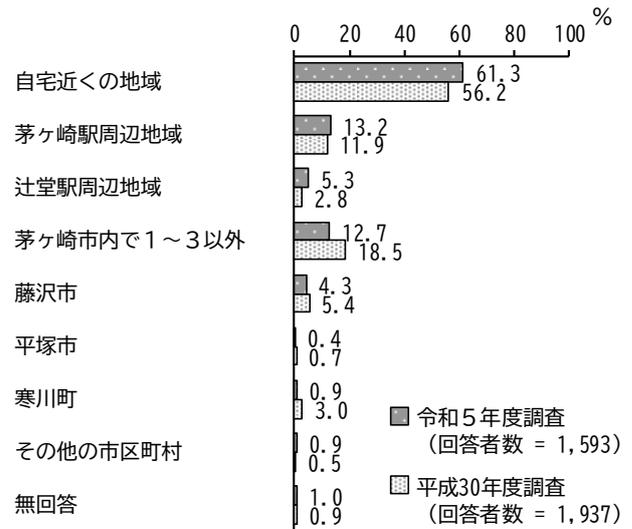
平成 30 年度調査と比較すると、「17 時台」、「18 時台」の割合が増加しています。一方、「15 時台」の割合が減少しています。



問 14-3 現在、利用している教育・保育事業の場所をお答えください。
(1つだけに○)

「自宅近くの地域」の割合が 61.3%と最も高く、次いで「茅ヶ崎駅周辺地域」の割合が 13.2%、「茅ヶ崎市内で1～3以外」の割合が 12.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「自宅近くの地域」の割合が増加しています。一方、「茅ヶ崎市内で1～3以外」の割合が減少しています。



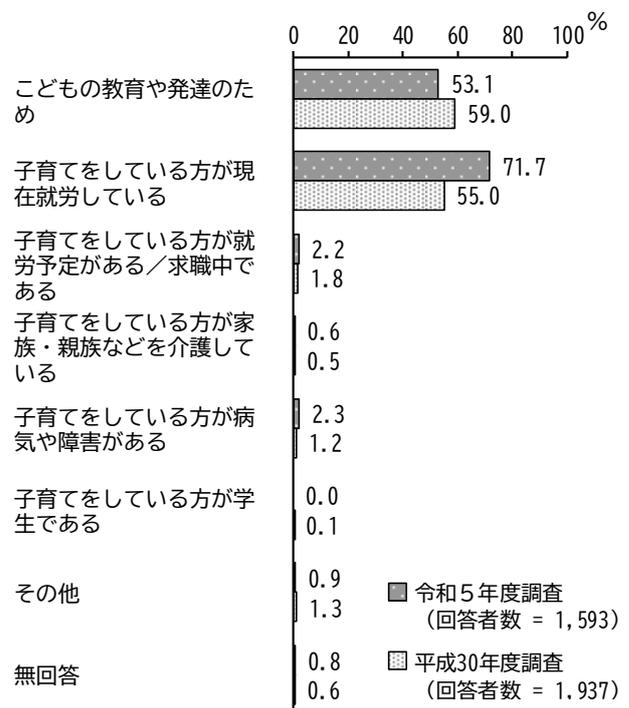
【その他の意見】

- ・ 1と4の2ヶ所
- ・ 伊勢原市
- ・ 鎌倉市
- ・ 川崎市
- ・ 小田原市
- ・ 大和市
- ・ 海老名市

問 14-4 平日に定期的に教育・保育事業を利用されている主な理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

「子育てをしている方が現在就労している」の割合が71.7%と最も高く、次いで「こどもの教育や発達のため」の割合が53.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子育てをしている方が現在就労している」の割合が増加しています。一方、「こどもの教育や発達のため」の割合が減少しています。

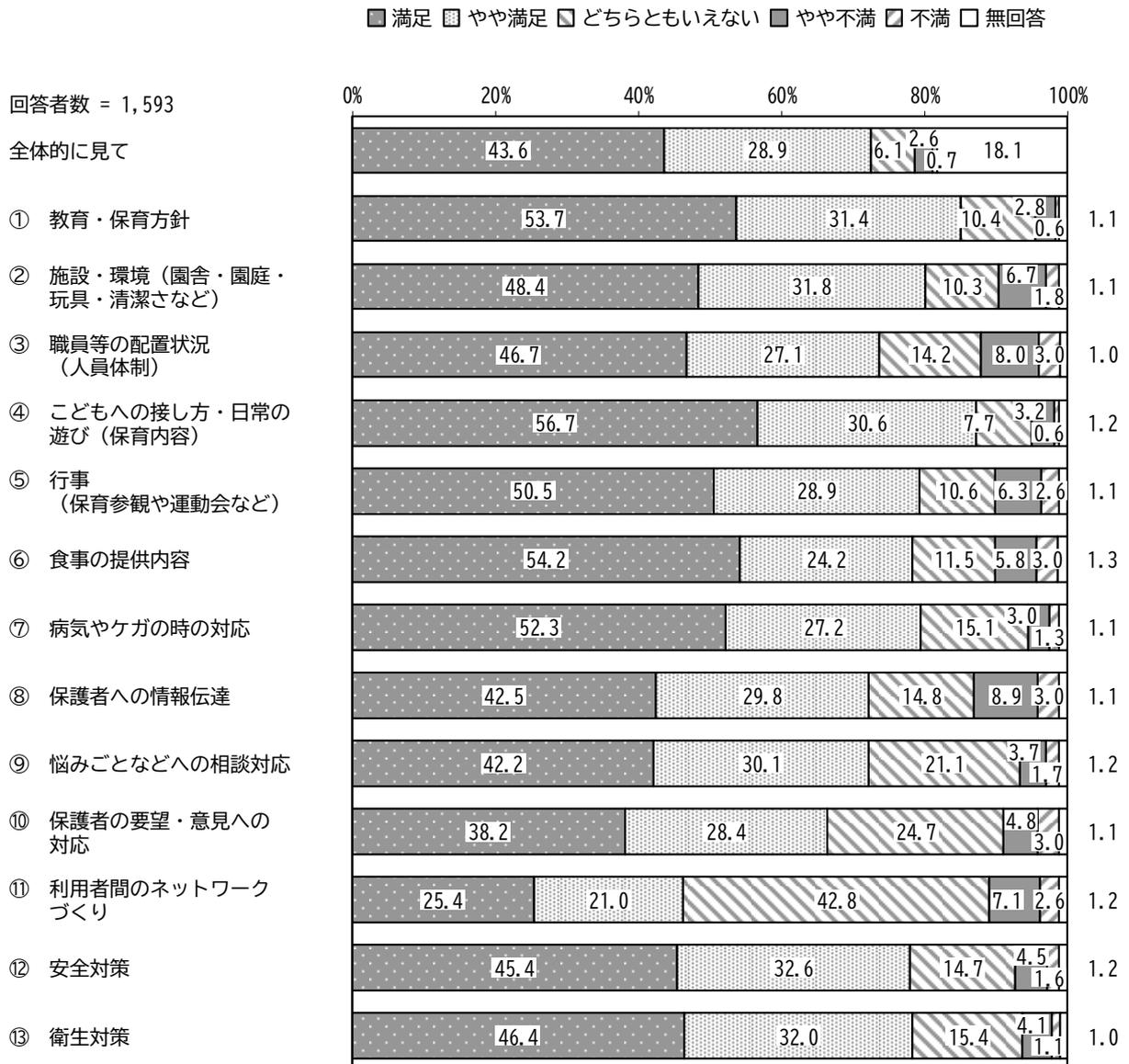


【その他の意見】

- ・ 家事をスムーズに行うため
- ・ 副業、勉強、家事のため
- ・ 年子の育児が大変なため
- ・ 子供と離れて過ごす時間が必要なため
- ・ 0才双子育児中のため
- ・ 母親のリフレッシュのため
- ・ 用事や通院などのため
- ・ 希望の幼稚園に入園するため
- ・ 生きていく力、のびのびした環境のため

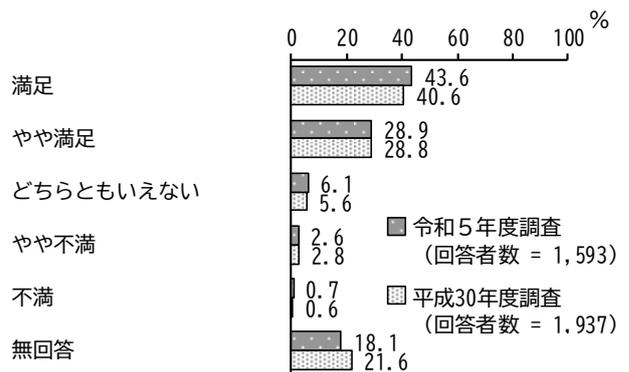
問 14-5 お子さんの平日の教育・保育事業の①～⑬のそれぞれの項目について、どの程度満足しているかお答えください。(それぞれ1つずつに○)

『④こどもへの接し方・日常の遊び（保育内容）』で「満足」の割合が、『⑪利用者間のネットワークづくり』で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。



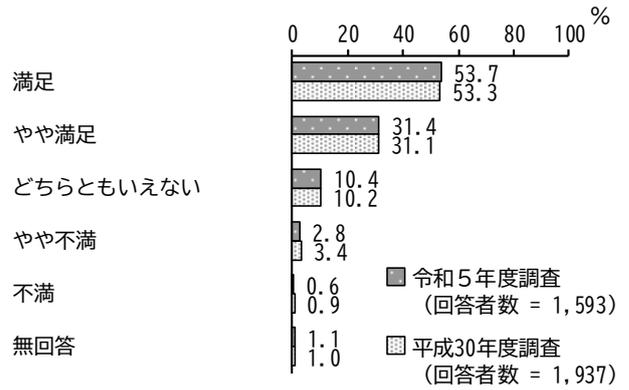
全体的に見て

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



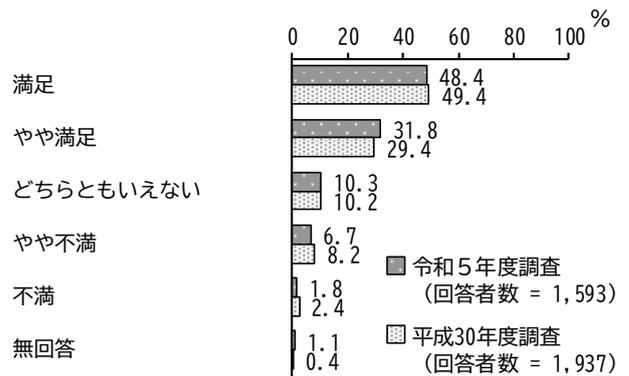
① 教育・保育方針

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



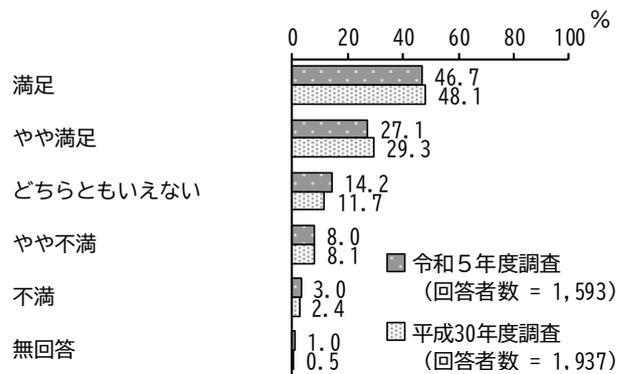
② 施設・環境（園舎・園庭・玩具・清潔さなど）

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



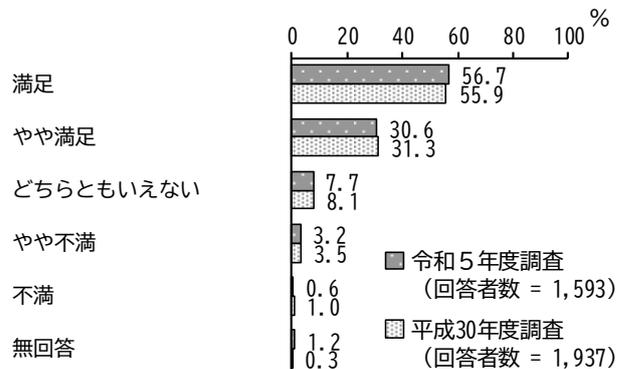
③ 職員等の配置状況（人員体制）

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



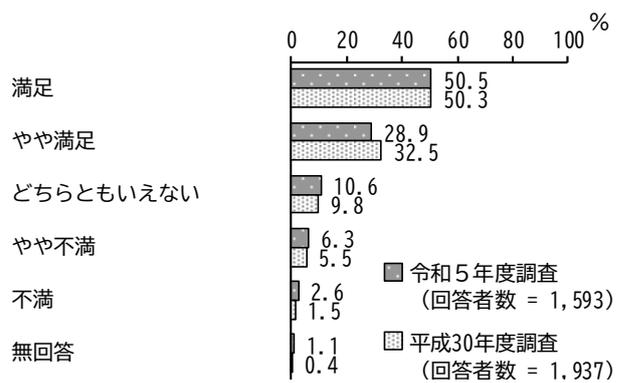
④ こどもへの接し方・日常の遊び（保育内容）

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



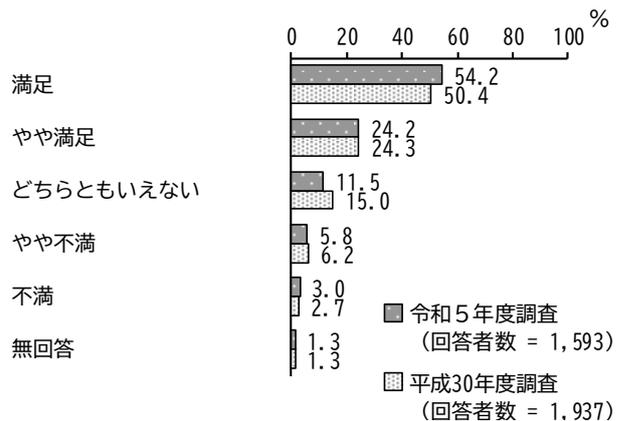
⑤ 行事（保育参観や運動会など）

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



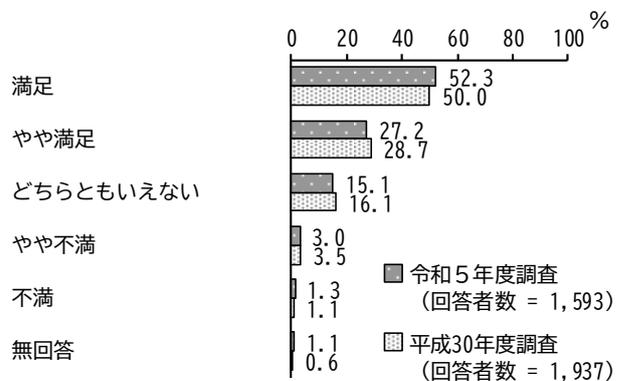
⑥ 食事の提供内容

平成 30 年度調査と比較すると、「満足」が増加して、「どちらともいえない」、「やや不満」が減少しています。



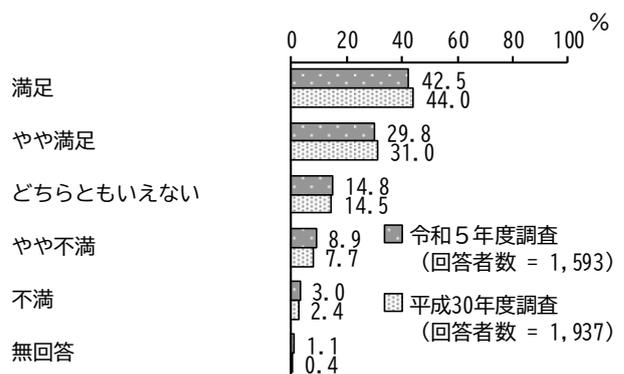
⑦ 病気やケガの時の対応

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



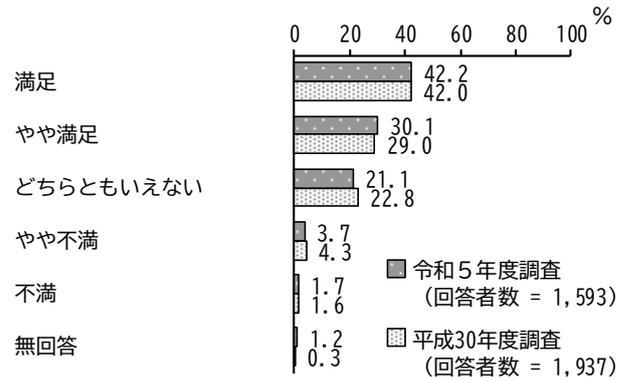
⑧ 保護者への情報伝達

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



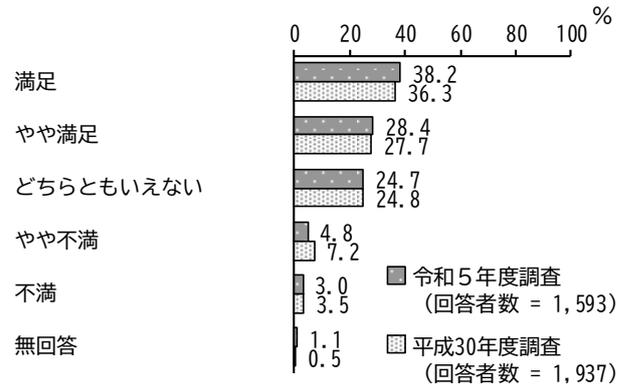
⑨ 悩みごとなどへの相談対応

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



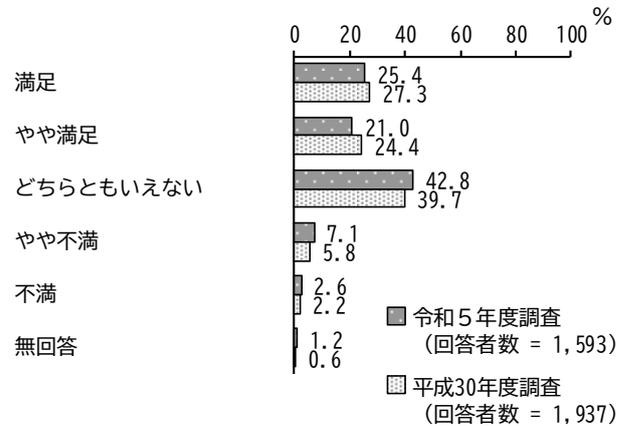
⑩ 保護者の要望・意見への対応

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



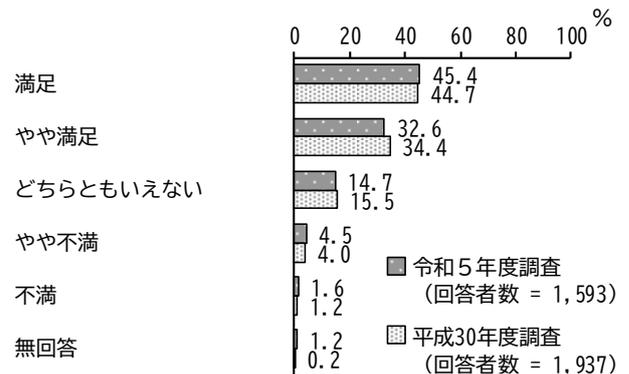
⑪ 利用者間のネットワークづくり

平成 30 年度調査と比較すると、「満足」、「やや満足」が減少して、「どちらともいえない」が増加しています。



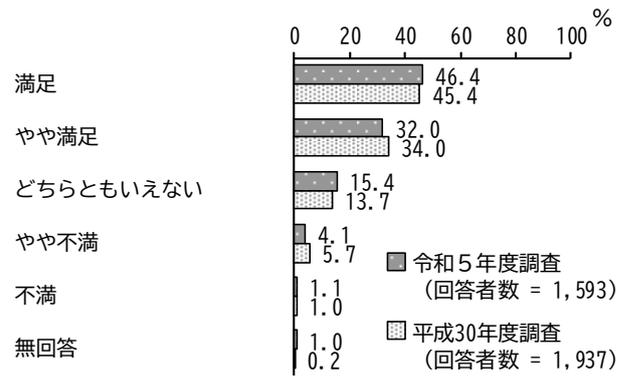
⑫ 安全対策

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



⑬ 衛生対策

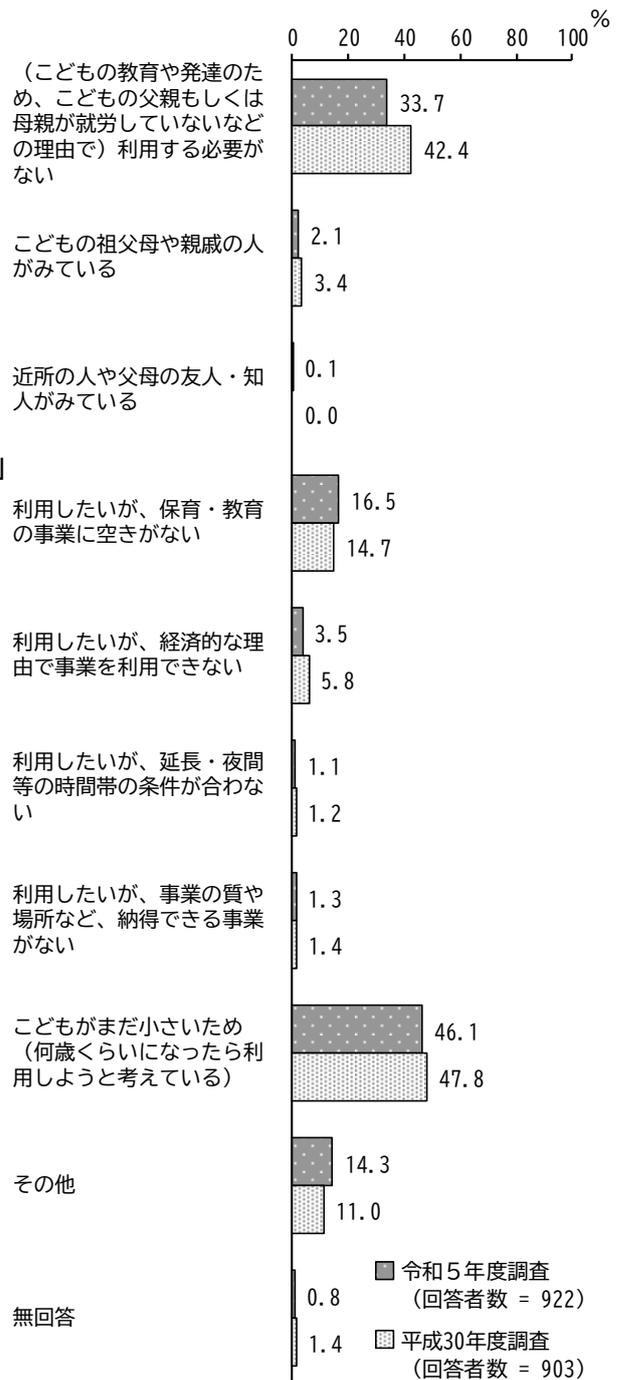
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化は
みられません。



問 14-6 問 14 で「2 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。(特にあてはまるものすべてに○)

「こどもがまだ小さいため(何歳くらいになったら利用しようと考えている)」の割合が 46.1% と最も高く、次いで「(こどもの教育や発達のため、こどもの父親もしくは母親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」の割合が 33.7%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」の割合が 16.5% となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「(こどもの教育や発達のため、こどもの父親もしくは母親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」の割合が減少しています。



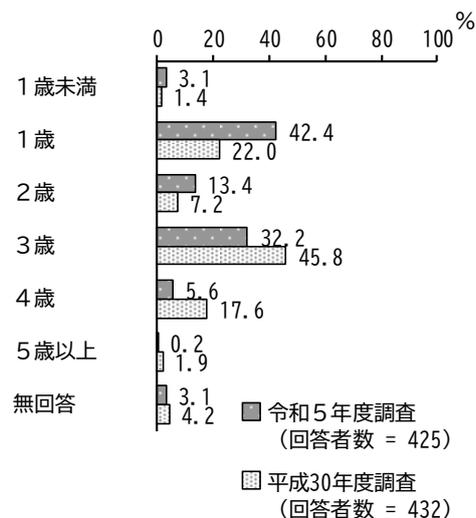
【その他の主な意見】

- ・ 4月から幼稚園へ行くため
- ・ 就職を機に利用したい
- ・ 育児休業中のため
- ・ 妊娠中のため
- ・ 両親どちらかが無職のため
- ・ 2人目を計画しているため
- ・ 時々一時預かりを利用している
- ・ こどもが小さいうちの時間をできる限り一緒に過ごしたいため
- ・ 保育園の申請中
- ・ 夫の理解がなく、利用したいと言っても否定されるため

教育・保育事業を利用したい子どもの年齢

「1歳」の割合が42.4%と最も高く、次いで「3歳」の割合が32.2%、「2歳」の割合が13.4%となっています。

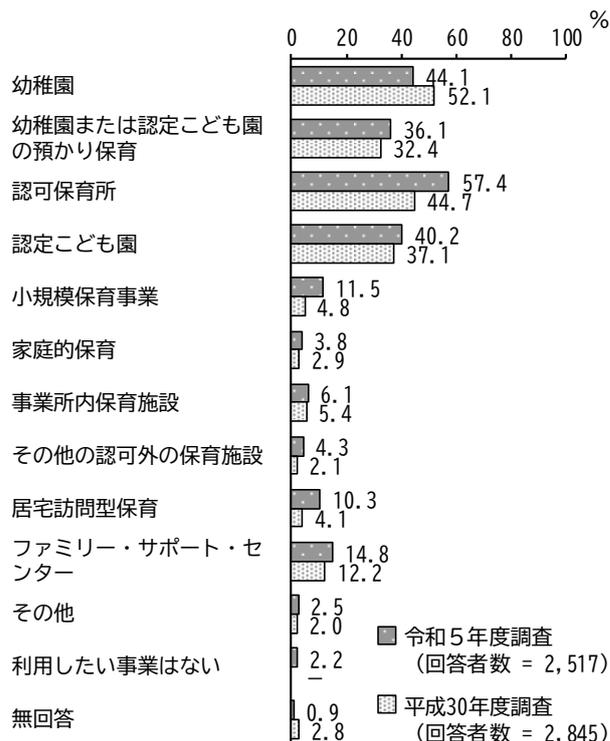
平成30年度調査と比較すると、「1歳」、「2歳」の割合が増加しています。一方、「3歳」、「4歳」の割合が減少しています。



問15 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○) ※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

「認可保育所」の割合が57.4%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が44.1%、「認定こども園」の割合が40.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「認可保育所」、「小規模保育事業」、「居宅訪問型保育」の割合が増加しています。一方、「幼稚園」の割合が減少しています。



※前回調査では、「利用したい事業はない」の選択肢はありませんでした。

【その他の意見】

- ・ 病児保育、病児後保育
- ・ 児童発達支援施設
- ・ こどもデイサービス
- ・ 保育所での一時預かり保育
- ・ 月中一時支援
- ・ 外国語などグローバルな環境

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、0歳で「認可保育所」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	幼稚園	幼稚園または認定こども園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育事業	家庭的保育	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	利用したい事業はない	無回答
全体	2,517	44.1	36.1	57.4	40.2	11.5	3.8	6.1	4.3	10.3	14.8	2.5	2.2	0.9
0歳	741	40.2	36.8	70.9	48.0	20.0	5.3	8.0	6.2	10.5	16.3	1.5	2.0	0.5
1歳	343	47.5	35.0	56.9	39.4	12.8	2.9	5.2	4.4	11.1	14.9	3.2	1.7	0.6
2歳	424	42.9	34.4	57.5	39.9	7.3	4.0	5.9	3.8	9.7	13.7	2.8	3.1	1.2
3歳	381	50.9	37.8	48.3	38.3	6.8	3.1	5.2	2.4	11.5	15.7	2.4	1.8	1.0
4歳	296	37.8	37.8	47.0	32.4	5.1	2.4	4.4	3.7	10.5	11.5	2.4	2.7	1.7
5歳	298	48.7	32.6	48.7	33.6	7.4	3.0	5.7	3.0	7.7	14.4	3.4	2.0	1.0

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、以前は就労していたが、現在は就労していないで「幼稚園」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	幼稚園	幼稚園または認定こども園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育事業	家庭的保育
全体	2,513	44.1	36.1	57.4	40.3	11.5	3.8
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	695	21.0	26.8	74.8	33.5	7.6	2.7
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	482	27.0	34.6	82.2	50.6	21.4	4.1
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	486	43.4	41.2	55.6	42.6	11.5	3.7
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	58	36.2	31.0	70.7	41.4	15.5	5.2
以前は就労していたが、現在は就労していない	703	79.4	44.4	25.2	39.3	9.0	4.6
これまで就労したことがない	22	54.5	36.4	13.6	36.4	9.1	4.5

単位：％

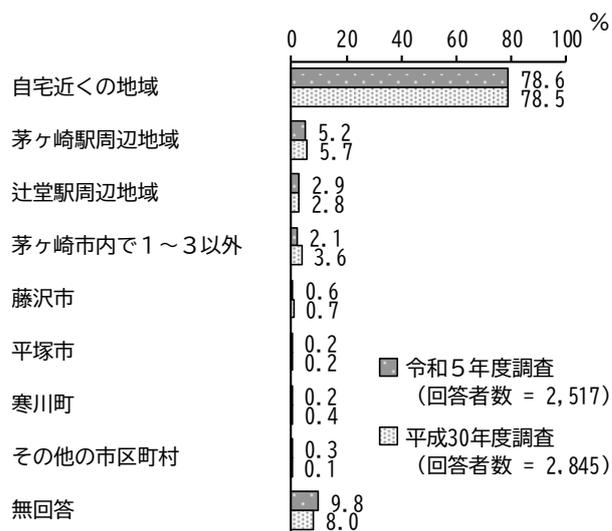
区分	事業所内保育施設	その他の認可外の 保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポ ート・センター	その他	利用したい事業は ない	無回答
全 体	6.1	4.3	10.3	14.8	2.5	2.2	0.9
フルタイム（1週5日程度・1日8時間 程度の就労）で就労しており、産休・育 休・介護休業中ではない	5.5	3.9	13.5	15.0	3.2	2.0	1.3
フルタイム（1週5日程度・1日8時間 程度の就労）で就労しているが、産休・ 育休・介護休業中である	8.9	6.2	10.2	17.2	2.3	1.2	0.4
パート・アルバイト等（「フルタイム」 以外の就労）で就労しており、産休・育 休・介護休業中ではない	6.4	3.3	8.2	13.2	2.1	1.6	0.8
パート・アルバイト等（「フルタイム」 以外の就労）で就労しているが、産休・ 育休・介護休業中である	5.2	10.3	10.3	13.8	—	—	1.7
以前は就労していたが、現在は就労して いない	4.8	3.8	8.5	14.4	2.6	3.1	1.0
これまで就労したことがない	4.5	—	4.5	4.5	—	18.2	—

（前ページの表 続き）

問 15-1 教育・保育事業を利用したい場所をお答えください。（1つだけに○）

「自宅近くの地域」の割合が78.6%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



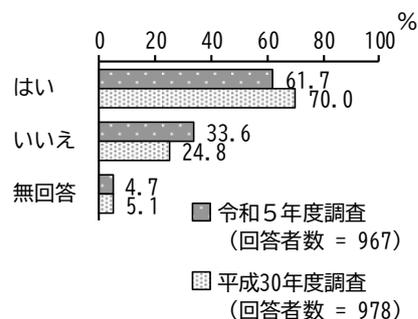
【その他の意見】

- ・ 職場の最寄り
- ・ 町田市
- ・ 伊勢原市
- ・ 横浜市
- ・ 転居先

問 15-2 問 15 で「1 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2 幼稚園または認定こども園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～11のいずれかにも○をつけた方にかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（1つだけに○）

「はい」の割合が61.7%、「いいえ」の割合が33.6%となっています。

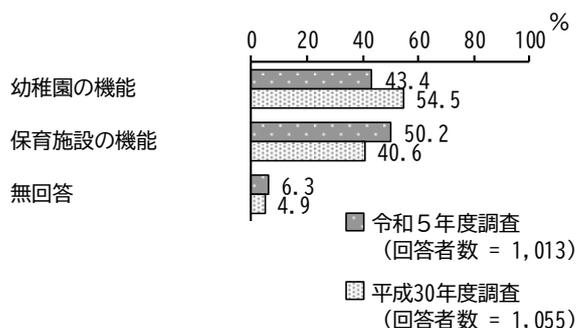
平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



問 15-3 問 15 で「4 認定こども園」に○をつけた方にかがいます。幼稚園の機能と保育施設の機能のどちらの利用を希望しますか。（1つだけに○）

「幼稚園の機能」の割合が43.4%、「保育施設の機能」の割合が50.2%となっています。

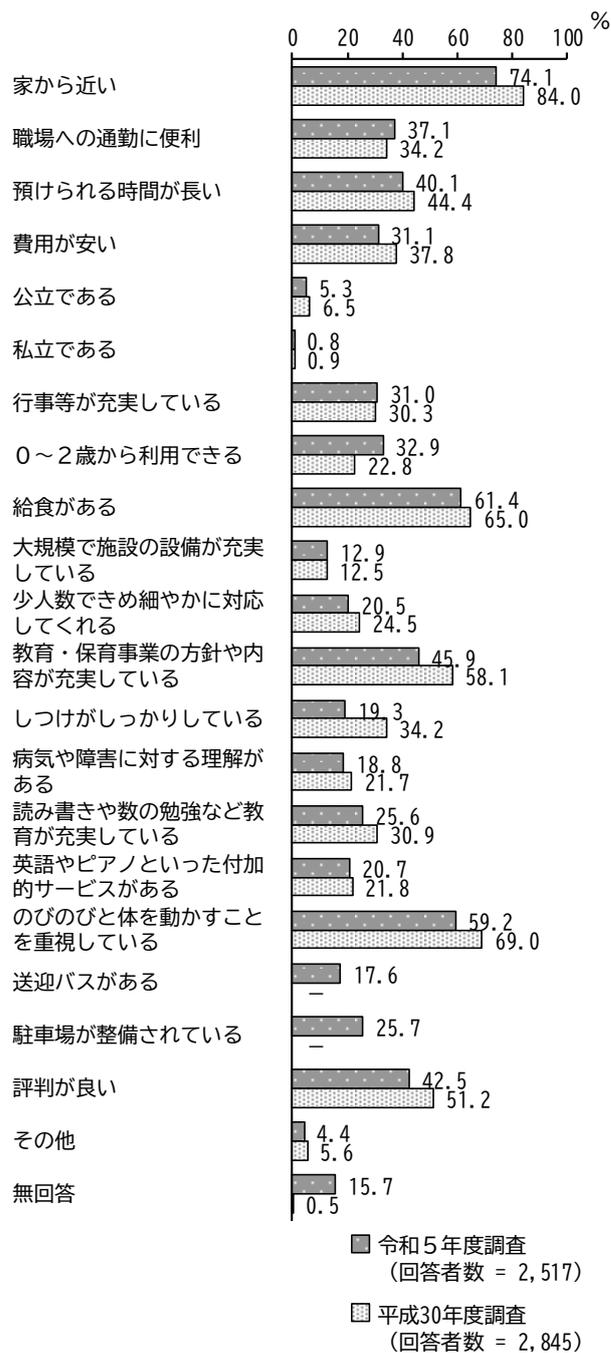
平成30年度調査と比較すると、「保育施設の機能」の割合が増加しています。一方、「幼稚園の機能」の割合が減少しています。



問 16 お子さんの利用する教育・保育事業を選ぶときにどのようなことを重視しますか。(あてはまるものすべてに○)

「家から近い」の割合が74.1%と最も高く、次いで「給食がある」の割合が61.4%、「のびのびと体を動かすことを重視している」の割合が59.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「0～2歳から利用できる」の割合が増加しています。一方、「家から近い」、「費用が安い」、「教育・保育事業の方針や内容が充実している」、「しつけがしっかりしている」、「読み書きや数の勉強など教育が充実している」、「のびのびと体を動かすことを重視している」、「評判が良い」の割合が減少しています。



※前回調査では、「送迎バスがある」、「駐車場が整備されている」の選択肢はありませんでした。

【その他の主な意見】

- ・安全対策をしっかりしている
- ・安全で衛生的であること
- ・食事内容
- ・見学に伺った際の対応や雰囲気
- ・準備や持ち物が少ない
- ・職員がいきいきしている
- ・延長保育が出来る
- ・集団行動が学べる環境かどうか
- ・外遊びの時間が多いこと
- ・保育スタッフが充分いて健全な保育ができる

【利用したい教育・保育事業別】

利用したい教育・保育事業別にみると、事業所内保育施設で「預けられる時間が長い」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家から近い	職場への通勤に便利	預けられる時間が長い	費用が安い	公立である	私立である	行事等が充実している	0～2歳から利用できる	給食がある	大規模で施設の設備が充実している	少人数できめ細やかに対応してくれる
全体	2,517	74.1	37.1	40.1	31.1	5.3	0.8	31.0	32.9	61.4	12.9	20.5
幼稚園	1,111	75.1	27.4	35.5	33.1	4.9	1.0	35.6	21.2	57.6	13.8	23.9
幼稚園または認定こども園の預かり保育	908	83.0	39.6	54.6	39.6	5.4	0.8	40.3	32.0	70.8	16.6	25.2
認可保育所	1,445	79.6	49.6	47.1	33.9	6.7	0.7	30.7	47.2	69.5	14.6	19.0
認定こども園	1,013	88.5	46.6	55.5	40.8	6.0	0.8	39.2	40.1	77.8	16.5	25.7
小規模保育事業	290	87.6	52.1	53.1	42.8	6.2	0.7	34.1	56.6	72.4	12.4	36.6
家庭的保育	96	78.1	38.5	53.1	45.8	5.2	—	29.2	47.9	72.9	15.6	39.6
事業所内保育施設	153	83.7	58.8	66.0	49.0	8.5	0.7	34.0	47.7	74.5	13.7	28.8
その他の認可外の保育施設	107	76.6	53.3	59.8	54.2	3.7	0.9	31.8	51.4	62.6	20.6	36.4
居宅訪問型保育	260	78.1	39.2	51.9	34.2	8.1	1.2	30.8	45.4	69.2	18.1	29.2
ファミリー・サポート・センター	373	77.5	39.7	52.8	33.8	8.0	0.5	35.7	42.4	67.6	15.8	30.0
その他	62	62.9	32.3	35.5	29.0	9.7	—	19.4	25.8	45.2	6.5	27.4
利用したい事業はない	55	54.5	20.0	12.7	20.0	1.8	1.8	21.8	16.4	27.3	3.6	9.1

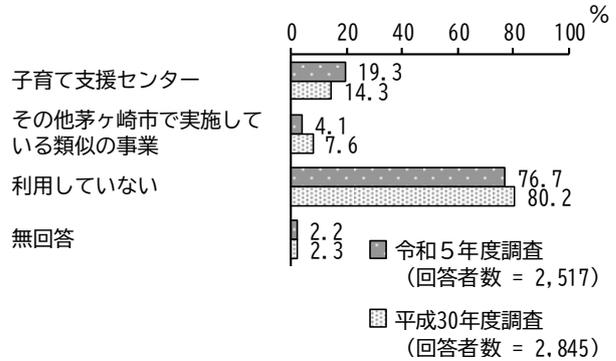
区分	教育・保育事業の方針や内容が充実している	しつけがしっかりしている	病気や障害に対する理解がある	読み書きや数の勉強など教育が充実している	英語やピアノといった付加的サービスがある	のびのびと体を動かすことを重視している	送迎バスがある	駐車場が整備されている	評判が良い	その他	無回答
全体	45.9	19.3	18.8	25.6	20.7	59.2	17.6	25.7	42.5	4.4	15.7
幼稚園	50.2	22.9	19.0	29.4	23.0	63.5	30.4	23.5	50.1	3.8	12.5
幼稚園または認定こども園の預かり保育	57.3	23.6	24.3	34.0	30.3	70.2	28.0	29.2	53.7	4.7	6.8
認可保育所	46.4	17.4	20.6	23.2	20.0	60.9	10.2	28.9	41.6	5.3	14.7
認定こども園	57.8	24.9	24.3	34.9	30.3	71.5	22.4	32.6	52.6	4.9	1.6
小規模保育事業	47.9	20.7	26.9	25.2	24.1	66.9	15.5	28.3	48.3	8.6	7.6
家庭的保育	39.6	16.7	22.9	21.9	21.9	67.7	22.9	28.1	54.2	10.4	10.4
事業所内保育施設	54.9	24.8	30.1	29.4	31.4	69.9	24.8	29.4	50.3	6.5	7.8
その他の認可外の保育施設	55.1	20.6	31.8	22.4	30.8	69.2	21.5	31.8	50.5	11.2	11.2
居宅訪問型保育	53.1	19.6	25.4	26.2	30.0	63.1	22.3	29.2	49.6	7.3	13.1
ファミリー・サポート・センター	53.6	20.1	27.3	26.5	25.5	66.0	21.2	30.0	49.9	5.9	12.1
その他	46.8	17.7	37.1	14.5	12.9	54.8	12.9	27.4	48.4	19.4	22.6
利用したい事業はない	29.1	14.5	12.7	20.0	14.5	36.4	9.1	18.2	38.2	1.8	29.1

(5) 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問 17 宛名のお子さんは、現在、子育て支援センター（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

「利用していない」の割合が 76.7%と最も高く、次いで「子育て支援センター」の割合が 19.3%となっています。

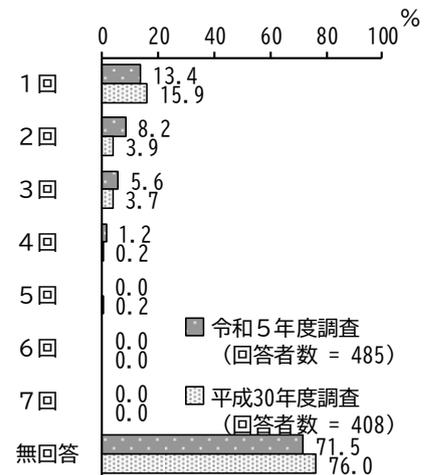
平成 30 年度調査と比較すると、「子育て支援センター」の割合が増加しています。



ア. 子育て支援センター 1 週当たり利用回数

「1回」の割合が 13.4%と最も高くなっています。

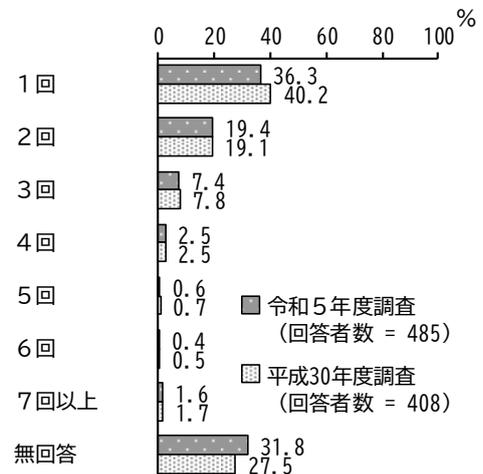
平成 30 年度調査と比較すると、「2回」、「3回」の割合が増加し、「1回」の割合が減少しています。



イ. 1か月当たり利用回数

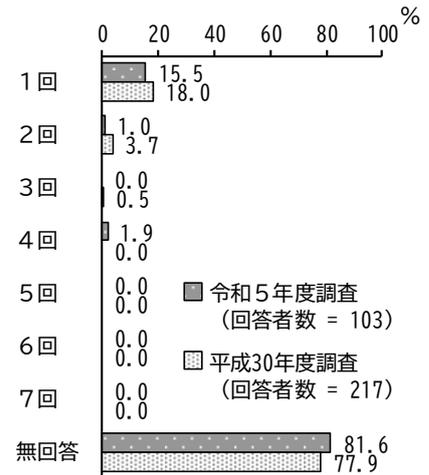
「1回」の割合が 36.3%と最も高く、次いで「2回」の割合が 19.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



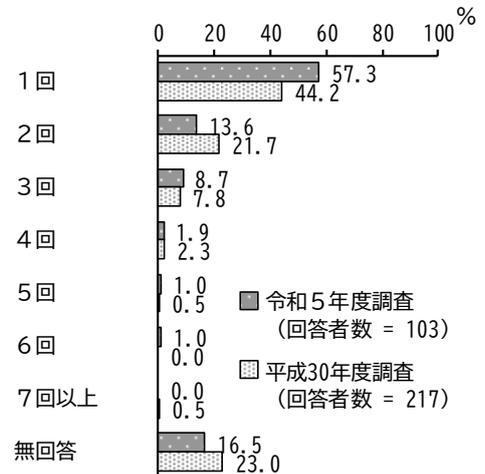
ウ. その他茅ヶ崎市で実施している類似の事業 1週当たり利用回数

「1回」の割合が15.5%と最も高くなっています。
 平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



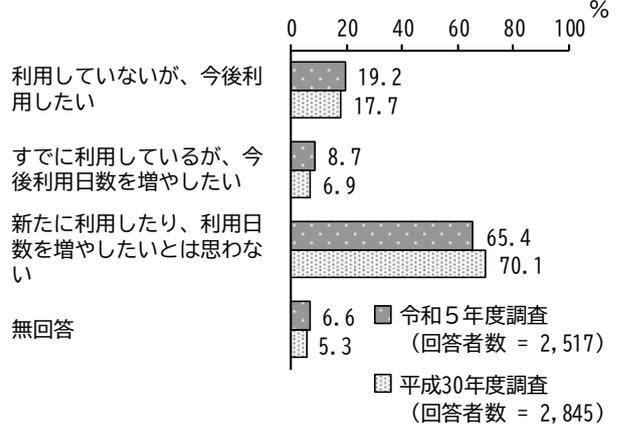
エ. 1か月当たり利用回数

「1回」の割合が57.3%と最も高く、次いで「2回」の割合が13.6%となっています。
 平成30年度調査と比較すると、「1回」の割合が増加しています。一方、「2回」の割合が減少しています。



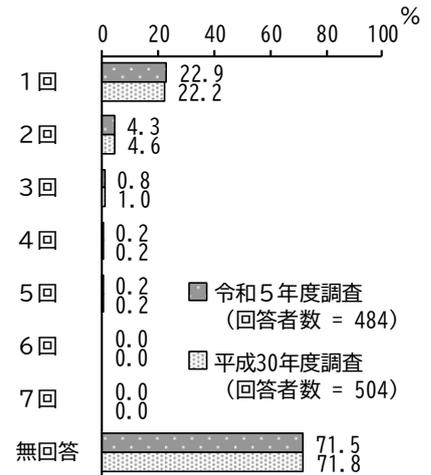
問18 問17のような子育て支援センターなどについて、今は利用していないが、今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。あてはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数(頻度)を()内に数字でご記入ください。

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が65.4%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が19.2%となっています。
 平成30年度調査と比較すると、「利用していないが、今後利用したい」、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の割合が増加しています。一方、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が減少しています。



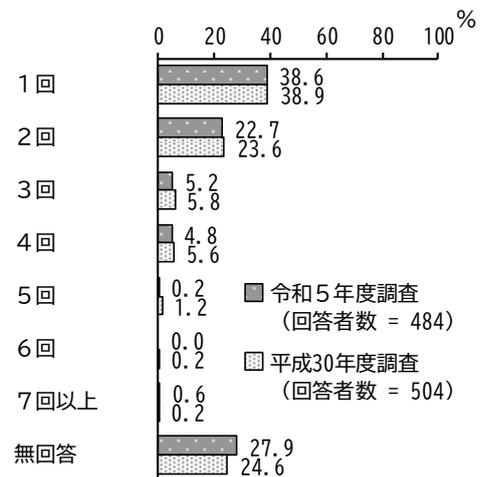
ア. 利用していないが、今後利用したい 1週当たり利用希望回数

「1回」の割合が22.9%と最も高くなっています。
 平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



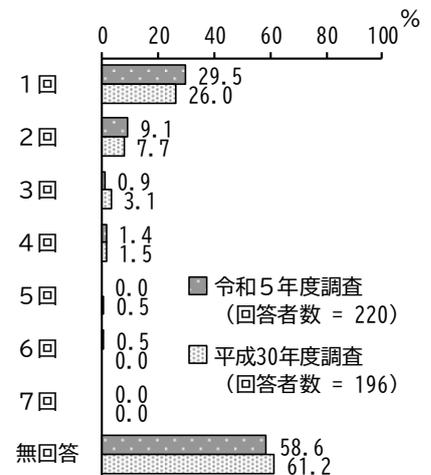
イ. 1ヶ月当たり利用希望回数

「1回」の割合が38.6%と最も高く、次いで「2回」の割合が22.7%となっています。
 平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



ウ. 今後利用日数を増やしたい 1週当たりの増やしたい利用回数

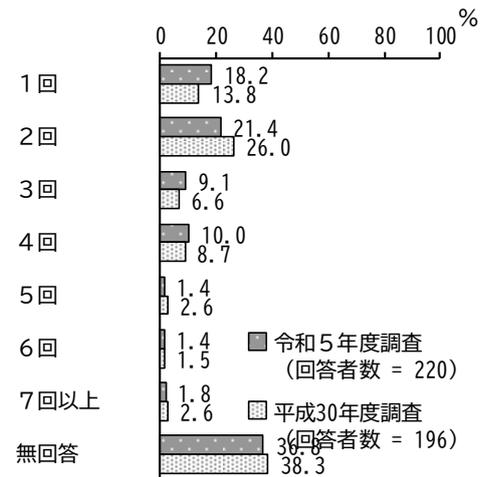
「1回」の割合が29.5%と最も高くなっています。
 平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



エ. 1ヶ月当たりの増やしたい利用回数

「2回」の割合が21.4%と最も高く、次いで「1回」の割合が18.2%、「4回」の割合が10.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1回」、「3回」、「4回」の割合が増加しています。一方、「2回」の割合が減少しています。

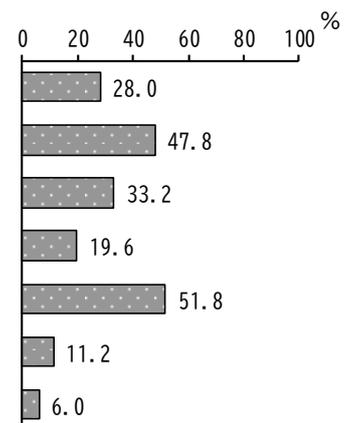


問19 子育て支援センターを更に利用しやすくするために、どのような取組が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「通いやすい場所にあること」の割合が51.8%と最も高く、次いで「土曜日と日曜日・祝日の開所」の割合が47.8%、「イベントの充実」の割合が33.2%となっています。

回答者数 = 2,517

利用時間の延長 (現在フリースペースは15時まで)
土曜日と日曜日・祝日の開所
イベントの充実
相談機能の充実
通いやすい場所にあること
その他
無回答



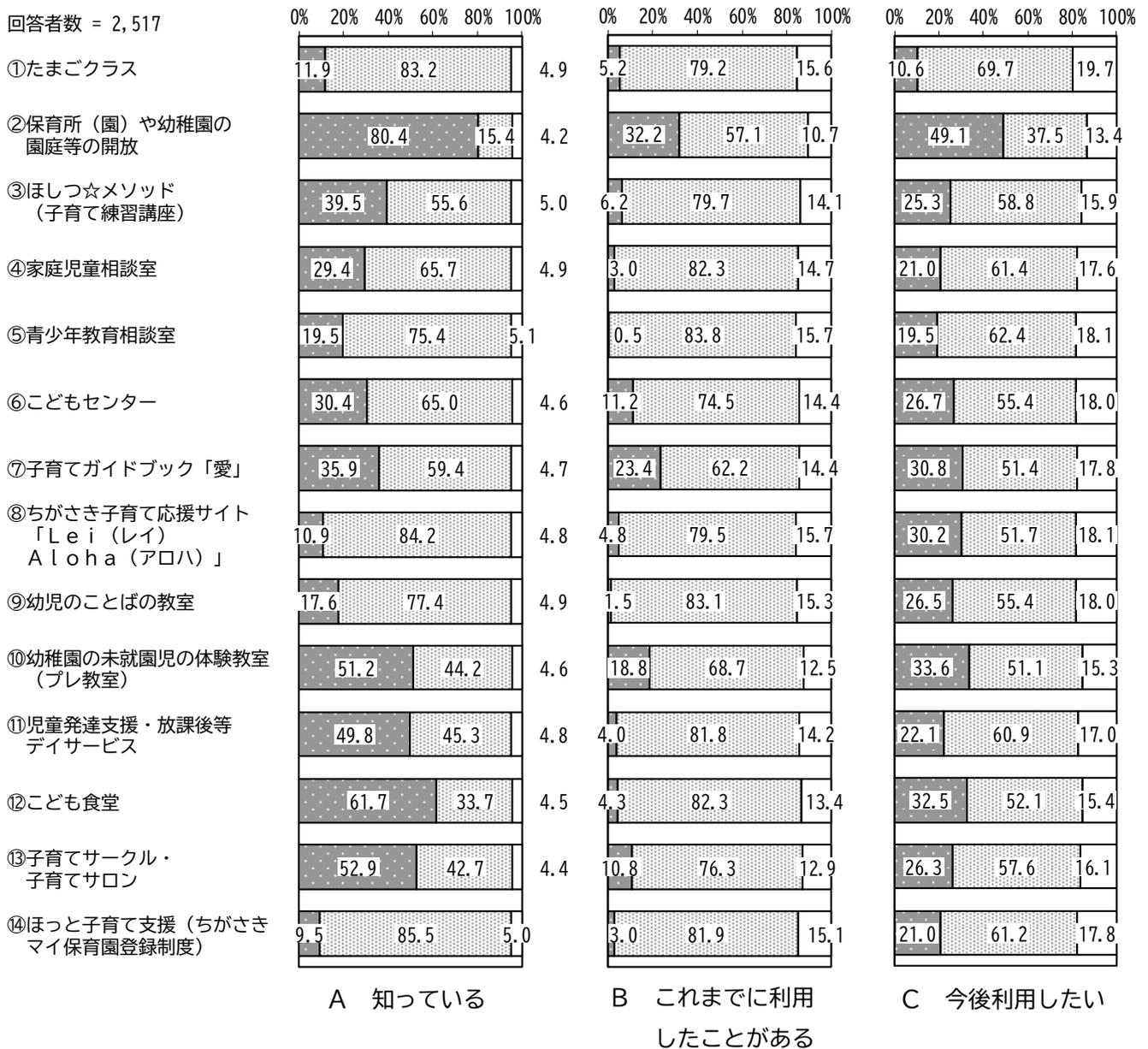
【その他の主な意見】

- ・施設の広さ
- ・新規利用者が利用しやすい雰囲気
- ・幼児になっても楽しい環境
- ・駐車場があること
- ・子供が遊べる遊具がある
- ・雰囲気などの情報提供
- ・ランチができる
- ・子供の年齢によるエリアの区別
- ・認知度、設備の充実
- ・親が時間と心の余裕を持てるような取組み

問 20 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑭の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに選択をつけてください。

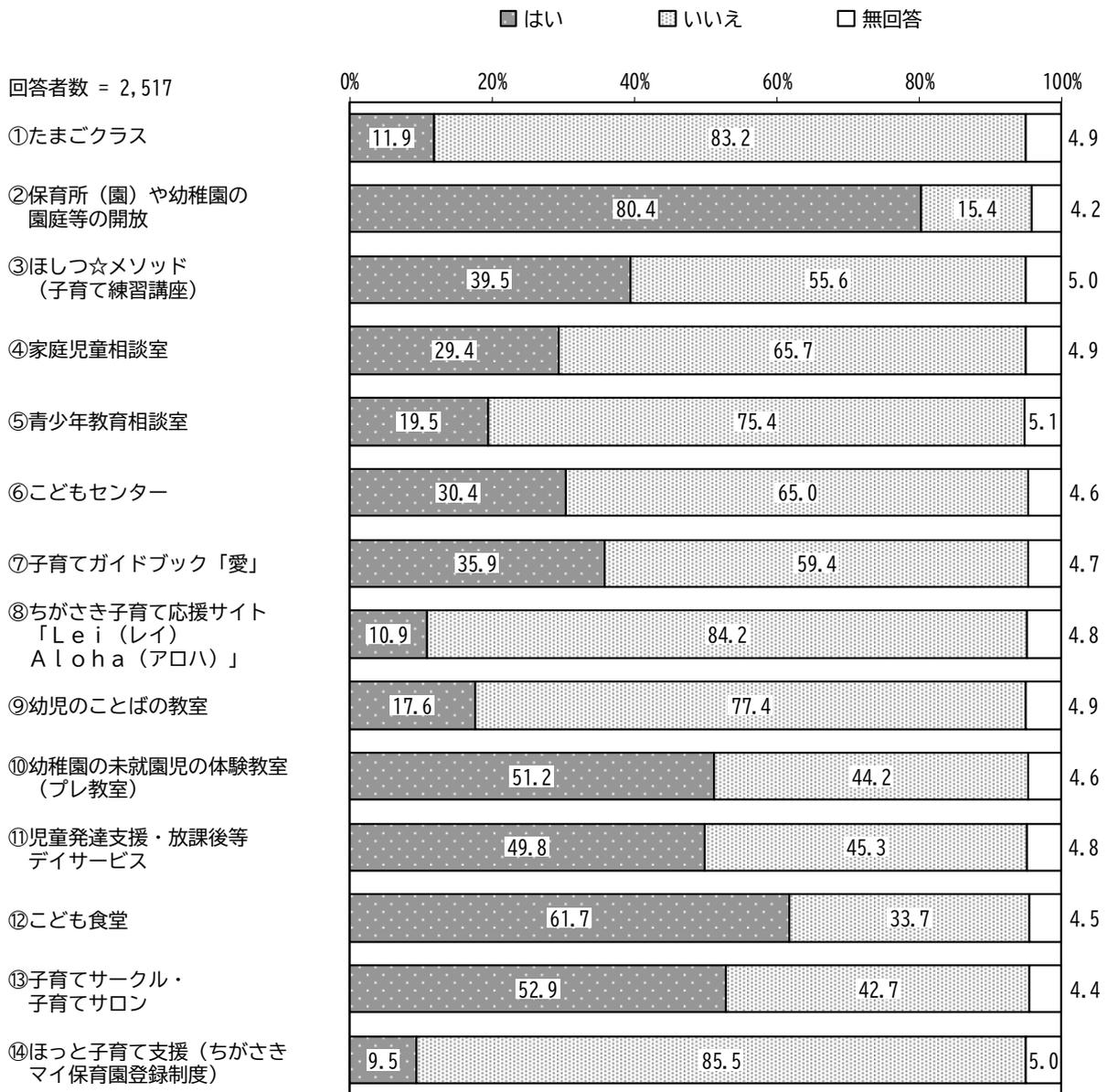
■ はい ▨ いいえ □ 無回答

回答者数 = 2,517



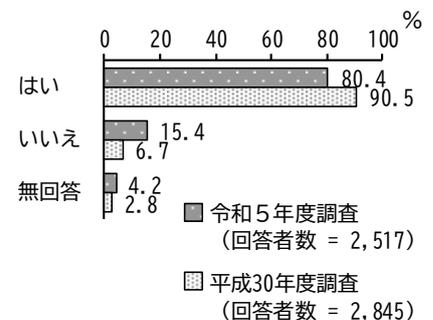
A 知っている

『②保育所（園）や幼稚園の園庭等の開放』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『⑭ほっと子育て支援（ちがさきマイ保育園登録制度）』で「いいえ」の割合が高くなっています。



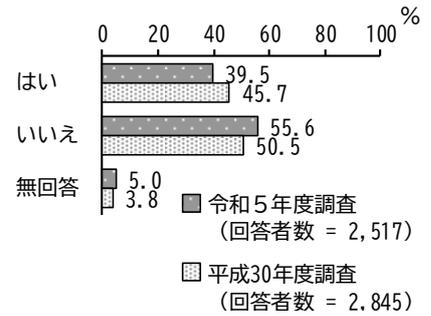
②保育所（園）や幼稚園の園庭等の開放

平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



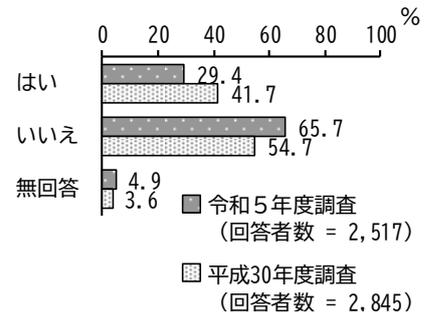
③ほしつ☆メソッド（子育て練習講座）

平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



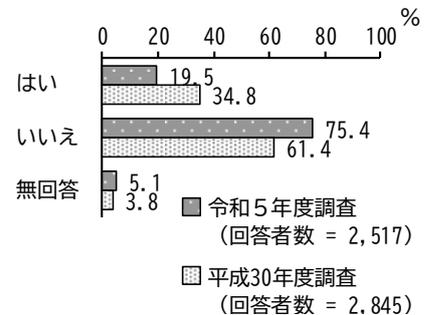
④家庭児童相談室

平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



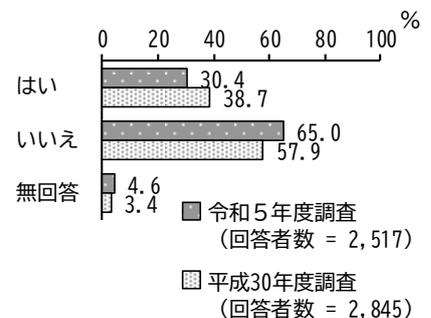
⑤青少年教育相談室

平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



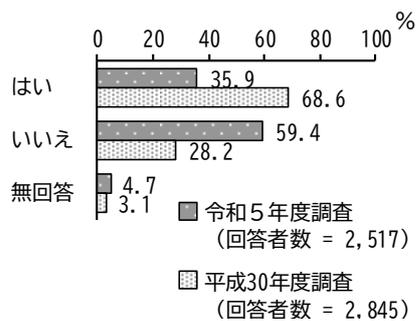
⑥こどもセンター

平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



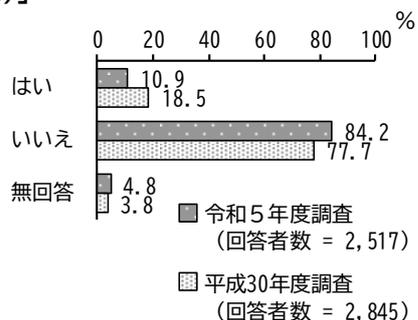
⑦子育てガイドブック「愛」

平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



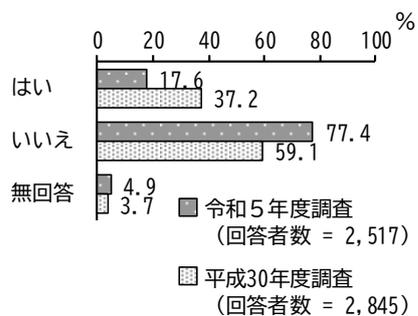
⑧ちがさき子育て応援サイト「Lei (レイ) Aloha (アロハ)」

平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



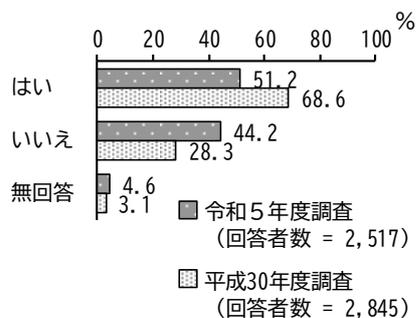
⑨幼児のこたばの教室

平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



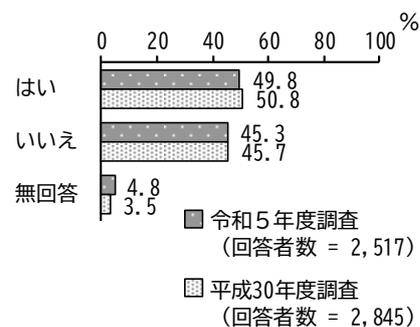
⑩幼稚園の未就園児の体験教室 (プレ教室)

平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



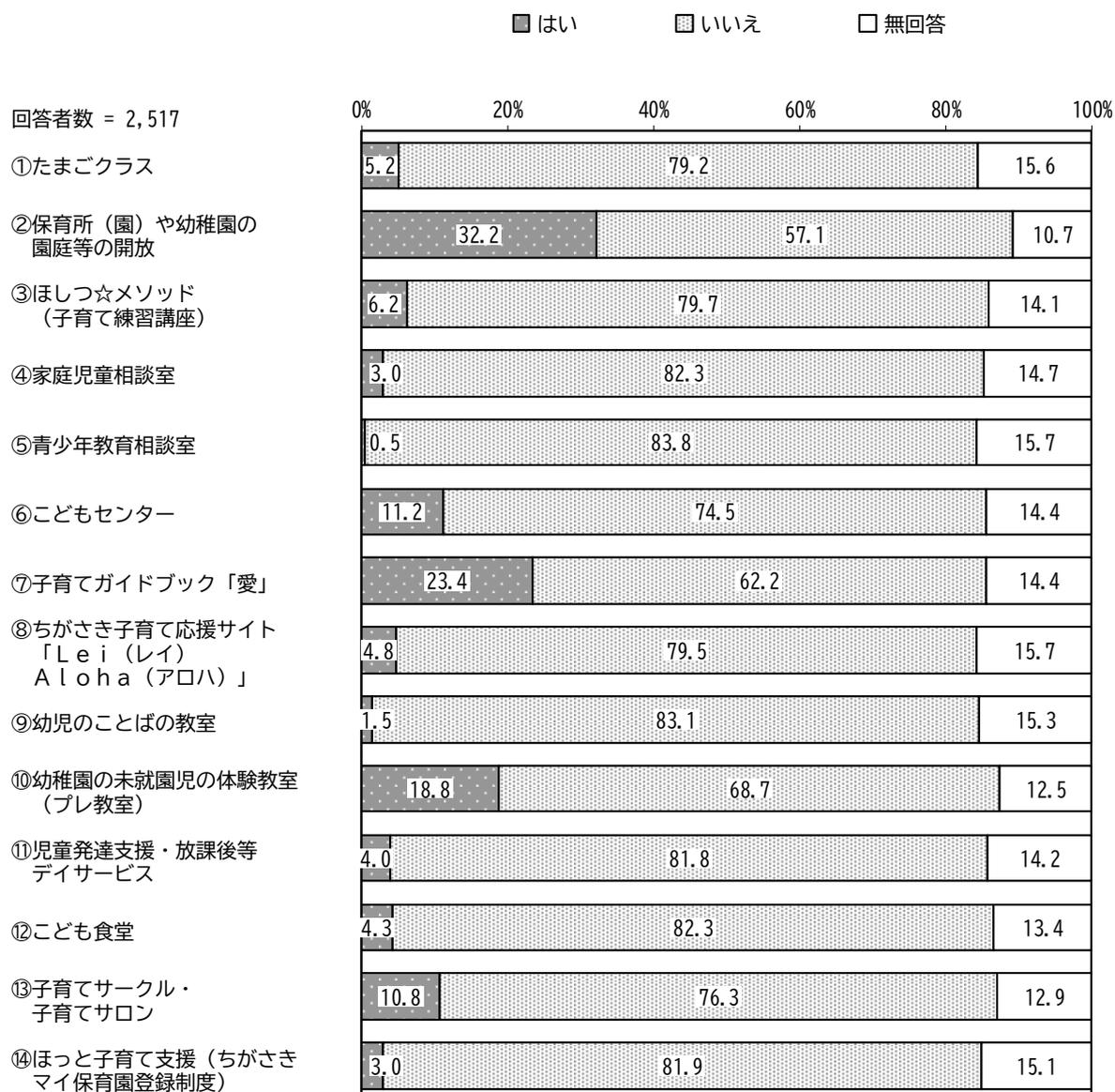
⑪児童発達支援・放課後等デイサービス

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



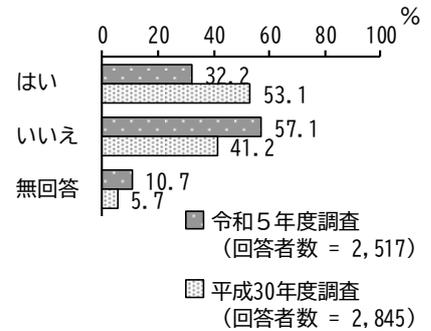
B これまでに利用したことがある

『②保育所（園）や幼稚園の園庭等の開放』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『⑤青少年教育相談室』、『⑨幼児のことばの教室』で「いいえ」の割合が高くなっています。



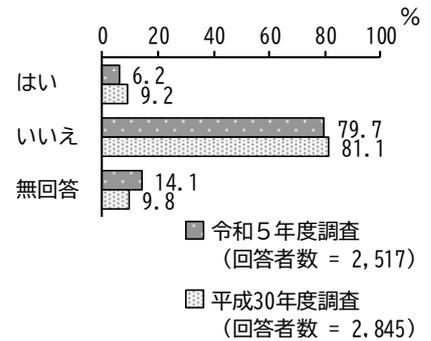
②保育所（園）や幼稚園の園庭等の開放

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



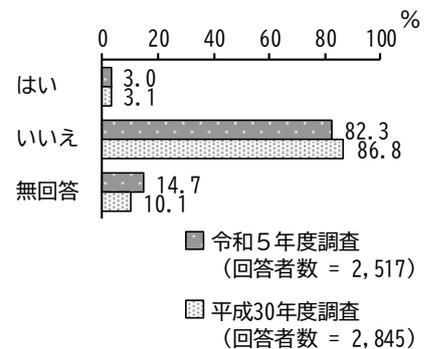
③ほしつ☆メソッド（子育て練習講座）

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



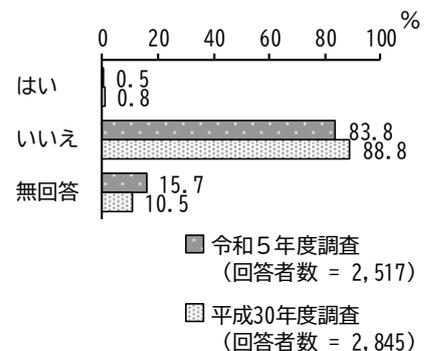
④家庭児童相談室

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



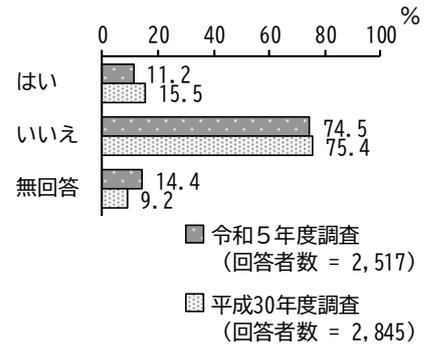
⑤青少年教育相談室

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



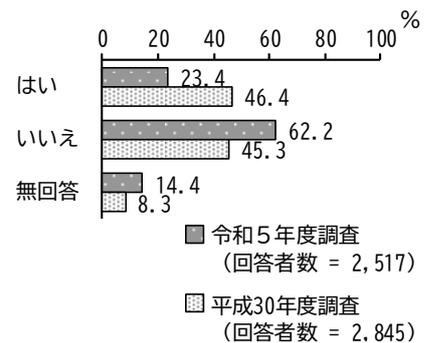
⑥こどもセンター

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



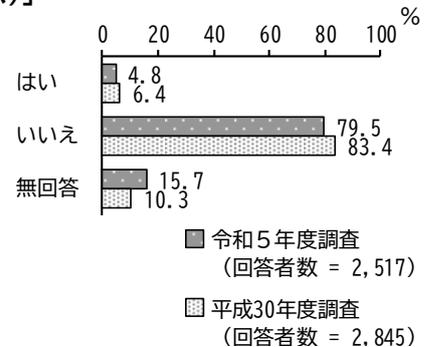
⑦子育てガイドブック「愛」

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



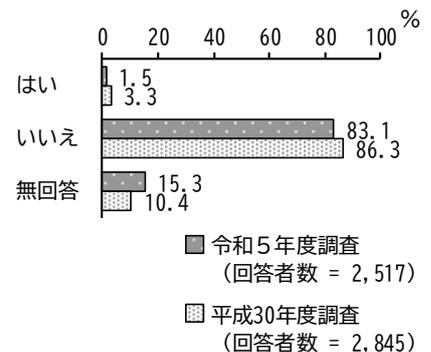
⑧ちがさき子育て応援サイト「Lei (レイ) Aloha (アロハ)」

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



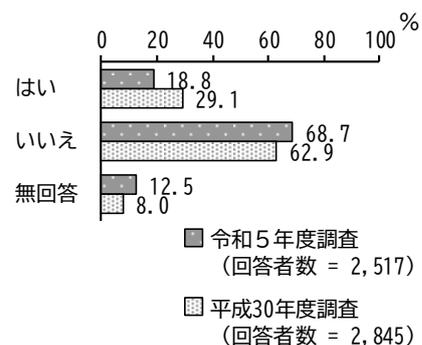
⑨幼児のこたばの教室

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



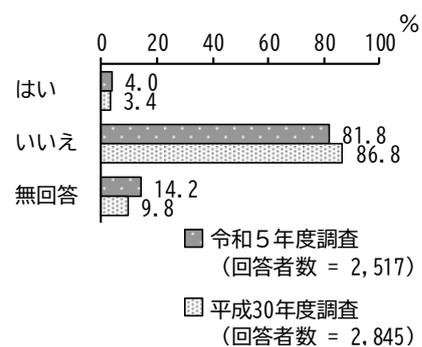
⑩幼稚園の未就園児の体験教室（プレ教室）

平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



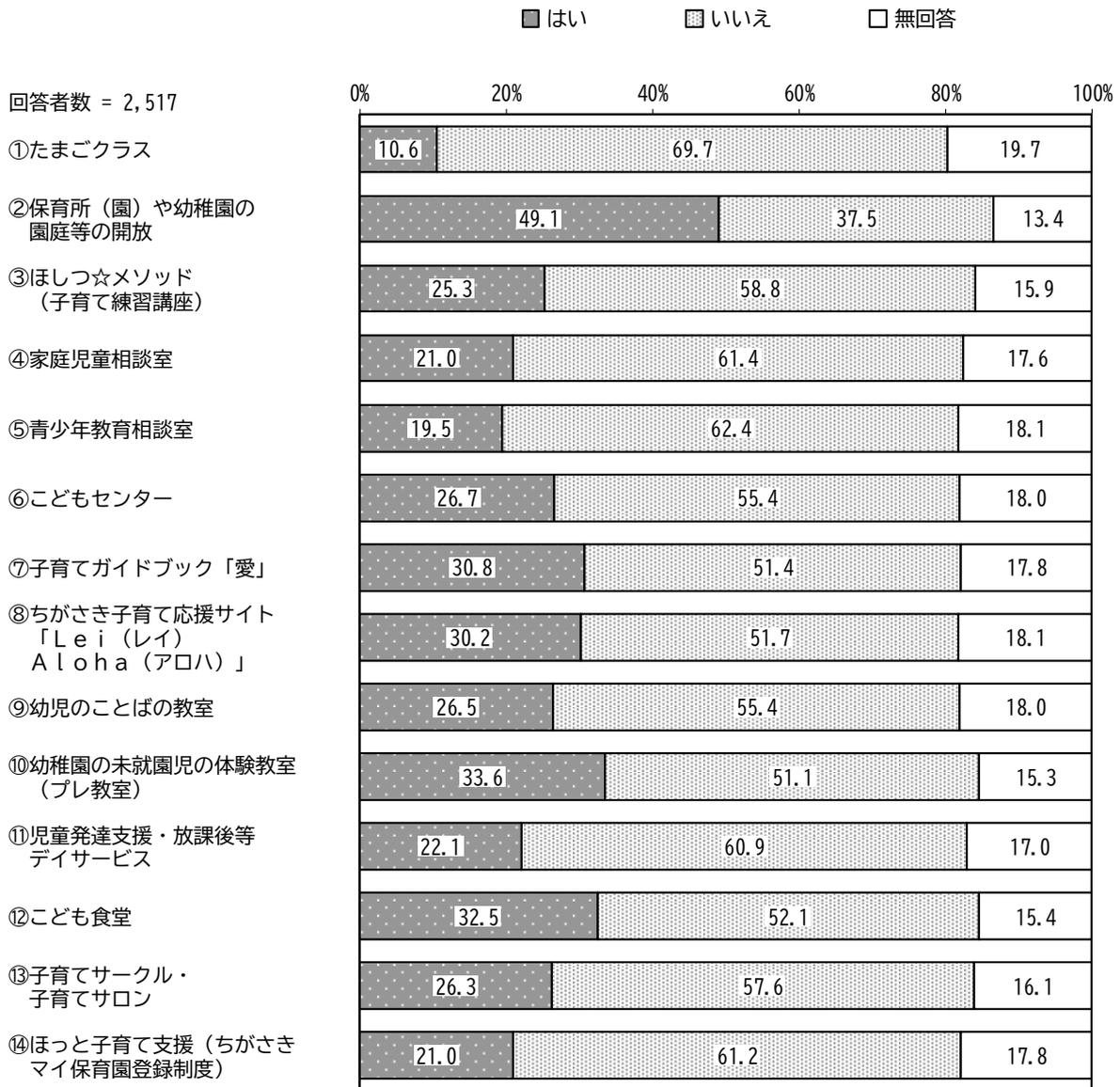
⑪児童発達支援・放課後等デイサービス

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



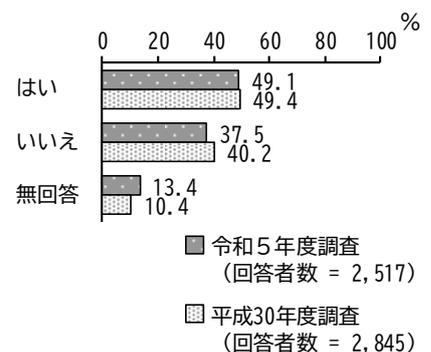
C 今後利用したい

『②保育所（園）や幼稚園の園庭等の開放』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『①たまごクラス』で「いいえ」の割合が高くなっています。



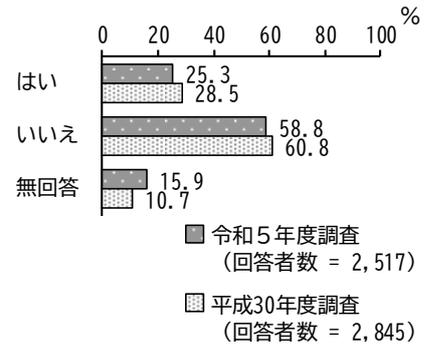
②保育所（園）や幼稚園の園庭等の開放

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



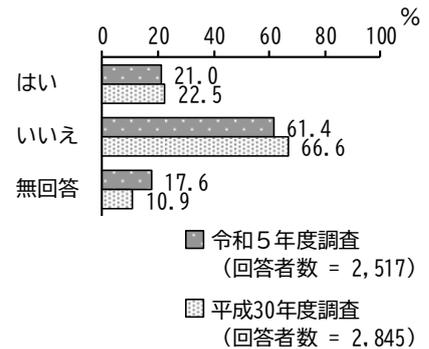
③ほしつ☆メソッド（子育て練習講座）

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



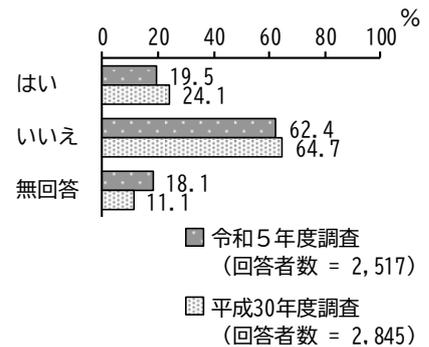
④家庭児童相談室

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が減少しています。



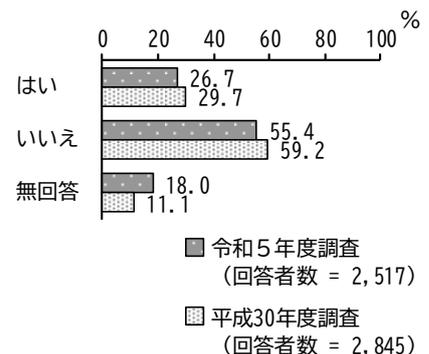
⑤青少年教育相談室

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



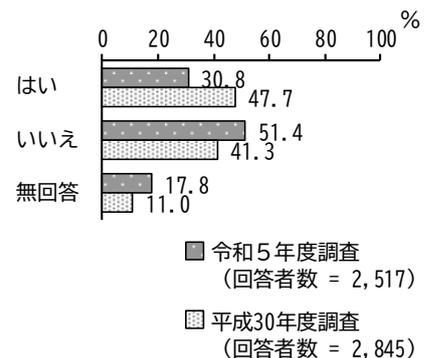
⑥こどもセンター

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



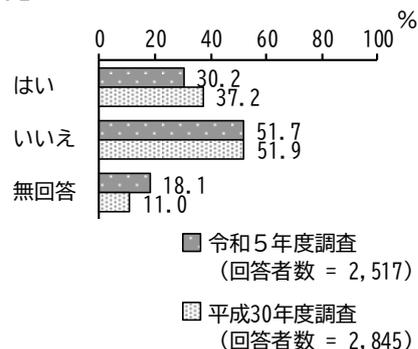
⑦子育てガイドブック「愛」

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



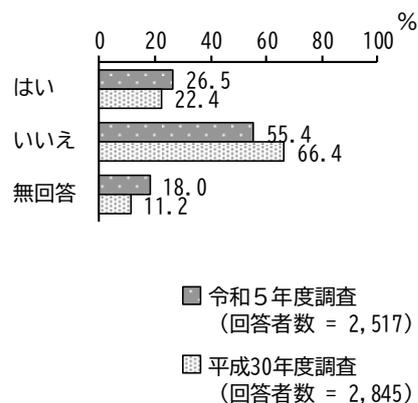
⑧ちがさき子育て応援サイト「Lei (レイ) Aloha (アロハ)」

平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が減少しています。



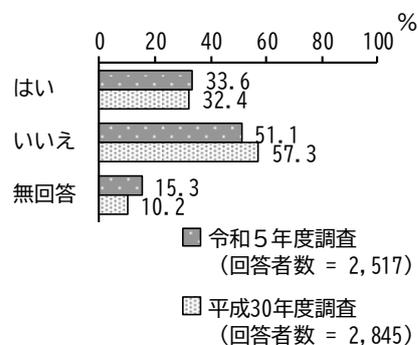
⑨幼児のこたばの教室

平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。



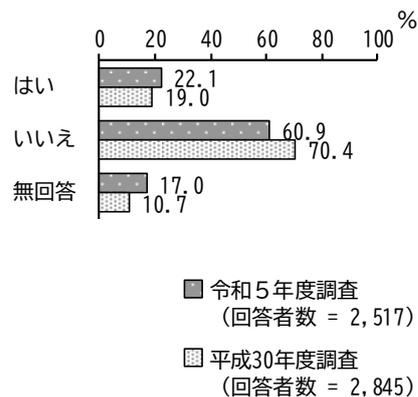
⑩幼稚園の未就園児の体験教室 (プレ教室)

平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が減少しています。



⑪児童発達支援・放課後等デイサービス

平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。



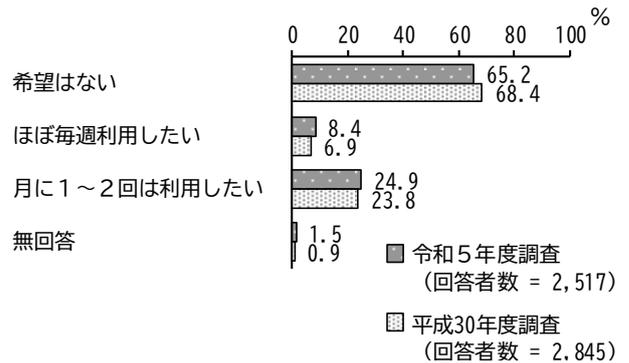
(6) 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 21 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。（それぞれ1つずつに○）希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)9時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所（園）、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

「希望はない」の割合が65.2%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が24.9%となっています。

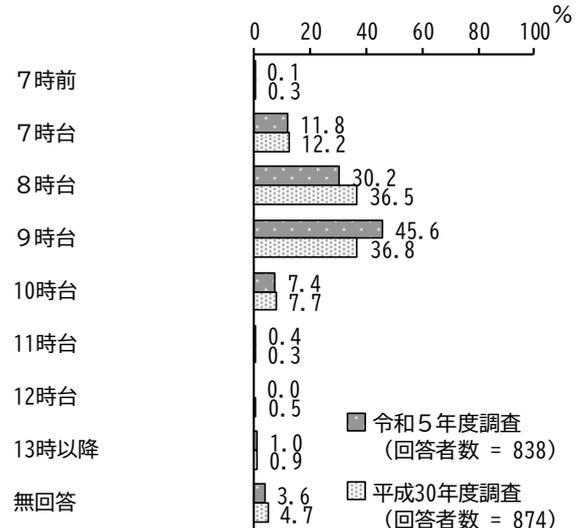
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



ア. 開始時刻

「9時台」の割合が45.6%と最も高く、次いで「8時台」の割合が30.2%、「7時台」の割合が11.8%となっています。

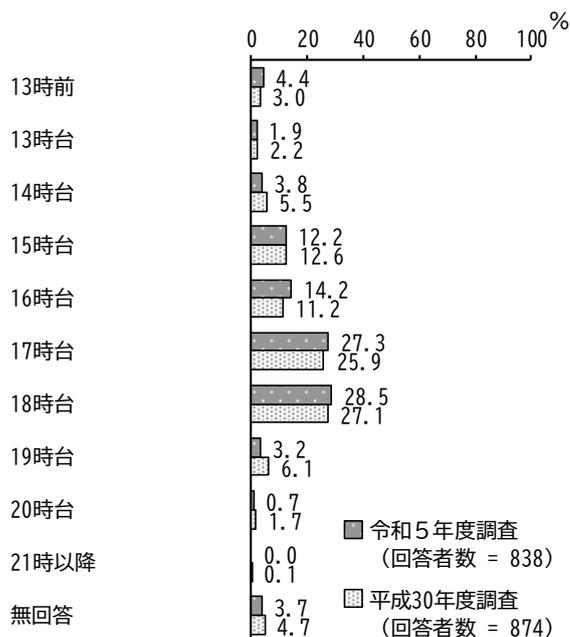
平成30年度調査と比較すると、「9時台」の割合が増加しています。一方、「8時台」の割合が減少しています。



イ. 終了時刻

「18 時台」の割合が 28.5%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 27.3%、「16 時台」の割合が 14.2%となっています。

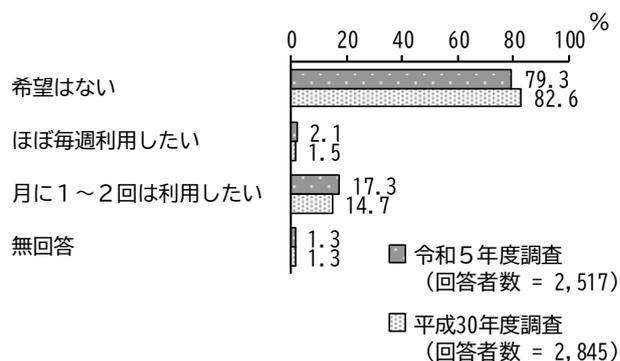
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 日曜・祝日

「希望はない」の割合が 79.3%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が 17.3%となっています。

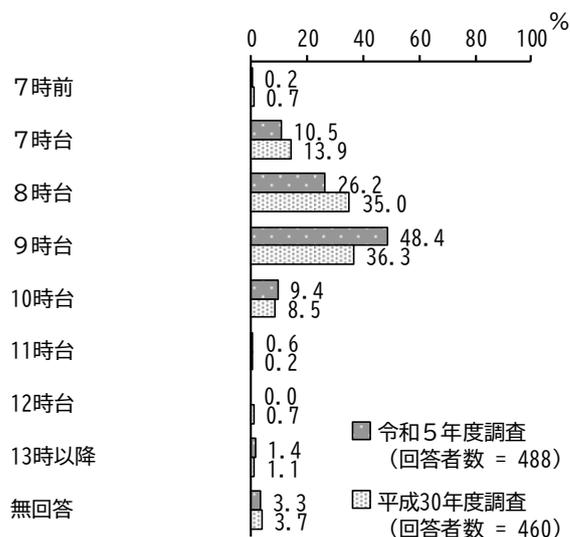
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



ア. 開始時刻

「9 時台」の割合が 48.4%と最も高く、次いで「8 時台」の割合が 26.2%、「7 時台」の割合が 10.5%となっています。

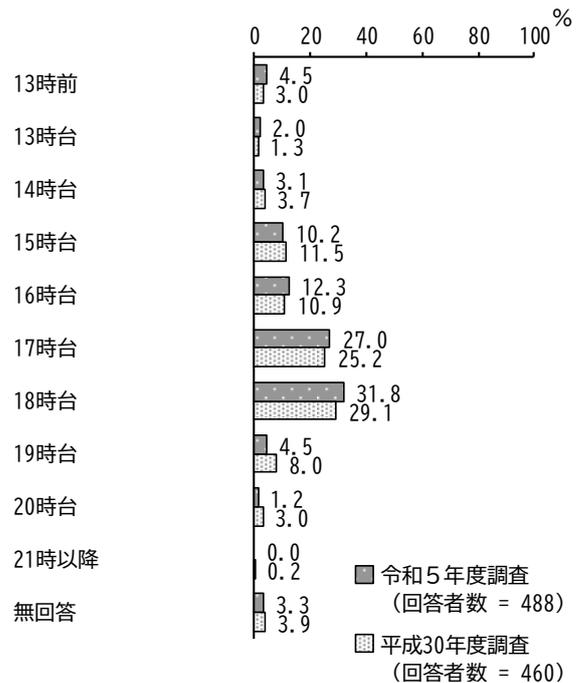
平成 30 年度調査と比較すると、「9 時台」の割合が増加しています。一方、「8 時台」の割合が減少しています。



イ. 終了時刻

「18 時台」の割合が 31.8%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 27.0%、「16 時台」の割合が 12.3%となっています。

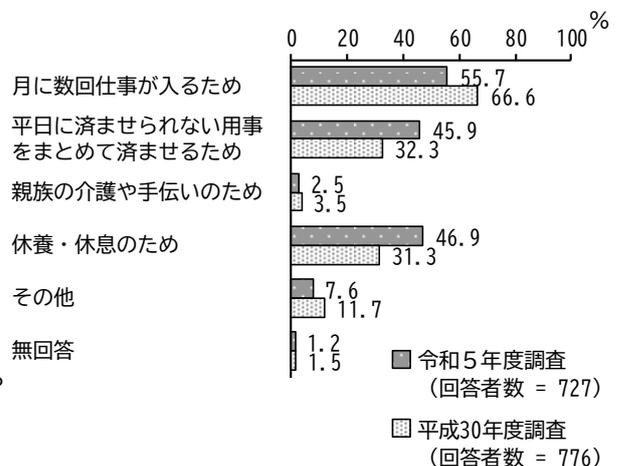
平成 30 年度調査と比較すると、「17 時台」、「18 時台」の割合が増加しています。一方、「19 時台」、「20 時台」の割合が減少しています。



問 21-1 問 21 の (1) もしくは (2) で、「3 月に 1～2 回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、月に 1～2 回は利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「月に数回仕事が入るため」の割合が 55.7%と最も高く、次いで「休養・休息のため」の割合が 46.9%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が 45.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」、「休養・休息のため」の割合が増加しています。一方、「月に数回仕事が入るため」の割合が減少しています。



【その他の主な意見】

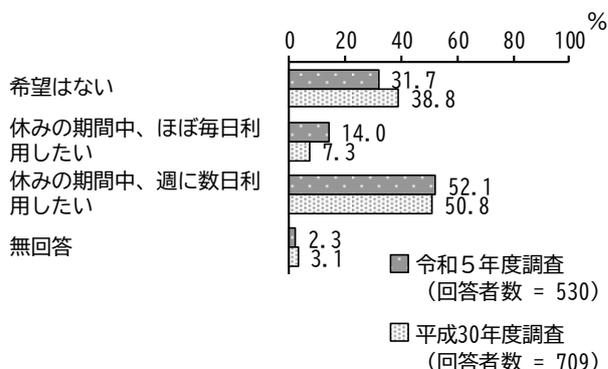
- ・土・日・祝も仕事のため
- ・学会や研修会の参加のため
- ・勉強をしたい
- ・上の子との時間を作るため
- ・自分の通院など
- ・夫婦で話す時間がとれないため
- ・仕事選びがしやすくなるため
- ・世の中が休みになる時こそ利用したい（正月など）
- ・兄弟姉妹の予定や行事など
- ・父母の土曜出勤が重なることがある

問 22 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。(1つだけに○) 希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)9時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が52.1%と最も高く、次いで「希望はない」の割合が31.7%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が14.0%となっています。

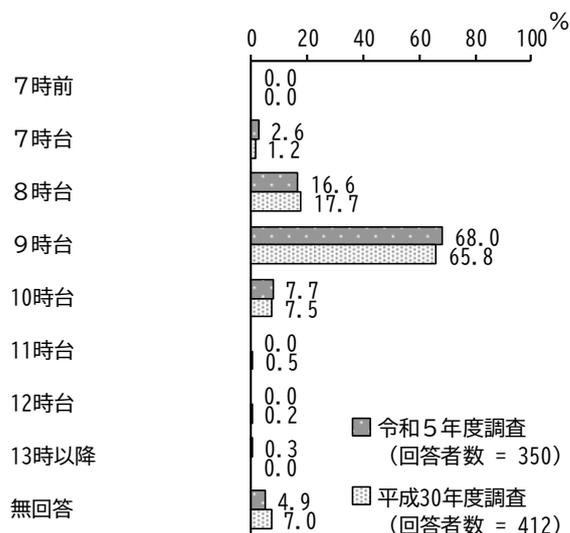
平成30年度調査と比較すると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が増加しています。一方、「希望はない」の割合が減少しています。



ア. 開始時刻

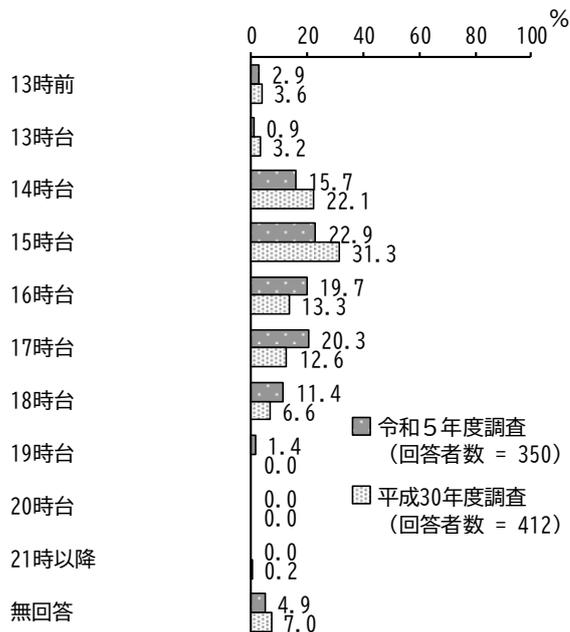
「9時台」の割合が68.0%と最も高く、次いで「8時台」の割合が16.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



イ. 終了時刻

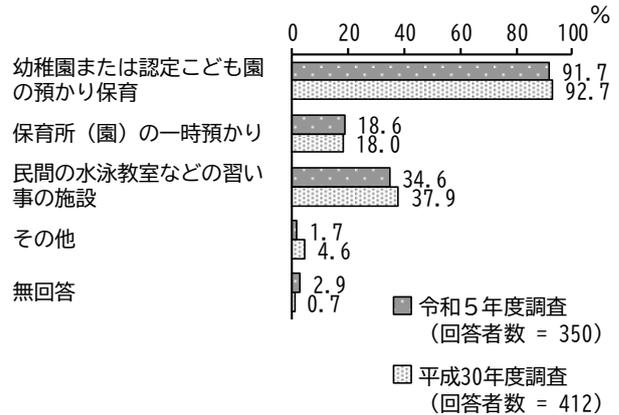
「15時台」の割合が22.9%と最も高く、次いで「17時台」の割合が20.3%、「16時台」の割合が19.7%となっています。



問 22-1 問 22 で、「2」、「3」に○をつけた方にうかがいます。休みの期間中、どこで過ごさせたいですか。(あてはまるものすべてに○)

「幼稚園または認定こども園の預かり保育」の割合が 91.7%と最も高く、次いで「民間の水泳教室などの習い事の施設」の割合が 34.6%、「保育所(園)の一時預かり」の割合が 18.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



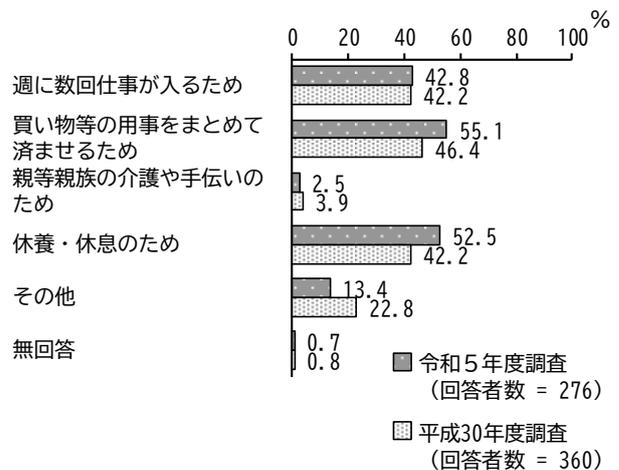
【その他の意見】

- ・公園
- ・ファミサポ
- ・子ども同士で遊べる場所
- ・自宅や公園、旅行など
- ・おもいっきり遊べるような所(自然)

問 22-2 問 22 で、「3 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、週に数日利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「買い物等の用事をまとめて済ませるため」の割合が 55.1%と最も高く、次いで「休養・休息のため」の割合が 52.5%、「週に数回仕事が入るため」の割合が 42.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」、「休養・休息のため」の割合が増加しています。



【その他の主な意見】

- ・子供の体力発散のため
- ・一人の時間が欲しいため
- ・兄弟姉妹の通院のため
- ・家で退屈してしまうため
- ・習い事等で楽しく過ごしてほしいため
- ・毎日仕事のため
- ・子どもがお友達や先生と遊ぶことを喜ぶ
- ・弟妹が小さいため
- ・週数回でも預け先があれば働ける
- ・休み明けの行き渋り防止のため

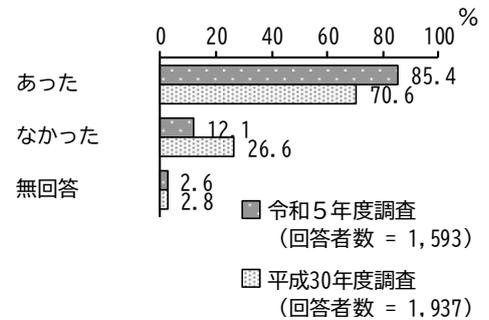
(7) 宛名のお子さんの病気の際の対応について
(平日の教育・保育事業を利用する方のみ)

平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた保護者の方（問 14 で1に○をつけた方）にうかがいます。

問 23 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。（1つだけに○）

「あった」の割合が85.4%、「なかった」の割合が12.1%となっています。

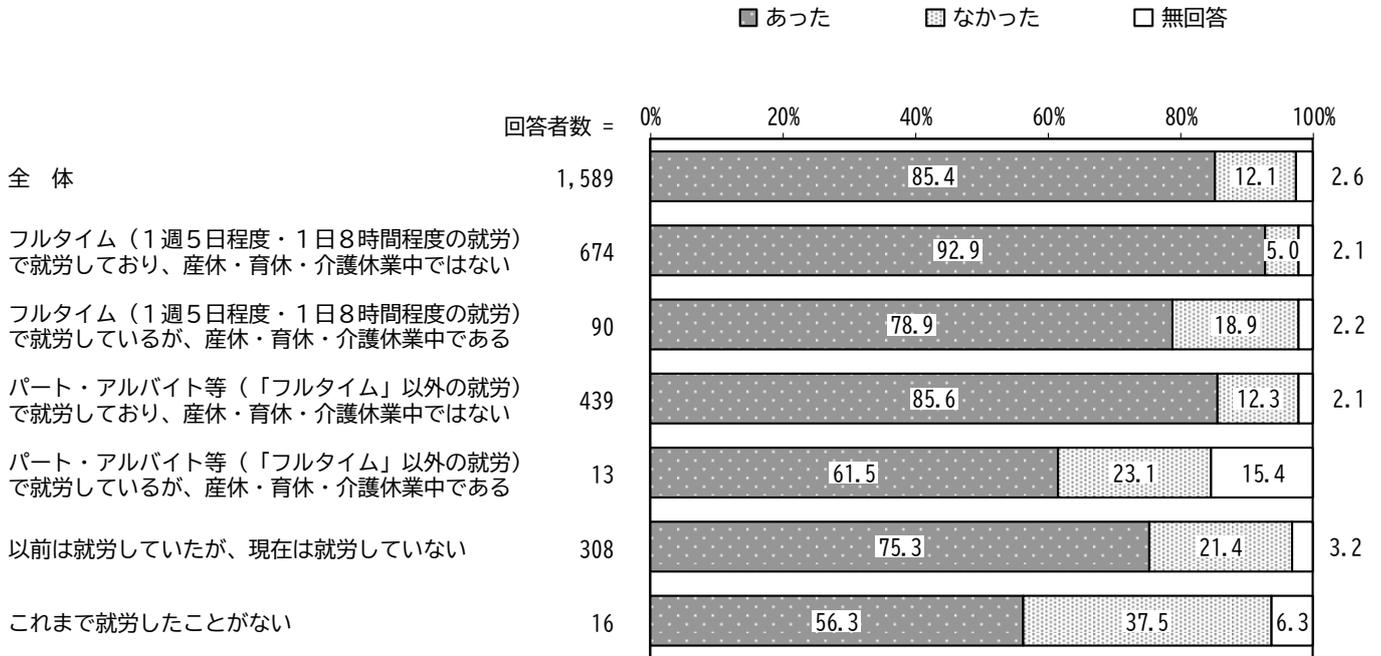
平成30年度調査と比較すると、「あった」の割合が増加しています。一方、「なかった」の割合が減少しています。



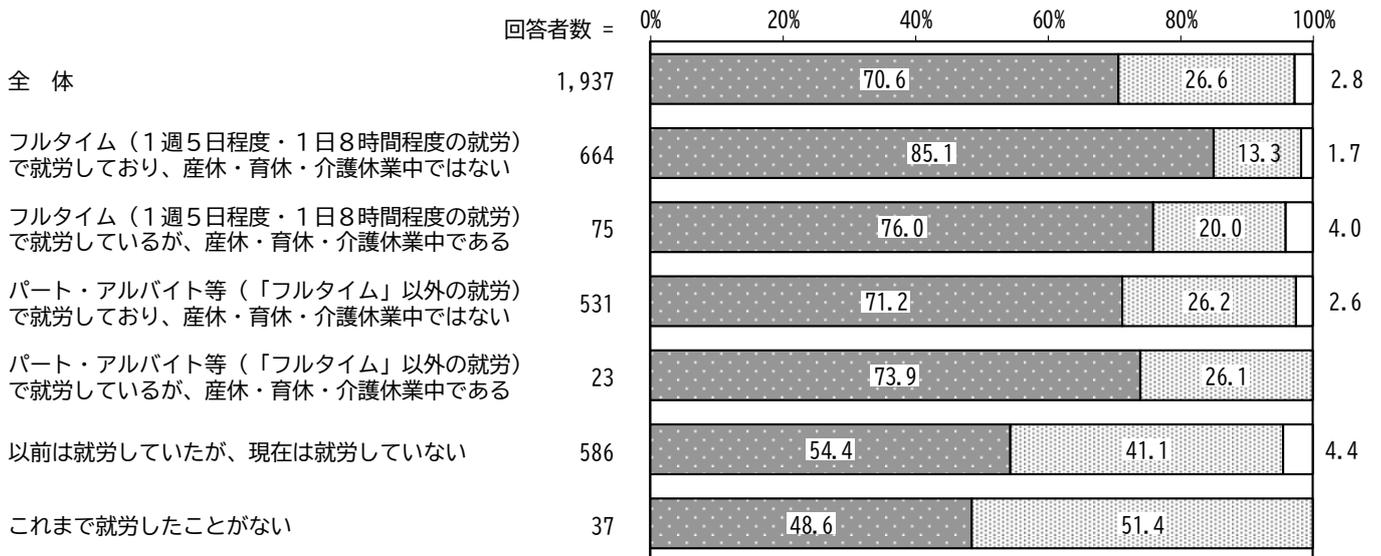
【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、これまで就労したことがないで「なかった」の割合が高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、以前は就労していたが、現在は就労していないで「なかった」の割合が増加しています。



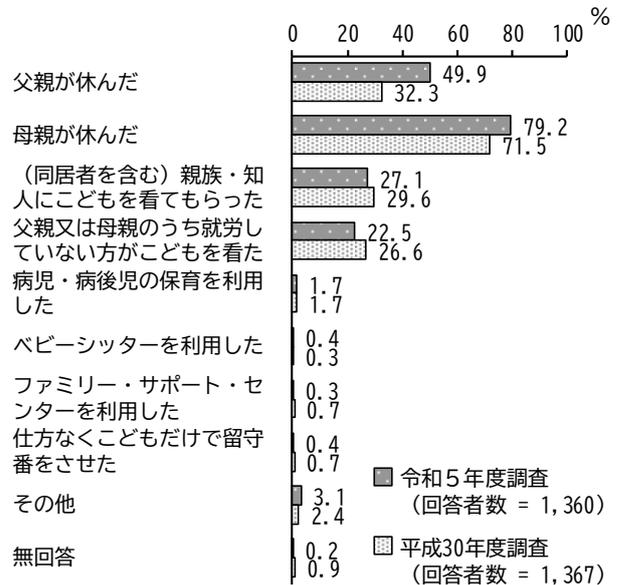
【平成30年度調査】



問 23-1 宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)

「母親が休んだ」の割合が79.2%と最も高く、次いで「父親が休んだ」の割合が49.9%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった」の割合が27.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「父親が休んだ」、「母親が休んだ」の割合が増加しています。



【その他の意見】

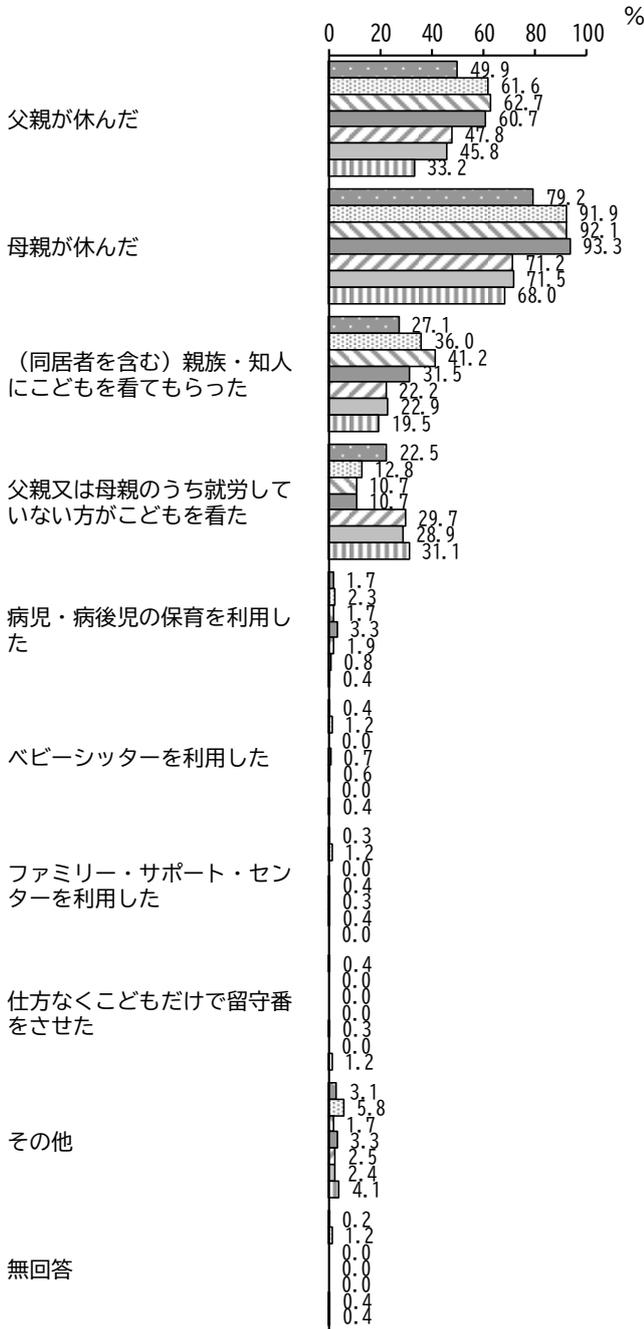
- ・どちらかが在宅勤務にした
- ・一緒に出勤した
- ・祖父母に預けた
- ・近所の知人にあずけた
- ・入院した
- ・病後児保育利用
- ・仕事の時間をずらして調整した
- ・父母交代で在宅勤務しながら子どもを看た

【子どもの年齢別】

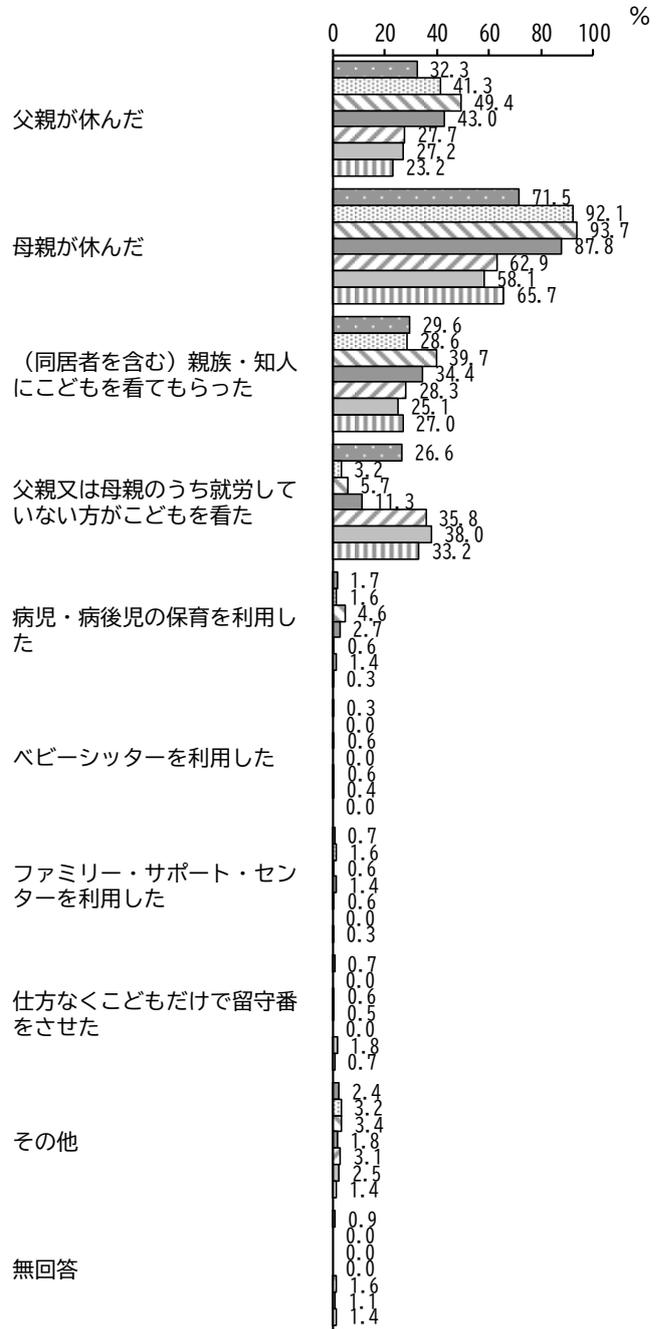
子どもの年齢別にみると、0歳、1歳、2歳で「母親が休んだ」の割合が高くなっています。
平成30年度調査と比較すると、0歳で「父親が休んだ」の割合が高くなっています。

【令和5年度調査】

【平成30年度調査】



■ 全 体 (回答者数 = 1,360)
 ■ 0歳 (回答者数 = 86)
 ■ 1歳 (回答者数 = 177)
 ■ 2歳 (回答者数 = 270)
 ■ 3歳 (回答者数 = 316)
 ■ 4歳 (回答者数 = 249)
 ■ 5歳 (回答者数 = 241)



■ 全 体 (回答者数 = 1,367)
 ■ 0歳 (回答者数 = 63)
 ■ 1歳 (回答者数 = 174)
 ■ 2歳 (回答者数 = 221)
 ■ 3歳 (回答者数 = 321)
 ■ 4歳 (回答者数 = 279)
 ■ 5歳 (回答者数 = 289)

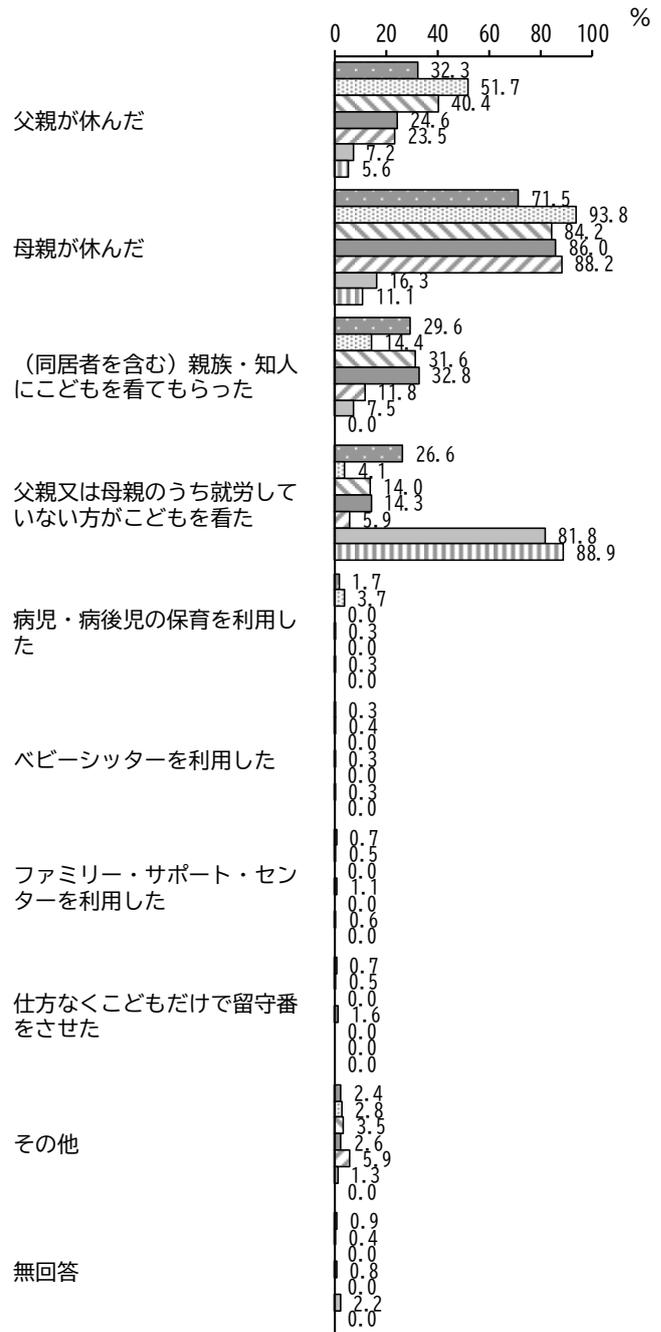
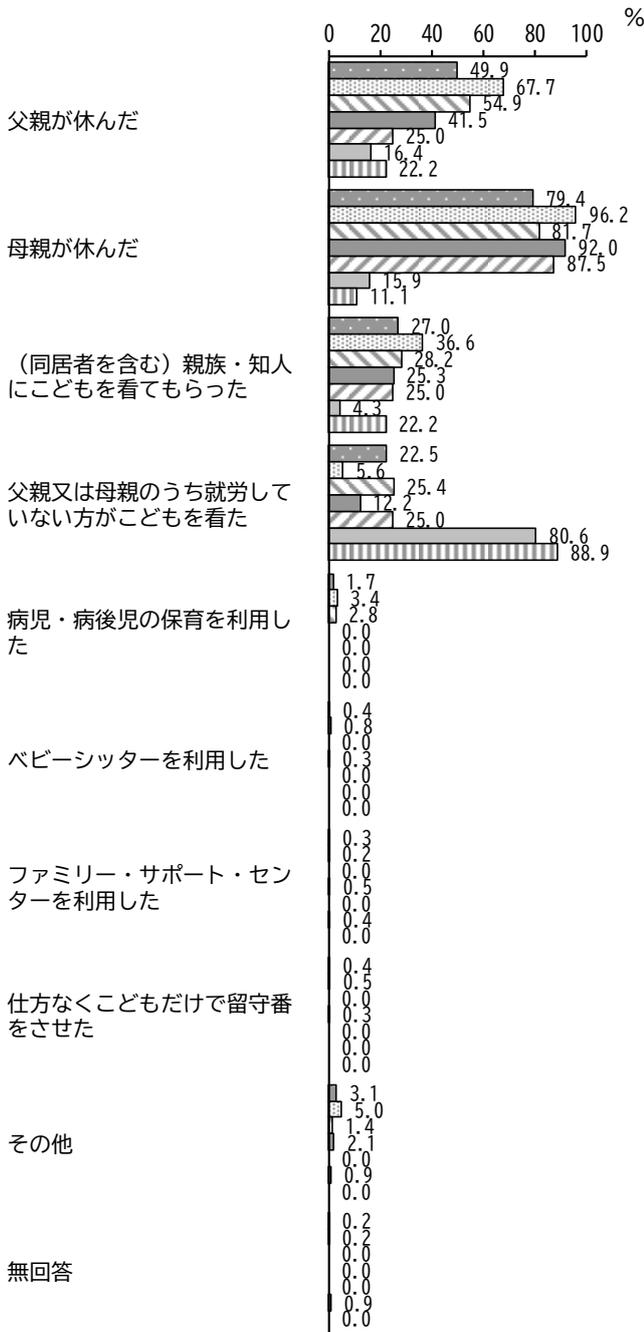
【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、以前は就労していたが、現在は就労していないで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た」の割合が高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで「父親が休んだ」の割合が増加しています。

【令和5年度調査】

【平成30年度調査】



■ 全 体 (回答者数 = 1,357)

- ▣ フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない (回答者数 = 626)
- ▣ フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) で就労しているが、産休・育休・介護休業中である (回答者数 = 71)
- パート・アルバイト等 (「フルタイム」以外の就労) で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない (回答者数 = 376)
- ▣ パート・アルバイト等 (「フルタイム」以外の就労) で就労しているが、産休・育休・介護休業中である (回答者数 = 8)
- 以前は就労していたが、現在は就労していない (回答者数 = 232)
- これまで就労したことがない (回答者数 = 9)

■ 全 体 (回答者数 = 1,367)

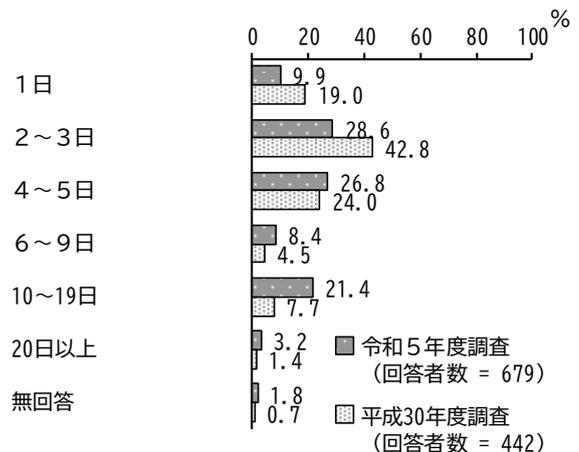
- ▣ フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない (回答者数 = 565)
- ▣ フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) で就労しているが、産休・育休・介護休業中である (回答者数 = 57)
- パート・アルバイト等 (「フルタイム」以外の就労) で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない (回答者数 = 378)
- ▣ パート・アルバイト等 (「フルタイム」以外の就労) で就労しているが、産休・育休・介護休業中である (回答者数 = 17)
- 以前は就労していたが、現在は就労していない (回答者数 = 319)
- これまで就労したことがない (回答者数 = 18)

年間日数

1. 父親が休んだ

「2～3日」の割合が28.6%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が26.8%、「10～19日」の割合が21.4%となっています。

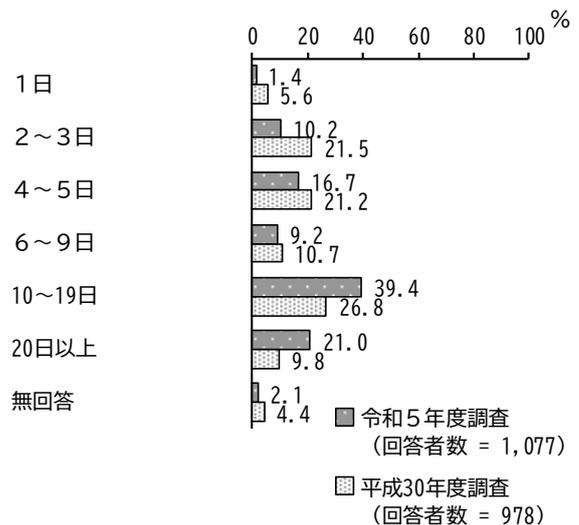
平成30年度調査と比較すると、「10～19日」の割合が増加しています。一方、「1日」、「2～3日」の割合が減少しています。



2. 母親が休んだ

「10～19日」の割合が39.4%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が21.0%、「4～5日」の割合が16.7%となっています。

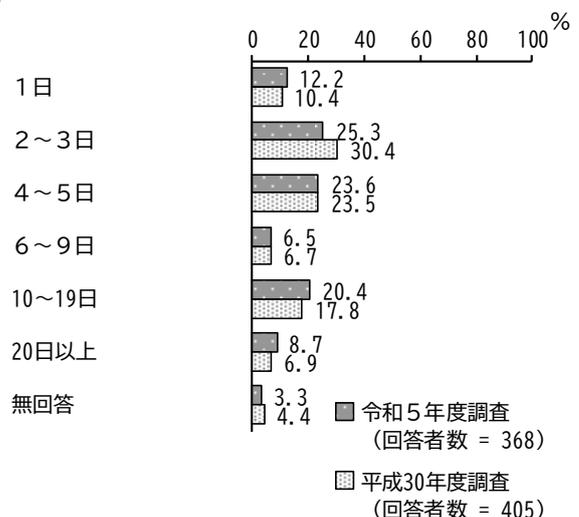
平成30年度調査と比較すると、「10～19日」、「20日以上」の割合が増加しています。一方、「2～3日」の割合が減少しています。



3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった

「2～3日」の割合が25.3%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が23.6%、「10～19日」の割合が20.4%となっています。

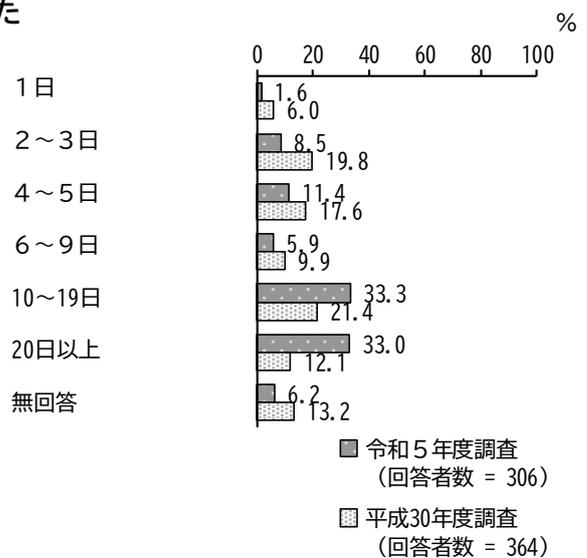
平成30年度調査と比較すると、「2～3日」の割合が減少しています。



4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもを見た

「10～19日」の割合が33.3%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が33.0%、「4～5日」の割合が11.4%となっています。

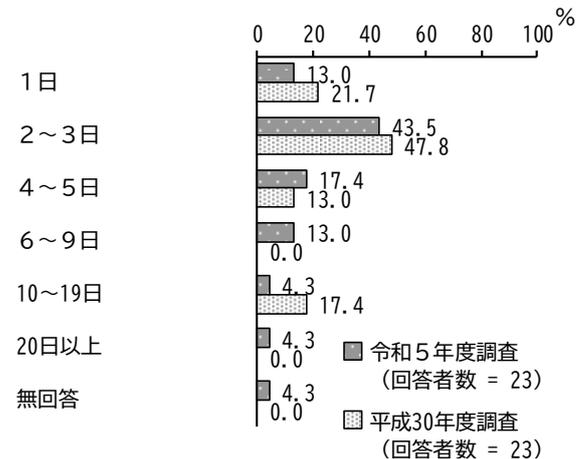
平成30年度調査と比較すると、「10～19日」、「20日以上」の割合が増加しています。一方、「2～3日」、「4～5日」の割合が減少しています。



5. 病児・病後児の保育を利用した

「2～3日」の割合が43.5%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が17.4%、「1日」、「6～9日」の割合が13.0%となっています。

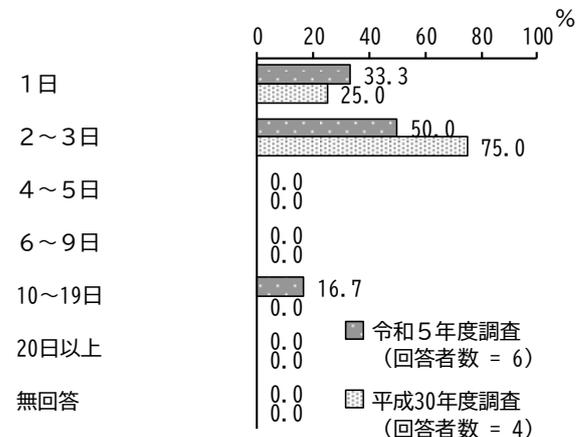
平成30年度調査と比較すると、「6～9日」の割合が増加しています。一方、「1日」、「10～19日」の割合が減少しています。



6. ベビーシッターを利用した

「2～3日」が3件となっています。「1日」が2件、「10～19日」が1件となっています。

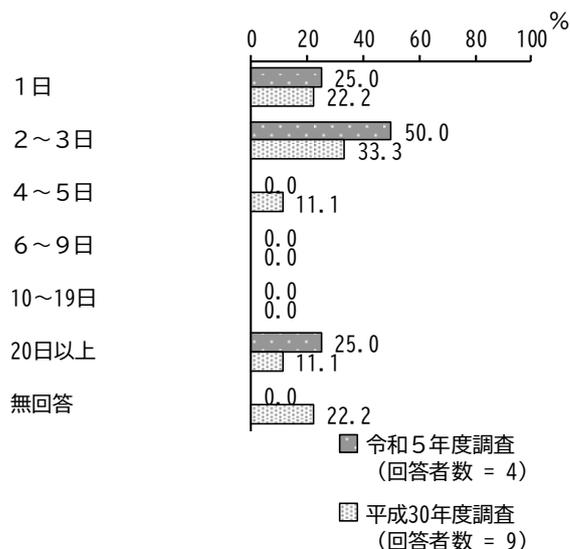
平成30年度調査と比較すると、「1日」、「10～19日」の割合が増加しています。一方、「2～3日」の割合が減少しています。



7. ファミリー・サポート・センターを利用した

「2～3日」が2件となっています。「1日」、
「20日以上」が1件となっています。

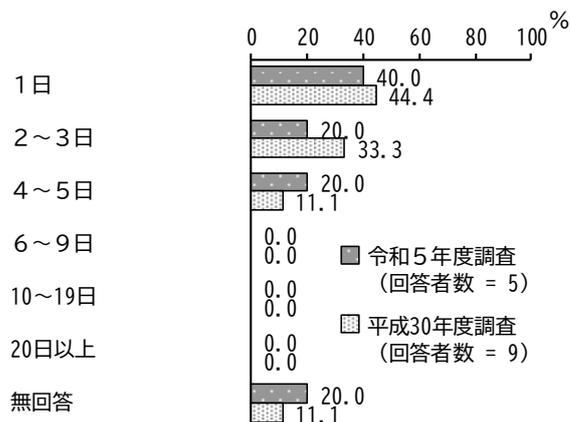
平成30年度調査と比較すると、「2～3日」、
「20日以上」の割合が増加しています。一方、「4
～5日」の割合が減少しています。



8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた

「1日」が2件となっています。「2～3日」、
「4～5日」が1件となっています。

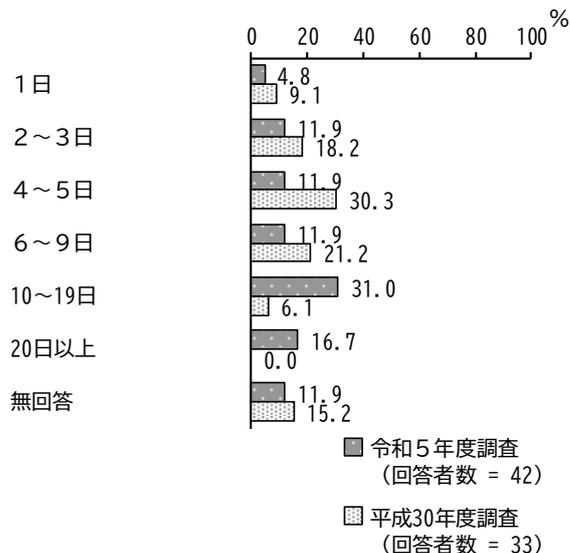
平成30年度調査と比較すると、「4～5日」の
割合が増加しています。一方、「2～3日」の割合
が減少しています。



9. その他

「10～19日」の割合が31.0%と最も高く、次
いで「20日以上」の割合が16.7%、「2～3日」、
「4～5日」の割合が11.9%となっています。

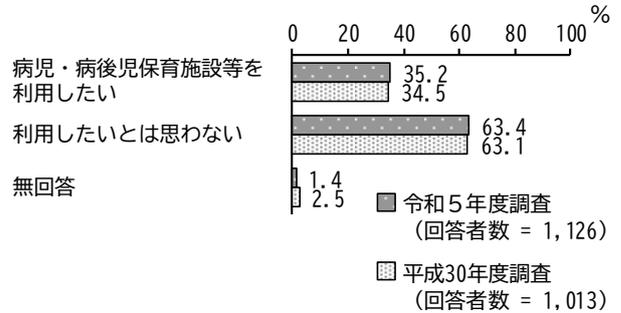
平成30年度調査と比較すると、「10～19日」、
「20日以上」の割合が増加しています。一方、「2
～3日」、「4～5日」、「6～9日」の割合が減少
しています。



問23-2 問23-1で「1」～「4」のいずれかに回答した方にかかっています。その際、「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、日数（1年間あたり）についても（ ）内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

「病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が35.2%、「利用したいとは思わない」の割合が63.4%となっています。

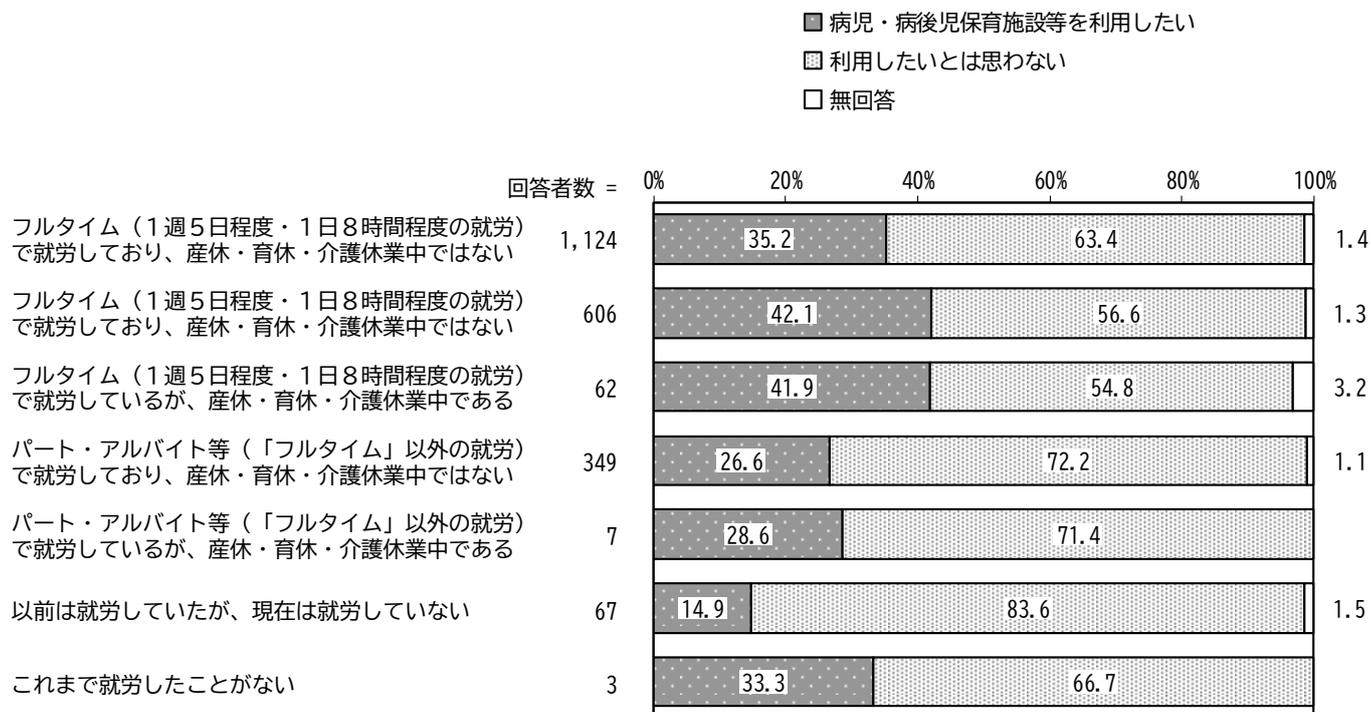
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



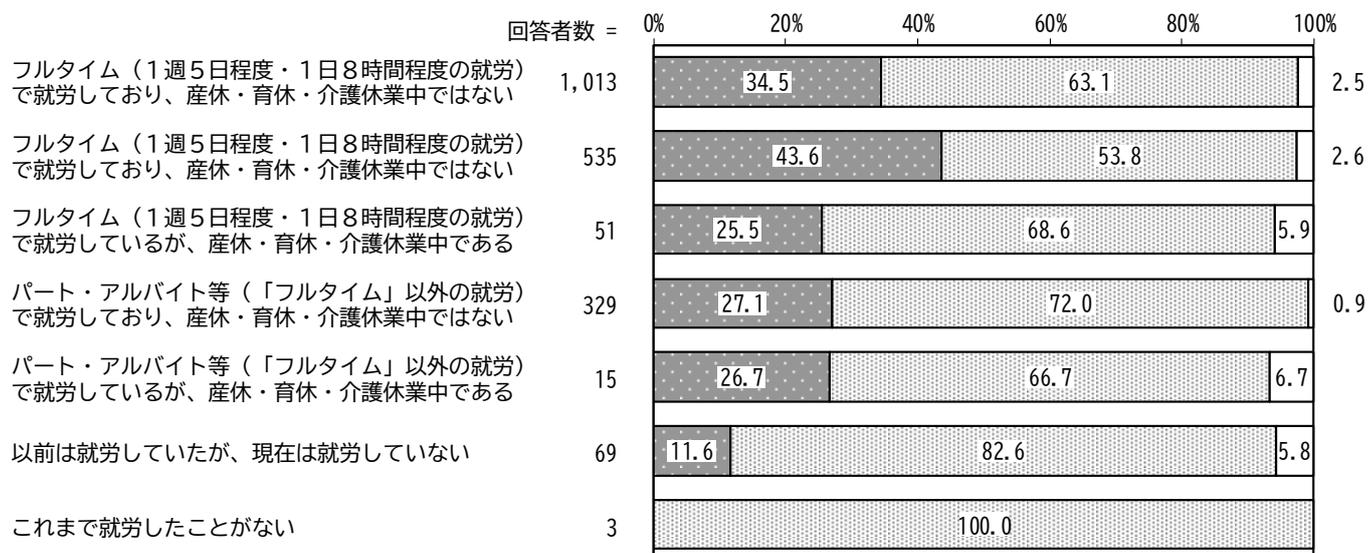
【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、以前は就労していたが、現在は就労していないで「利用したいとは思わない」の割合が高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中であるで「病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が増加しています。



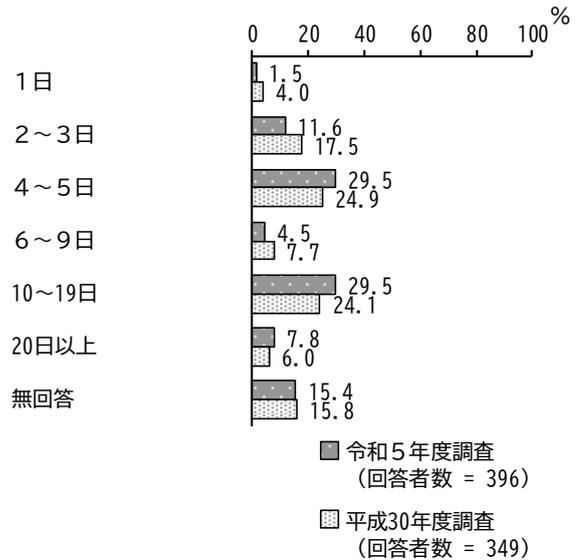
【平成30年度調査】



病児・病後児保育施設等を利用したい日数

「4～5日」、「10～19日」の割合が29.5%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が11.6%となっています。

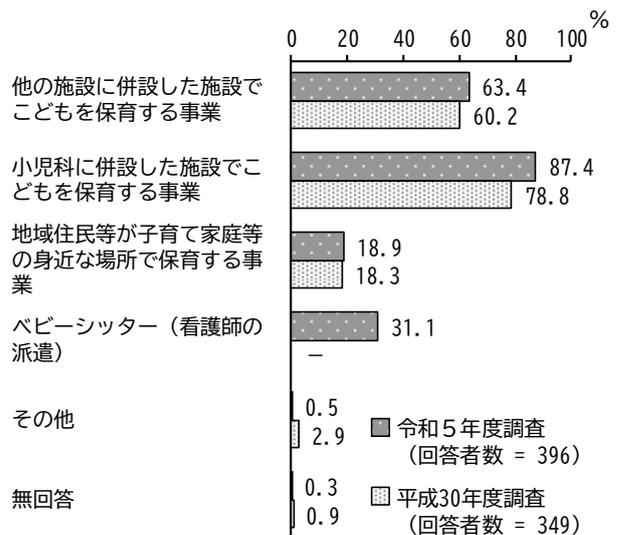
平成30年度調査と比較すると、「10～19日」の割合が増加しています。一方、「2～3日」の割合が減少しています。



問23-3 問23-2で「1 病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方がうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるですか。(あてはまるものすべてに○)

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が87.4%と最も高く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が63.4%、「ベビーシッター(看護師の派遣)」の割合が31.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が増加しています。



※前回調査では、「ベビーシッター(看護師の派遣)」の選択肢はありませんでした。

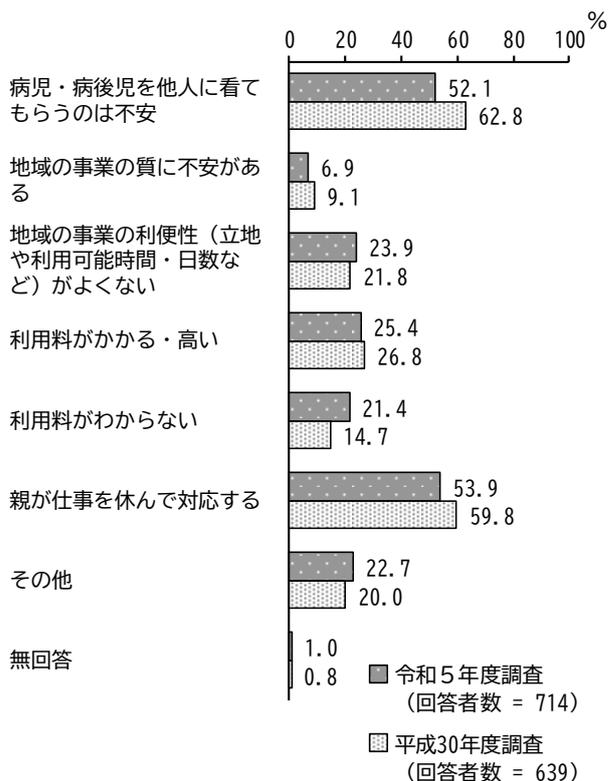
【その他の意見】

- ・ 平塚・藤沢・横浜…該当する自治体に勤務していなければ他自治体の病児保育は利用できません、茅ヶ崎市は遅れ過ぎています。
- ・ 場所や時間(預けられる)が現実的のところ
- ・ 茅ヶ崎市には病児保育の施設が無いにも関わらず、なぜ病児保育が利用できる前提なのですか？
- ・ 送迎付きのあずかり
- ・ あればどこでもよい
- ・ 病気時は本当に本当に困っているので近くに少しだけでも見てくれる所があると、ありがたいです
- ・ 事前の手続きがめんどろくない所

問 23-4 問 23-2で「2 利用したいと思わない」に○をつけた方うかがいます。
 そのように思われる理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

「親が仕事を休んで対応する」の割合が 53.9%
 と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看
 てもらうのは不安」の割合が 52.1%、「利用料がか
 かる・高い」の割合が 25.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用料がわか
 らない」の割合が増加しています。一方、「病児・
 病後児を他人に看てもらうのは不安」、「親が仕事
 を休んで対応する」の割合が減少しています。



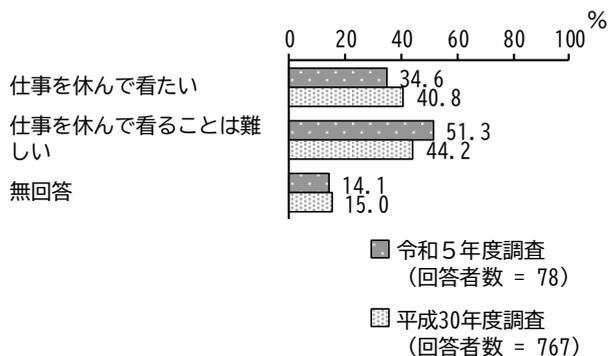
【その他の主な意見】

- ・病児を預けてまで就労したくない
- ・病気の時は一緒にいてあげたい
- ・仕事をしていなかったため。
- ・仕事していない方が看ることができる
- ・スムーズに利用できるようにして欲しい。
- ・利用したことがないので不安がある。
- ・登園の際の準備も大変そう。
- ・今の生活では必要がないので
- ・他人に迷惑がかかるのが嫌だから
- ・他の病気をもってこないか不安

問 23-5 問 23-1で「5」～「9」のいずれかに回答した方うかがいます。
 その際、「父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。あてはまる番
 号1つに○をつけ、問 23-1の「5」～「9」の日数のうち、仕事を休んで看たか
 った日数も数字でご記入ください。

「仕事を休んで看たい」の割合が 34.6%、「仕
 事を休んで看るとは難しい」の割合が 51.3%と
 なっています。

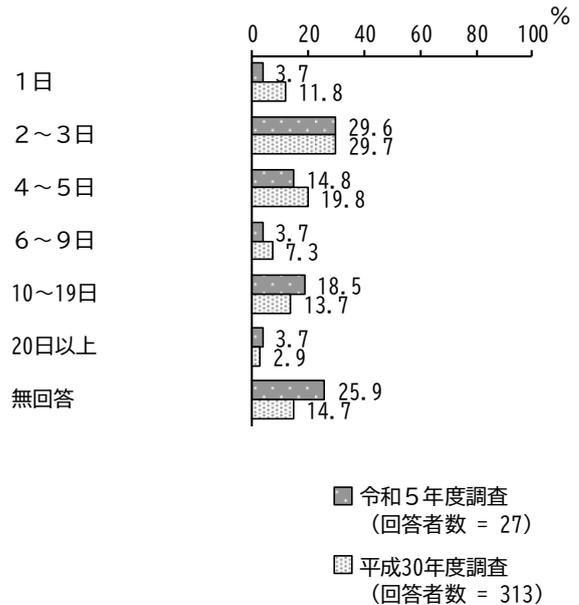
平成 30 年度調査と比較すると、「仕事を休んで
 看るとは難しい」の割合が増加しています。一
 方、「仕事を休んで看たい」の割合が減少してい
 ます。



できれば仕事を休んで看たい日数

「2～3日」の割合が29.6%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が18.5%、「4～5日」の割合が14.8%となっています。

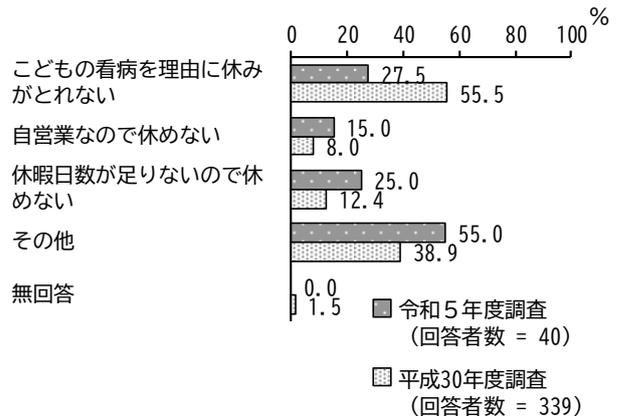
平成30年度調査と比較すると、「10～19日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。



問23-6 問23-5で「2 休んで看することは難しい」に○をつけた方にかがいます。そう思われる理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

「こどもの看病を理由に休みがとれない」の割合が27.5%と最も高く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」の割合が25.0%、「自営業なので休めない」の割合が15.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「自営業なので休めない」、「休暇日数が足りないので休めない」の割合が増加しています。一方、「こどもの看病を理由に休みがとれない」の割合が減少しています。

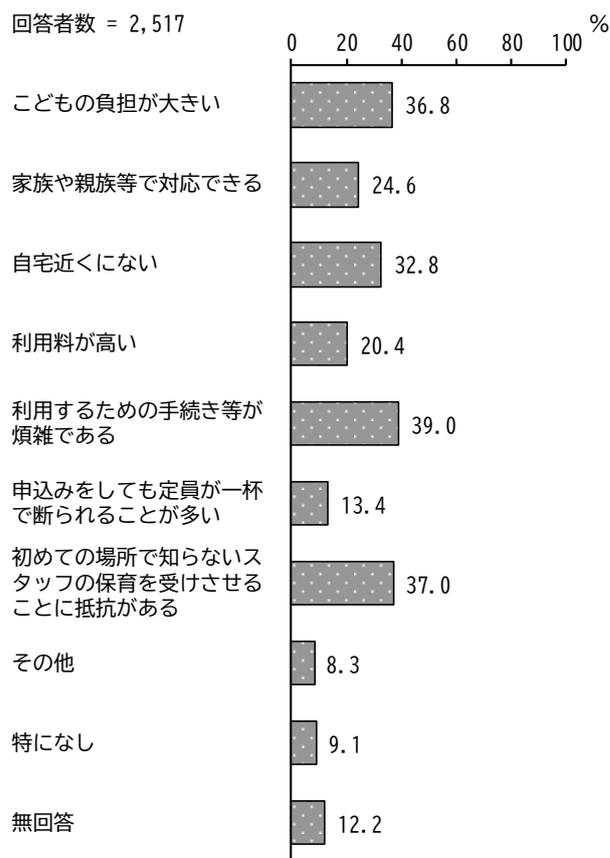


【その他の主な意見】

- ・職場で管理者のため休みにくい
- ・職場の人手不足を生んでしまうため
- ・テレワークで対応したため。
- ・一部休めない業務がある
- ・仕事をしたい。
- ・休むと仕事が追いつかない。
- ・シンプルに仕事が滞るのでバランス
- ・生活費が足りなくなる為
- ・休めない時もある
- ・何日も休むと職場に迷惑がかかる

問 24 病児・病後児保育について、利用したことがある、なしに関わらず、感じていることをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

「利用するための手続き等が煩雑である」の割合が 39.0%と最も高く、次いで「初めての場所で知らないスタッフの保育を受けさせることに抵抗がある」の割合が 37.0%、「こどもの負担が大きい」の割合が 36.8%となっています。



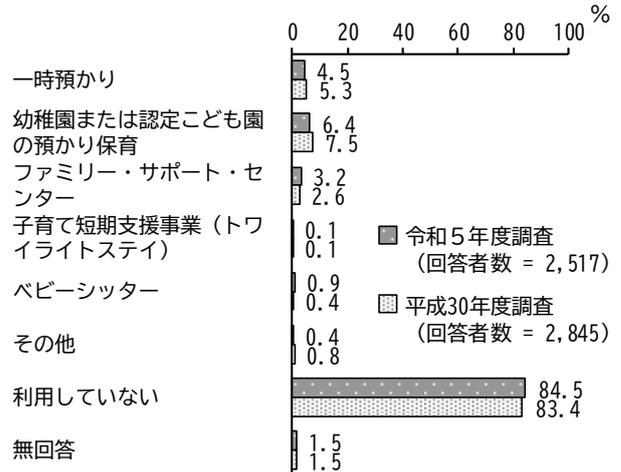
【その他の主な意見】

- ・利用していないのでわからない
- ・病児・病後児保育をそもそも知らない
- ・そういうものの存在を知らなかった
- ・どこにあるのか知らない
- ・調べたことがない為分からない
- ・市内にあるのか知らない。
- ・よく知らないため選択肢に入らない
- ・あることを知らなかった。
- ・どこにあるのか、わからない
- ・まだよくわかっていません。

(8) 宛名のお子さんの一時預かりや宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 25 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も（ ）内に数字でご記入ください。※不定期の就労とは、保育の要件（月64時間）に満たない就労のことを指します。

「利用していない」の割合が84.5%と最も高くなっています。
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【その他の意見】

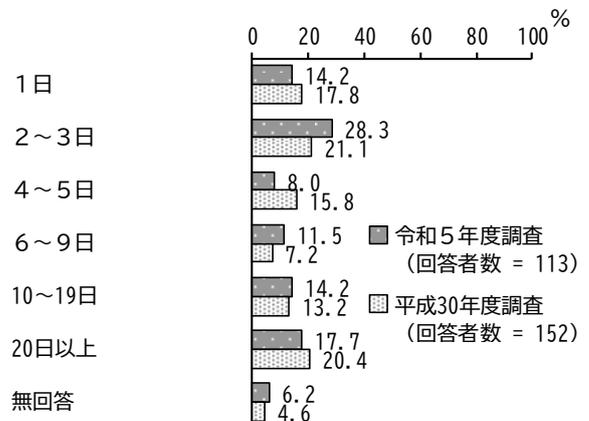
- ・認可外保育所
- ・友人に預かってもらう（親にも）
- ・ショッピングモールの一時的あずかり場所
- ・茅ヶ崎市に引越す前は一時預かりを利用していた5月～9月
- ・民間の託児所
- ・認可外保育所（職場に職員専用で併設）
- ・幼児教室
- ・発達児童センター
- ・あんふあにい

年間日数

1. 一時預かり

「2～3日」の割合が28.3%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が17.7%、「1日」、「10～19日」の割合が14.2%となっています。

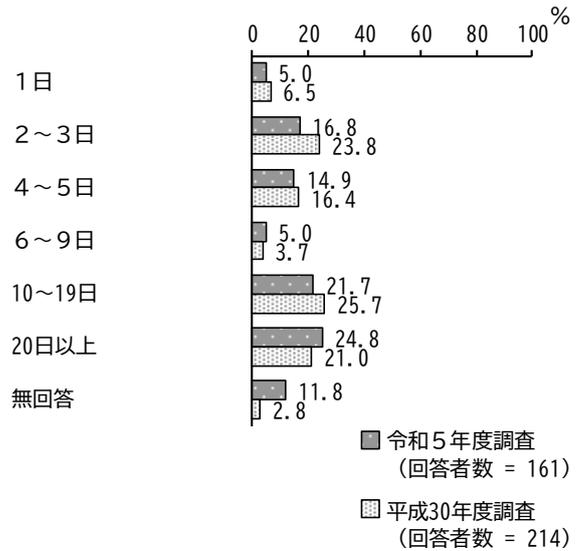
平成30年度調査と比較すると、「2～3日」の割合が増加しています。一方、「4～5日」の割合が減少しています。



2. 幼稚園または認定こども園の預かり保育

「20日以上」の割合が24.8%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が21.7%、「2～3日」の割合が16.8%となっています。

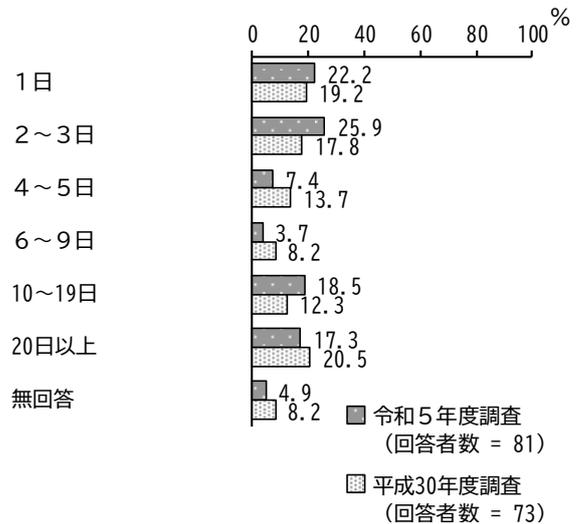
平成30年度調査と比較すると、「20日以上」の割合が増加しています。一方、「2～3日」の割合が減少しています。



3. ファミリー・サポート・センター

「2～3日」の割合が25.9%と最も高く、次いで「1日」の割合が22.2%、「10～19日」の割合が18.5%となっています。

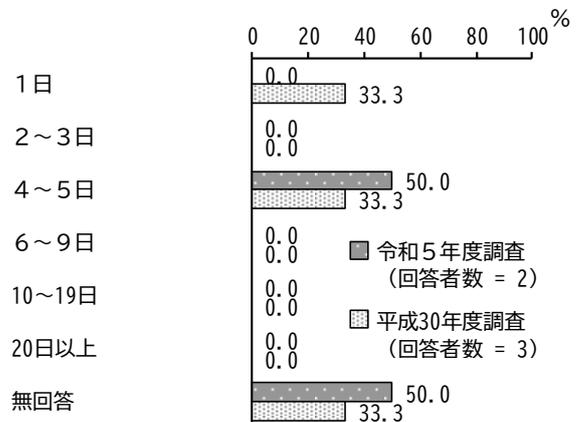
平成30年度調査と比較すると、「2～3日」、「10～19日」の割合が増加しています。一方、「4～5日」の割合が減少しています。



4. 子育て短期支援事業（トワイライトステイ）

「4～5日」が1件となっています。

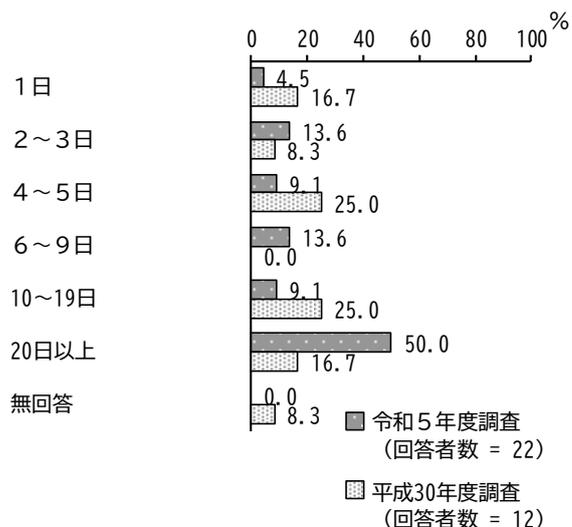
平成30年度調査と比較すると、「4～5日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。



5. ベビーシッター

「20日以上」の割合が50.0%と最も高く、次いで「2～3日」、「6～9日」の割合が13.6%となっています。

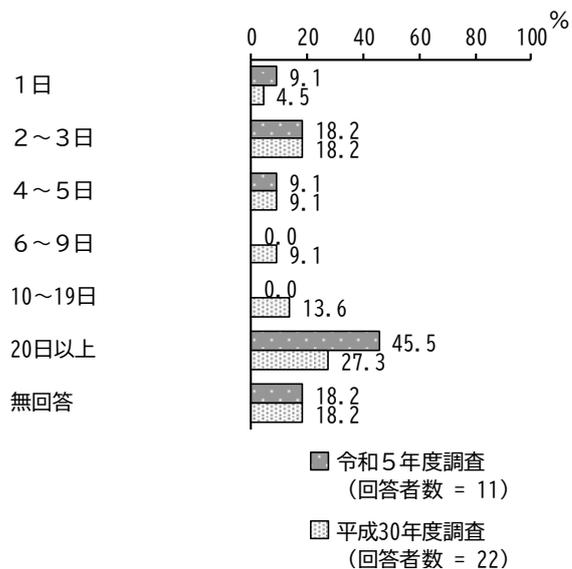
平成30年度調査と比較すると、「2～3日」、「6～9日」、「20日以上」の割合が増加しています。一方、「1日」、「4～5日」、「10～19日」の割合が減少しています。



6. その他

「20日以上」の割合が45.5%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が18.2%となっています。

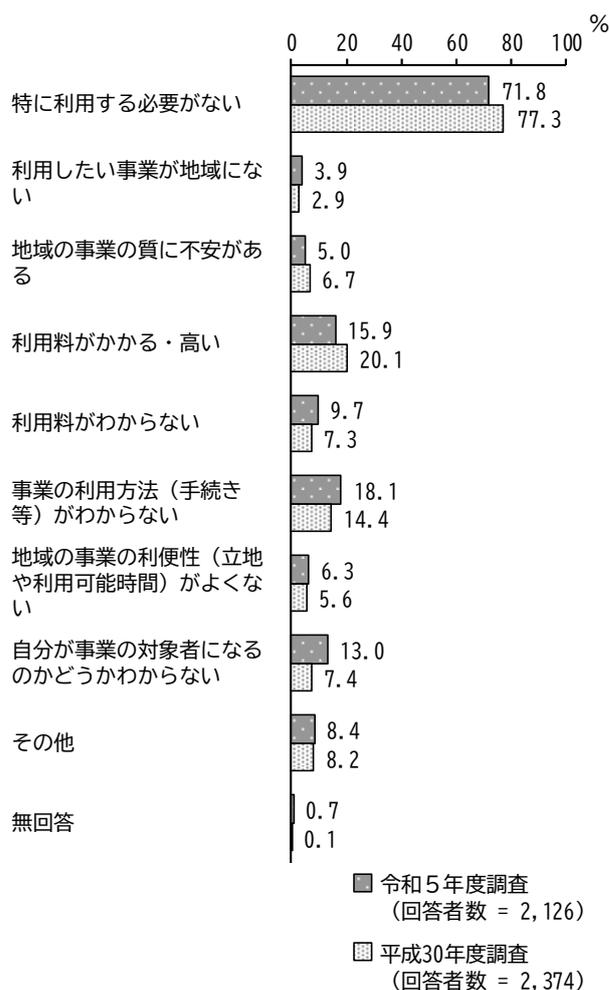
平成30年度調査と比較すると、「20日以上」の割合が増加しています。一方、「6～9日」、「10～19日」の割合が減少しています。



問25-1 問25で「7 利用していない」と回答した方にうかがいます。
現在利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「特に利用する必要がない」の割合が71.8%と最も高く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」の割合が18.1%、「利用料がかかる・高い」の割合が15.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「事業の利用方法（手続きの仕方等）が分からない」、「自分が事業の対象者になるのかどうか分からない」の割合が増加しています。一方、「特に利用する必要がない」の割合が減少しています。

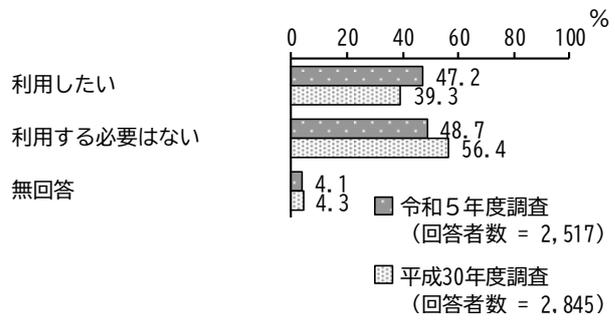


【その他の主な意見】

- ・知らない所に預けることに不安がある。
- ・まだ7ヶ月なので預けることに抵抗がある
- ・今後利用しようと手続きは行なった。
- ・ファミリーサポートの登録にまだ行けていない。
- ・利用したことがないので、よくわからない。
- ・かなり先の予定でなければ利用できない。
- ・子どもが嫌がるかもと思うと利用できない
- ・私用で利用がコロナ禍の影響でだめだった
- ・今後利用したいと思っている。
- ・利用はしたいが費用もかかる。

問 26 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください。

「利用したい」の割合が47.2%、「利用する必要はない」の割合が48.7%となっています。平成30年度調査と比較すると、「利用したい」の割合が増加しています。一方、「利用する必要はない」の割合が減少しています。

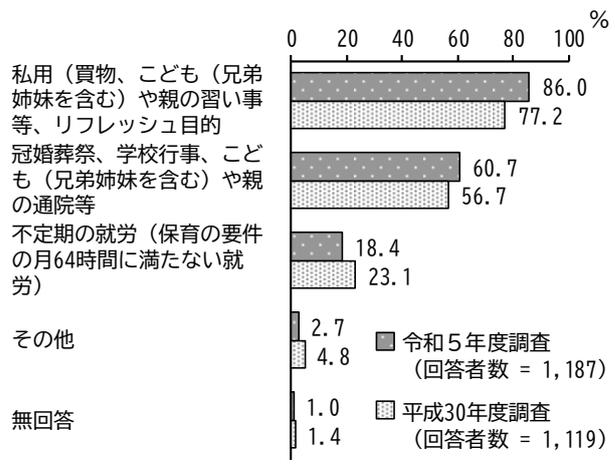


【その他の主な意見】

- ・親の通院のため。
- ・親（我々の入院）
- ・親の介護、病院の付き添い
- ・通院（親の）
- ・実祖母の介ゴ
- ・集団に慣れる為など
- ・親の病気など
- ・講座への参加など学びの為
- ・保育時間外の就労
- ・自分の通院

ア. 利用したい目的

「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的）」の割合が86.0%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が60.7%、「不定期の就労（保育の要件の月64時間に満たない就労）」の割合が18.4%となっています。平成30年度調査と比較すると、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的）」の割合が増加しています。

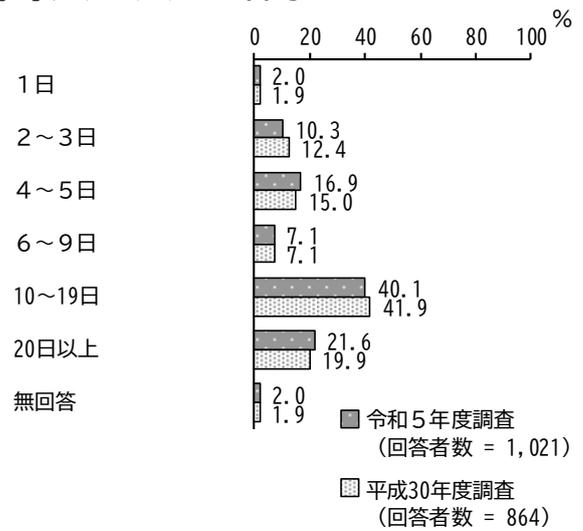


イ. 目的別年間日数

1 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的

「10～19日」の割合が40.1%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が21.6%、「4～5日」の割合が16.9%となっています。

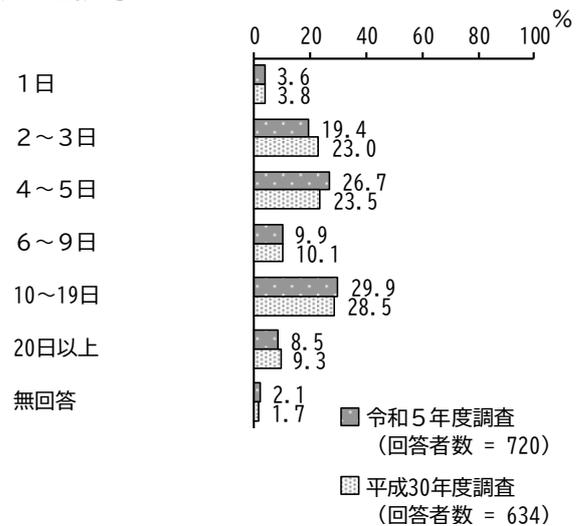
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



2 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等

「10～19日」の割合が29.9%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が26.7%、「2～3日」の割合が19.4%となっています。

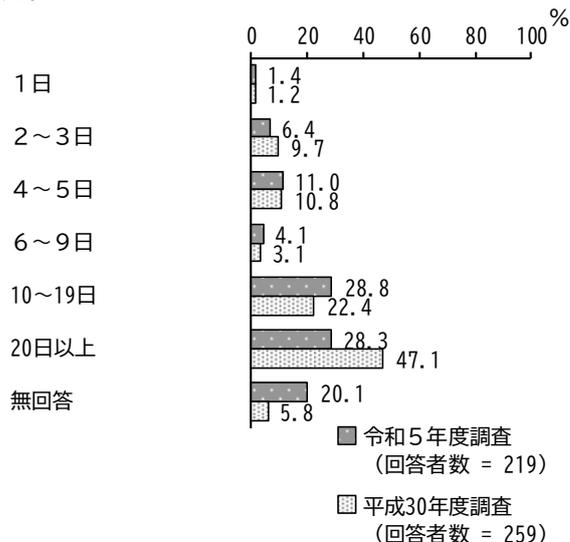
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



3 不定期の就労（保育の要件の月 64 時間に満たない就労）

「10～19 日」の割合が 28.8%と最も高く、次いで「20 日以上」の割合が 28.3%、「4～5 日」の割合が 11.0%となっています。

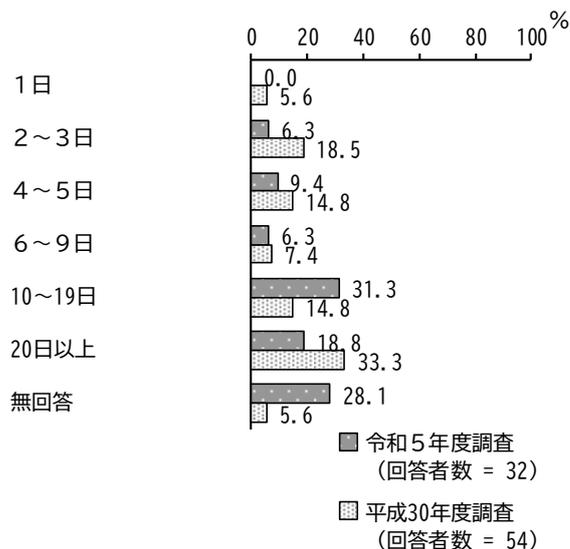
平成 30 年度調査と比較すると、「10～19 日」の割合が増加しています。一方、「20 日以上」の割合が大きく減少しています。



4 その他

「10～19 日」の割合が 31.3%と最も高く、次いで「20 日以上」の割合が 18.8%となっています。

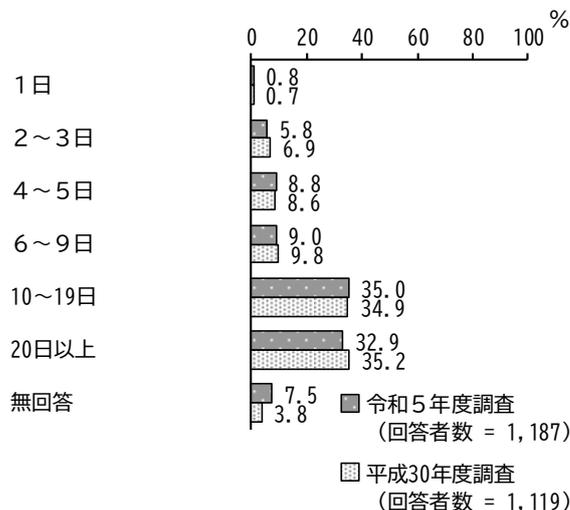
平成 30 年度調査と比較すると、「10～19 日」の割合が増加しています。一方、「1 日」、「2～3 日」、「4～5 日」、「20 日以上」の割合が減少しています。



ウ. 合計

「10～19 日」の割合が 35.0%と最も高く、次いで「20 日以上」の割合が 32.9%となっています。

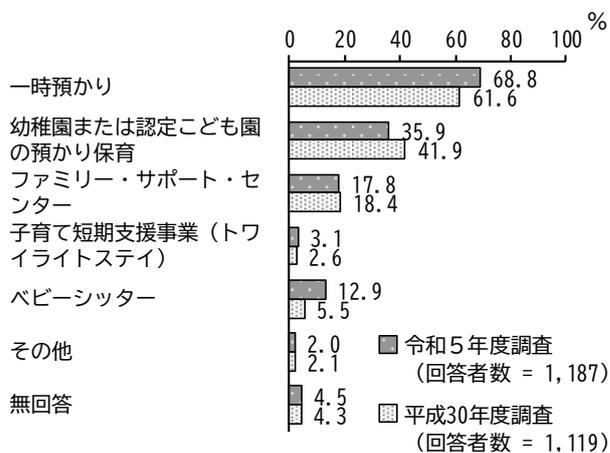
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問26-1 問26で「1 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号すべてに○をつけ、事業別の利用したい日数を（ ）内に数字でご記入ください。※不特定の就労とは、保育の要件（月64時間）に満たない就労のことを指します。

「一時預かり」の割合が68.8%と最も高く、次いで「幼稚園または認定こども園の預かり保育」の割合が35.9%、「ファミリー・サポート・センター」の割合が17.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「一時預かり」、「ベビーシッター」の割合が増加しています。一方、「幼稚園または認定こども園の預かり保育」の割合が減少しています。



【その他の主な意見】

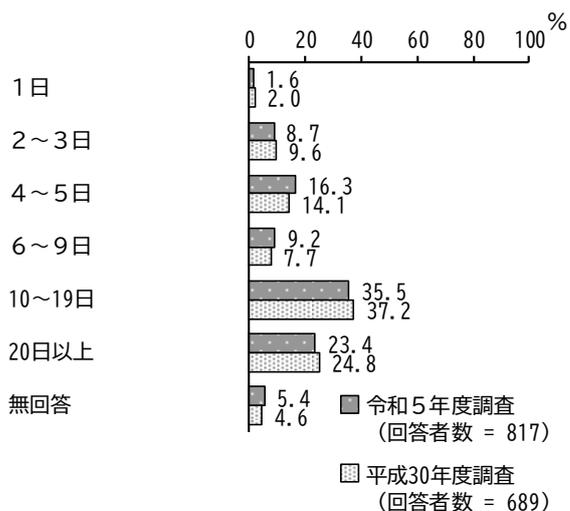
- ・通常通り、保育所でお願いできると良い
- ・今の園にそのまま預けたい
- ・値段や立地による。
- ・（仕事が休み（有給）でも預かってほしい。
- ・父親がグリオーマの為、本当に見当が付きません。
- ・通っている保育園に預けたい。
- ・通っている保育園が良い
- ・上記の違いが分からない
- ・現在通っている保育園

年間事業別日数

1. 一時預かり

「10～19日」の割合が35.5%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が23.4%、「4～5日」の割合が16.3%となっています。

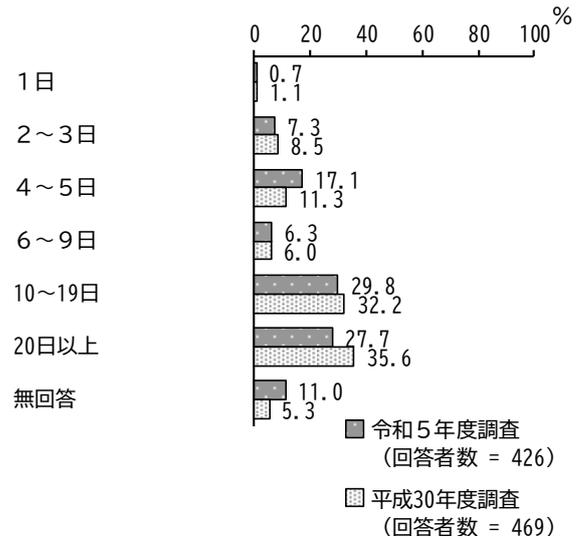
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



2. 幼稚園または認定こども園の預かり保育

「10～19日」の割合が29.8%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が27.7%、「4～5日」の割合が17.1%となっています。

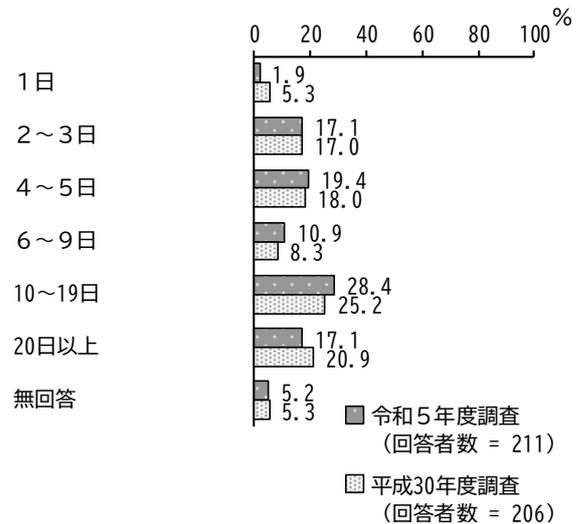
平成30年度調査と比較すると、「4～5日」の割合が増加しています。一方、「20日以上」の割合が減少しています。



3. ファミリー・サポート・センター

「10～19日」の割合が28.4%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が19.4%、「2～3日」、「20日以上」の割合が17.1%となっています。

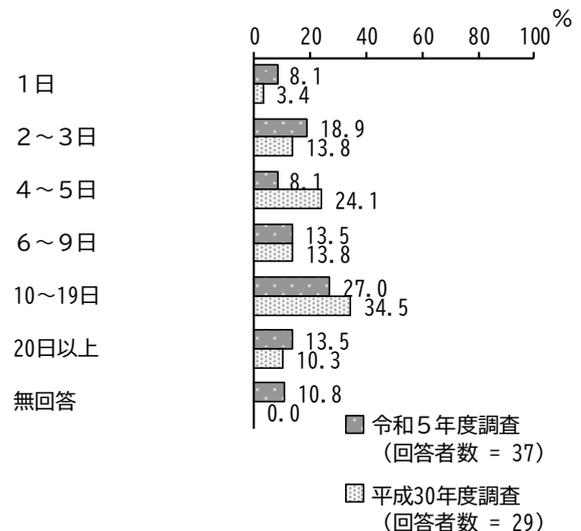
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



4. 子育て短期支援事業（トワイライトステイ）

「10～19日」の割合が27.0%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が18.9%、「6～9日」、「20日以上」の割合が13.5%となっています。

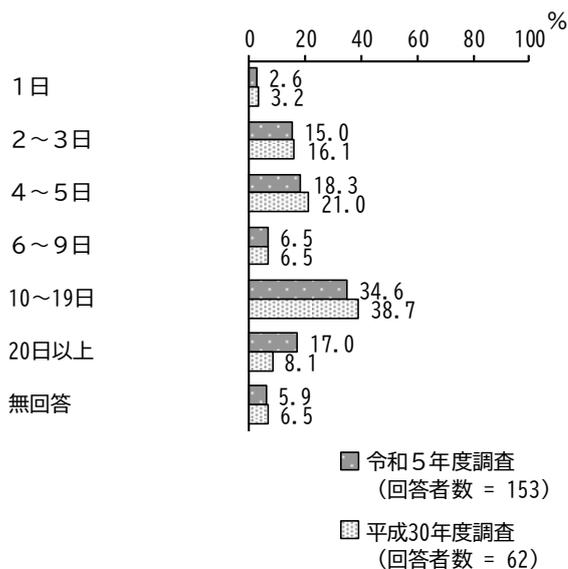
平成30年度調査と比較すると、「2～3日」の割合が増加しています。一方、「4～5日」、「10～19日」の割合が減少しています。



5. ベビーシッター

「10～19日」の割合が34.6%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が18.3%、「20日以上」の割合が17.0%となっています。

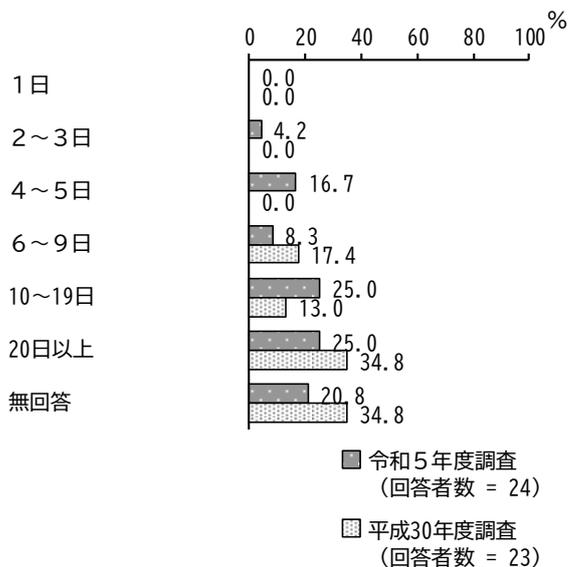
平成30年度調査と比較すると、「20日以上」の割合が増加しています。また、利用希望の回答者数も62人から153人へと倍以上となっています。



6. その他

「10～19日」、「20日以上」の割合が25.0%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が16.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4～5日」、「10～19日」の割合が増加しています。一方、「6～9日」、「20日以上」の割合が減少しています。

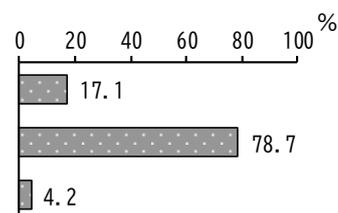


問27 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、こどもを保護する事業）の利用希望の有無についてあてはまる番号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください。利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を（ ）内に数字でご記入ください。なお事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

「利用したい」の割合が17.1%、「利用する必要はない」の割合が78.7%となっています。

回答者数 = 2,517

利用したい
利用する必要はない
無回答

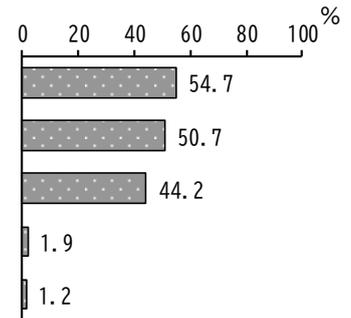


ア. 利用したい目的

「冠婚葬祭」の割合が54.7%と最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が50.7%、「保護者や家族の病気」の割合が44.2%となっています。

回答者数 = 430

冠婚葬祭
保護者や家族の育児疲れ・不安
保護者や家族の病気
その他
無回答



【その他の意見】

- ・人間ドック
- ・コンサート
- ・出張
- ・何泊かは分からない、人によってちがう
- ・就労
- ・仕事
- ・私用、リフレッシュ
- ・出産の為
- ・子の両親が共々病気になった場合

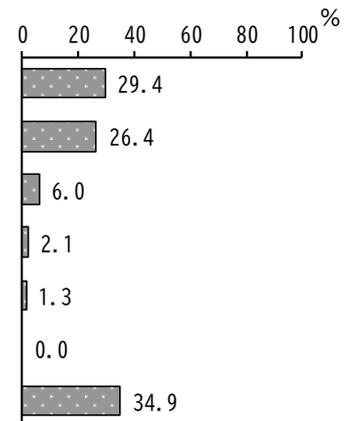
イ. 年間泊数

1 冠婚葬祭

「1泊」の割合が29.4%と最も高く、次いで「2泊～3泊」の割合が26.4%となっています。

回答者数 = 235

1泊
2泊～3泊
4泊～5泊
6泊～9泊
10泊～19泊
20泊以上
無回答

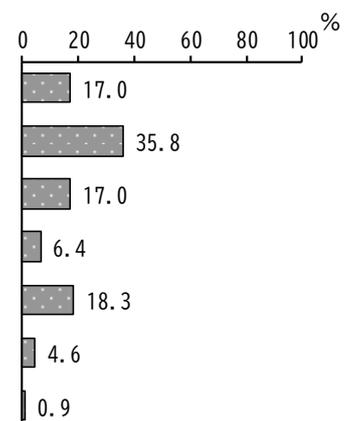


2 保護者や家族の育児疲れ・不安

「2泊～3泊」の割合が35.8%と最も高く、次いで「10泊～19泊」の割合が18.3%、「1泊」、「4泊～5泊」の割合が17.0%となっています。

回答者数 = 218

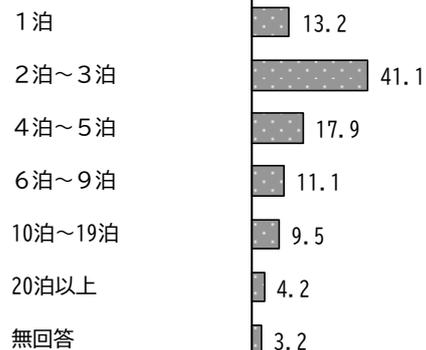
1泊
2泊～3泊
4泊～5泊
6泊～9泊
10泊～19泊
20泊以上
無回答



3 保護者や家族の病気

「2泊～3泊」の割合が41.1%と最も高く、次いで「4泊～5泊」の割合が17.9%、「1泊」の割合が13.2%となっています。

回答者数 = 190



4 その他

「6泊～9泊」が3件となっています。「1泊」、「4泊～5泊」、「10泊～19泊」が1件となっています。

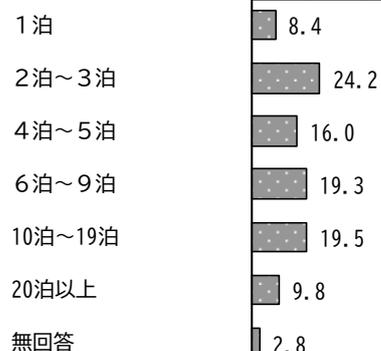
回答者数 = 8



ウ. 合計

「2泊～3泊」の割合が24.2%と最も高く、次いで「10泊～19泊」の割合が19.5%、「6泊～9泊」の割合が19.3%となっています。

回答者数 = 430



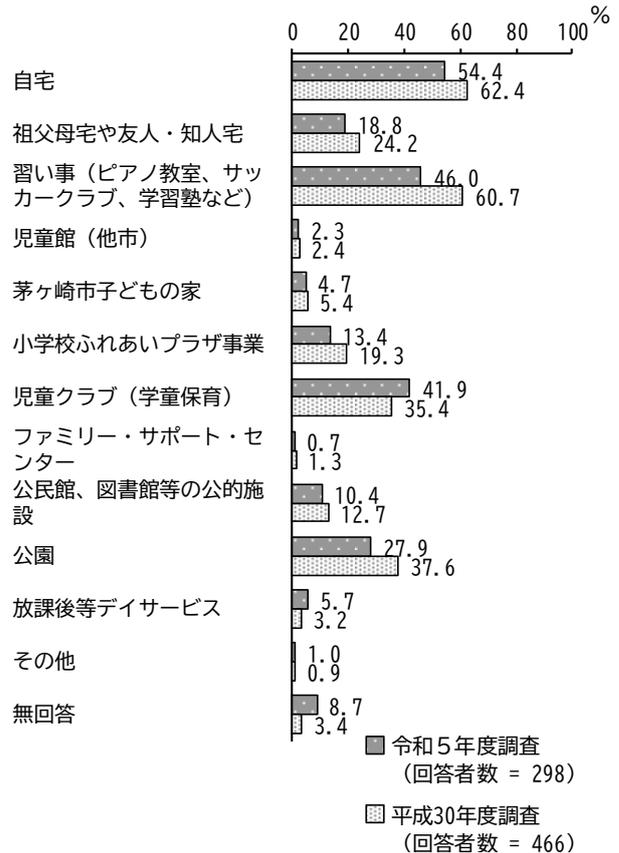
(9) 宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 28 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。小学校低学年と小学校高学年それぞれのあてはまる番号すべてに○をつけ、週あたり日数を数字でご記入ください。また、「児童クラブ（学童保育）」の場合には利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください。

(1) 小学校低学年（1～3年生）

「自宅」の割合が54.4%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が46.0%、「児童クラブ（学童保育）」の割合が41.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「児童クラブ（学童保育）」の割合が増加しています。一方、「自宅」、「祖父母宅や友人・知人宅」、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」、「小学校ふれあいプラザ事業」、「公園」の割合が減少しています。



【その他の意見】

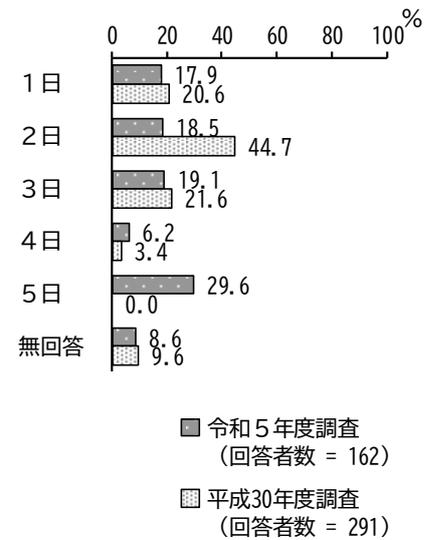
- ・自ら考えて行動させる。
- ・英語の託児サービス
- ・部活動（学校の）
- ・私立学校
- ・ちがぼ～など子どもの居場所
- ・自宅で実母に
- ・英語特化型学童。
- ・まだ考えていない（わかっていない）
- ・上記いずれも知らない

①週当たり日数

1. 自宅

「5日」の割合が29.6%と最も高く、次いで「3日」の割合が19.1%、「2日」の割合が18.5%となっています。

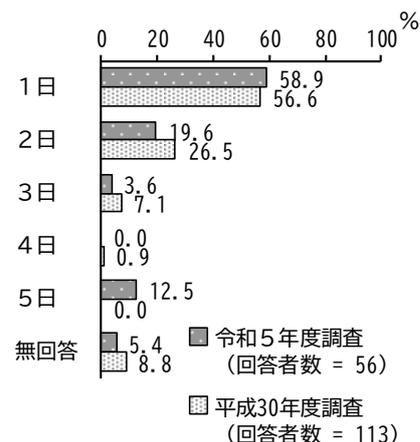
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。一方、「2日」の割合が減少しています。



2. 祖父母宅や友人・知人宅

「1日」の割合が 58.9%と最も高く、次いで「2日」の割合が 19.6%、「5日」の割合が 12.5%となっています。

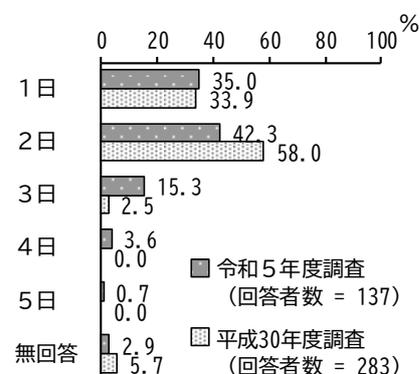
平成 30 年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。一方、「2日」の割合が減少しています。



3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)

「2日」の割合が 42.3%と最も高く、次いで「1日」の割合が 35.0%、「3日」の割合が 15.3%となっています。

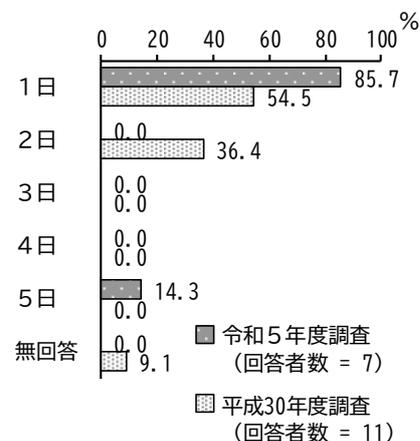
平成 30 年度調査と比較すると、「3日」の割合が増加しています。一方、「2日」の割合が減少しています。



4. 児童館 (他市)

「1日」が 6 件となっています。「5日」が 1 件となっています。

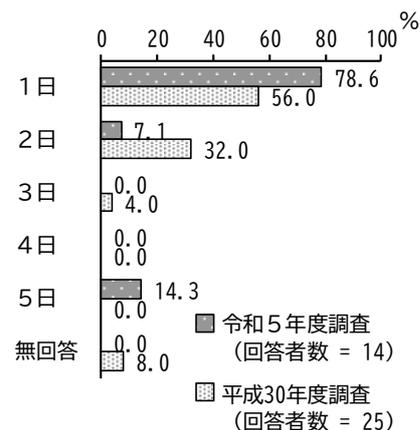
平成 30 年度調査と比較すると、「1日」、「5日」の割合が増加しています。一方、「2日」の割合が減少しています。



5. 茅ヶ崎市子どもの家

「1日」の割合が 78.6%と最も高く、次いで「5日」の割合が 14.3%となっています。

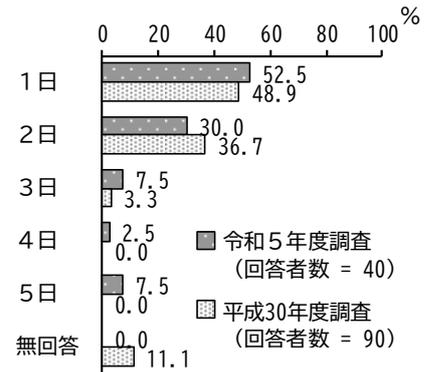
平成 30 年度調査と比較すると、「1日」、「5日」の割合が増加しています。一方、「2日」の割合が減少しています。



6. 小学校ふれあいプラザ事業

「1日」の割合が52.5%と最も高く、次いで「2日」の割合が30.0%となっています。

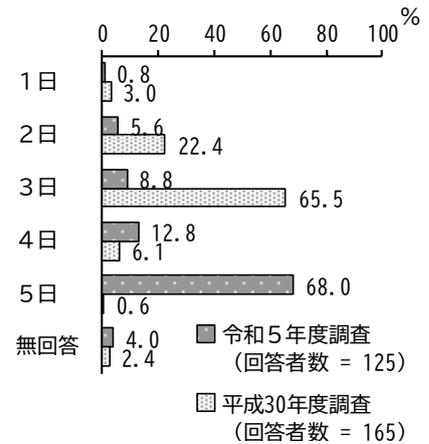
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。一方、「2日」の割合が減少しています。



7-1. 児童クラブ（学童保育）

「5日」の割合が68.0%と最も高く、次いで「4日」の割合が12.8%となっています。

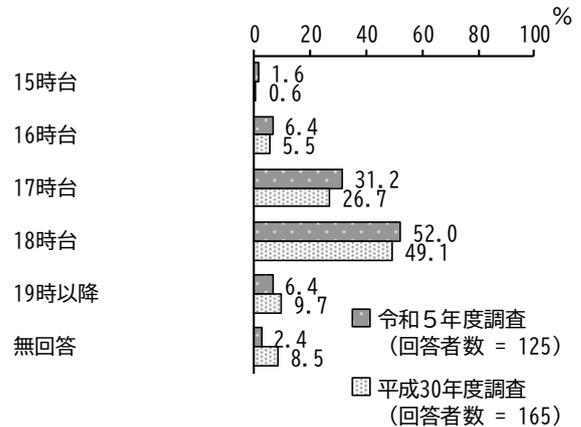
平成30年度調査と比較すると、「4日」、「5日」の割合が増加しています。一方、「2日」、「3日」の割合が減少しています。



7-2. 児童クラブ（学童保育）利用終了時刻

「18時台」の割合が52.0%と最も高く、次いで「17時台」の割合が31.2%となっています。

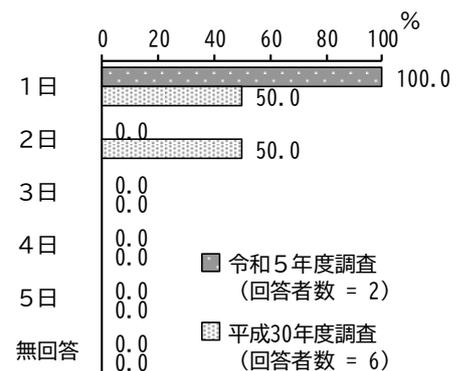
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



8. ファミリー・サポート・センター

「1日」が2件となっています。

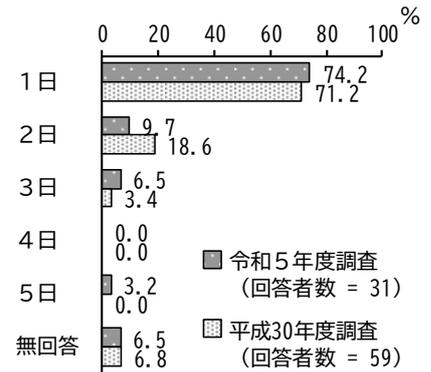
平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。一方、「2日」の割合が減少しています。



9. 公民館、図書館等の公的施設

「1日」の割合が74.2%と最も高くなっています。

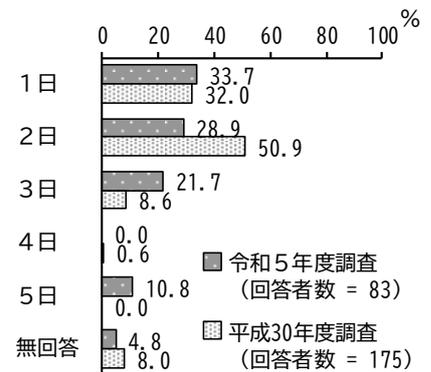
平成30年度調査と比較すると、「2日」の割合が減少しています。



10. 公園

「1日」の割合が33.7%と最も高く、次いで「2日」の割合が28.9%、「3日」の割合が21.7%となっています。

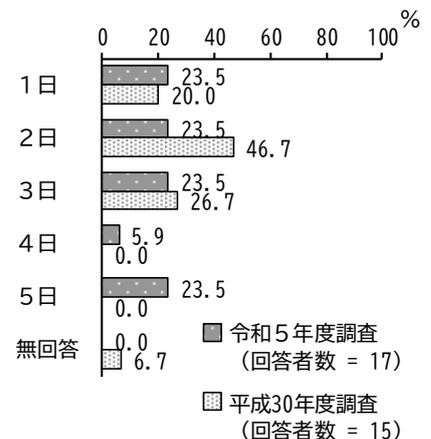
平成30年度調査と比較すると、「3日」、「5日」の割合が増加しています。一方、「2日」の割合が減少しています。



11. 放課後等デイサービス

「1日」、「2日」、「3日」、「5日」の割合が23.5%と最も高くなっています。

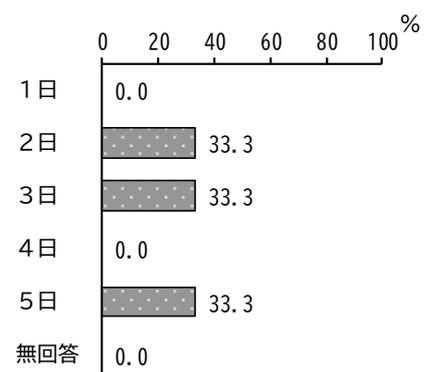
平成30年度調査と比較すると、「4日」、「5日」の割合が増加しています。一方、「2日」の割合が減少しています。



12. その他

「2日」、「3日」、「5日」が1件となっ

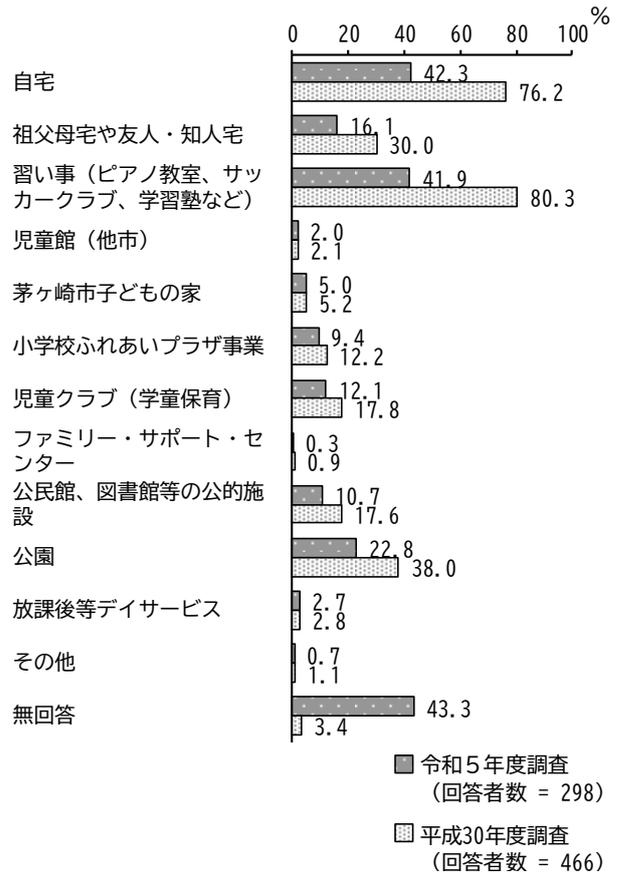
回答者数 = 3



(2) 小学校高学年（4～6年生）

「自宅」の割合が42.3%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が41.9%、「公園」の割合が22.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「自宅」、「祖父母宅や友人・知人宅」、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」、「児童クラブ（学童保育）」、「公民館、図書館等の公的施設」、「公園」の割合が減少しています。

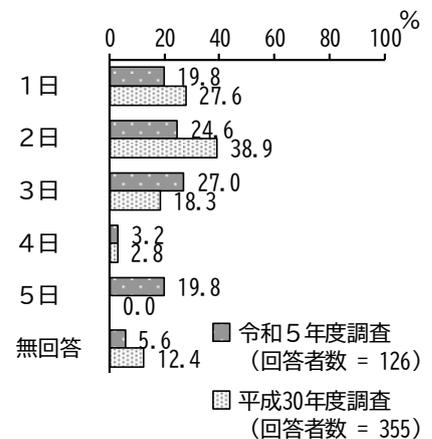


① 週当たり日数

1. 自宅

「3日」の割合が27.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が24.6%、「1日」、「5日」の割合が19.8%となっています。

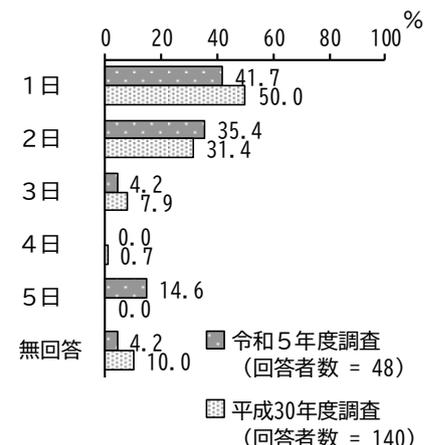
平成30年度調査と比較すると、「3日」と「5日」の割合が増加しています。一方、「1日」、「2日」の割合が減少しています。



2. 祖父母宅や友人・知人宅

「1日」の割合が41.7%と最も高く、次いで「2日」の割合が35.4%、「5日」の割合が14.6%となっています。

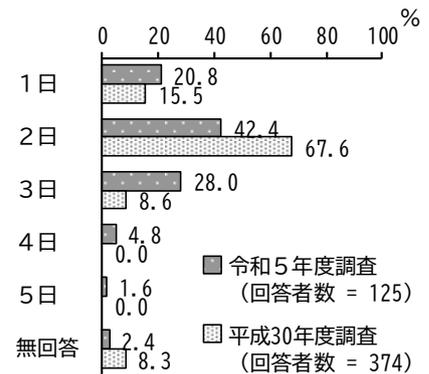
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。



3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）

「2日」の割合が42.4%と最も高く、次いで「3日」の割合が28.0%、「1日」の割合が20.8%となっています。

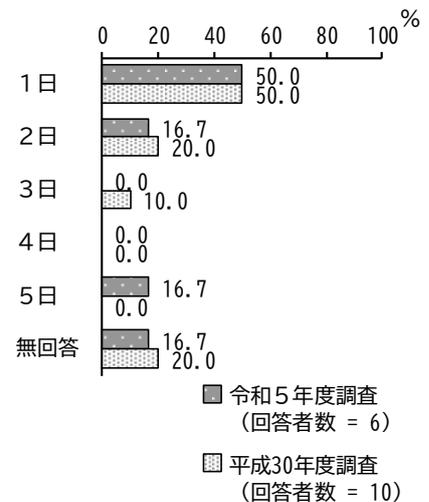
平成30年度調査と比較すると、「1日」、「3日」の割合が増加しています。一方、「2日」の割合が減少しています。



4. 児童館（他市）

「1日」が3件となっています。「2日」、「5日」が1件となっています。

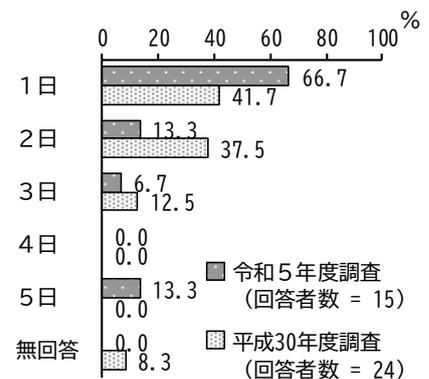
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。一方、「3日」の割合が減少しています。



5. 茅ヶ崎市子どもの家

「1日」の割合が66.7%と最も高く、次いで「2日」、「5日」の割合が13.3%となっています。

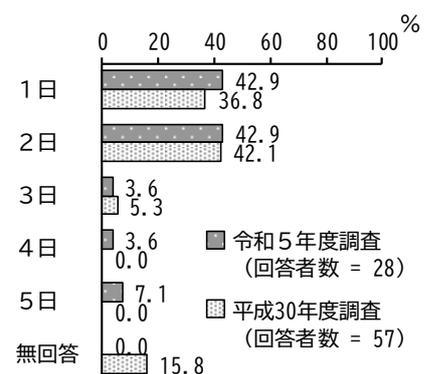
平成30年度調査と比較すると、「1日」、「5日」の割合が増加しています。一方、「2日」、「3日」の割合が減少しています。



6. 小学校ふれあいプラザ事業

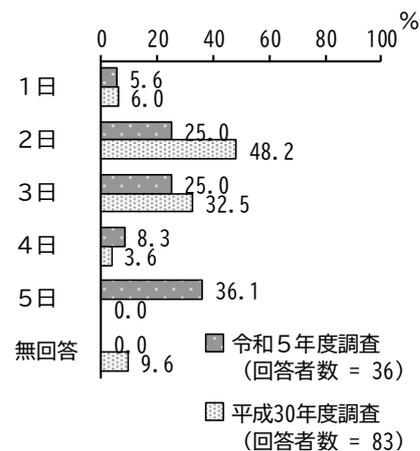
「1日」、「2日」の割合が42.9%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」、「5日」の割合が増加しています。



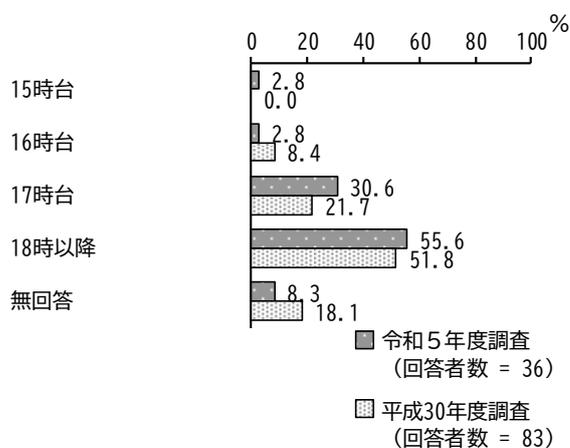
7-1. 児童クラブ（学童保育）

「5日」の割合が36.1%と最も高く、次いで「2日」、「3日」の割合が25.0%となっています。平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。一方、「2日」、「3日」の割合が減少しています。



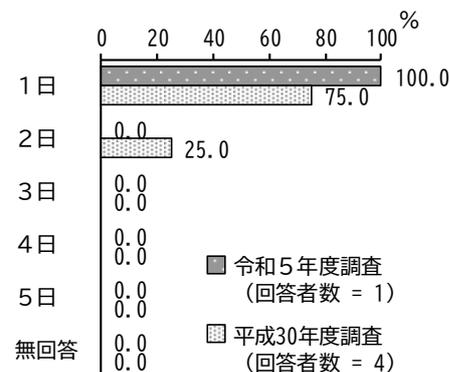
7-2. 児童クラブ（学童保育）利用終了時刻

「18時以降」の割合が55.6%と最も高く、次いで「17時台」の割合が30.6%となっています。平成30年度調査と比較すると、「17時台」の割合が増加しています。一方、「16時台」の割合が減少しています。



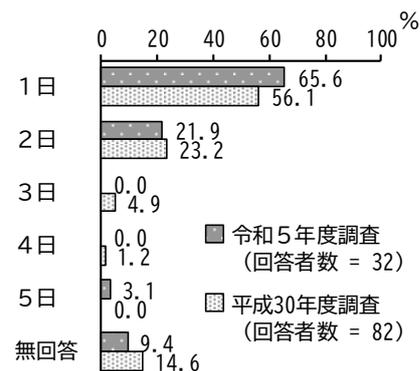
8. ファミリー・サポート・センター

「1日」が1件となっています。平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。一方、「2日」の割合が減少しています。



9. 公民館、図書館等の公的施設

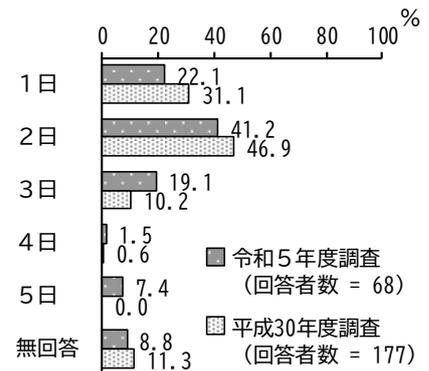
「1日」の割合が65.6%と最も高く、次いで「2日」の割合が21.9%となっています。平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。



10. 公園

「2日」の割合が41.2%と最も高く、次いで「1日」の割合が22.1%、「3日」の割合が19.1%となっています。

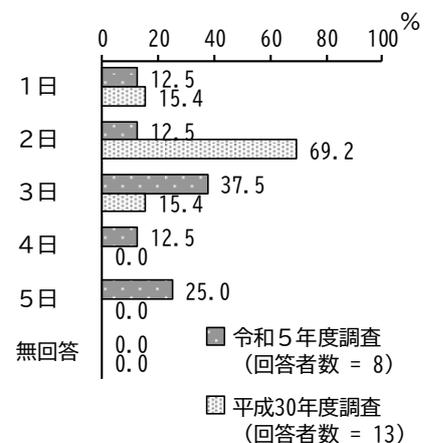
平成30年度調査と比較すると、「3日」、「5日」の割合が増加しています。一方、「1日」、「2日」の割合が減少しています。



11. 放課後等デイサービス

「3日」が3件となっています。「5日」が2件、「1日」、「2日」が1件となっています。

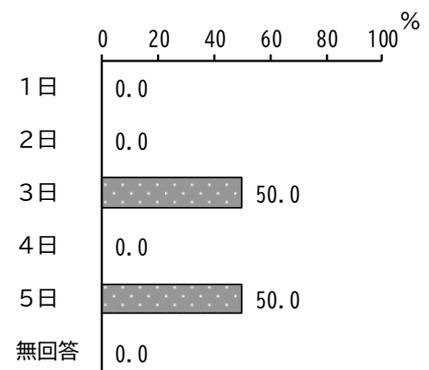
平成30年度調査と比較すると、「3日」、「4日」、「5日」の割合が増加しています。一方、「2日」の割合が減少しています。



12. その他

「3日」、「5日」が1件となっています。

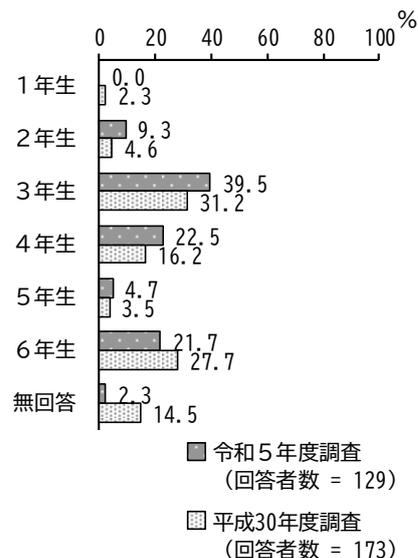
回答者数 = 2



問 29 問 28 で「7 児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。
宛名のお子さんについて、何年生まで児童クラブ（学童保育）を利用したいですか。
か。（（ ）内に数字を記入）

「3年生」の割合が39.5%と最も高く、次いで「4年生」の割合が22.5%、「6年生」の割合が21.7%となっています。

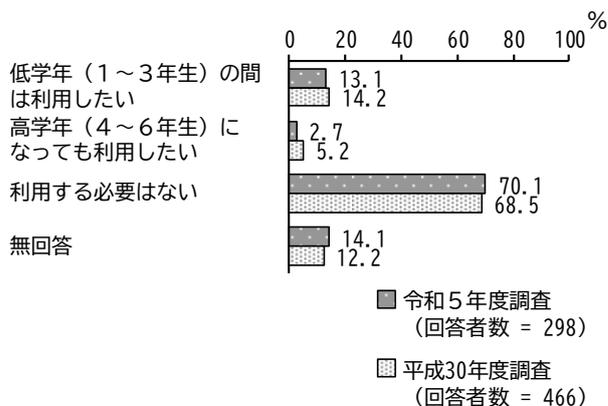
平成30年度調査と比較すると、「3年生」、「4年生」の割合が増加しています。一方、「6年生」の割合が減少しています。



問 30 宛名のお子さんについて、土曜日に、児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。（1つだけに○）また利用したい時間帯を、（ ）内に（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。なお事業の利用には、一定の利用料がかかります。

「利用する必要はない」の割合が70.1%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が13.1%となっています。

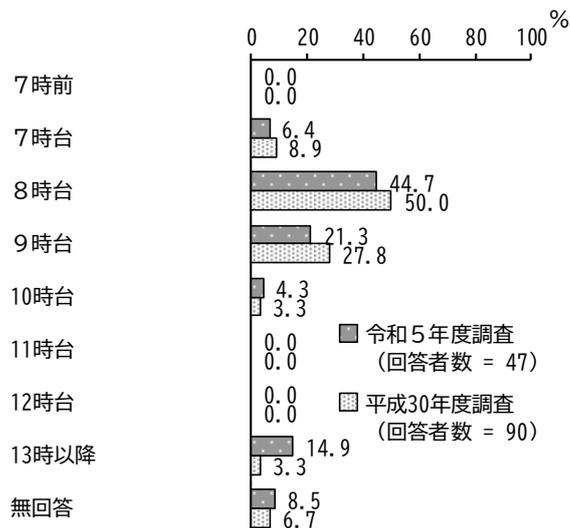
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



ア. 開始時刻

「8時台」の割合が44.7%と最も高く、次いで「9時台」の割合が21.3%、「13時以降」の割合が14.9%となっています。

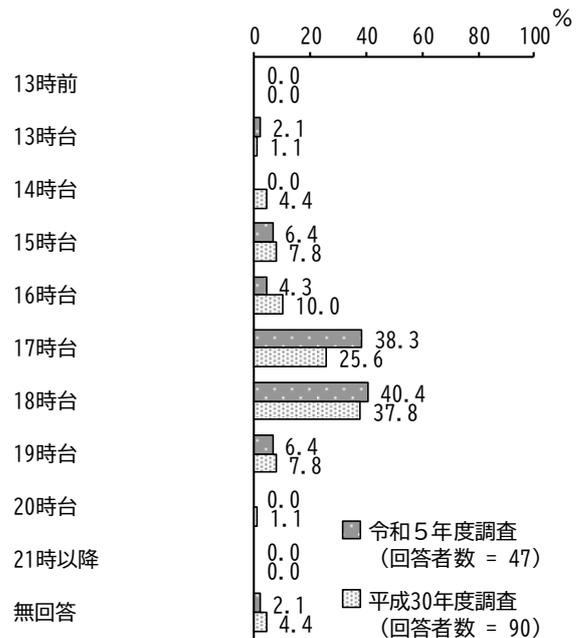
平成30年度調査と比較すると、「13時以降」の割合が増加しています。一方、「8時台」、「9時台」の割合が減少しています。



イ. 終了時刻

「18 時台」の割合が 40.4%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 38.3%となっています。

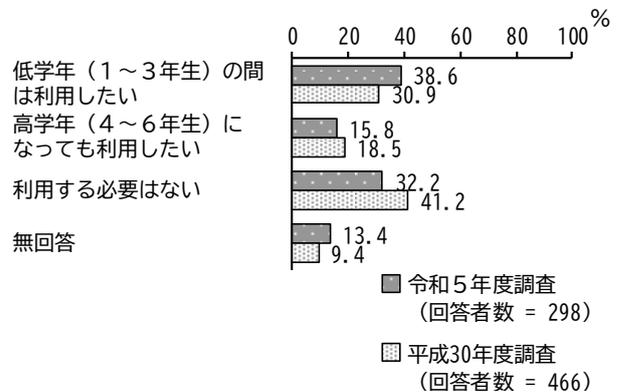
平成 30 年度調査と比較すると、「17 時台」の割合が増加しています。一方、「16 時台」の割合が減少しています。



問 31 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。（1つだけに○）また利用したい時間帯を、（ ）内に（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。なお事業の利用には、一定の利用料がかかります。

「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が 38.6%と最も高く、次いで「利用する必要はない」の割合が 32.2%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が 15.8%となっています。

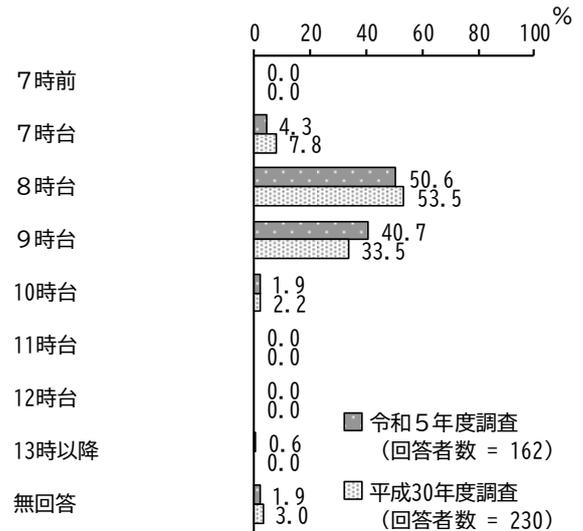
平成 30 年度調査と比較すると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が増加しています。一方、「利用する必要はない」の割合が減少しています。



ア. 開始時刻

「8時台」の割合が50.6%と最も高く、次いで「9時台」の割合が40.7%となっています。

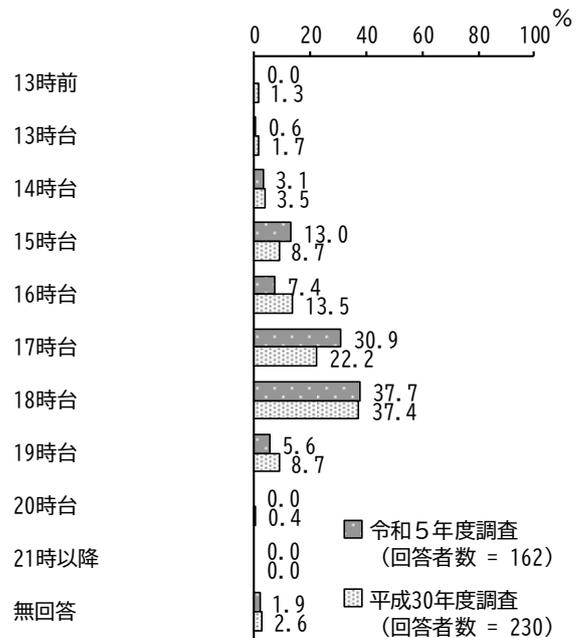
平成30年度調査と比較すると、「9時台」の割合が増加しています。



イ. 終了時刻

「18時台」の割合が37.7%と最も高く、次いで「17時台」の割合が30.9%、「15時台」の割合が13.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「17時台」の割合が増加しています。一方、「16時台」の割合が減少しています。



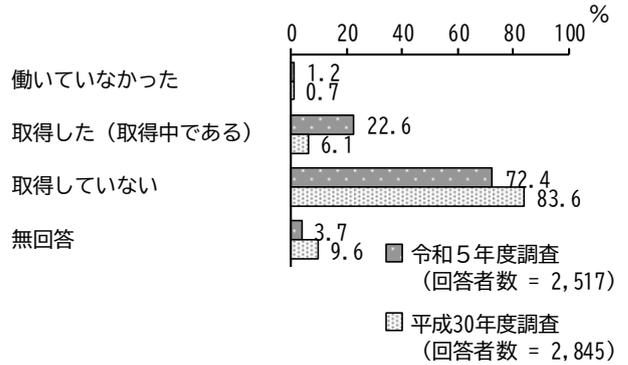
(10) すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 32 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。父親、母親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけ、該当する()内に数字をご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

父親 (いずれかに○)

「取得していない」の割合が72.4%と最も高く、次いで「取得した(取得中である)」の割合が22.6%となっています。

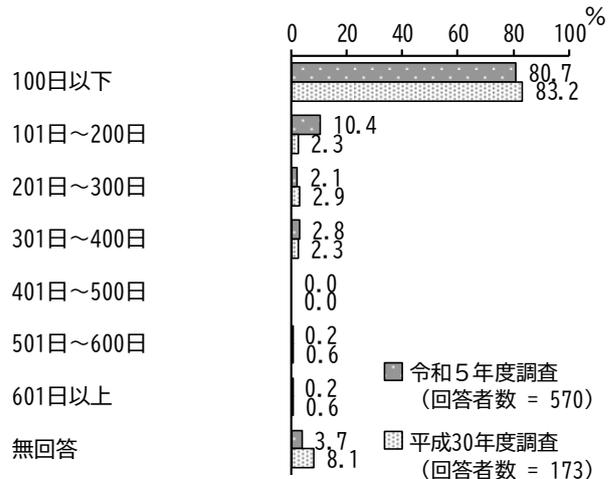
平成30年度調査と比較すると、「取得した(取得中である)」の割合が増加しています。一方、「取得していない」の割合が減少しています。



ア. 取得期間

「100日以下」の割合が80.7%と最も高く、次いで「101日~200日」の割合が10.4%となっています。

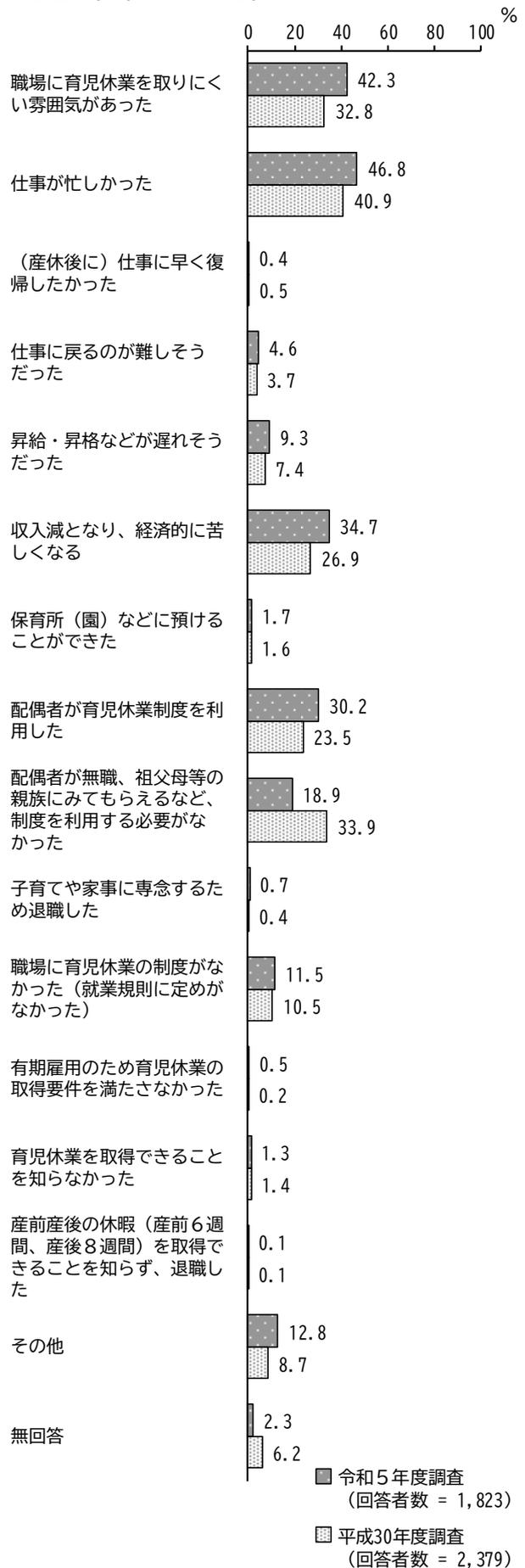
平成30年度調査と比較すると、「101日~200日」の割合が増加しています。



イ. 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）

「仕事が忙しかった」の割合が46.8%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が42.3%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が34.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」、「仕事が忙しかった」、「収入減となり、経済的に苦しくなる」、「配偶者が育児休業制度を利用した」の割合が増加しています。一方、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が減少しています。



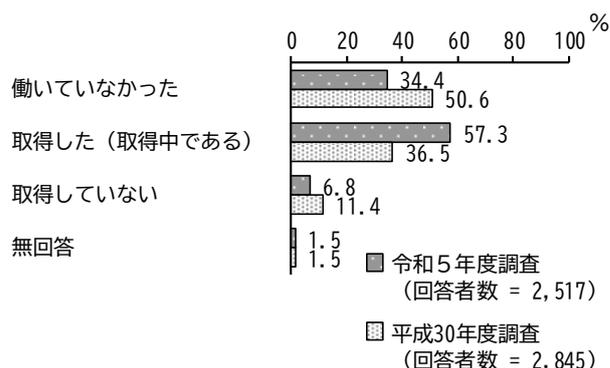
【その他の主な意見】

- ・代わりに有給を取得したため
- ・転職してすぐだったため。
- ・育児休業を取得する考えが無かった
- ・育休という程ではありません
- ・転職をして間もなかったため
- ・取得するという選択肢がなかった。
- ・自営業でも休業手当がほしい！！
- ・転職したばかりだった為。
- ・日本に住んでいなかったため
- ・自営業のため休むことは考えなかった

母親（いずれかに○）

「取得した（取得中である）」の割合が57.3%と最も高く、次いで「働いていなかった」の割合が34.4%となっています。

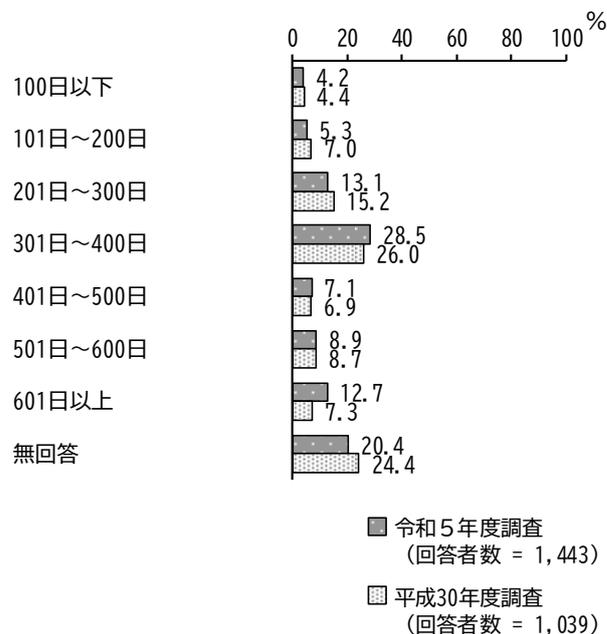
平成30年度調査と比較すると、「取得した（取得中である）」の割合が増加しています。一方、「働いていなかった」の割合が減少しています。



ア. 取得期間

「301日～400日」の割合が28.5%と最も高く、次いで「201日～300日」の割合が13.1%、「601日以上」の割合が12.7%となっています。

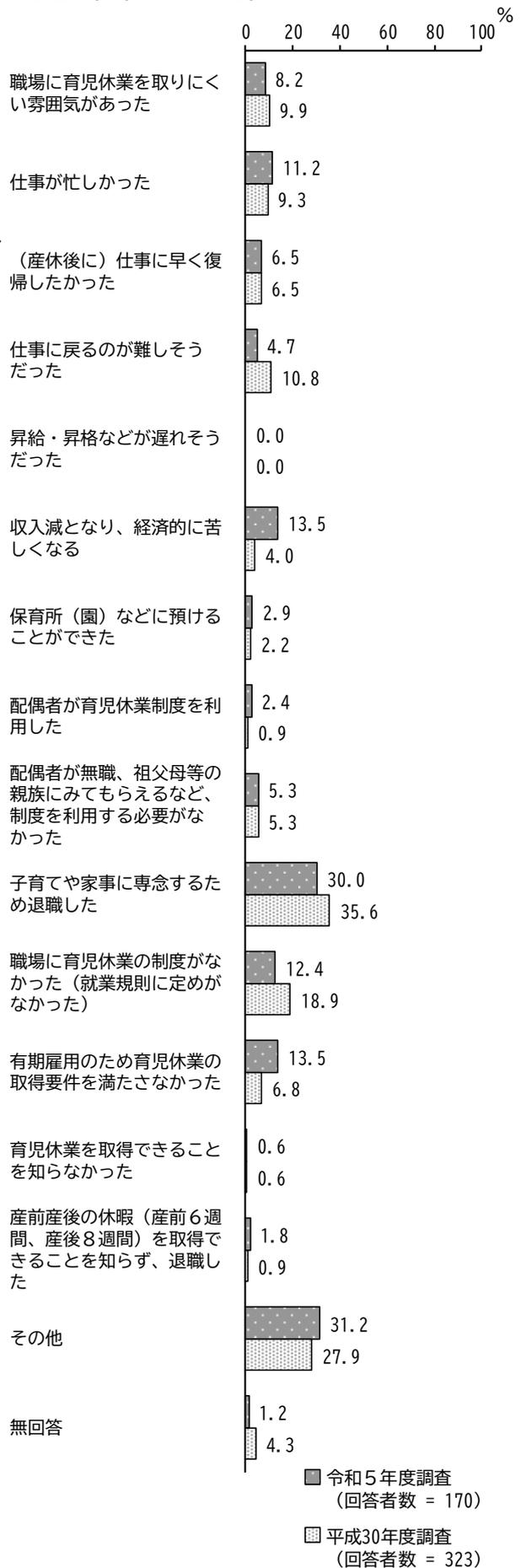
平成30年度調査と比較すると、「601日以上」の割合が増加しています。



イ. 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）

「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が30.0%と最も高く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」、「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」の割合が13.5%となっています。

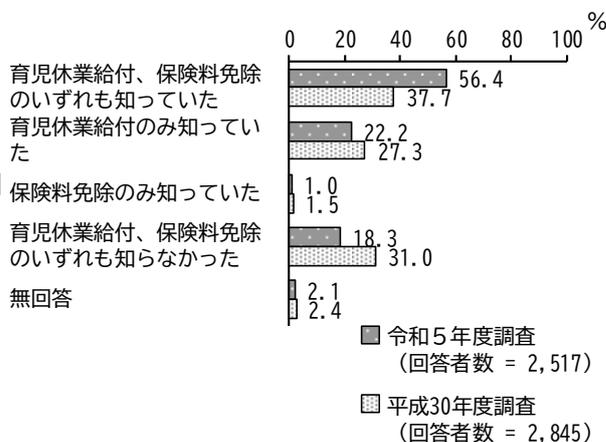
平成30年度調査と比較すると、「収入減となり、経済的に苦しくなる」、「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」の割合が増加しています。一方、「仕事に戻るのが難しそうだった」、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が減少しています。



問 32-1 こどもが原則1歳（保育所（園）における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は最長2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、及び、こどもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間を設けた育児休業に準ずる措置）の期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。（1つだけに○）

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が56.4%と最も高く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」の割合が22.2%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が18.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が増加しています。一方、「育児休業給付のみ知っていた」、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が減少しています。



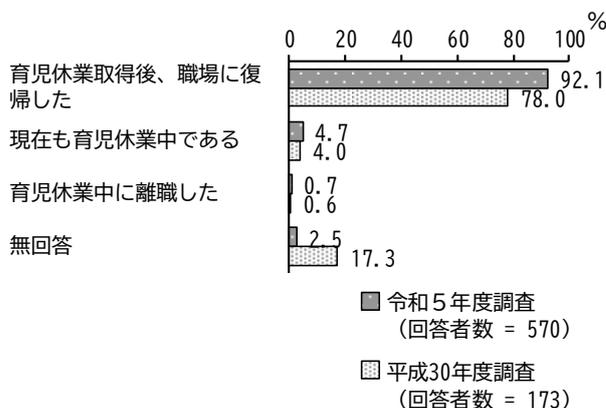
育児休業を取得した（取得中である）父親もしくは母親についてだけお答えください。

問 32-2 問 32で「2 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（1つだけに○）

(1) 父親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が92.1%と最も高くなっています。

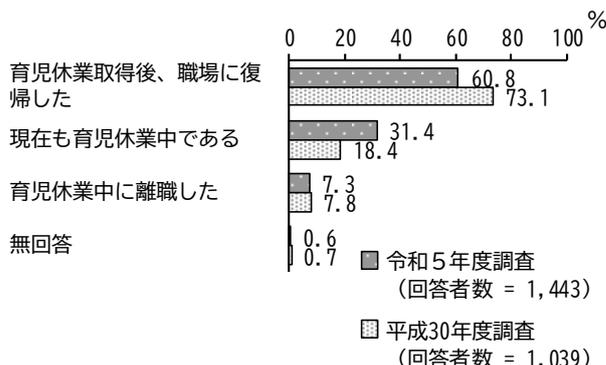
平成30年度調査と比較すると、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が増加しています。



(2) 母親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が60.8%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が31.4%となっています。

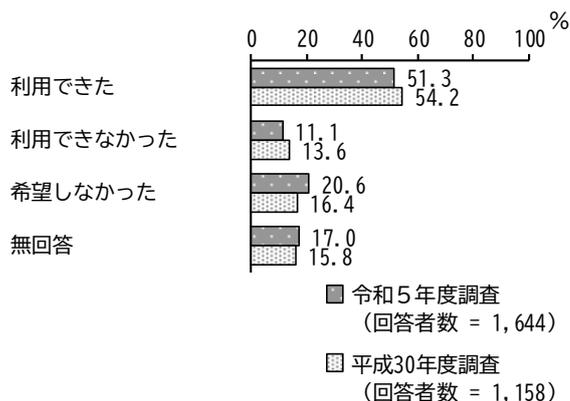
平成30年度調査と比較すると、「現在も育児休業中である」の割合が増加しています。一方、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が減少しています。



問 32-3 育児休業制度を利用した方にかがいます。育児休業あけに希望する保育サービス（認可保育所等）を利用できましたか。（1つだけに○）

「利用できた」の割合が51.3%と最も高く、次いで「希望しなかった」の割合が20.6%、「利用できなかった」の割合が11.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

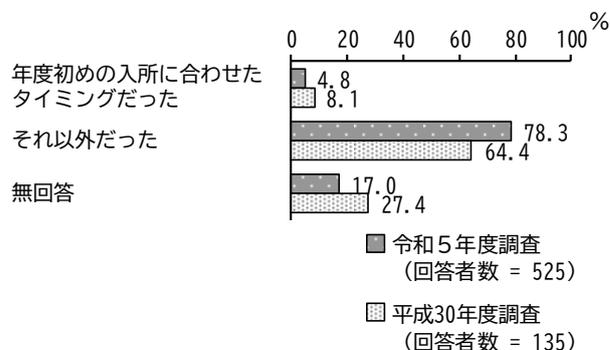


問 32-4 問 32-2で「1 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所（園）入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（1つだけに○）※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所（園）に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

(1) 父親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が4.8%、「それ以外だった」の割合が78.3%となっています。

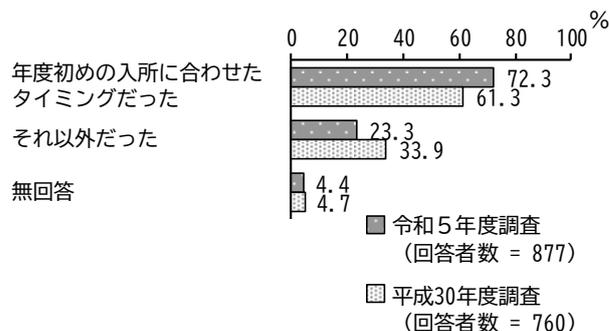
平成30年度調査と比較すると、「それ以外だった」の割合が増加しています。



(2) 母親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が72.3%、「それ以外だった」の割合が23.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が増加しています。一方、「それ以外だった」の割合が減少しています。



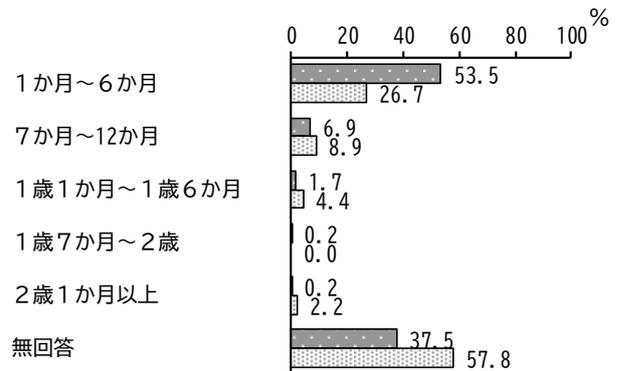
問 32-5 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。(() 内に数字を記入)

(1) 父親

ア. 実際の取得期間

「1か月～6か月」の割合が53.5%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「1か月～6か月」の割合が増加しています。

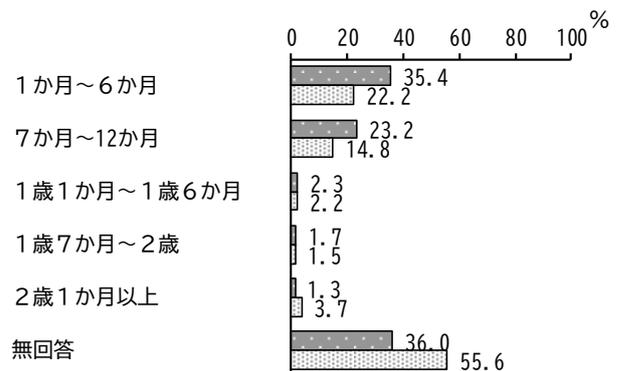


■ 令和5年度調査
(回答者数 = 525)
 □ 平成30年度調査
(回答者数 = 135)

イ. 希望の取得期間

「1か月～6か月」の割合が35.4%と最も高く、次いで「7か月～12か月」の割合が23.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1か月～6か月」、「7か月～12か月」の割合が増加しています。



■ 令和5年度調査
(回答者数 = 525)
 □ 平成30年度調査
(回答者数 = 135)

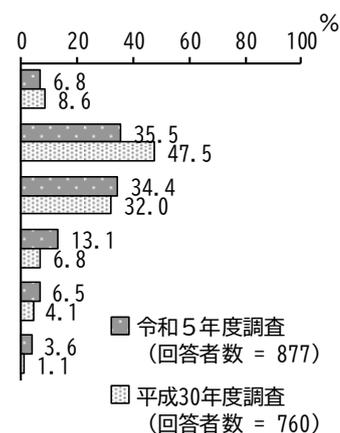
(2) 母親

ア. 実際の取得期間

「7か月～12か月」の割合が35.5%と最も高く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」の割合が34.4%、「1歳7か月～2歳」の割合が13.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1歳7か月～2歳」の割合が増加しています。一方、「7か月～12か月」の割合が減少しています。

1か月～6か月
7か月～12か月
1歳1か月～1歳6か月
1歳7か月～2歳
2歳1か月以上
無回答

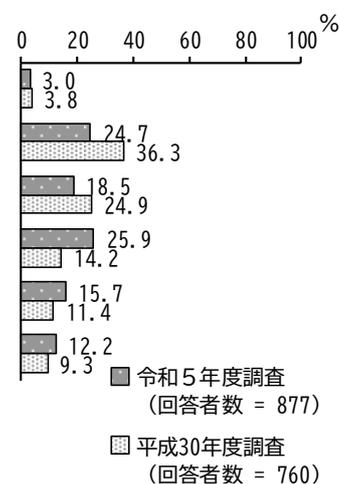


イ. 希望の取得期間

「1歳7か月～2歳」の割合が25.9%と最も高く、次いで「7か月～12か月」の割合が24.7%、「1歳1か月～1歳6か月」の割合が18.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1歳7か月～2歳」の割合が増加しています。一方、「7か月～12か月」、「1歳1か月～1歳6か月」の割合が減少しています。

1か月～6か月
7か月～12か月
1歳1か月～1歳6か月
1歳7か月～2歳
2歳1か月以上
無回答



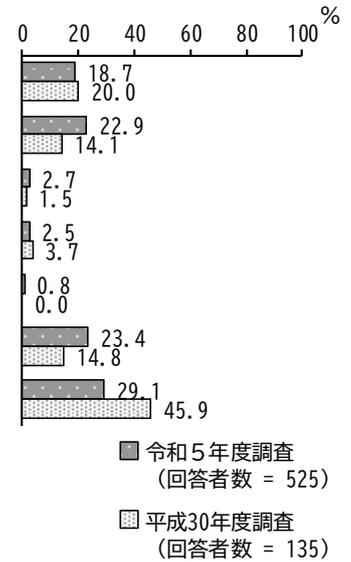
問 32-6 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。(() 内に数字を記入)

(1) 父親

「2歳7か月～3歳」の割合が23.4%と最も高く、次いで「7か月～12か月」の割合が22.9%、「1か月～6か月」の割合が18.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「7か月～12か月」、「2歳7か月～3歳」の割合が増加しています。

1か月～6か月	18.7
7か月～12か月	22.9
1歳1か月～1歳6か月	2.7
1歳7か月～2歳	2.5
2歳1か月～2歳6か月	0.8
2歳7か月～3歳	23.4
無回答	29.1

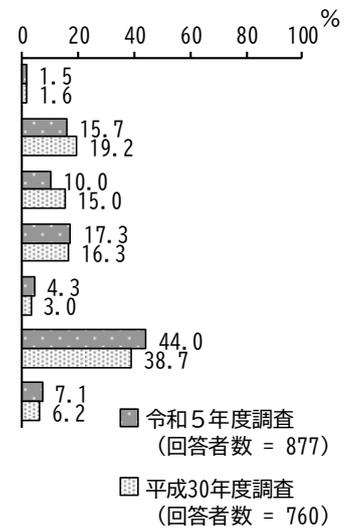


(2) 母親

「2歳7か月～3歳」の割合が44.0%と最も高く、次いで「1歳7か月～2歳」の割合が17.3%、「7か月～12か月」の割合が15.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2歳7か月～3歳」の割合が増加しています。

1か月～6か月	1.5
7か月～12か月	15.7
1歳1か月～1歳6か月	10.0
1歳7か月～2歳	17.3
2歳1か月～2歳6か月	4.3
2歳7か月～3歳	44.0
無回答	7.1



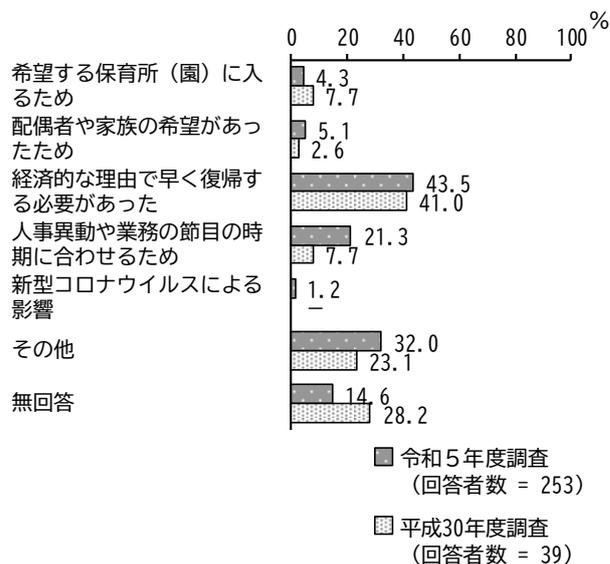
問 32-7 問 32-5 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。
希望の時期に職場復帰しなかった理由をお答えください。

(1) 「希望」より早く復帰した方 (あてはまるものすべてに○)

①父親

「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 43.5% と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 21.3% となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が増加しています。



※前回調査では、「新型コロナウイルスによる影響」の選択肢はありませんでした。

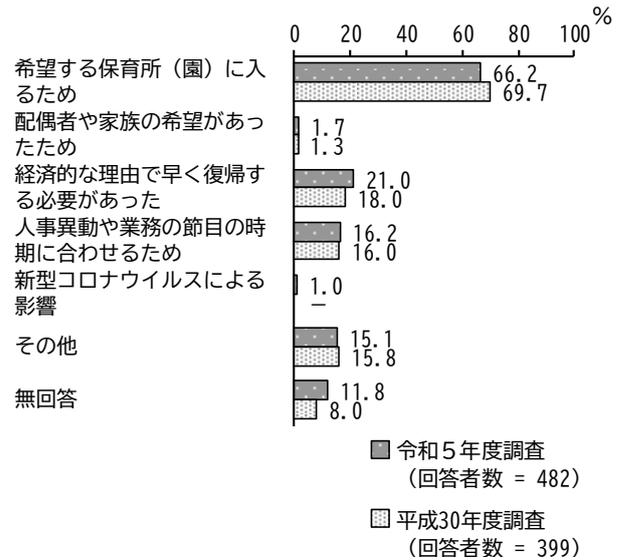
【その他の主な意見】

- ・職場の人が不足のため
- ・長期間、育休をとりにくかった
- ・それ以上取得できなかった。
- ・長く取得できない、単発の育休
- ・職場の人手が足りない為。
- ・代替要員がないため。
- ・育休が取得しづらかったため
- ・職場にとりにくい雰囲気がある。
- ・職場が人手不足のため
- ・あまり長く休むことが出来ないため

②母親

「希望する保育所（園）に入るため」の割合が66.2%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が21.0%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が16.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※前回調査では、「新型コロナウイルスによる影響」の選択肢はありませんでした。

【その他の主な意見】

- ・ いずれの保育所にも入所できなかったため
- ・ 上の子が退園になってしまうため。
- ・ 上の子と同じ園にするため。
- ・ 入園しないと兄弟が退園となるため。
- ・ 別にしたい仕事を見つけたから
- ・ 育休が長ければ長いほど復帰しにくい。
- ・ 子どもともう少し一緒にいたかったので。
- ・ 保育所に入れなかった可能性が高かったため
- ・ 兄と同じ認可園に入れたかったため。
- ・ 兄たちの保育園入所を継続したかったため。

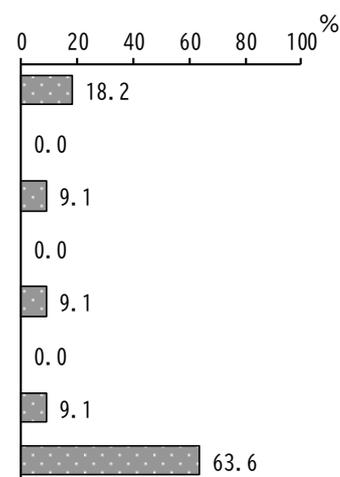
(2)「希望」より遅く復帰した方（あてはまるものすべてに○）

①父親

「希望する保育所（園）に入れなかったため」の割合が18.2%と最も高くなっています。

回答者数 = 11

- 希望する保育所（園）に入れなかったため
- 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
- 配偶者や家族の希望があったため
- 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
- 子どもをみてくれる人がいなかったため
- 新型コロナウイルスによる影響
- その他
- 無回答



【その他の意見】

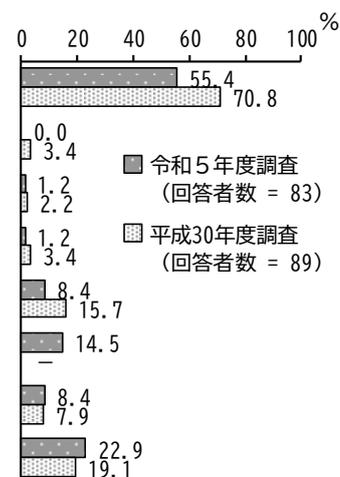
- ・待機児童だった

②母親

「希望する保育所（園）に入れなかったため」の割合が55.4%と最も高く、次いで「新型コロナウイルスによる影響」の割合が14.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「希望する保育所（園）に入れなかったため」、「子どもをみてくれる人がいなかったため」の割合が減少しています。

- 希望する保育所（園）に入れなかったため
- 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
- 配偶者や家族の希望があったため
- 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
- 子どもをみてくれる人がいなかったため
- 新型コロナウイルスによる影響
- その他
- 無回答



※前回調査では、「新型コロナウイルスによる影響」の選択肢はありませんでした。

【その他の主な意見】

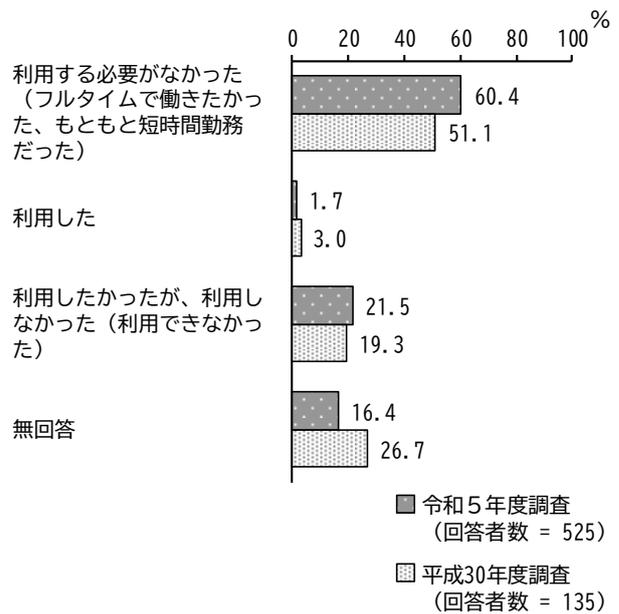
- ・業務の節目に合わせたため
- ・年子で出産したため
- ・就労先を探さないといけなかったため
- ・夫の転勤について行く必要があったため
- ・年度に合わせた
- ・第二子妊娠したため
- ・弟が産まれたので
- ・希望とかなかった。
- ・RSウイルスの影響
- ・第二子妊娠のため

問 32-8 問 32-2 で「1 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にかかっています。育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。
(1つだけに○)

(1) 父親

「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が 60.4%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が 21.5%となっています。

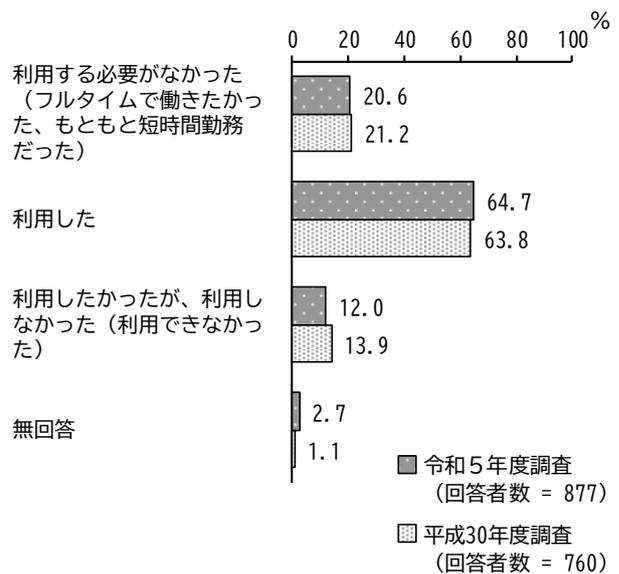
平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が増加しています。



(2) 母親

「利用した」の割合が 64.7%と最も高く、次いで「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が 20.6%、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が 12.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

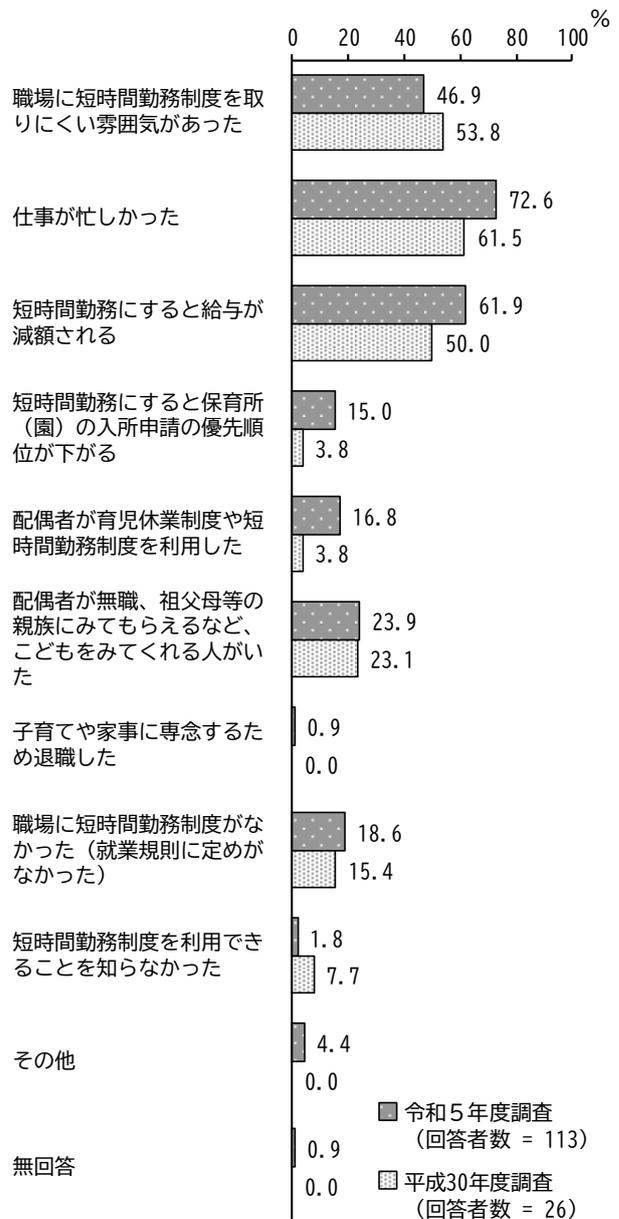


問 32-9 問 32-8で「3 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

(1) 父親

「仕事が忙しかった」の割合が72.6%と最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が61.9%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が46.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「仕事が忙しかった」、「短時間勤務にすると給与が減額される」、「短時間勤務にすると保育所（園）の入所申請の優先順位が下がる」、「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」の割合が増加しています。一方、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」、「短時間勤務制度を利用できることを知らなかった」の割合が減少しています。



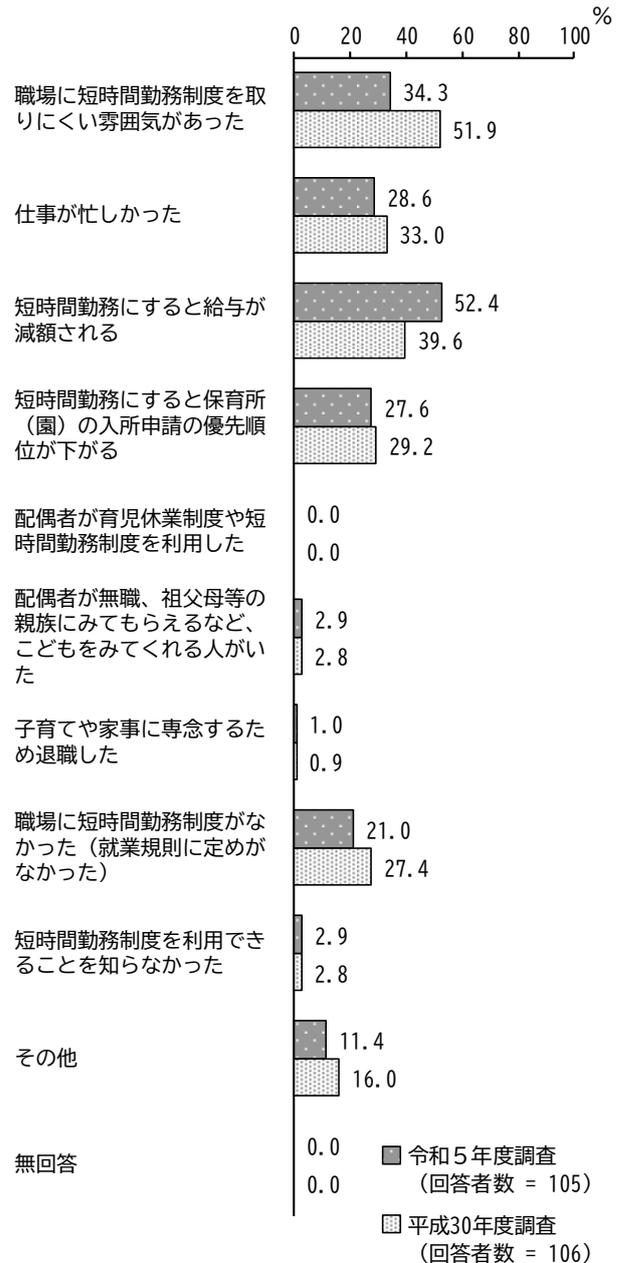
【その他の意見】

- ・ 自営業の為
- ・ 年俸制のため、そもそも考えがない。
- ・ その制度があるかどうか不明だった
- ・ 本来ある制度なのであろうけど上司が取らせてくれないので相談すらしなかった。
- ・ 当直勤務のため
- ・ 自営業の為仕事時間がへると収入も減るので働かざるをえなかった
- ・ もともと父はそのつもりはなかった。収入もへってしまうため。
- ・ 自営業の為制度を利用せず働いている
- ・ 職場の人が不足のため
- ・ 2交代制の勤務のため事実上不可能

(2) 母親

「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が52.4%と最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が34.3%、「仕事が忙しかった」の割合が28.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が増加しています。一方、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」、「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が減少しています。



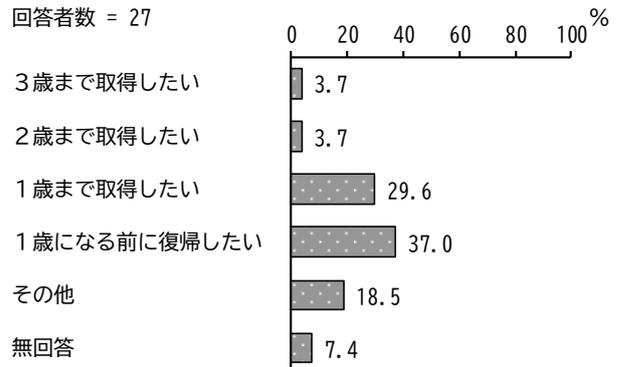
【その他の主な意見】

- ・ 転職してパートになったため
- ・ また給与が減るのが嫌だった
- ・ 子をみるために配偶者が退職した。
- ・ シフト制のフルタイムパートなので
- ・ 復帰2ヶ月後に産休取得予定だったため。
- ・ 難病で入院していた。
- ・ 7時間勤務のため、時短にする必要がない
- ・ フリーランスの為必要なかった。
- ・ フルタイムで働くと家事等に支障が出るから
- ・ 全付4度職員で週29時間勤務だったから。

問 32-10 問 32-2で「2 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。
いつまで育児休業を取得したいですか。(1つだけに○)

(1) 父親

「1歳になる前に復帰したい」の割合が37.0%と最も高く、次いで「1歳まで取得したい」の割合が29.6%となっています。

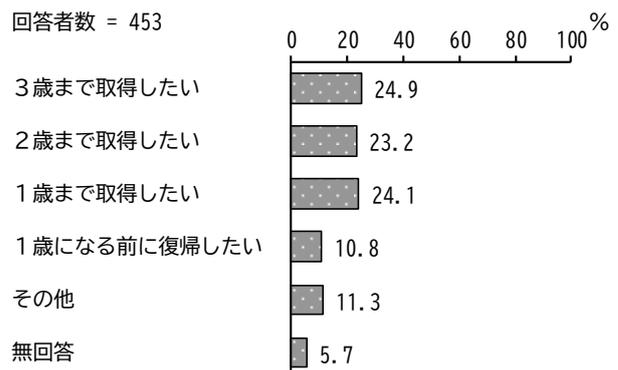


【その他の意見】

- ・ 育休なし
- ・ 仕事復帰している。
- ・ 半年間
- ・ 子供の病気が治るまで
- ・ 経済的に余裕があれば最大年数取得したい
- ・ 1才半まで取得したい
- ・ 母親が、大変なときに休んでほしい
- ・ 保育園入所が確保できたら復職したいと考えていたが、妻が職場復帰を職場から拒否されたため、保育園入所は困難になり、どうしたらいいかわからない。
- ・ 2人目出産後1ヶ月間取得中その後は希望なし
- ・ 新生児～最低でも1ヶ月、2、3ヶ月とってもらえると助かる残業をなしにし、定時で帰らせてほしい!!!

(2) 母親

「3歳まで取得したい」の割合が24.9%と最も高く、次いで「1歳まで取得したい」の割合が24.1%、「2歳まで取得したい」の割合が23.2%となっています。



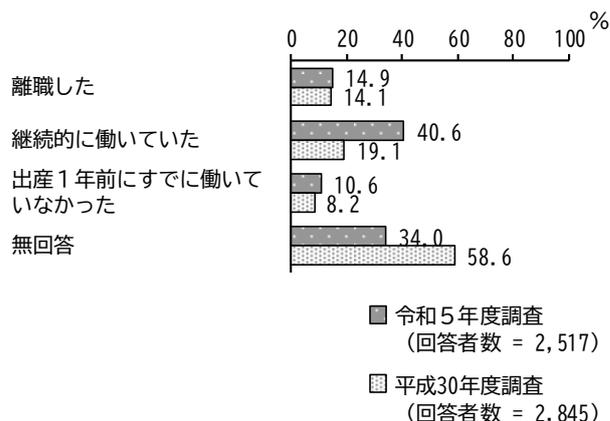
【その他の主な意見】

- ・ 希望の園が決まれば復帰したい
- ・ 4月入園に合わせて復帰したい。
- ・ 新年度のかわりめまで取得したい。
- ・ 保育園に入れればすぐに復職したい
- ・ 幼稚園入園まで(4歳)取得したい
- ・ 良い保育園に入れるまで(1才以降)
- ・ もう今すぐにでも復帰したいです。
- ・ 1歳の4月まで取得したい。
- ・ 3歳まで取得したいが経済的に無理。
- ・ 現在も休業中(1歳3ヶ月)

問 33 宛名のお子さんの出産前後（前後それぞれ1年以内）に母親は離職しましたか。（1つだけに○）

「継続的に働いていた」の割合が40.6%と最も高く、次いで「離職した」の割合が14.9%、「出産1年前にすでに働いていなかった」の割合が10.6%となっています。

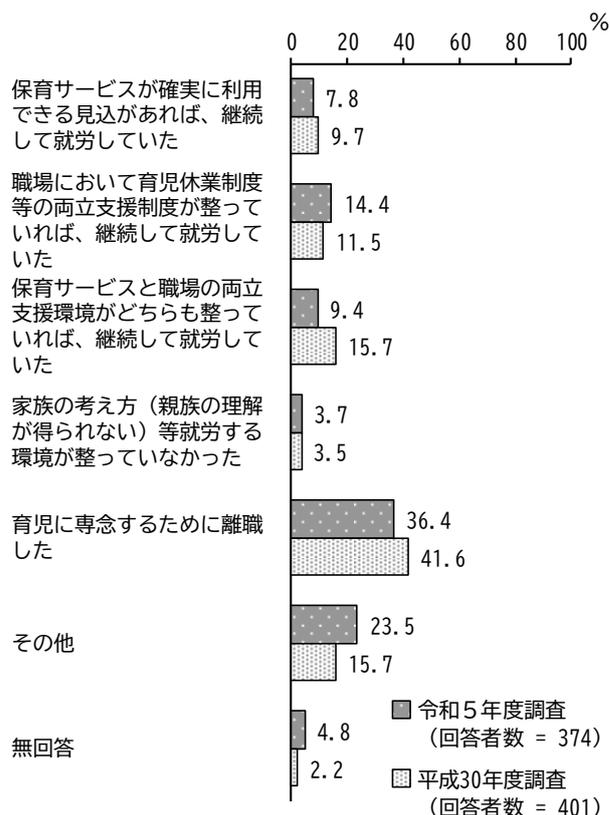
平成30年度調査と比較すると、「継続的に働いていた」の割合が増加しています。



問 34 問 33 で「1 離職した」と回答した方にうかがいます。当時の状況は次のどれに当たりますか。（1つだけに○）

「育児に専念するために離職した」の割合が36.4%と最も高く、次いで「職場において育児休業制度等の両立支援制度が整っていれば、継続して就労していた」の割合が14.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた」、「育児に専念するために離職した」の割合が減少しています。



【その他の主な意見】

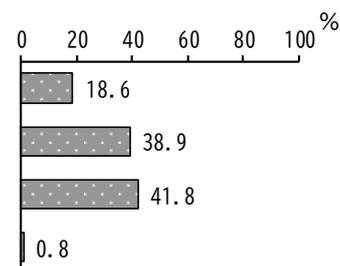
- ・派遣だったため離職となった。
- ・バイトだったため継続できなかった。
- ・新型コロナウイルスの影響で、仕事なくなった
- ・引越しのため通勤できなくなった
- ・満員電車での1時間半の通勤がつかった。
- ・コロナ感染のリスクがあるため離職した。
- ・職場が遠いので離職した。
- ・第2子を妊娠したので、むずかしかった。
- ・育児とは別で本人の体調不良のため
- ・質問の意味が分かりません。

(11) こどもの権利について

問 35 あなたは、「こども基本法」を知っていますか。(1つだけに○)

「知らなかった」の割合が41.8%と最も高く、次いで「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が38.9%、「名前も内容も知っている」の割合が18.6%となっています。

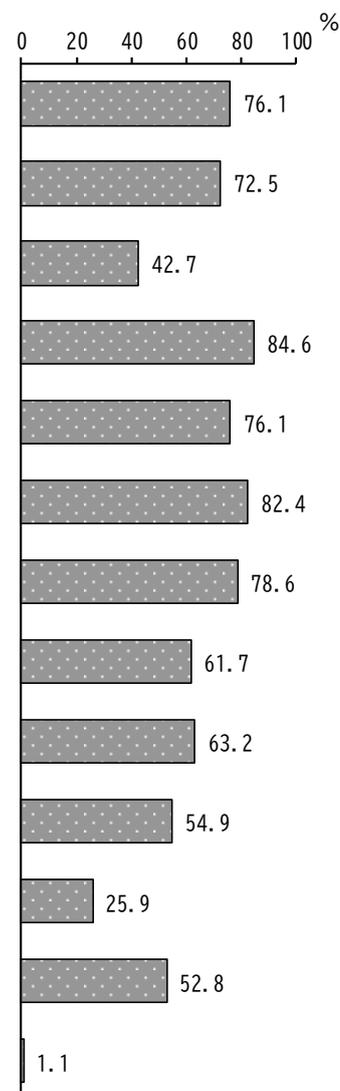
回答者数 = 2,517



問 36 こどもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「言葉や暴力で傷つけられないこと」の割合が84.6%と最も高く、次いで「自分の考えを自由に言えること」の割合が82.4%、「人と違う自分らしさが認められること」の割合が78.6%となっています。

回答者数 = 2,517

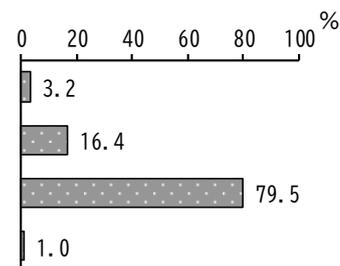


問 37 茅ヶ崎市はこどもの意見を施策に反映できる環境にあると思いますか。
(1つだけに○)

「わからない」の割合が79.5%と最も高く、次いで「できていない」の割合が16.4%となっています。

回答者数 = 2,517

できている
できていない
わからない
無回答

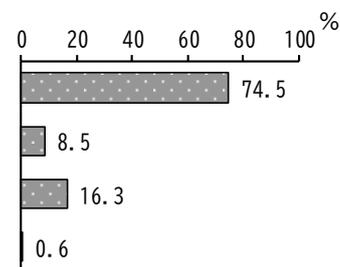


問 38 あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。(1つだけに○)

「名前も内容も知っている」の割合が74.5%と最も高く、次いで「知らなかった」の割合が16.3%となっています。

回答者数 = 2,517

名前も内容も知っている
名前は知っているが内容は知らなかった
知らなかった
無回答

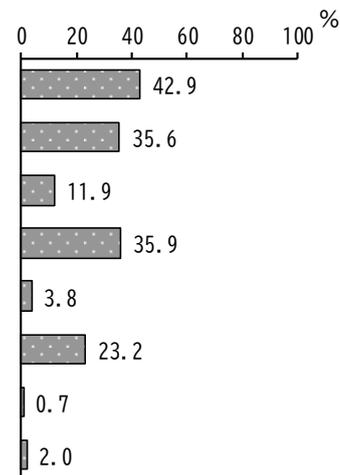


問 39 あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応をしますか。(あてはまるものすべてに○)

「本人に様子を聞く」の割合が42.9%と最も高く、次いで「関係機関に相談する」の割合が35.9%、「家族、知人、友人に相談する」の割合が35.6%となっています。

回答者数 = 2,517

本人に様子を聞く
家族、知人、友人に相談する
先生や部活の顧問等に相談する
関係機関に相談する
何もしない
わからない
その他
無回答



【その他の主な意見】

- ・状況により関係機関に相談するようすすめる。
- ・安易に対応せず然るべき方に伝える
- ・こちらから聞くことはしない。
- ・その本人と自分との関係性によります。
- ・相談されれば協力するが、自らは何もしない
- ・できる範囲のことは手助けしてあげたい
- ・関係性によってことなる対応となる。
- ・その子との関係の深さによる
- ・対応出来る事は全て対応しています。
- ・何か手助けできないか動く

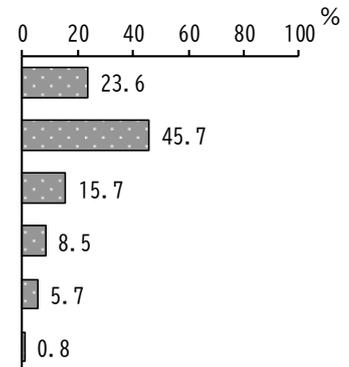
(12) こどもの育ちをめぐる環境について

問 40 あなたは、こどもを育てている現在の生活に、満足していますか。
(1つだけに○)

「どちらかといえば満足している」の割合が45.7%と最も高く、次いで「満足している」の割合が23.6%、「どちらともいえない」の割合が15.7%となっています。

回答者数 = 2,517

満足している
どちらかといえば満足している
どちらともいえない
どちらかといえば満足していない
満足していない
無回答



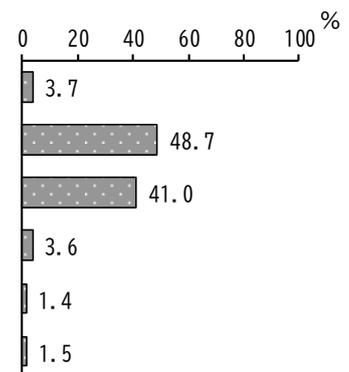
問 41 あなたにとって理想的なこどもの人数は何人ですか。また、あなたは現実的に何人のこどもを持つことができそうですか。「①理想的なこどもの人数」、「②現実的に持つことができそうなこどもの数」をそれぞれ数字で記入してください。

①理想的なこどもの人数

「2人」の割合が48.7%と最も高く、次いで「3人」の割合が41.0%となっています。

回答者数 = 2,517

1人
2人
3人
4人
5人以上
無回答

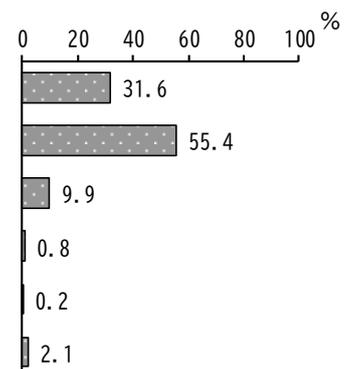


②現実的に持つことができそうなこどもの数

「2人」の割合が55.4%と最も高く、次いで「1人」の割合が31.6%となっています。

回答者数 = 2,517

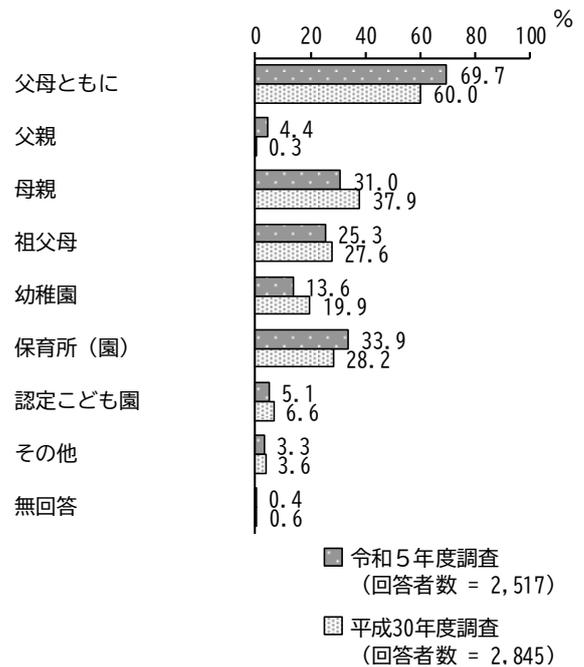
1人
2人
3人
4人
5人以上
無回答



問 42 宛名のお子さんの子育てに日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまるものすべてに○）

「父母ともに」の割合が 69.7%と最も高く、次いで「保育所（園）」の割合が 33.9%、「母親」の割合が 31.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「父母ともに」、「保育所（園）」の割合が増加しています。一方、「母親」、「幼稚園」の割合が減少しています。



【その他の主な意見】

- ・ 児童センター
- ・ 発達支援
- ・ 下の子
- ・ 延長保育
- ・ 児発
- ・ 母方親族
- ・ つつじ学園
- ・ 曾祖父母
- ・ 叔父叔母
- ・ 認可外

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで「保育所（園）」の割合が高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中であるで「母親」の割合が減少しています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	父母ともに	父親	母親	祖父母	幼稚園	保育所 (園)	認定こども園	その他	無回答
全体	2,513	69.8	4.3	31.0	25.3	13.6	33.9	5.1	3.3	0.4
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	695	76.0	4.9	22.9	26.9	3.7	70.6	7.9	2.7	0.4
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	482	73.4	4.8	28.6	23.7	1.9	14.1	1.0	2.7	0.4
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	486	69.3	3.5	31.5	28.4	21.6	46.7	6.8	3.7	0.2
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	58	60.3	8.6	44.8	17.2	3.4	12.1	—	3.4	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	703	63.6	3.7	38.1	23.6	26.3	4.1	4.3	3.7	0.4
これまで就労したことがない	22	63.6	4.5	36.4	9.1	22.7	9.1	9.1	9.1	—

【平成30年度調査】

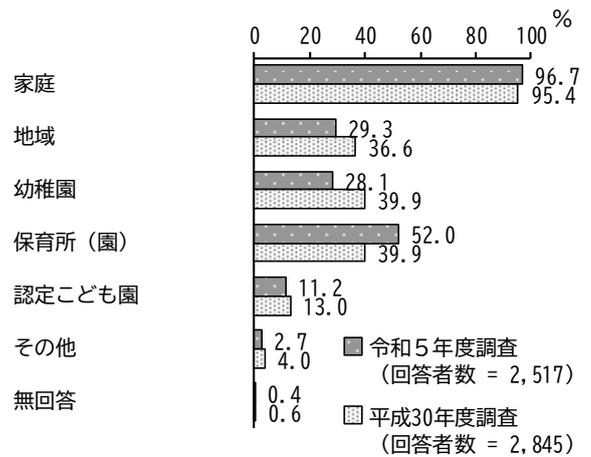
単位：％

区分	回答者数 (件)	父母ともに	父親	母親	祖父母	幼稚園	保育所 (園)	認定こども園	その他	無回答
全体	2,845	60.0	0.3	37.9	27.6	19.9	28.2	6.6	3.6	0.6
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	682	69.9	0.3	29.5	33.4	2.3	71.7	6.7	3.4	0.9
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	234	69.2	—	41.2	28.2	0.9	26.1	3.8	3.0	—
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	590	56.8	—	34.1	29.0	27.3	34.9	8.1	3.7	0.7
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	44	65.9	—	44.8	25.0	11.4	31.8	2.3	4.5	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	1200	54.3	—	40.6	23.0	29.1	1.8	6.4	3.6	0.6
これまで就労したことがない	69	59.4	—	29.5	31.9	40.6	—	4.3	4.3	—

問 43 宛名のお子さんの子育てに、特に影響すると思われる環境をお答えください。
 (あてはまるものすべてに○)

「家庭」の割合が 96.7%と最も高く、次いで「保育所(園)」の割合が 52.0%、「地域」の割合が 29.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「保育所(園)」の割合が増加しています。一方、「地域」、「幼稚園」の割合が減少しています。



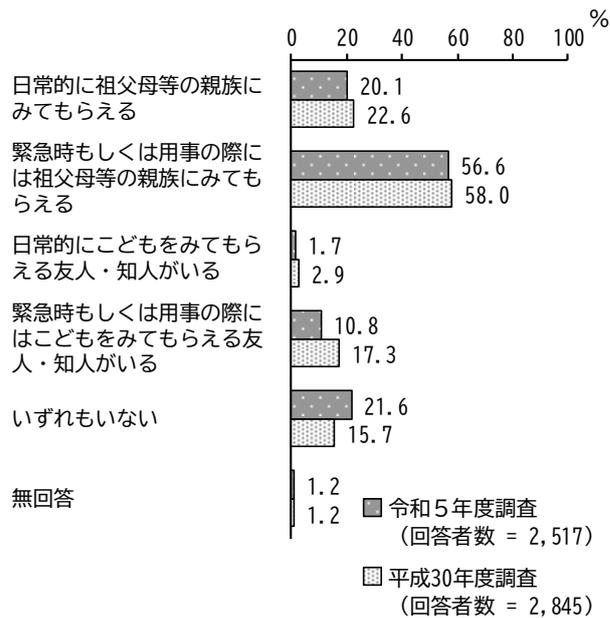
【その他の主な意見】

- ・ 児童発達支援
- ・ 周囲の環境
- ・ テレビ、動画
- ・ 習い事などのコミュニティ
- ・ 習い事の先生
- ・ 親せき、塾
- ・ 友人、グループ
- ・ たんぽぽはうす
- ・ 母の職場
- ・ 祖父母の家

問 44 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。
(あてはまるものすべてに○)

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が56.6%と最も高く、次いで「いずれもない」の割合が21.6%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が20.1%となっています。

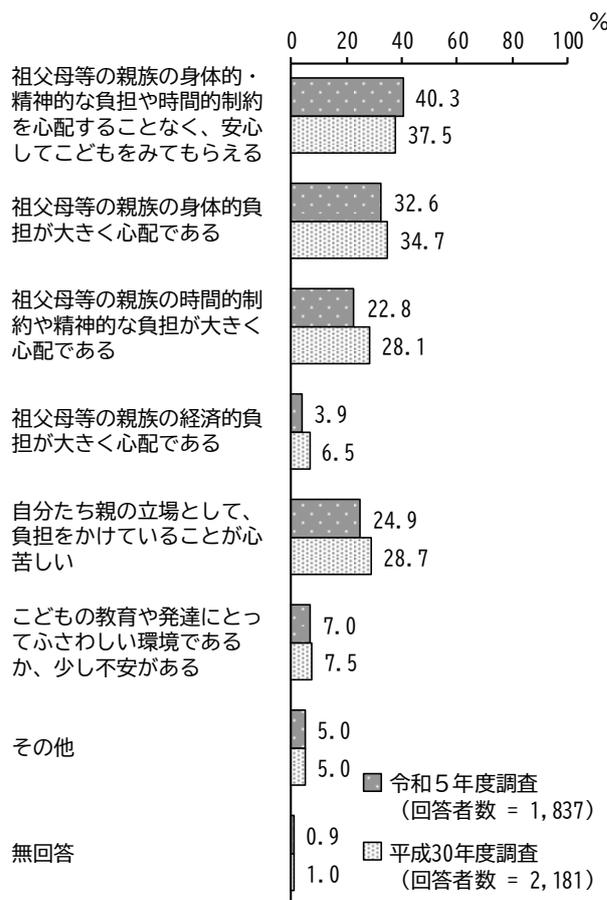
平成30年度調査と比較すると、「いずれもない」の割合が増加しています。一方、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が減少しています。



問44-1 問44で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が40.3%と最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」の割合が32.6%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が24.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が減少しています。



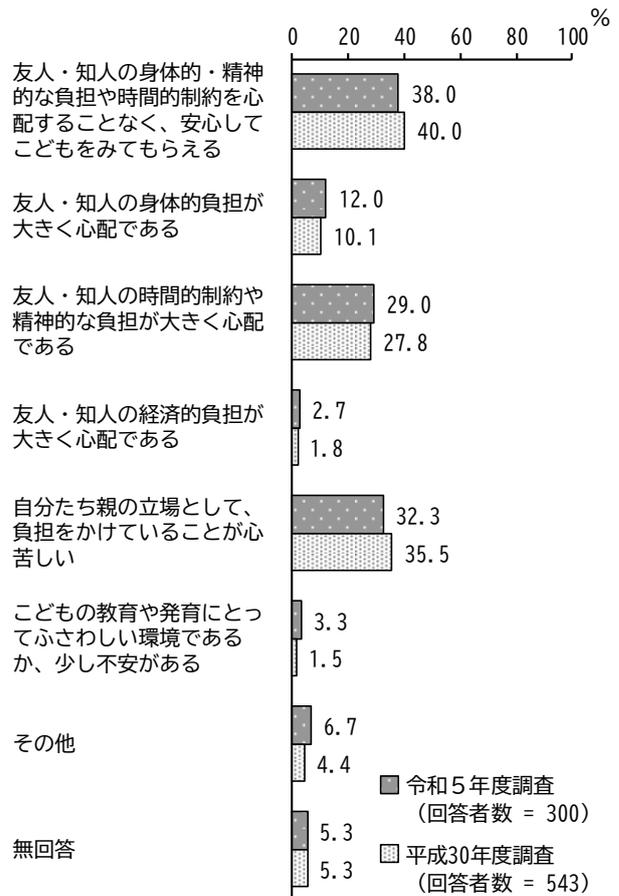
【その他の主な意見】

- ・家が遠いため頻繁にはみてもらえない
- ・まだみてもらったことは無いのでわからない
- ・遠距離のため預けること自体負担だが仕方ない
- ・基本的に両祖父母働いているため頼みづらい
- ・遠距離移動の負担が大きく心配である、心苦しい
- ・よほどのことがない限りみてもらえない1年1回以下
- ・負担が出ない範囲でお願いしている。
- ・短時間（3時間が限度）のみにしている。
- ・遠方のため、あずけたことはない。
- ・基本は父母で子育てをしている。

問44-2 問44で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が38.0%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が32.3%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が29.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【その他の主な意見】

- ・お互い様無理ない範囲でお願いしている。
- ・母の実姉やおいっ子なので不安なし
- ・まだみてもらったことはない
- ・数年に1度あるか、ないかなのでなんとも…。
- ・まだたのんだことはないがどうしてもものときはたのめるかも
- ・友人・知人はいるが今のところみてもらったことはない。
- ・まだみてもらったことは無いのでわからない
- ・お互い様であずけあえるようにしている
- ・年に1度程度しかお願いしたことはない
- ・めったにないので特になし

問 45 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(1つだけに○)

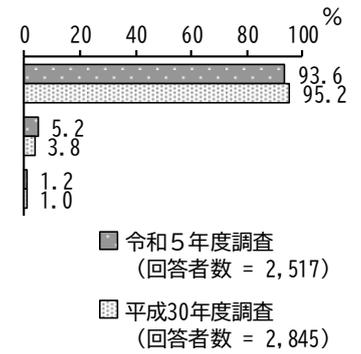
「いる／ある」の割合が93.6%、「いない／ない」の割合が5.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「いない／ない」の割合が増加しています。一方、「いる／ある」の割合が減少しています。

いる／ある

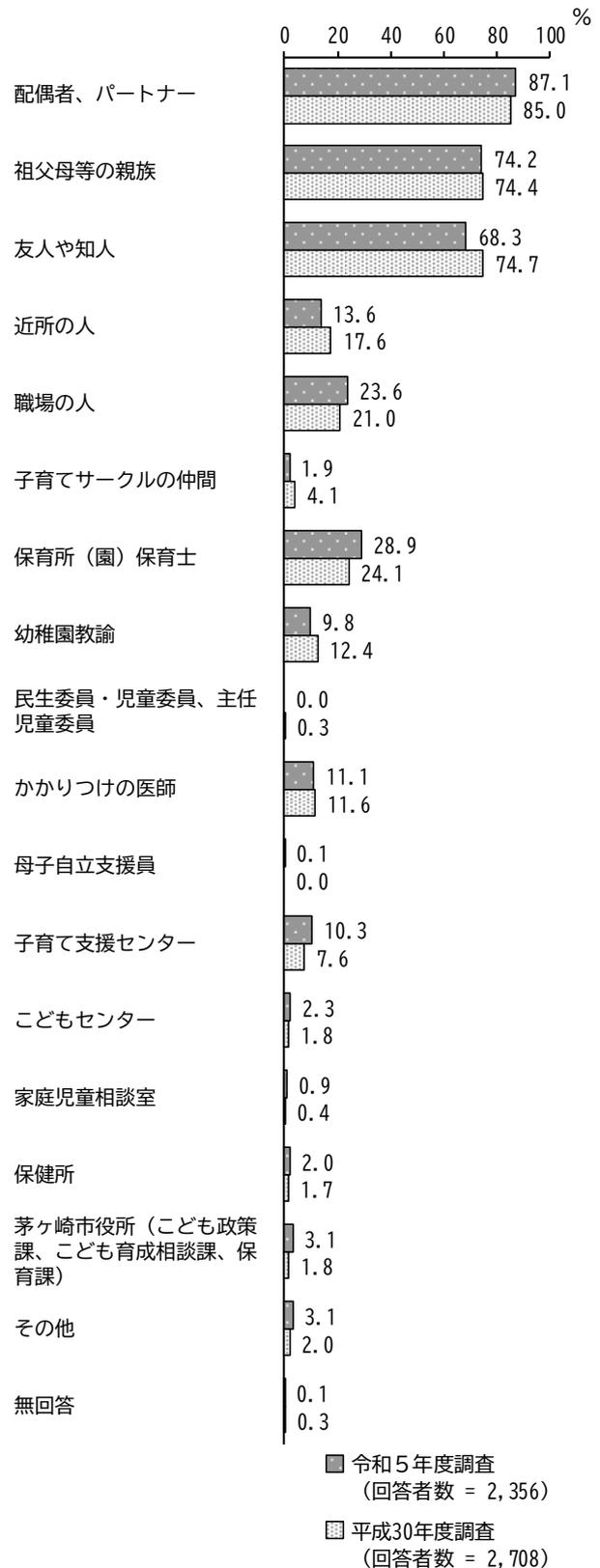
いない／ない

無回答



問 45-1 問 45 で「1 いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
（あてはまるものすべてに○）

「配偶者、パートナー」の割合が 87.1%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」の割合が 74.2%、「友人や知人」の割合が 68.3%となっています。
平成 30 年度調査と比較すると、「保育所（園）保育士」、「子育て支援センター」の割合が増加しています。一方、「友人や知人」、「近所の人」が減少しています。



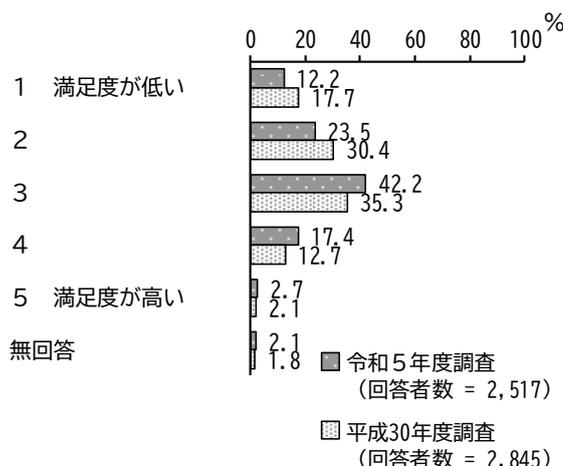
【その他の主な意見】

- ・ 訪問看護の担当の人
- ・ 産後ケアの助産師さん
- ・ 平塚の発育の専門家
- ・ 定期健診、インターネット
- ・ 親族の実母や実姉
- ・ 児童発達支援の先生
- ・ 療育の先生方
- ・ 産院の助産師さん
- ・ 養育の先生方
- ・ ファミサポの担当の人

問 46 茅ヶ崎市における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。
(1つだけに○)

「3」の割合が42.2%と最も高く、次いで「2」の割合が23.5%、「4」の割合が17.4%となっています。

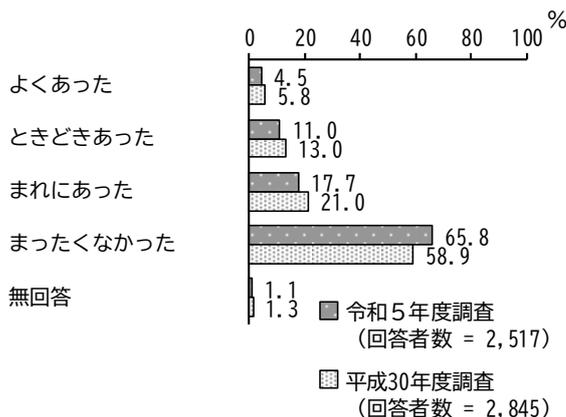
平成30年度調査と比較すると、「3」、「4」の割合が増加しています。一方、「1 満足度が低い」、「2」の割合が減少しています。



問 48 あなたの世帯では、過去1年の間に、急な出費などで家計のやりくりができないことがありましたか。(1つだけに○)

「まったくなかった」の割合が65.8%と最も高く、次いで「まれにあった」の割合が17.7%、「ときどきあった」の割合が11.0%となっています。

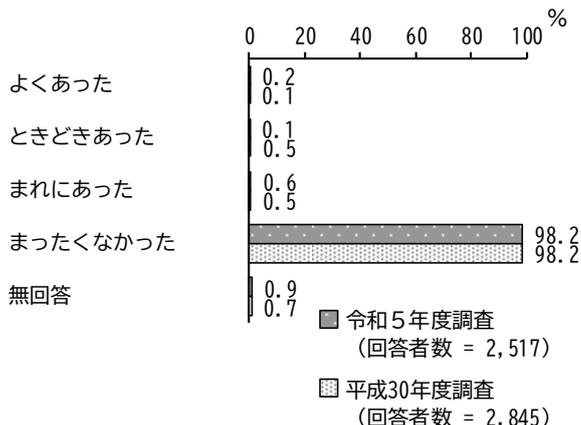
平成30年度調査と比較すると、「まったくなかった」の割合が増加しています。



問 49 あなたの世帯では、過去1年の間に、経済的な理由による料金滞納のために、電気、ガス、水道を止められたことがありましたか。(1つだけに○)

「まったくなかった」の割合が98.2%と最も高くなっています。

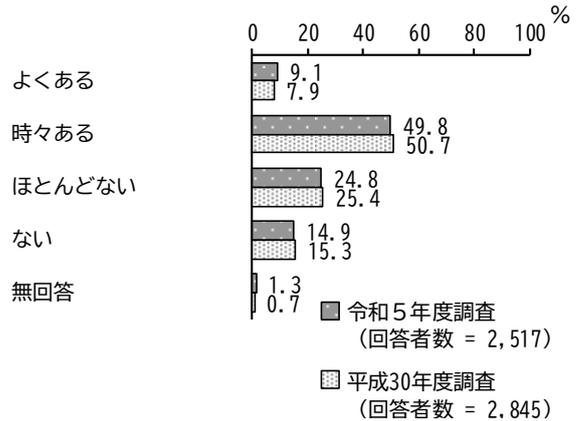
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 50 子育てでどうしてもいいかわからなくなることがありますか。(1つだけに○)

「時々ある」の割合が49.8%と最も高く、次いで「ほとんどない」の割合が24.8%、「ない」の割合が14.9%となっています。

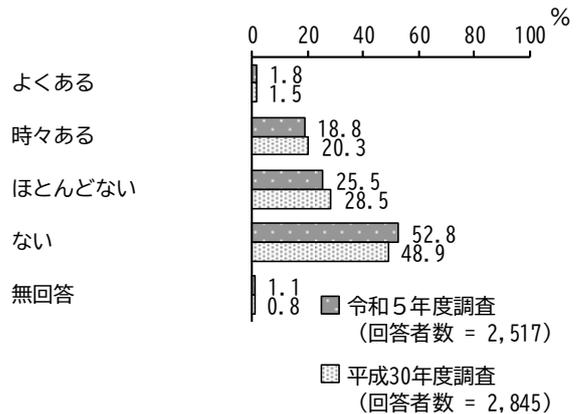
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 51 自分は、子どもを虐待してしまっているのではないかと思うことがありますか。(1つだけに○)

「ない」の割合が52.8%と最も高く、次いで「ほとんどない」の割合が25.5%、「時々ある」の割合が18.8%となっています。

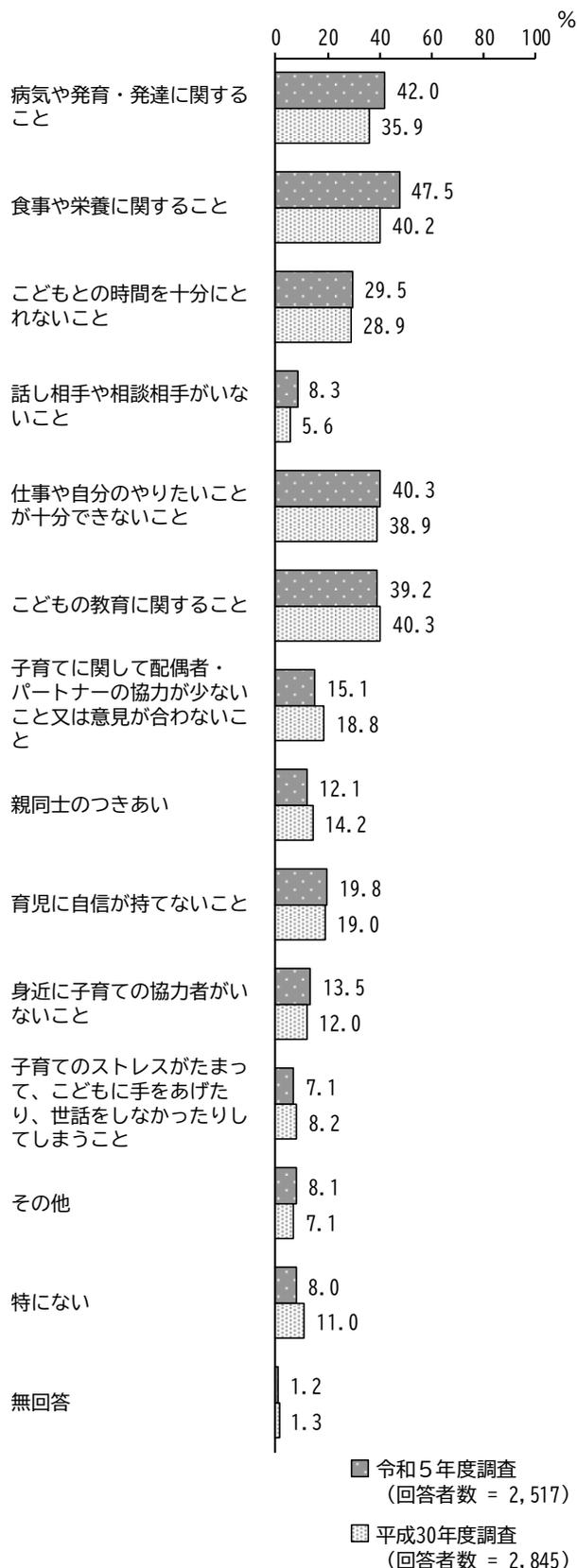
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 52 子育てに関して、日頃悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

「食事や栄養に関すること」の割合が47.5%と最も高く、次いで「病気や発育・発達に関すること」の割合が42.0%、「仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」の割合が40.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「病気や発育・発達に関すること」、「食事や栄養に関すること」の割合が増加しています。



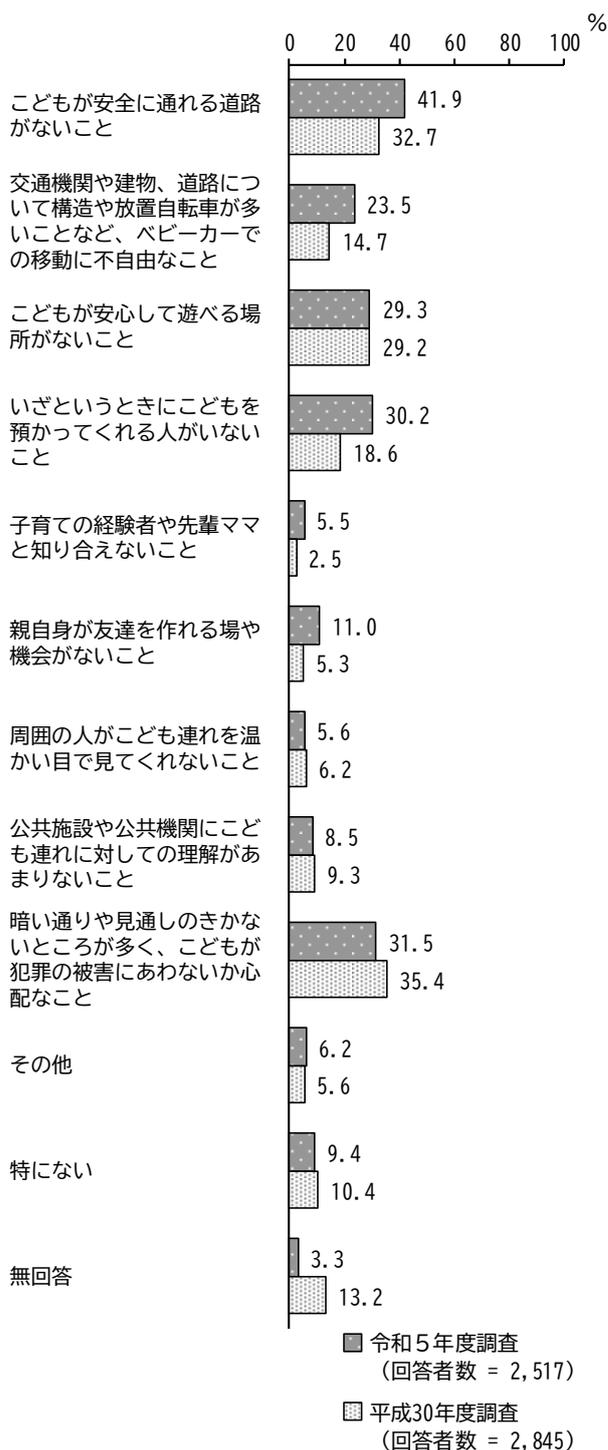
【その他の主な意見】

- ・ 厳しい言葉を言ってしまうことがある。
- ・ 自己嫌悪…泣いてしまったこともある。
- ・ 父親がいないことによる子どもへの影響
- ・ 子育てのストレスでイライラする時がある。
- ・ 自分の体調が悪くなることもある。
- ・ 厳しい口調で怒ってしまったり、する事
- ・ 寝れない、休めないことによるストレス。
- ・ 自分の病気とつきあいながら子育てをすること
- ・ 虐待なのではと思うことがある。

問 53 子育てを行っていて、特に困ること、困ったことは次のうちどれですか。
(あてはまるもの3つまでに○)

「子どもが安全に通れる道路がないこと」の割合が41.9%と最も高く、次いで「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配なこと」の割合が31.5%、「いざというときに子どもを預かってくれる人がいないこと」の割合が30.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子どもが安全に通れる道路がないこと」、「交通機関や建物、道路について構造や放置自転車が多いことなど、ベビーカーでの移動に不自由なこと」、「いざというときに子どもを預かってくれる人がいないこと」、「親自身が友達を作れる場や機会がないこと」の割合が増加しています。



【その他の主な意見】

- ・ 支援センターなどが充実していないこと。
- ・ 近くに大きなゆうぐのある公園がない。
- ・ 仕事と子育ての両立ができるサポートの少なさ
- ・ 駅周辺に遊具の多い公園がない。
- ・ ベビーカー有で入れるトイレが少ない（茅ヶ崎は！）
- ・ 静かにしなさいと言わなければならない環境
- ・ 歩道が少ない、防犯カメラがない、街灯が少ない
- ・ 松林辺りは公園が少ない為増やしてほしい。
- ・ 近所に遊具の充実した公園がないこと。
- ・ 公園の設備が充実していない所が多い

問 54 こどもの発育や健康状態、授乳・食事などについて不安・疑問がある場合に、平
 日夜間・休日に対応した専門職による「web フォームでの相談」、「チャットでのオ
 ンライン相談」などのサービスがあれば、利用したいと思いますか。(1つだけに
 ○)

「無料なら利用したい」の割合が78.7%と最も
 高く、次いで「利用したくない」の割合が11.2%
 となっています。

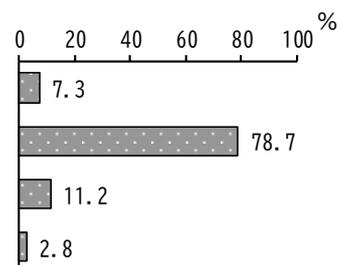
回答者数 = 2,517

有料でも利用したい

無料なら利用したい

利用したくない

無回答



問 55 子育てをする上で、知りたい情報についてお答えください。
 (あてはまるもの3つまでに○)

「夜間や休日に受診できる医療機関に関する
 情報」の割合が42.8%と最も高く、次いで「こど
 もの教育・保育事業や施設に関する情報」の割合
 が37.3%、「こどもの遊び場に関する情報」の割
 合が36.9%となっています。

回答者数 = 2,517

こどもの教育・保育事業や
 施設に関する情報

行政の子育て支援に関する
 情報

子育ての悩みの相談先に関
 する情報

子育てやこどもの発達、健
 康などに関する情報

夜間や休日に受診できる医
 療機関に関する情報

住宅に関する情報

こどもの遊び場に関する情
 報

地域のイベントやおまつり
 に関する情報

地域の子育てサークルに関
 する情報

こどもの習いごとや塾等に
 関する情報

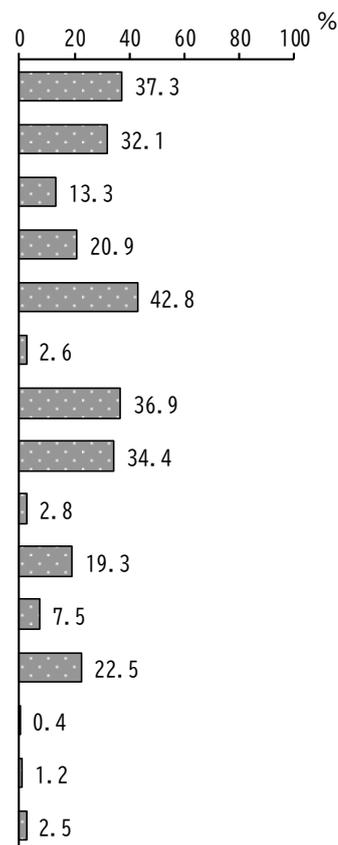
経済的支援制度に関する情
 報

子育て中の方を対象とした
 割引や優待等に関する情報

その他

特に知りたい情報はない

無回答



【その他の主な意見】

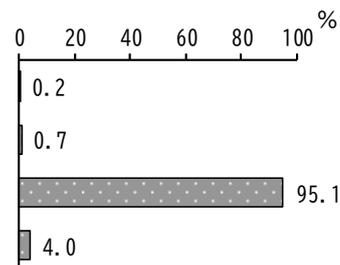
- ・ 医療機関の情報 (子ども対応OK、口コミ)
- ・ こどもOKの飲食店や施設等の情報
- ・ ママの自立支援制度、復職支援制度
- ・ 母子家庭への情報
- ・ 1つの窓口で、知りたい情報が得られるサービスを希望。
- ・ 子どもの年齢に応じて育事相談が出来る場所がほしい。
- ・ もしすでにあるならもっと周知してほしい。
- ・ 一時預かりをしている施設の情報
- ・ こども食堂に関する詳細な情報
- ・ こどものいじめ相談窓口や体制。

問 56 宛名のお子さんが、犯罪の被害にあったことはありますか。(1つだけに○)

「ない」の割合が95.1%と最も高くなっています。

回答者数 = 2,517

ある
あいそうになったことはある
ない
無回答

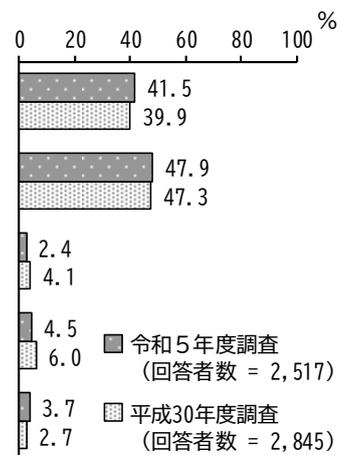


問 57 父親が、子育てにあまりかかわらない、かかわる時間がないなどと言われていますが、このことについてどう思いますか。(1つだけに○)

「社会的には問題だが、わが家にはあてはまらないと思う」の割合が47.9%と最も高く、次いで「社会的にも問題だし、わが家でも問題である」の割合が41.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

社会的にも問題だし、わが家でも問題である
社会的には問題だが、わが家にはあてはまらないと思う
子育ては母親が中心となっていけばよいので、あまり大きな問題ではないと思う
その他
無回答



【その他の主な意見】

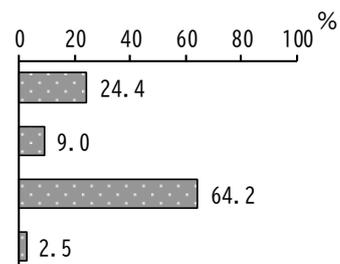
- ・かかわりたいができない人も多くいると思う。
- ・わが家では仕方ないことだと割り切っている。
- ・仕事でつかれているから仕方ないと思う。
- ・言いたいことがありすぎて書き切れません
- ・わが家は全く逆の状況なので、共感できない
- ・日本の社会がおかしいんだと思います。
- ・土日は休みで、一緒に子供をみている。
- ・給料が下がるため父親は育休を取れない。
- ・とらえ方、話し合い、生き方在り方次第だと思う。
- ・0時以降に寝て6:30におきる生活。

問 58 こども誰でも通園制度を知っていますか。(1つだけに○)

「知らなかった」の割合が64.2%と最も高く、次いで「名前も内容も知っている」の割合が24.4%となっています。

回答者数 = 2,517

名前も内容も知っている
名前は知っているが内容は知らなかった
知らなかった
無回答



問 59 0～2歳の未就園児の親で在宅保育をしているまたは予定している方にうかがいます。こども誰でも通園制度を利用したいですか。(1つだけに○)

「無料なら利用したい」の割合が29.7%と最も高く、次いで「有料でも利用したい」の割合が23.3%となっています。

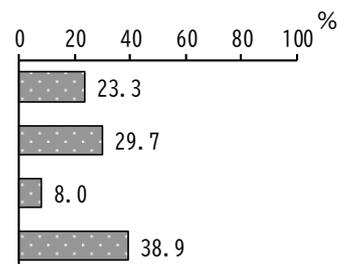
回答者数 = 1,508

有料でも利用したい

無料なら利用したい

利用したくない

無回答



問 60 問 59で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。利用したい・してみたい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「育児疲れの軽減」の割合が66.8%と最も高く、次いで「自分の自由時間を作るため」の割合が55.8%、「夫婦共働きのため」の割合が36.9%となっています。

回答者数 = 800

夫婦共働きのため

育児疲れの軽減

自分の自由時間を作るため

趣味の時間を増やすため

妊娠・出産のため

ご自身の病気のため

求職活動のため

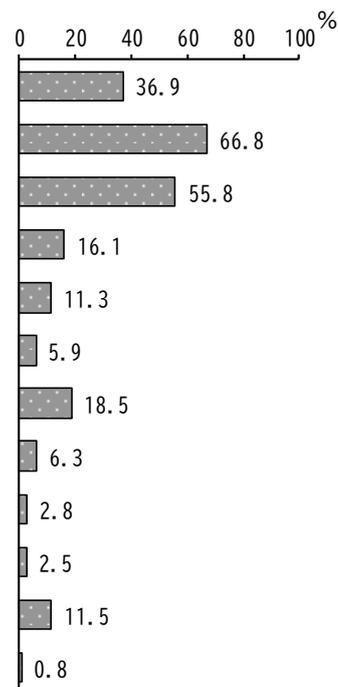
友人・仲間づくりのため

ご自身またはパートナーの就学のため

同居家族・親族の介護や看護のため

その他

無回答



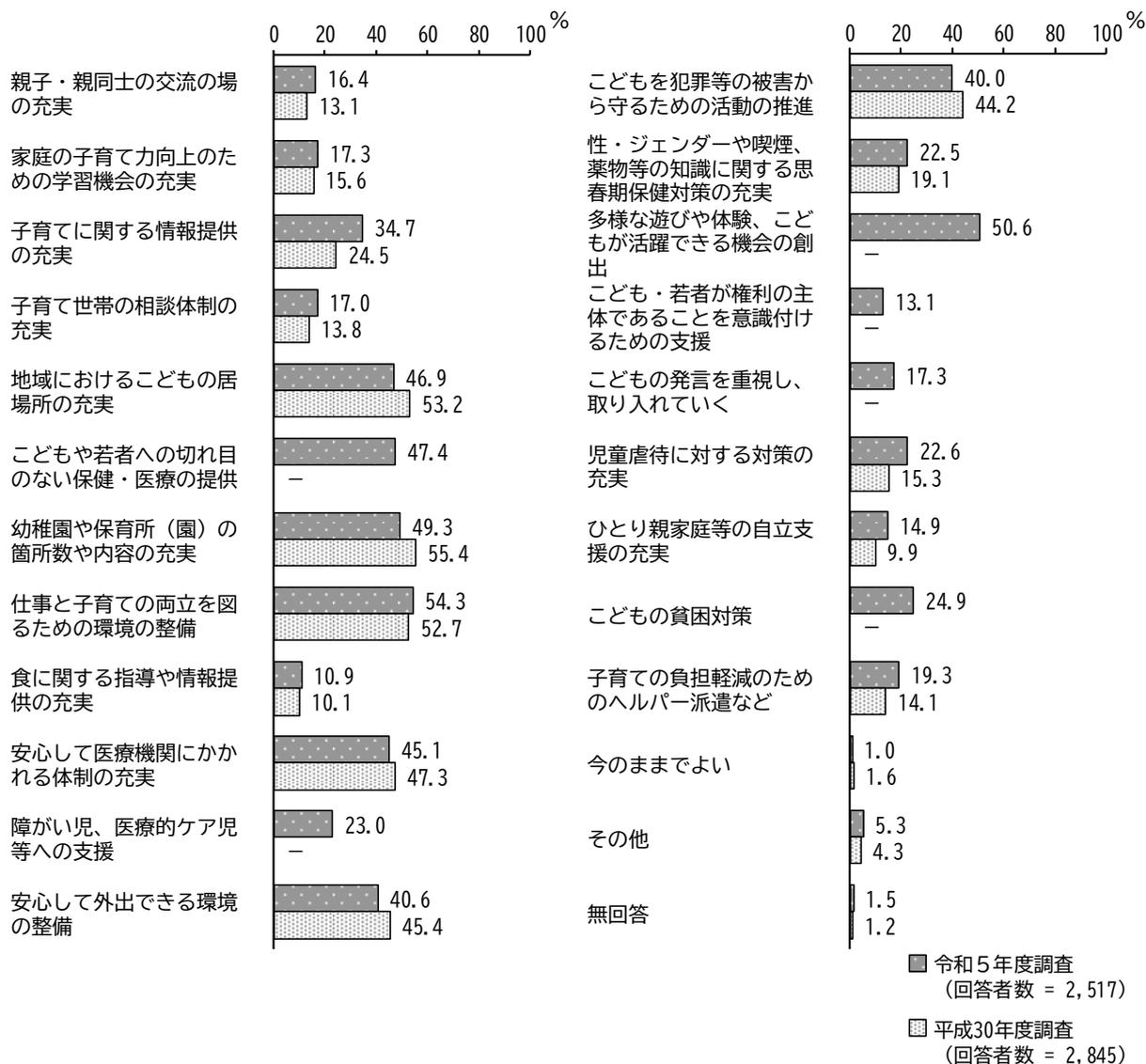
【その他の主な意見】

- ・ 集団生活の体験をさせてあげたい。
- ・ 子どもの経験、体験を増やしてあげたい
- ・ 子供の刺激になると考えているため
- ・ 子供の同年代の子達とのふれ合いのため
- ・ 色々な環境を経験させたいため
- ・ 子どもに集団生活を経験させてあげたい
- ・ 同世代の友だちをこどもにつくらせたいため
- ・ 子の社会性の力を身につけるため
- ・ 子供を外部環境で成長させたい
- ・ 睡眠時間の確保、夫婦時間をつくるため。

問 61 茅ヶ崎市の子ども・子育て支援策として、今後何に力を入れていくべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「仕事と子育ての両立を図るための環境の整備」の割合が 54.3%と最も高く、次いで「多様な遊びや体験、こどもが活躍できる機会の創出」の割合が 50.6%、「幼稚園や保育所（園）の箇所数や内容の充実」の割合が 49.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「子育てに関する情報提供の充実」、「児童虐待に対する対策の充実」、「子育ての負担軽減のためのヘルパー派遣など」の割合が増加しています。一方、「地域におけるこどもの居場所の充実」、「幼稚園や保育所（園）の箇所数や内容の充実」の割合が減少しています。



※前回調査では、「こどもや若者への切れ目のない保健・医療の提供」、「障がい児、医療的ケア児等への支援」、「多様な遊びや体験、こどもが活躍できる機会の創出」、「こども・若者が権利の主体であることを意識付けるための支援」、「こどもの発言を重視し、取り入れていく」、「こどもの貧困対策」の選択肢はありませんでした。

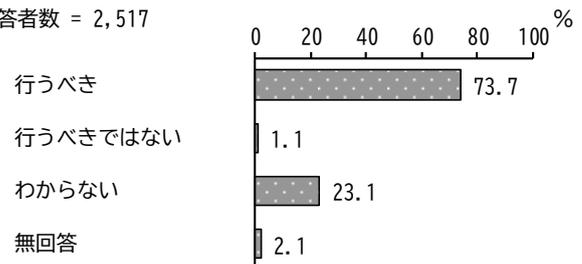
【その他の主な意見】

- ・子育て世帯に対して0～22才までの減税
- ・多胎家庭や多子家庭に対する支援の強化
- ・金銭的な支援を一番希望します
- ・産婦人科、小児科がある病院の充実。
- ・経済的支援、子どもに関する消もう品の無償化
- ・待機児童改善すべきだと思います。
- ・気軽に相談が出来る所がほしい。
- ・未就学時が参加できるイベントの充実
- ・中学校の給食 or 弁当の早期実現
- ・経済的支援、聴力検査など無料にするなど

問 62 茅ヶ崎市として少子化対策を行うべきだと思いますか。(1つだけに○)

「行うべき」の割合が73.7%と最も高く、次いで「わからない」の割合が23.1%となっています。

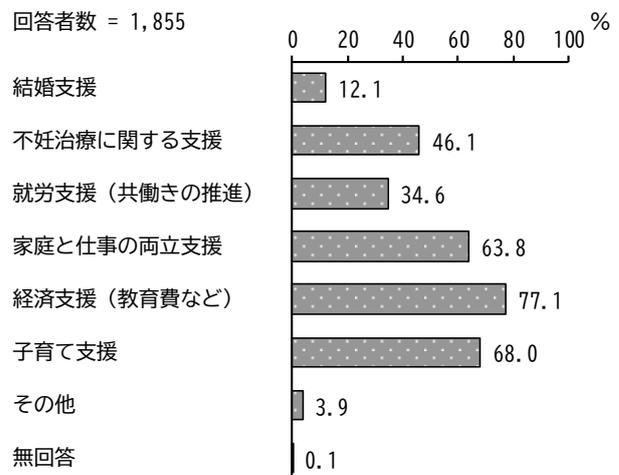
回答者数 = 2,517



問 63 市の少子化対策として、今後何に力を入れていくべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「経済支援（教育費など）」の割合が77.1%と最も高く、次いで「子育て支援」の割合が68.0%、「家庭と仕事の両立支援」の割合が63.8%となっています。

回答者数 = 1,855



【その他の主な意見】

- ・これから結婚する若者、子育て世代への経済支援
- ・地域の子育て世代世帯への理解と協力。
- ・明石市のような異次元の対策を希望
- ・非課税世帯だけでなく均等に行ってほしい
- ・値上げすぎ食べさかりの子供にはキツイ。
- ・保護者の1人時間確保のための預り保育
- ・産後ケアセンターやヘルパー派遣など産後の支援
- ・オムツやミルク等、物資的な支援。
- ・夫の育休取得の為のサポート。
- ・希望する時期への保育園等の入園

問 64 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や子どもへの支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

回答者から寄せられた自由回答の総数は1,481件でした。回答の主な内容は、下記のとおりです。

なお、「手当・補助制度の充実、費用負担に関すること」が174件と最も多くなっています。

【アンケート調査に関する要望・意見】

①アンケート調査に関する感想	57件
②回答のしやすさに関すること	32件
③結果の活用に関すること	13件

【教育・保育施設に対する要望・意見】

①入所条件に関すること	84件
②質に関すること	76件
③保育料に関すること	42件
④施設整備に関すること	34件
⑤支援の必要な子どもの預かり充実に関すること	32件
⑥その他	95件

【子育て支援全般に関する要望・意見】

①手当・補助制度の充実、費用負担に関すること	174件
②医療費助成、医療体制の充実に関すること	56件
③病児・病後児保育事業の充実に関すること	19件
④相談場所の充実に関すること	17件
⑤子育て情報の充実に関すること	15件
⑥子どもと一緒に利用する事業の充実に関すること	14件
⑦健康診断、予防接種の充実に関すること	9件
⑧その他の子育て支援サービスに関すること	155件

【子育て中の保護者の状況に関する意見・要望】

①子どもと関わる時間に関すること	18件
②保護者の就労支援に関すること	9件
③その他	7件

【子育て環境に関する要望・意見】

①子どもの遊び場の充実に関する事	164件
②道路等の安全に関する事	91件
③まちづくり、公共施設等に関する事	81件
④地域のつながり、協力等に関する事	19件
⑤その他	9件

【小学校就学後の生活に関する要望・意見】

①児童クラブ（学童保育）に関する事	54件
②小学校に関する事	7件
③その他	3件

【その他】

①給食を実現してほしい	43件
②その他	52件

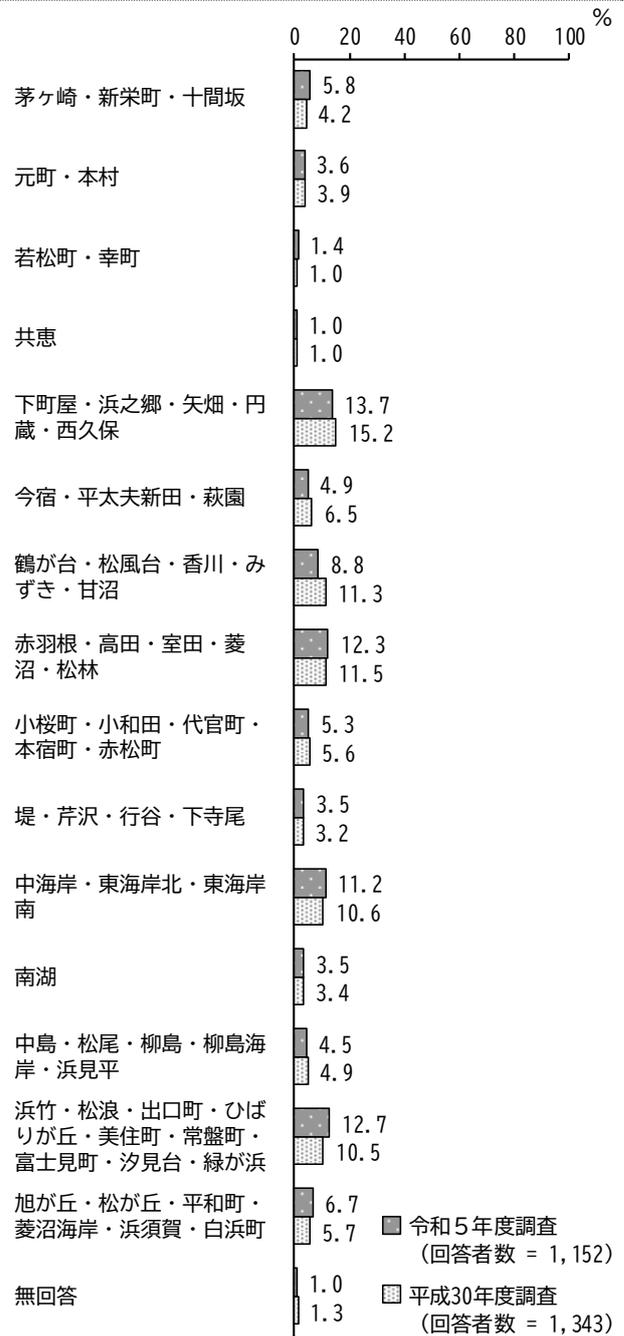
2 小学生（保護者）

（1）お住まいの地域について

問1 あなたがお住まいの地区をお答えください。（1つだけに○）

「下町屋・浜之郷・矢畑・円蔵・西久保」の割合が13.7%と最も高く、次いで「浜竹・松浪・出口町・ひばりが丘・美住町・常盤町・富士見町・汐見台・緑が浜」の割合が12.7%、「赤羽根・高田・室田・菱沼・松林」の割合が12.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問1-2 宛名のお子さんが通う小学校をご記入ください。

「茅ヶ崎市立（ ）小学校」の割合が 93.3%、
「私立小学校」の割合が 1.5%となっています。

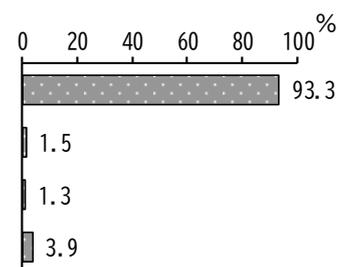
回答者数 = 1,152

茅ヶ崎市立（ ）小学校

私立小学校

その他

無回答



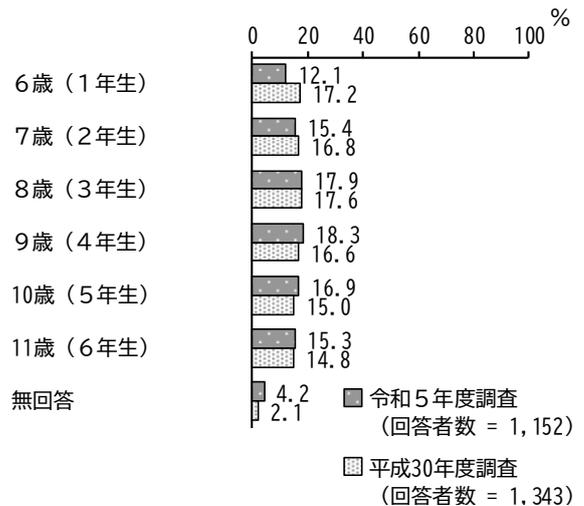
【その他の意見】

- ・ 藤沢市立滝の沢小学校
- ・ 神奈川県立茅ヶ崎支援学校
- ・ 円蔵小学校
- ・ 藤沢市立大庭小学校

(2) 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。()内に数字を記入)

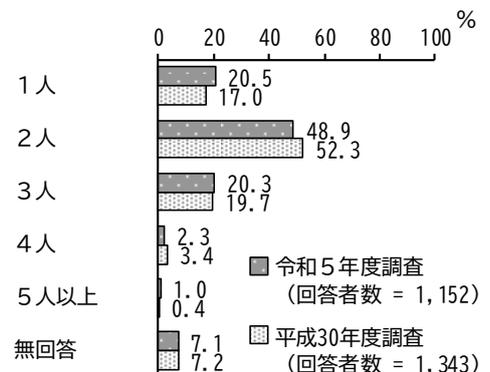
「9歳(4年生)」の割合が18.3%と最も高く、次いで「8歳(3年生)」の割合が17.9%、「10歳(5年生)」の割合が16.9%となっています。平成30年度調査と比較すると、「6歳(1年生)」の割合が減少しています。



問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を()内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがある場合は、一番下の子の生年月をご記入ください。

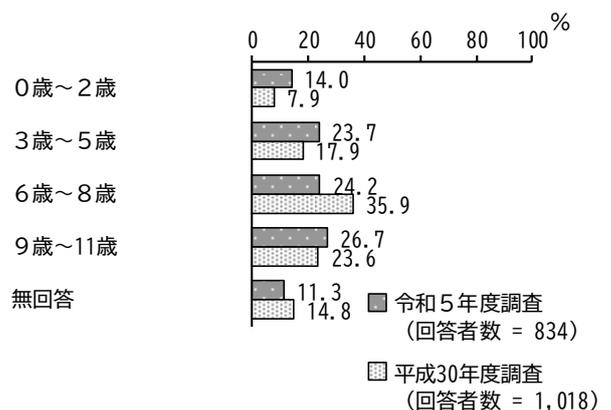
きょうだい数

「2人」の割合が48.9%と最も高く、次いで「1人」の割合が20.5%、「3人」の割合が20.3%となっています。平成30年度調査と比較すると、「1人」の割合が増加しています。一方、「2人」の割合が減少しています。



末子の年齢

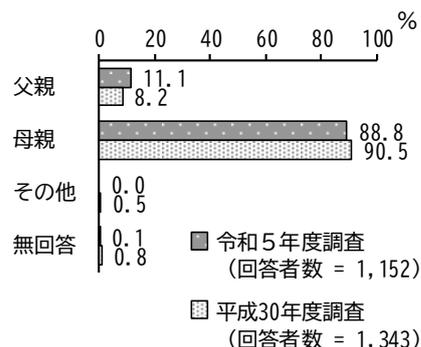
「9歳~11歳」の割合が26.7%と最も高く、次いで「6歳~8歳」の割合が24.2%、「3歳~5歳」の割合が23.7%となっています。平成30年度調査と比較すると、「0歳~2歳」、「3歳~5歳」の割合が増加しています。一方、「6歳~8歳」の割合が減少しています。



問4 この調査票にご回答する方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つだけに○)

「父親」の割合が 11.1%、「母親」の割合が 88.8%となっています。

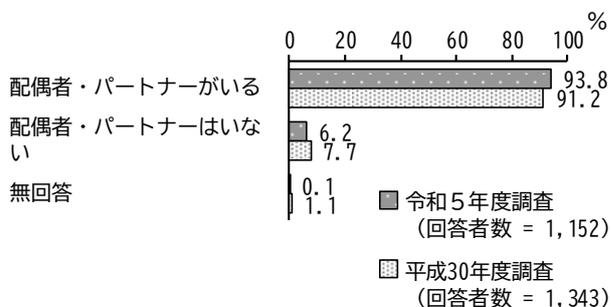
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問5 この調査票にご回答する方の配偶関係についてお答えください。(1つだけに○)

「配偶者・パートナーがいる」の割合が 93.8%、「配偶者・パートナーはいない」の割合が 6.2%となっています。

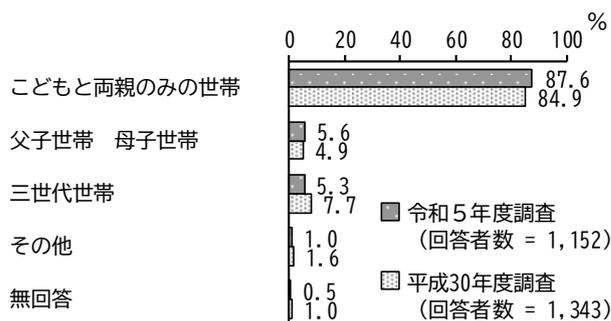
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問6 宛名のお子さんと生計を同一にしている家族構成は次のうち、どれにあたりますか。(1つだけに○)

「子どもと両親のみの世帯」の割合が 87.6%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「子どもと両親のみの世帯」、「父子世帯 母子世帯」の割合が増加しています。一方、「三世代世帯」の割合が減少しています。



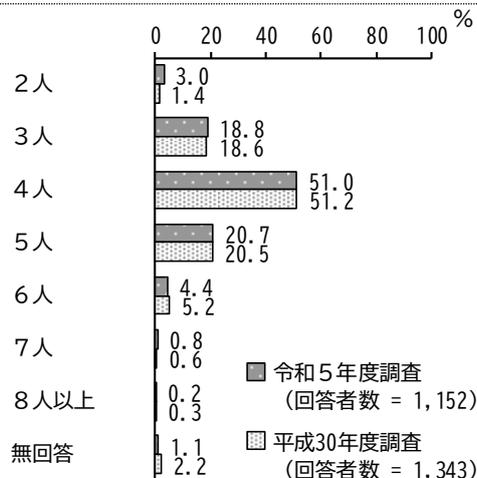
【その他の主な意見】

- ・ 子どもと両親と祖父世帯
- ・ ③だが父親だけ単身赴任中
- ・ 子ども、父、祖父母
- ・ 母子+その両親 (三世代世帯)
- ・ 母のみ同居
- ・ 子どもと両親と義理母
- ・ 子どもと両親+曾祖母
- ・ 祖母と叔母と。
- ・ 5人家族
- ・ 二世帯

問7 宛名のお子さんと生計を同一にしているご家族の人数を教えてください。(あなたと宛名のお子さんも含む。単身赴任をしている家族も含む。)
(() 内に数字を記入)

「4人」の割合が 51.0%と最も高く、次いで「5人」の割合が 20.7%、「3人」の割合が 18.8%となっています。

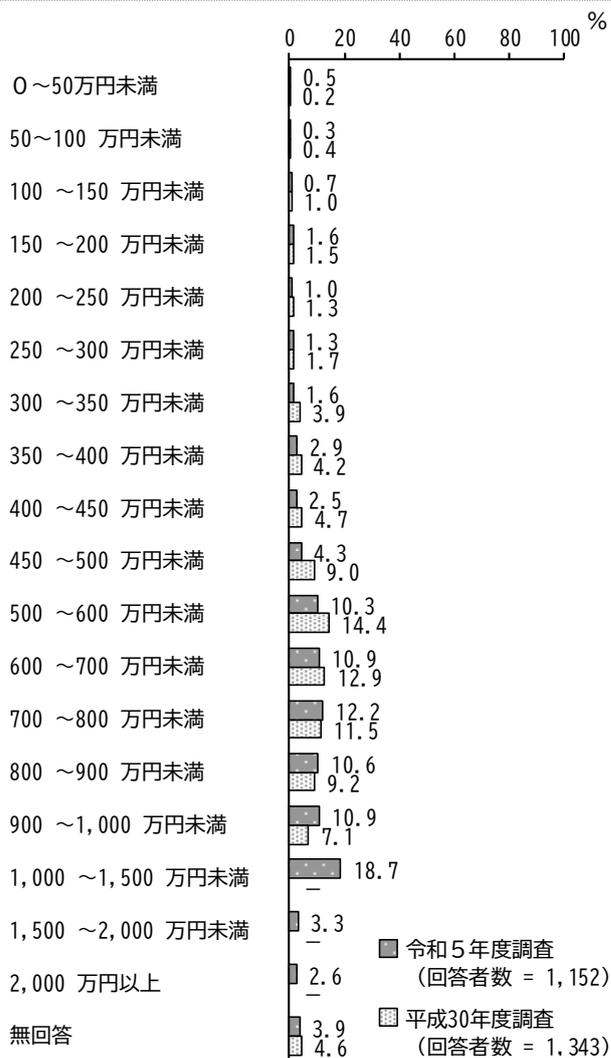
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



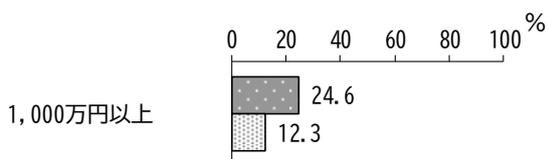
問8 世帯の年収は、次のうち、どれにあたりますか。(1つだけに○) 世帯とは、生計を同一にしている家族のことを指します。

「1,000～1,500万円未満」の割合が 18.7%と最も高く、次いで「700～800万円未満」の割合が 12.2%、「600～700万円未満」、「900～1,000万円未満」の割合が 10.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「1,000万円以上」の世帯が増加しています。



【参考】

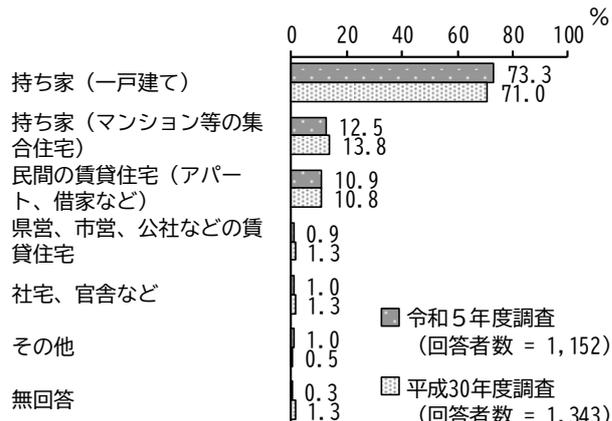


※前回調査では、「1,000～1,500万円未満」、「1,500～2,000万円未満」、「2,000万円以上」の選択肢はありませんでした。

問9 お住まいの住居の状況は、次のうち、どれにあたりますか。(1つだけに○)

「持ち家（一戸建て）」の割合が73.3%と最も高く、次いで「持ち家(マンション等の集合住宅)」の割合が12.5%、「民間の賃貸住宅（アパート、借家など）」の割合が10.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



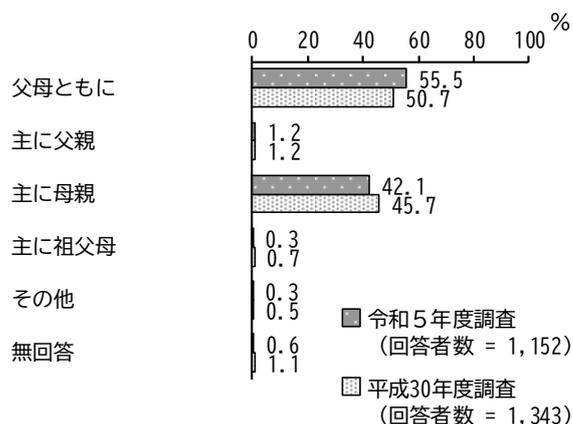
【その他の意見】

- ・建て替え中の為仮住まいの賃貸
- ・マンション賃貸
- ・祖父宅賃貸
- ・借家（親せきの持ち家）
- ・祖父母の家
- ・親の持家
- ・知り合いにかりている
- ・母親実家
- ・親族所有の一戸建て
- ・祖母・祖父の家
- ・宛名の子から見て祖父の持ち家一戸建て

問10 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(1つだけに○)

「父母ともに」の割合が55.5%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が42.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「父母ともに」の割合が増加し、「主に母親」の割合が減少しています。



【その他の意見】

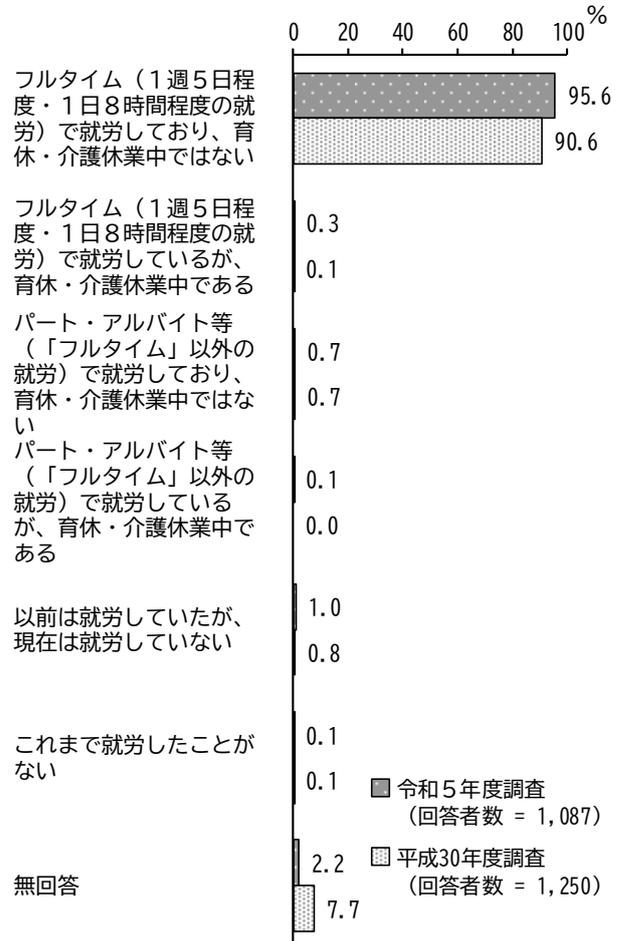
- ・母親と祖父母父親は、子に無感心
- ・父、母、祖父母
- ・みんなで家族

(3) 保護者の就労状況について

問11 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】（1つだけに○）

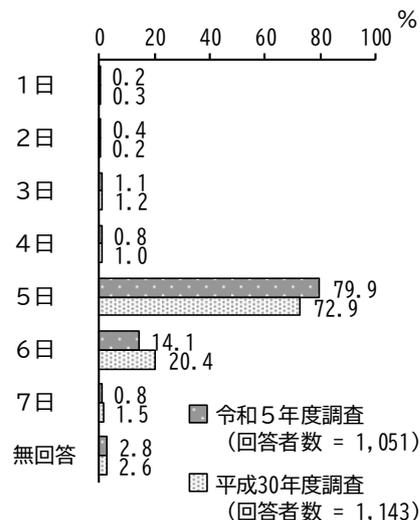
「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が95.6%と最も高くなっています。平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(1) - 1 (1) で「1～4」(就労している)に○をつけた方にかがいます。
 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答え
 ください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンを、育
 休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をお答えください。
 (() 内に数字を記入)

ア. 1週当たり就労日数

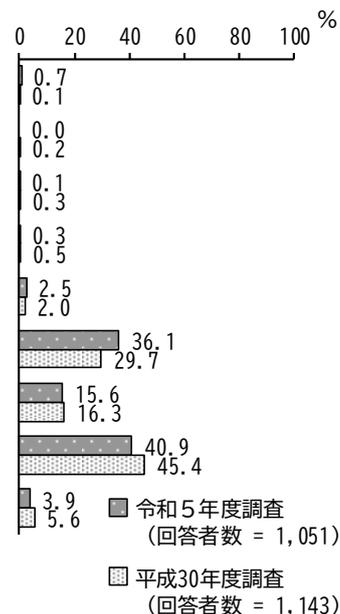
「5日」の割合が79.9%と最も高く、次いで
 「6日」の割合が14.1%となっています。
 平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合
 が増加しています。一方、「6日」の割合が減少し
 ています。



イ. 1日当たり就労時間

「10時間以上」の割合が40.9%と最も高く、
 次いで「8時間～9時間未満」の割合が36.1%、
 「9時間～10時間未満」の割合が15.6%となっ
 ています。
 平成30年度調査と比較すると、「8時間～9時
 間未満」の割合が増加しています。

4時間未満
 4時間～5時間未満
 5時間～6時間未満
 6時間～7時間未満
 7時間～8時間未満
 8時間～9時間未満
 9時間～10時間未満
 10時間以上
 無回答



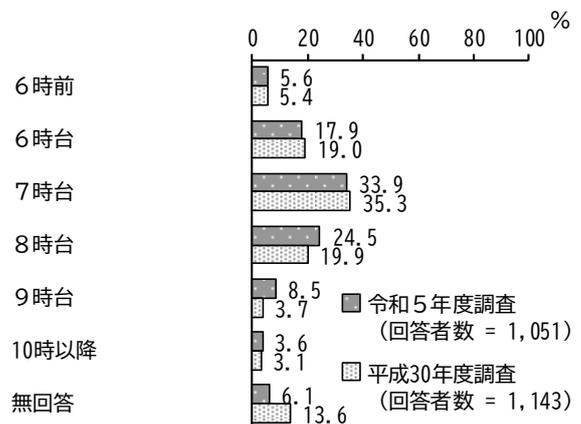
(1) - 2 (1) で「1~4」(就労している)に○をつけた方に向かっていきます。
 家を出る時刻と帰宅時刻及び勤務地をお答えください。時間が一定でない場合は、
 もっとも多いパターンを、育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をお答え
 ください。リモートワークの場合は始業時間と終業時間を記入してください。時間
 は必ず(例)8時~18時のように、24時間制でお答えください。
 (()内に数字を記入)

【時間】

ウ. 家を出る時刻

「7時台」の割合が33.9%と最も高く、次いで
 「8時台」の割合が24.5%、「6時台」の割合が
 17.9%となっています。

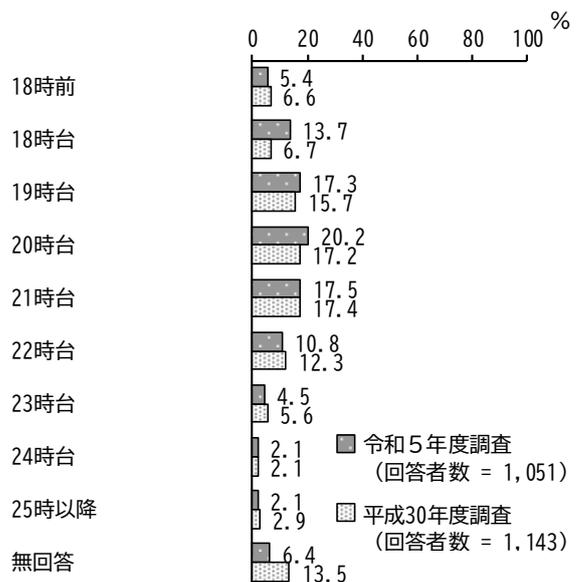
平成30年度調査と比較すると、「8時台」、「9
 時台」の割合が増加しています。



エ. 帰宅時刻

「20時台」の割合が20.2%と最も高く、次い
 で「21時台」の割合が17.5%、「19時台」の割合
 が17.3%となっています。

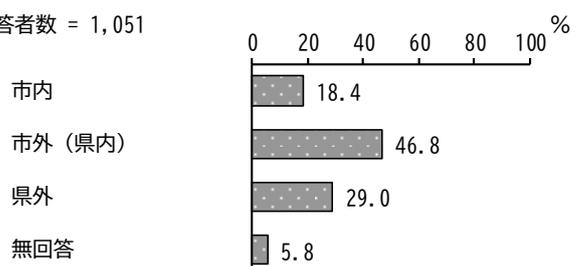
平成30年度調査と比較すると、「18時台」の割
 合が増加しています。



オ. 勤務地 (1つだけに○)

「市外 (県内)」の割合が46.8%と最も高く、
 次いで「県外」の割合が29.0%、「市内」の割合
 が18.4%となっています。

回答者数 = 1,051



(2) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】(1つだけに○)

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が40.4%と最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が29.3%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が23.0%となっています。

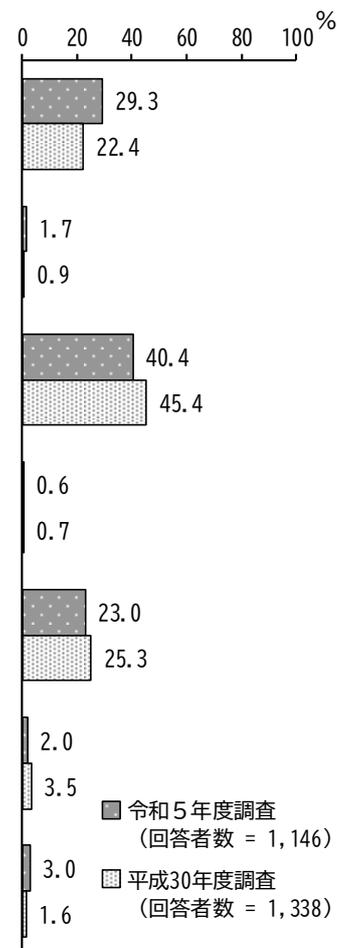
平成30年度調査と比較すると、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。

フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である

以前は就労していたが、現在は就労していない

これまで就労したことがない

無回答

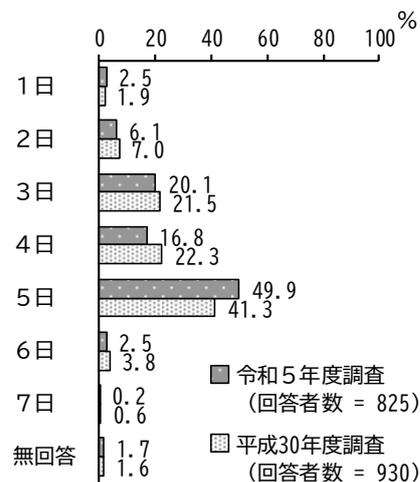


(2) - 1 (2) で「1～4」(就労している)に○をつけた方にかがいます。
 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答え
 ください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンを、
 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をお答えください。
 (() 内に数字を記入)

ア. 1週当たり就労日数

「5日」の割合が49.9%と最も高く、次いで
 「3日」の割合が20.1%、「4日」の割合が16.8%
 となっています。

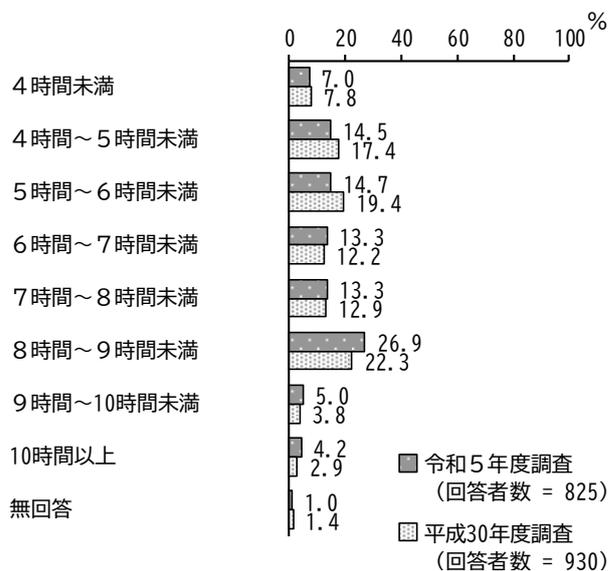
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合
 が増加しています。一方、「4日」の割合が減少し
 ています。



イ. 1日当たり就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が26.9%と最も
 高く、次いで「5時間～6時間未満」の割合が
 14.7%、「4時間～5時間未満」の割合が14.5%
 となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8時間～9時
 間未満」の割合が増加しています。一方、「5時間
 ～6時間未満」の割合が減少しています。

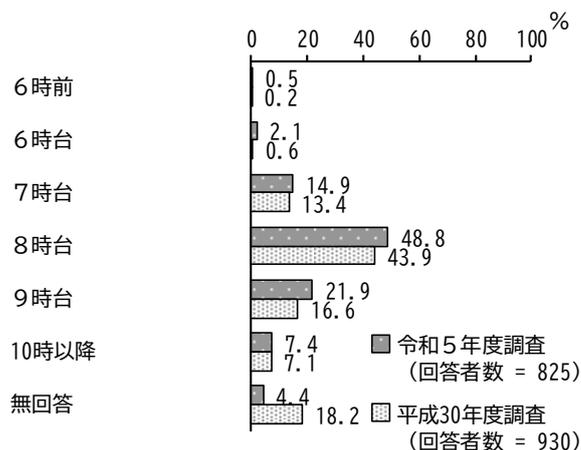


(2) - 2 (2) で「1~4」(就労している) に○をつけた方にかがいます。
 家を出る時刻と帰宅時刻及び勤務地をお答えください。時間が一定でない場合は、
 もっとも多いパターンを、産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況
 をお答えください。リモートワークの場合は始業時間と終業時間を記入してくだ
 さい。時間は必ず(例) 8時~18時のように、24時間制でお答えください。
 (() 内に数字を記入)

【時間】

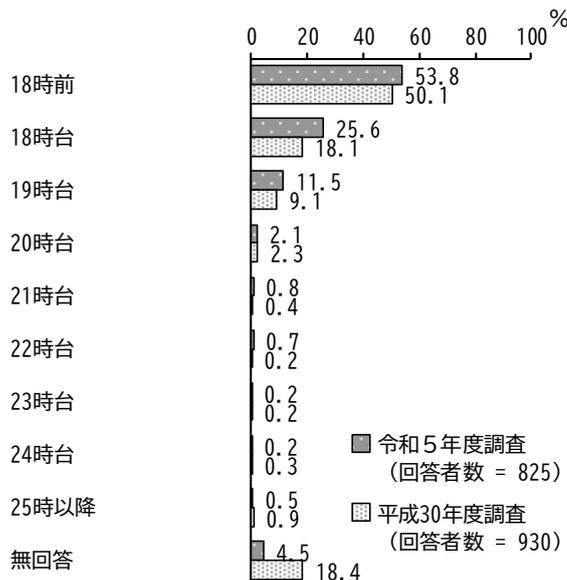
ウ. 家を出る時刻

「8時台」の割合が48.8%と最も高く、次いで
 「9時台」の割合が21.9%、「7時台」の割合が
 14.9%となっています。
 平成30年度調査と比較すると、「9時台」の割
 合が増加しています。



エ. 帰宅時刻

「18時前」の割合が53.8%と最も高く、次い
 で「18時台」の割合が25.6%、「19時台」の割合
 が11.5%となっています。
 平成30年度調査と比較すると、「18時台」の割
 合が増加しています。

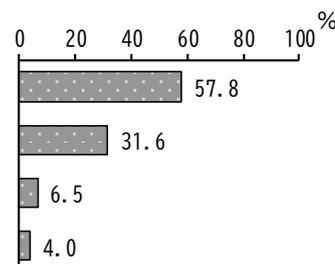


オ. 勤務地 (1つだけに○)

「市内」の割合が57.8%と最も高く、次いで
 「市外(県内)」の割合が31.6%となっています。

回答者数 = 825

市内
 市外(県内)
 県外
 無回答



問12 問11の(1)または(2)で「3」、「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。【該当しない方は、問13へお進みください。】フルタイムへの転換希望はありますか。(1つだけに○)

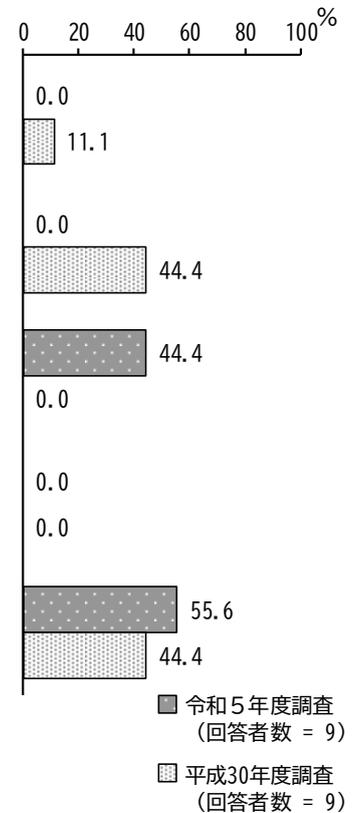
(1) 父親

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が4件となっています。

平成30年度調査と比較すると、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が増加しています。一方、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が減少しています。

フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

無回答



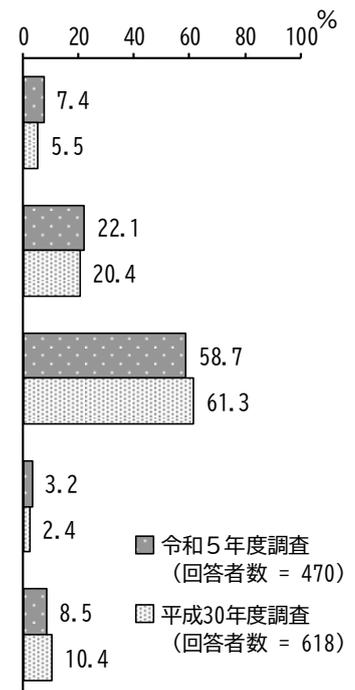
(2) 母親

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が58.7%と最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が22.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

無回答

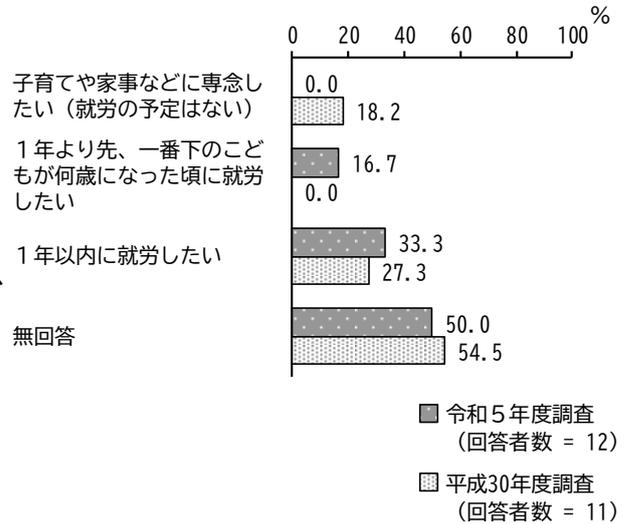


問13 問11の(1)または(2)で「5 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6 これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。【該当しない方は、問14へ】
 就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください。

(1) 父親

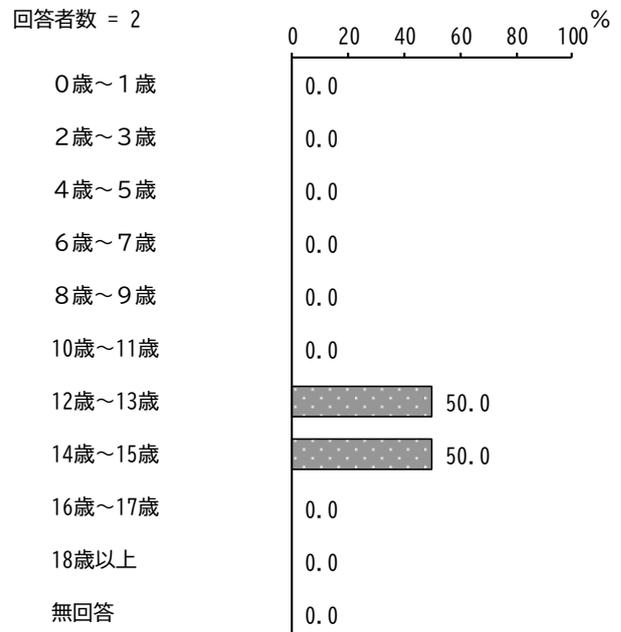
「1年以内に就労したい」の割合が33.3%と最も高く、次いで「1年より先、一番下の子どもが何歳になった頃に就労したい」の割合が16.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1年より先、一番下の子どもが何歳になった頃に就労したい」、「1年以内に就労したい」の割合が増加しています。一方、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が減少しています。



ア. 就労を希望するときの末子の年齢

「12歳~13歳」、「14歳~15歳」が1件となっています。



イ. 希望する就労形態

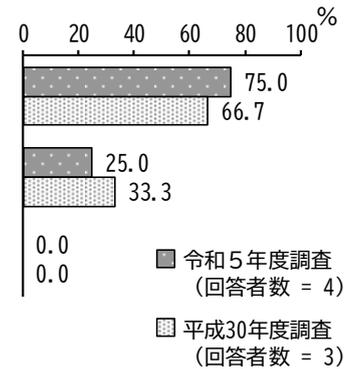
「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が3件、「パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）」が1件となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が増加しています。一方、「パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）」の割合が減少しています。

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

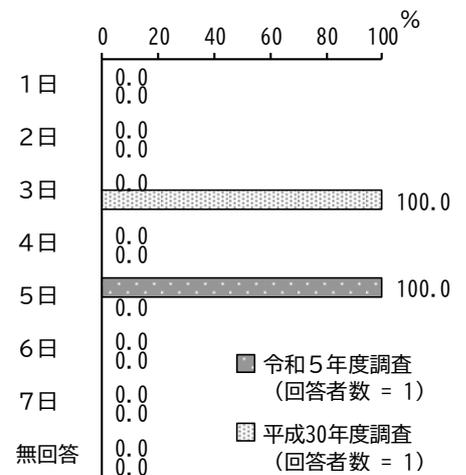
パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）

無回答



ウ. 1年以内に就労したい人の1週当たり就労日数

「5日」が1件となっています。



エ. 1年以内に就労したい人の1日当たり就労時間

「4時間～5時間未満」が1件となっています。

4時間未満

4時間～5時間未満

5時間～6時間未満

6時間～7時間未満

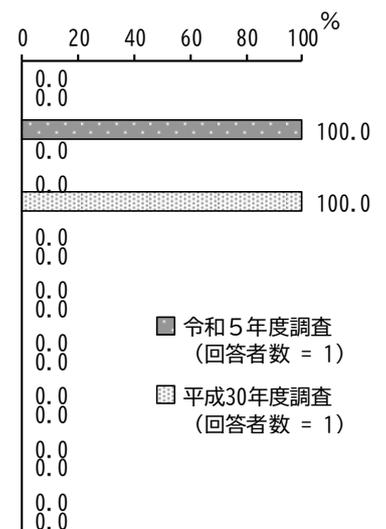
7時間～8時間未満

8時間～9時間未満

9時間～10時間未満

10時間以上

無回答

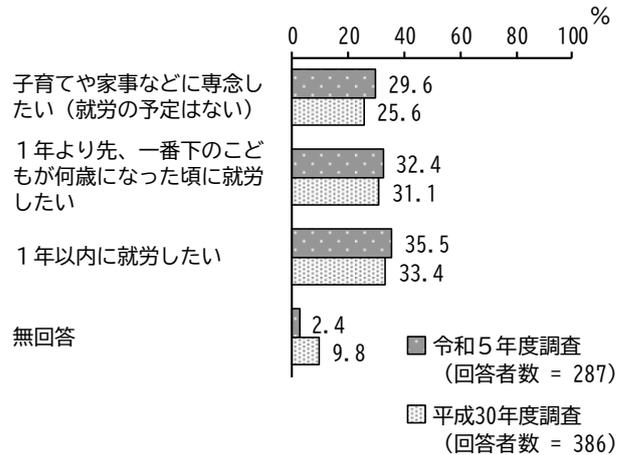


(2) 母親

「1年以内に就労したい」の割合が35.5%と最も高く、次いで「1年より先、一番下のこどもが何歳になった頃に就労したい」の割合が32.4%、

「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が29.6%となっています。

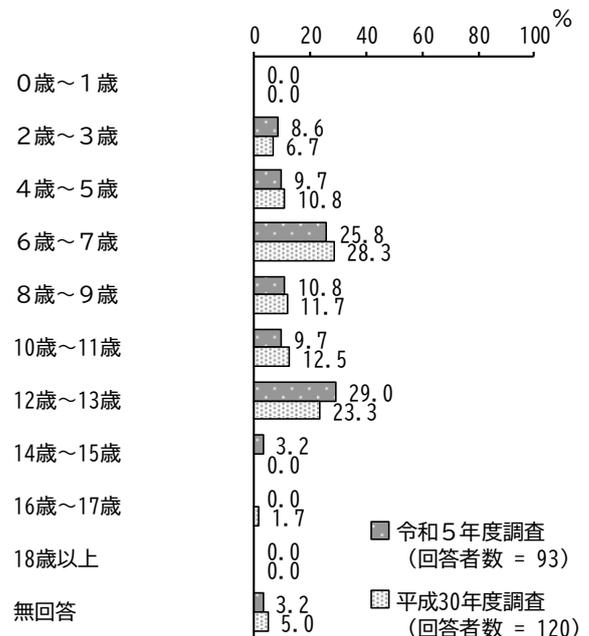
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



ア. 就労を希望するときの末子の年齢

「12歳～13歳」の割合が29.0%と最も高く、次いで「6歳～7歳」の割合が25.8%、「8歳～9歳」の割合が10.8%となっています。

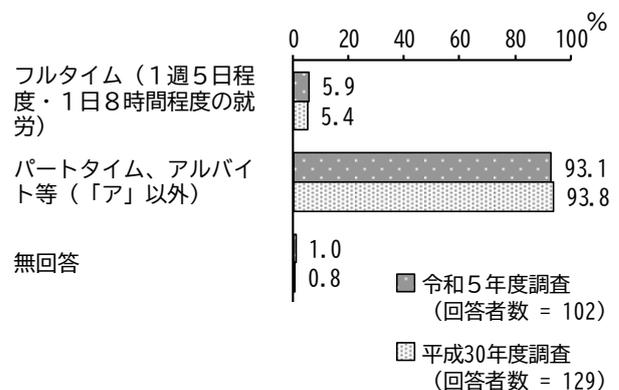
平成30年度調査と比較すると、「12歳～13歳」の割合が増加しています。



イ. 希望する就労形態

「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」の割合が5.9%、「パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)」の割合が93.1%となっています。

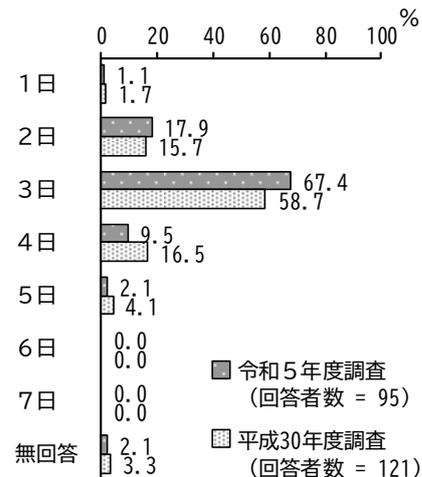
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



ウ. 1年以内に就労したい人の1週当たり就労日数

「3日」の割合が67.4%と最も高く、次いで「2日」の割合が17.9%となっています。

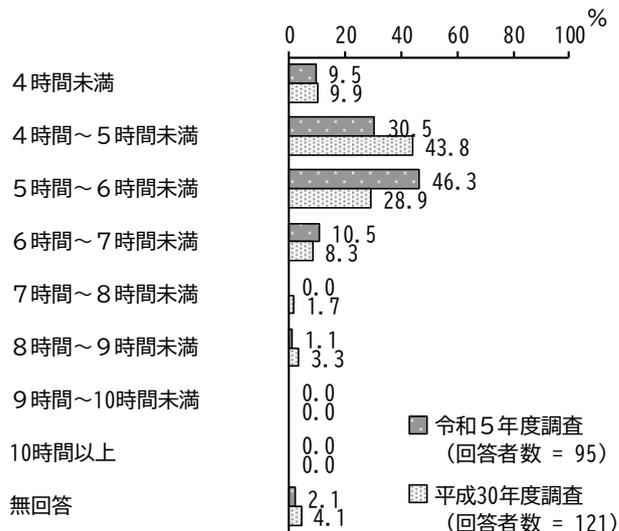
平成30年度調査と比較すると、「3日」の割合が増加しています。一方、「4日」の割合が減少しています。



エ. 1年以内に就労したい人の1日当たり就労時間

「5時間～6時間未満」の割合が46.3%と最も高く、次いで「4時間～5時間未満」の割合が30.5%、「6時間～7時間未満」の割合が10.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「5時間～6時間未満」の割合が増加しています。一方、「4時間～5時間未満」の割合が減少しています。

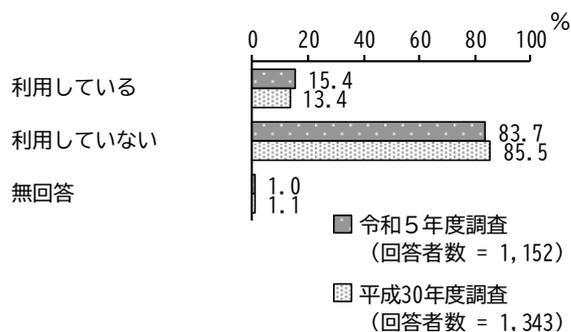


(4) 放課後の過ごし方について

問14 あて名のお子さんは、現在、児童クラブ（学童保育）を利用していますか。
（1つだけに○）

「利用している」の割合が15.4%、「利用していない」の割合が83.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



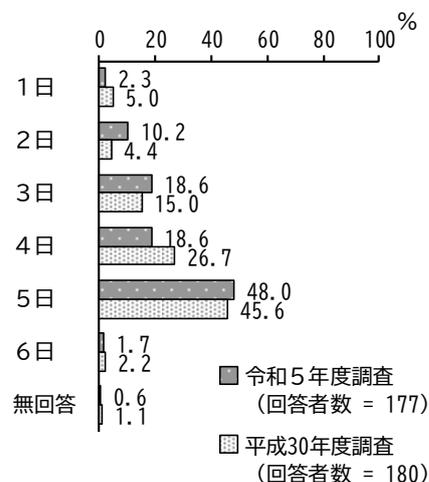
問 14-1 及び問 14-2 については、問 14 で「1 利用している」と答えた方にうかがいます。

問 14-1 利用日数はどれくらいですか。() 内に数字で記入してください。
そのうち土曜日の利用はありますか。(1 つだけに○)

1 週あたり利用日数

「5日」の割合が 48.0%と最も高く、次いで「3日」、「4日」の割合が 18.6%となっています。

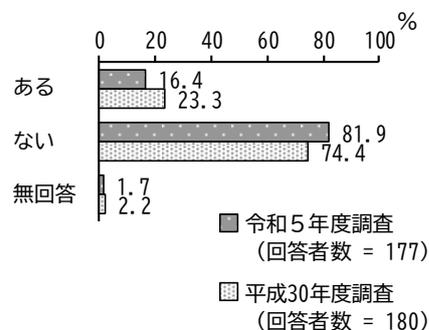
平成 30 年度調査と比較すると、「2日」の割合が増加しています。一方、「4日」の割合が減少しています。



土曜日の利用

「ある」の割合が 16.4%、「ない」の割合が 81.9%となっています。

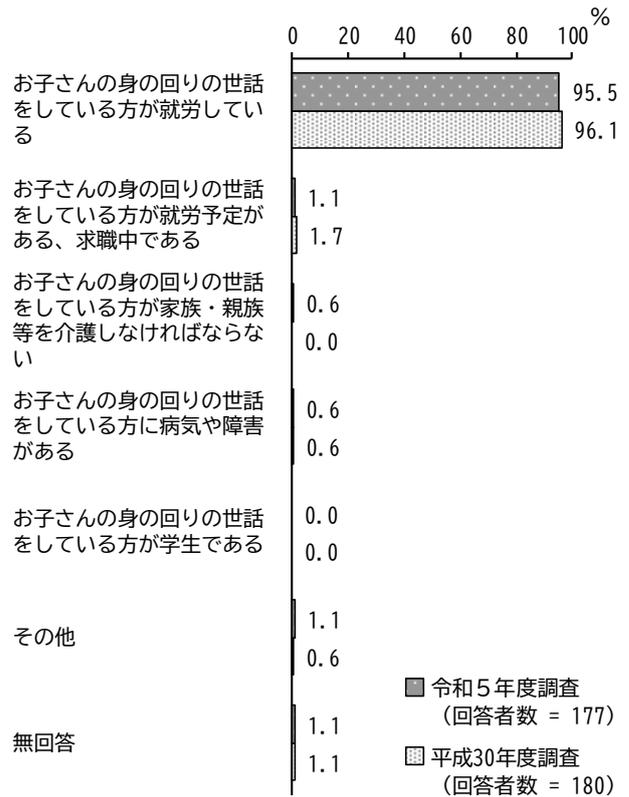
平成 30 年度調査と比較すると、「ない」の割合が増加しています。一方、「ある」の割合が減少しています。



問 14-2 利用の主な理由は何ですか。(1つだけに○)

「お子さんの身の回りの世話をしている方が就労している」の割合が95.5%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【その他の意見】

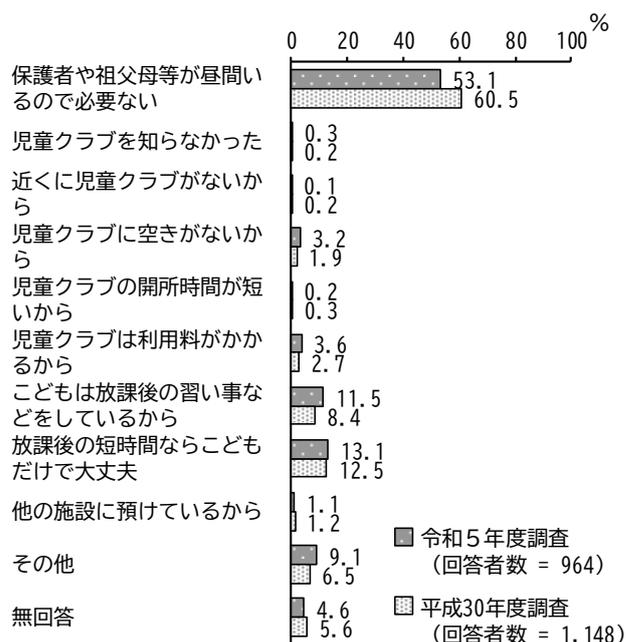
- ・長期休暇の居場所確保の為、民間学童に登録
- ・民間学童で習いごとが充実していて、子供が通いたいと言っているため。

問 14 で「2 利用していない」方に、うかがいます。

問 14-3 利用していない主な理由は何ですか。(1つだけに○)

「保護者や祖父母等が昼間いるので必要ない」の割合が 53.1%と最も高く、次いで「放課後の短時間なら子どもだけで大丈夫」の割合が 13.1%、「子どもは放課後の習い事などをしているから」の割合が 11.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「保護者や祖父母等が昼間いるので必要ない」の割合が減少しています。



【その他の主な意見】

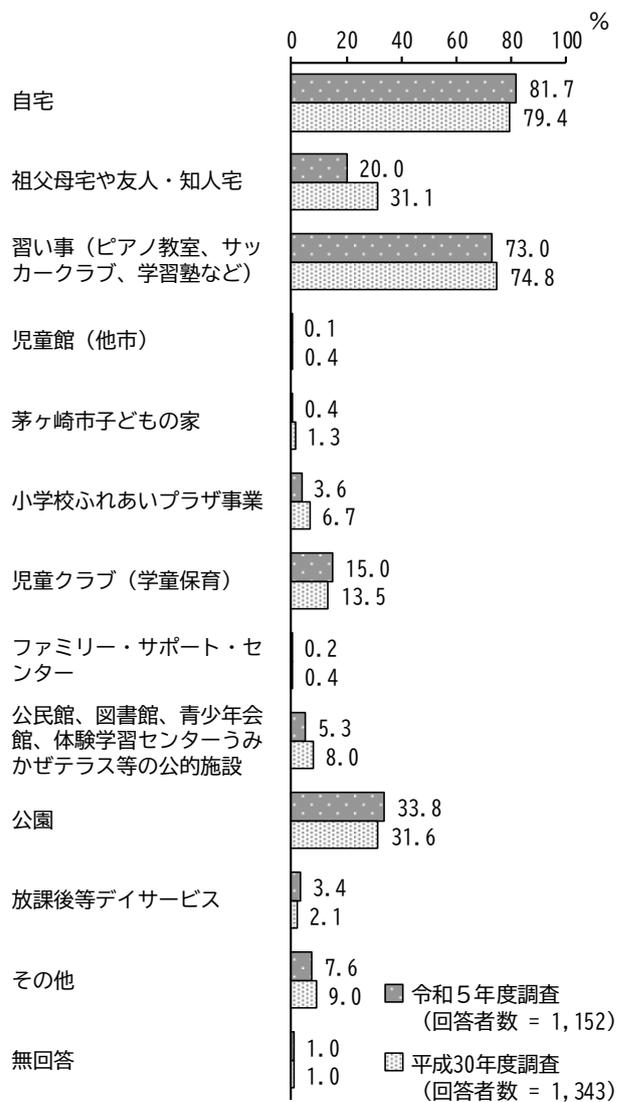
- ・ 4年生までは在籍していた。
- ・ 本人がいきたがらなくなった。
- ・ 学校のお友達と遊んでいるから
- ・ 留守番もできるようになったため
- ・ 子どもが児童クラブに行きたがらないから
- ・ 前に利用したが合わなかった
- ・ 1 だが必要ないではない
- ・ 学校がおわるまでに仕事をおえるので
- ・ 利用を子どもが望まないため。
- ・ 預ける必要が今の所ないから

すべての方にうかがいます。

問 15 宛名のお子さんは、現在、放課後の時間をどのような場所で過ごしていますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。また、「児童クラブ（学童保育）」の場合には利用している時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください。

「自宅」の割合が81.7%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が73.0%、「公園」の割合が33.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が減少しています。



【その他の主な意見】

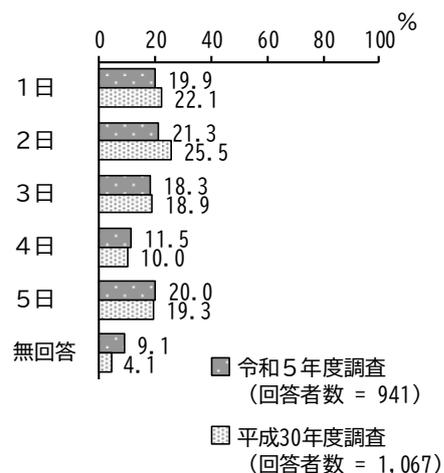
- ・ 民間の学童
- ・ 私立の学童
- ・ 友達と遊ぶ
- ・ 小学校のグラウンド
- ・ 友達の家
- ・ 友達とあそぶ
- ・ 小学校の校庭開放
- ・ 小学校のプラザ
- ・ 学校校庭

週あたり日数

1. 自宅

「2日」の割合が21.3%と最も高く、次いで「5日」の割合が20.0%、「1日」の割合が19.9%となっています。

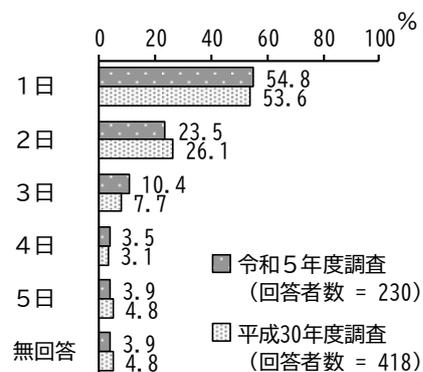
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



2. 祖父母宅や友人・知人宅

「1日」の割合が54.8%と最も高く、次いで「2日」の割合が23.5%、「3日」の割合が10.4%となっています。

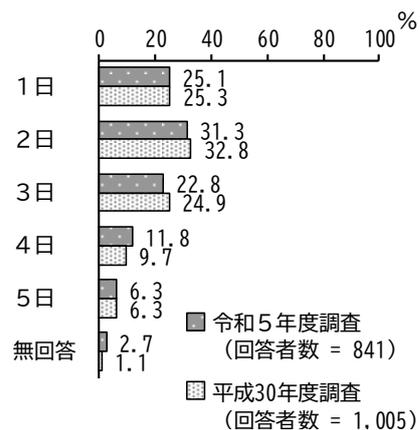
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)

「2日」の割合が31.3%と最も高く、次いで「1日」の割合が25.1%、「3日」の割合が22.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



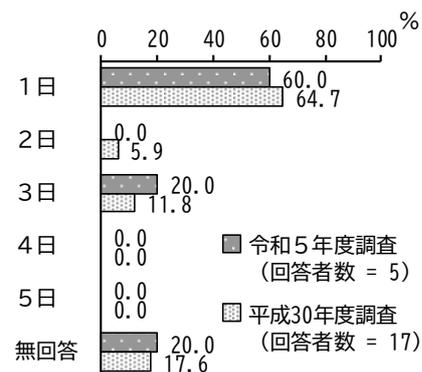
4. 児童館 (他市)

有効回答がありませんでした。

5. 茅ヶ崎市子どもの家

「1日」が3件となっています。「3日」が1件となっています。

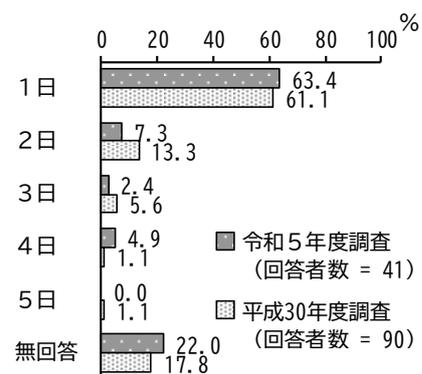
平成30年度調査と比較すると、「3日」の割合が増加しています。一方、「2日」の割合が減少しています。



6. 小学校ふれあいプラザ事業

「1日」の割合が63.4%と最も高くなっています。

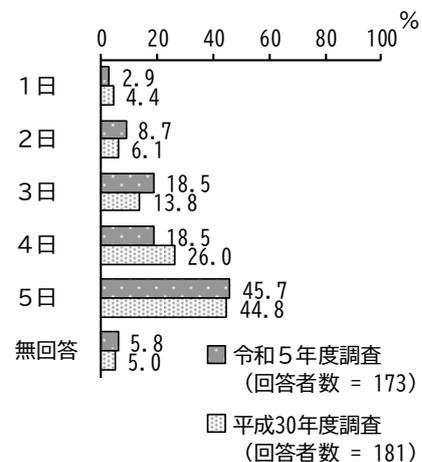
平成30年度調査と比較すると、「2日」の割合が減少しています。



7-1. 児童クラブ（学童保育）

「5日」の割合が45.7%と最も高く、次いで「3日」、「4日」の割合が18.5%となっています。

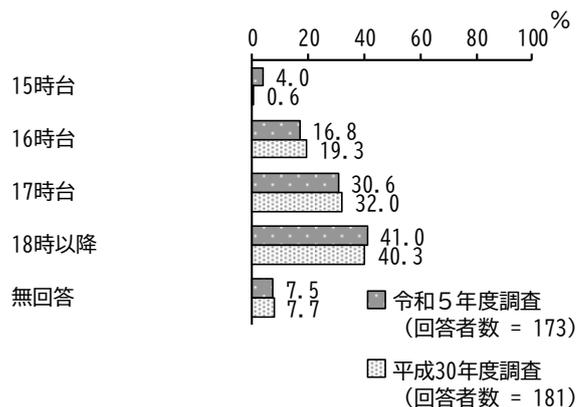
平成30年度調査と比較すると、「4日」の割合が減少しています。



7-2. 児童クラブ（学童保育）の利用終了時刻

「18時以降」の割合が41.0%と最も高く、次いで「17時台」の割合が30.6%、「16時台」の割合が16.8%となっています。

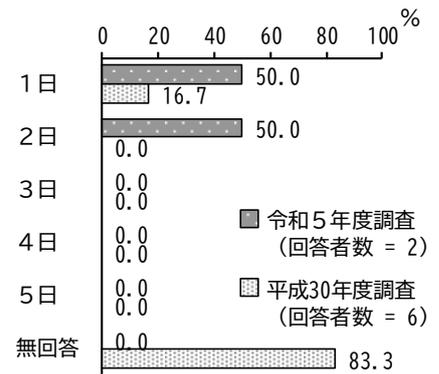
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



8. ファミリー・サポート・センター

「1日」、「2日」が1件となっています。

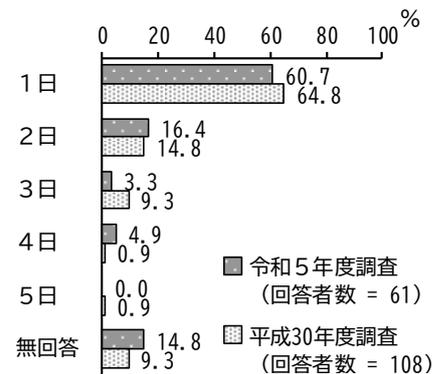
平成30年度調査と比較すると、「1日」、「2日」の割合が増加しています。



9. 公民館、図書館等の公的施設

「1日」の割合が60.7%と最も高く、次いで「2日」の割合が16.4%となっています。

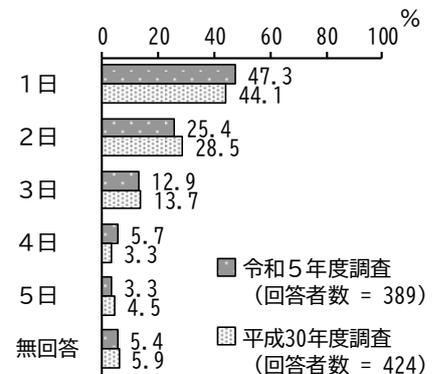
平成30年度調査と比較すると、「3日」の割合が減少しています。



10. 公園

「1日」の割合が47.3%と最も高く、次いで「2日」の割合が25.4%、「3日」の割合が12.9%となっています。

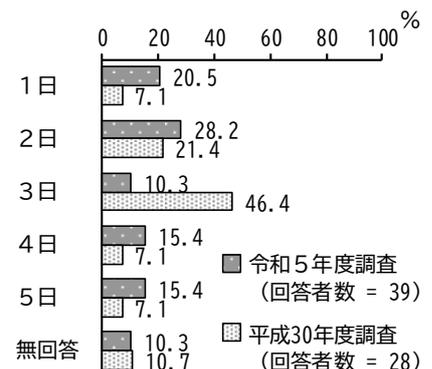
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



11. 放課後等デイサービス

「2日」の割合が28.2%と最も高く、次いで「1日」の割合が20.5%、「4日」、「5日」の割合が15.4%となっています。

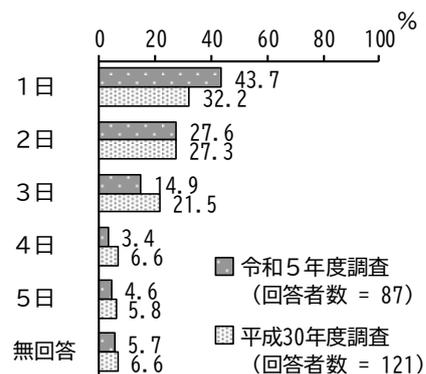
平成30年度調査と比較すると、「1日」、「2日」、「4日」、「5日」の割合が増加しています。一方、「3日」の割合が減少しています。



12. その他

「1日」の割合が43.7%と最も高く、次いで「2日」の割合が27.6%、「3日」の割合が14.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。一方、「3日」の割合が減少しています。

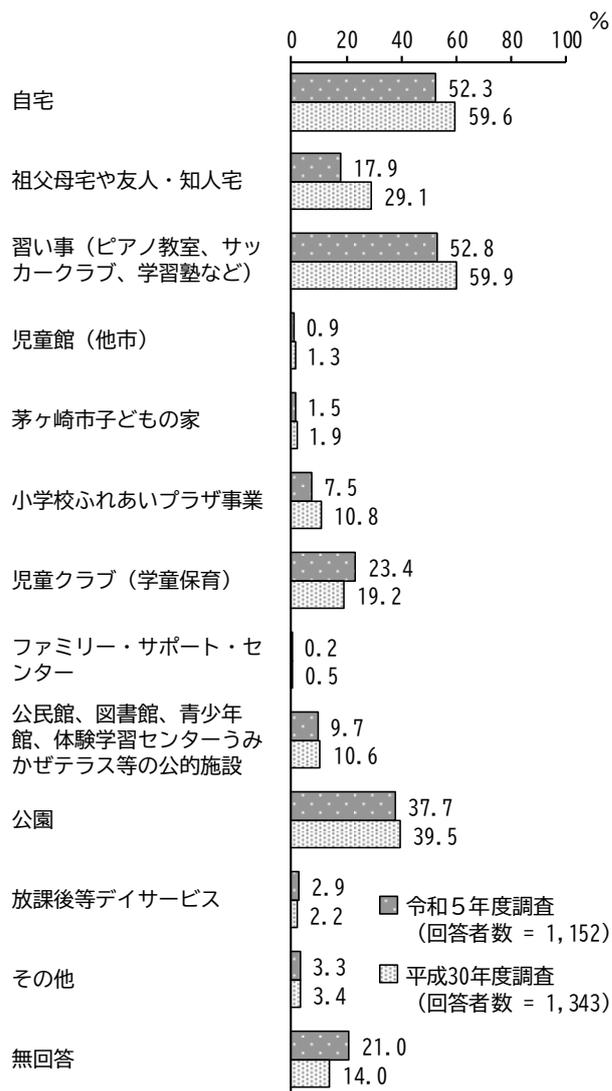


問16 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたい、過ごさせなかったと思いますか。小学校低学年と小学校高学年それぞれのあてはまる番号すべてに○をつけ、週当たり日数を数字でご記入ください。また、「児童クラブ（学童保育）」の場合には利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください。

(1) 小学校低学年（1～3年生）

「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が52.8%と最も高く、次いで「自宅」の割合が52.3%、「公園」の割合が37.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「自宅」、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が減少しています。



【その他の主な意見】

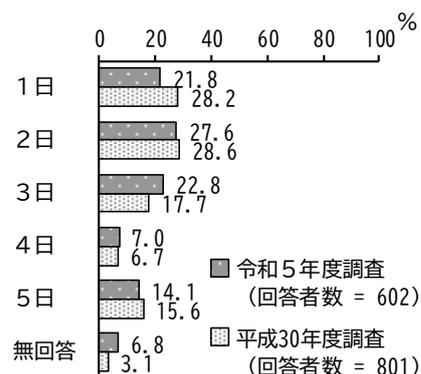
- ・友人との交遊
- ・子供の自由な遊び方
- ・自宅の目の前
- ・特にどこでもよい
- ・学校、校庭
- ・友人とあそぶ
- ・趣味（PC、イラスト）
- ・今のままで良い。

①週あたり利用日数

1. 自宅

「2日」の割合が27.6%と最も高く、次いで「3日」の割合が22.8%、「1日」の割合が21.8%となっています。

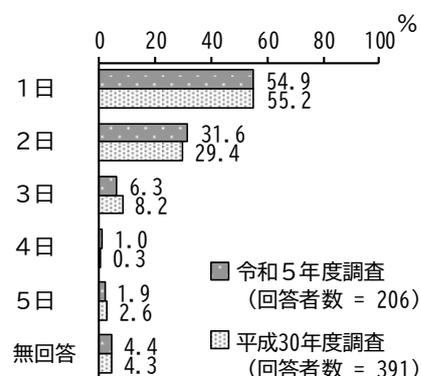
平成30年度調査と比較すると、「3日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。



2. 祖父母宅や友人・知人宅

「1日」の割合が54.9%と最も高く、次いで「2日」の割合が31.6%となっています。

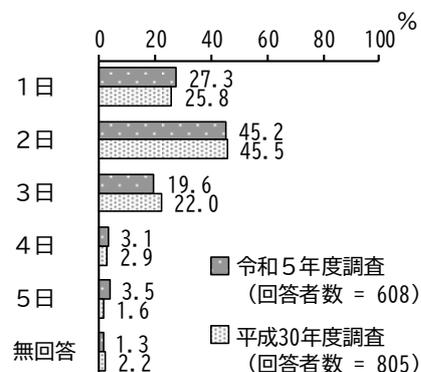
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)

「2日」の割合が45.2%と最も高く、次いで「1日」の割合が27.3%、「3日」の割合が19.6%となっています。

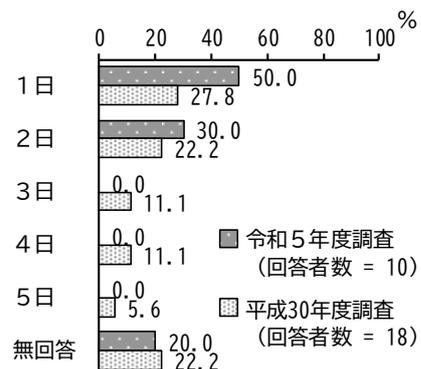
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



4. 児童館 (他市)

「1日」の割合が50.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が30.0%となっています。

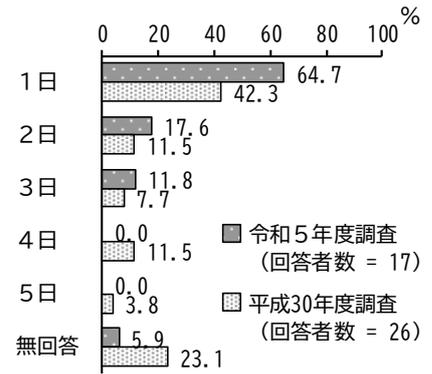
平成30年度調査と比較すると、「1日」、「2日」の割合が増加しています。一方、「3日」、「4日」、「5日」の割合が減少しています。



5. 茅ヶ崎市子どもの家

「1日」の割合が64.7%と最も高く、次いで「2日」の割合が17.6%、「3日」の割合が11.8%となっています。

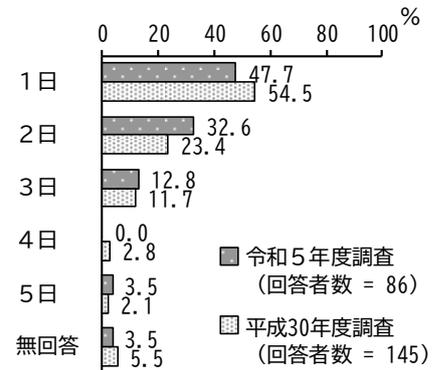
平成30年度調査と比較すると、「1日」、「2日」の割合が増加しています。一方、「4日」の割合が減少しています。



6. 小学校ふれあいプラザ事業

「1日」の割合が47.7%と最も高く、次いで「2日」の割合が32.6%、「3日」の割合が12.8%となっています。

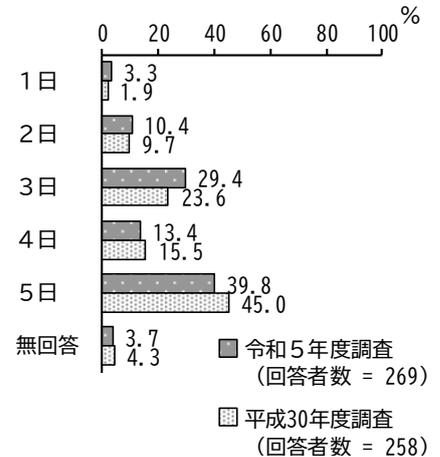
平成30年度調査と比較すると、「2日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。



7-1. 児童クラブ（学童保育）

「5日」の割合が39.8%と最も高く、次いで「3日」の割合が29.4%、「4日」の割合が13.4%となっています。

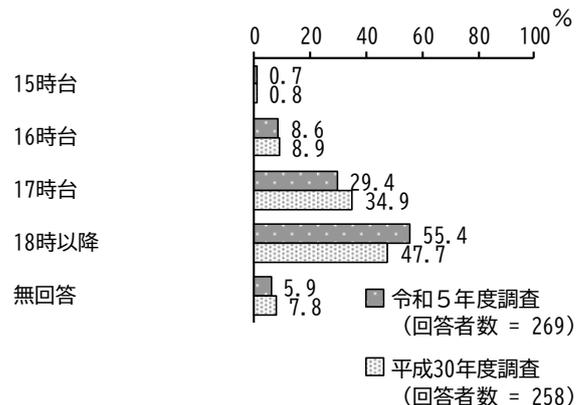
平成30年度調査と比較すると、「3日」の割合が増加しています。一方、「5日」の割合が減少しています。



7-2. 児童クラブ（学童保育）の利用終了時刻

「18時以降」の割合が55.4%と最も高く、次いで「17時台」の割合が29.4%となっています。

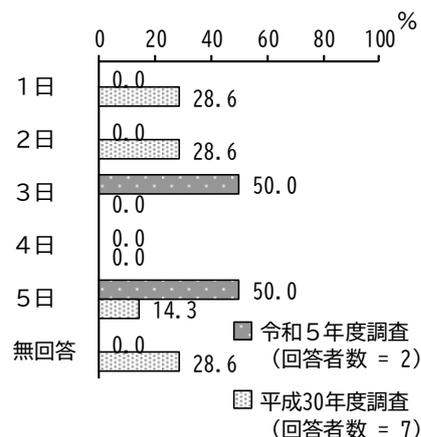
平成30年度調査と比較すると、「18時以降」の割合が増加しています。一方、「17時台」の割合が減少しています。



8. ファミリー・サポート・センター

「3日」、「5日」が1件となっています。

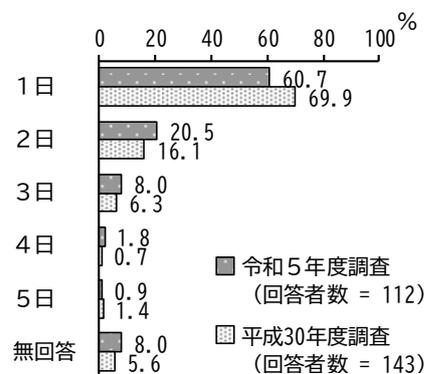
平成30年度調査と比較すると、「3日」、「5日」の割合が増加しています。一方、「1日」、「2日」の割合が減少しています。



9. 公民館、図書館等の公的施設

「1日」の割合が60.7%と最も高く、次いで「2日」の割合が20.5%となっています。

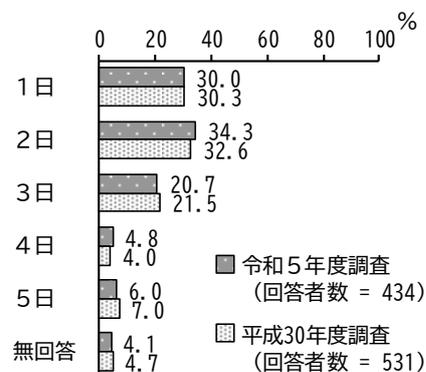
平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が減少しています。



10. 公園

「2日」の割合が34.3%と最も高く、次いで「1日」の割合が30.0%、「3日」の割合が20.7%となっています。

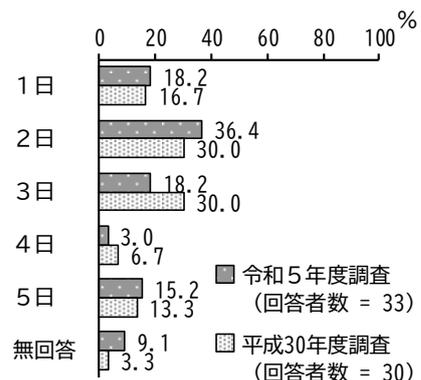
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



11. 放課後等デイサービス

「2日」の割合が36.4%と最も高く、次いで「1日」、「3日」の割合が18.2%となっています。

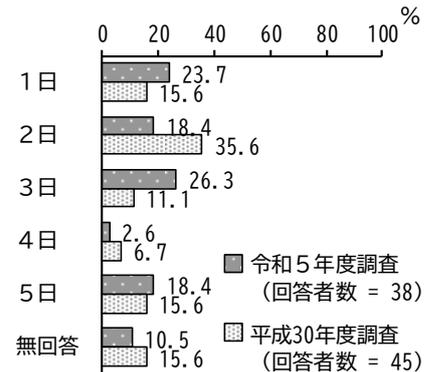
平成30年度調査と比較すると、「2日」の割合が増加しています。一方、「3日」の割合が減少しています。



12. その他

「3日」の割合が26.3%と最も高く、次いで「1日」の割合が23.7%、「2日」、「5日」の割合が18.4%となっています。

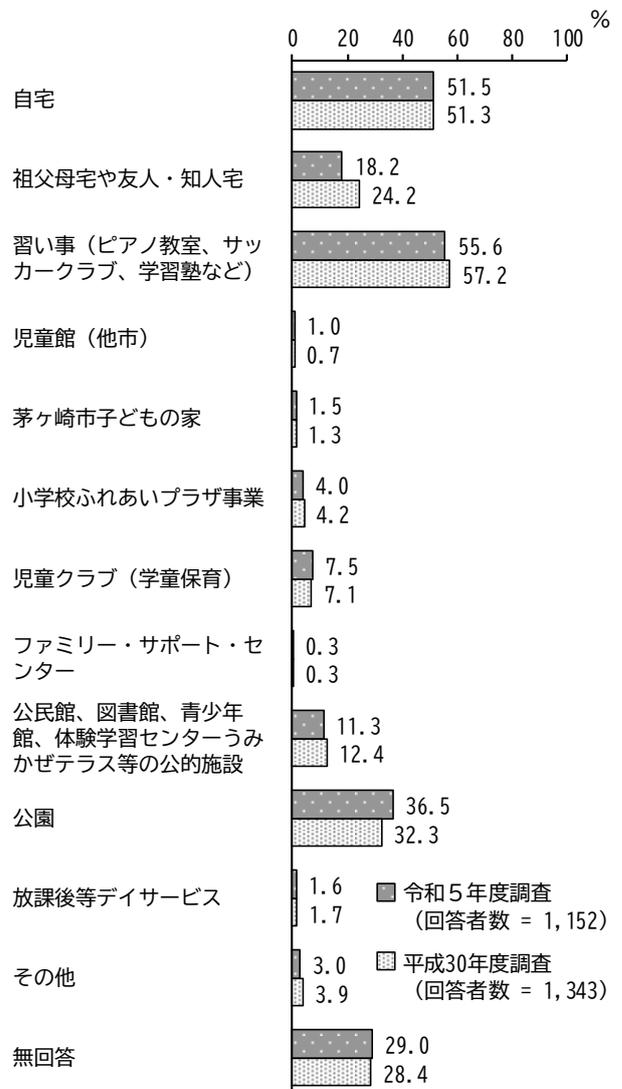
平成30年度調査と比較すると、「1日」、「3日」の割合が増加しています。一方、「2日」の割合が減少しています。



(2) 小学校高学年（4～6年生）

「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が55.6%と最も高く、次いで「自宅」の割合が51.5%、「公園」の割合が36.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が減少しています。

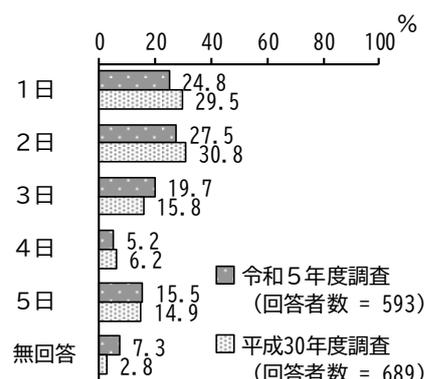


①週あたり利用日数

1. 自宅

「2日」の割合が27.5%と最も高く、次いで「1日」の割合が24.8%、「3日」の割合が19.7%となっています。

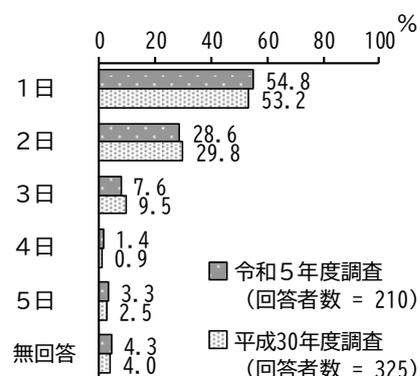
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



2. 祖父母宅や友人・知人宅

「1日」の割合が54.8%と最も高く、次いで「2日」の割合が28.6%となっています。

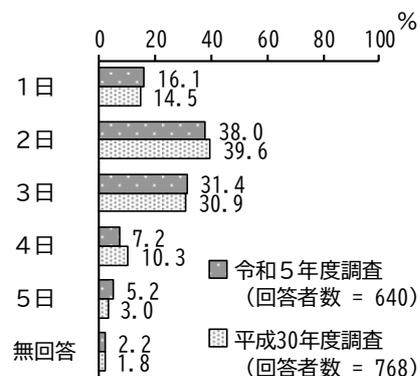
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)

「2日」の割合が38.0%と最も高く、次いで「3日」の割合が31.4%、「1日」の割合が16.1%となっています。

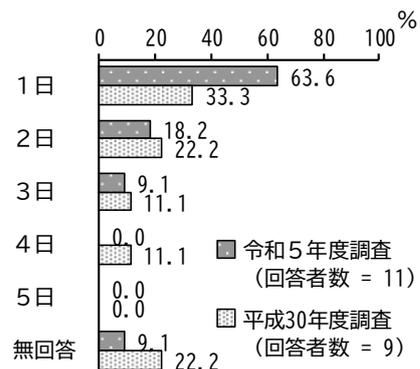
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



4. 児童館 (他市)

「1日」の割合が63.6%と最も高く、次いで「2日」の割合が18.2%となっています。

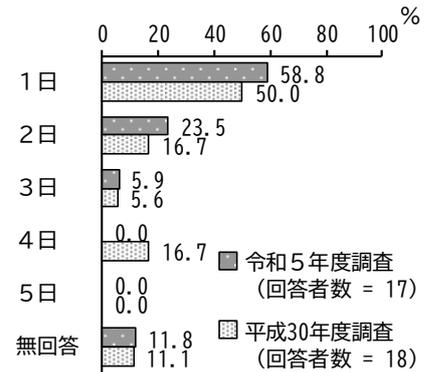
平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。一方、「4日」の割合が減少しています。



5. 茅ヶ崎市子どもの家

「1日」の割合が58.8%と最も高く、次いで「2日」の割合が23.5%となっています。

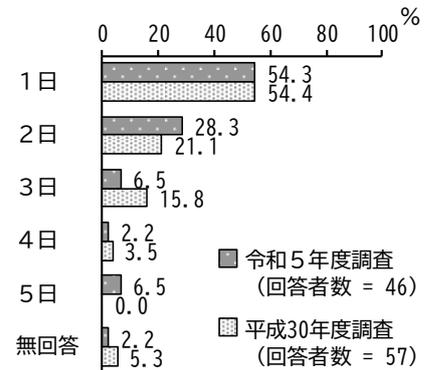
平成30年度調査と比較すると、「1日」、「2日」の割合が増加しています。一方、「4日」の割合が減少しています。



6. 小学校ふれあいプラザ事業

「1日」の割合が54.3%と最も高く、次いで「2日」の割合が28.3%となっています。

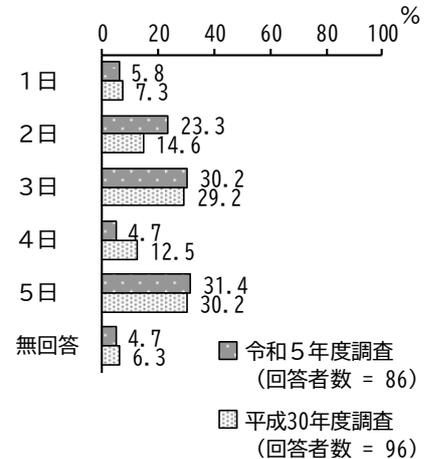
平成30年度調査と比較すると、「2日」、「5日」の割合が増加しています。一方、「3日」の割合が減少しています。



7-1. 児童クラブ（学童保育）

「5日」の割合が31.4%と最も高く、次いで「3日」の割合が30.2%、「2日」の割合が23.3%となっています。

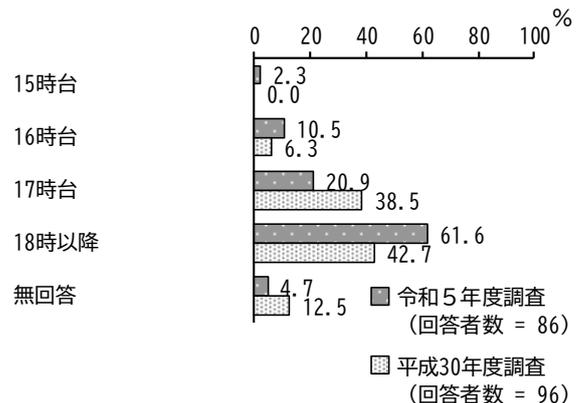
平成30年度調査と比較すると、「2日」の割合が増加しています。一方、「4日」の割合が減少しています。



7-2. 児童クラブ（学童保育）の利用終了時刻

「18時以降」の割合が61.6%と最も高く、次いで「17時台」の割合が20.9%、「16時台」の割合が10.5%となっています。

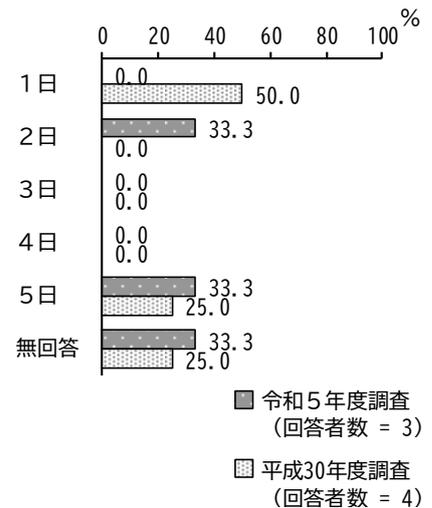
平成30年度調査と比較すると、「18時以降」の割合が増加しています。一方、「17時台」の割合が減少しています。



8. ファミリー・サポート・センター

「2日」、「5日」が1件となっています。

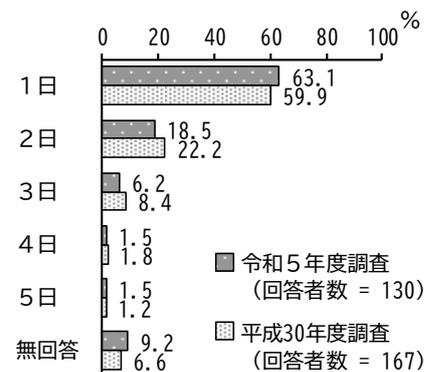
平成30年度調査と比較すると、「2日」、「5日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。



9. 公民館、図書館等の公的施設

「1日」の割合が63.1%と最も高く、次いで「2日」の割合が18.5%となっています。

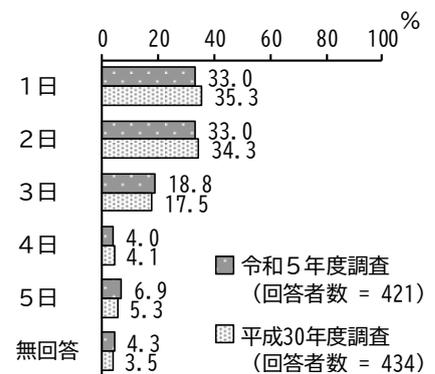
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



10. 公園

「1日」、「2日」の割合が33.0%と最も高く、次いで「3日」の割合が18.8%となっています。

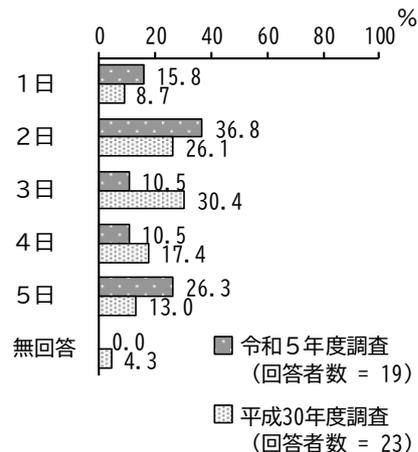
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



11. 放課後等デイサービス

「2日」の割合が36.8%と最も高く、次いで「5日」の割合が26.3%、「1日」の割合が15.8%となっています。

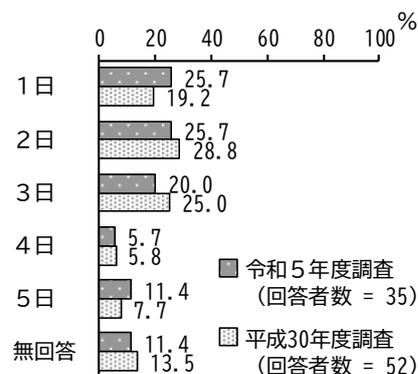
平成30年度調査と比較すると、「1日」、「2日」、「5日」の割合が増加しています。一方、「3日」、「4日」の割合が減少しています。



12. その他

「1日」、「2日」の割合が25.7%と最も高く、次いで「3日」の割合が20.0%となっています。

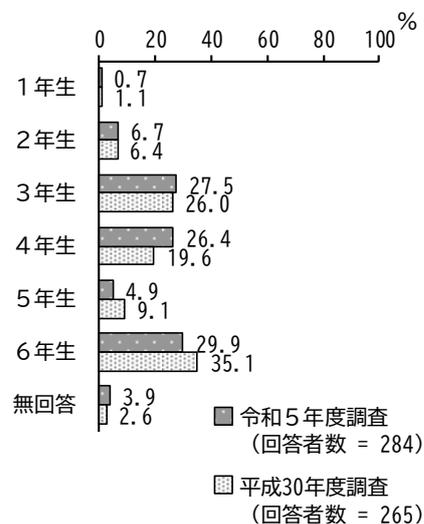
平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。



問16-1 問16で「7. 児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。
何年生まで児童クラブ（学童保育）を利用したいですか。
(() 内に数字を記入)

「6年生」の割合が29.9%と最も高く、次いで「3年生」の割合が27.5%、「4年生」の割合が26.4%となっています。

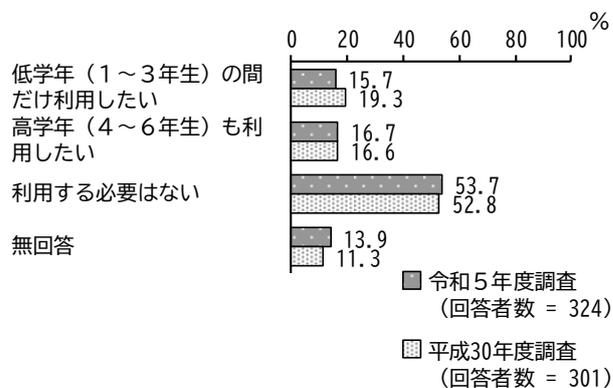
平成30年度調査と比較すると、「4年生」の割合が増加しています。一方、「6年生」の割合が減少しています。



問 17 問 15 または問 16 で「7 児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。
宛名のお子さんについて、土曜日に、児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。（1つだけに○）また利用したい時間帯を、（ ）内に（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

「利用する必要はない」の割合が53.7%と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）も利用したい」の割合が16.7%、「低学年（1～3年生）の間だけ利用したい」の割合が15.7%となっています。

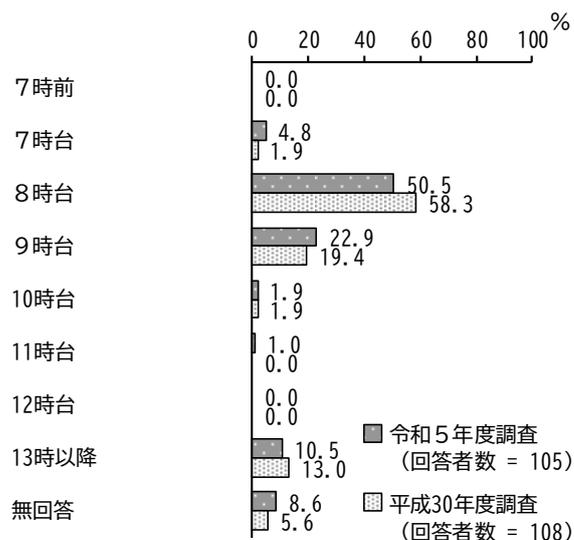
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



利用希望開始時刻

「8時台」の割合が50.5%と最も高く、次いで「9時台」の割合が22.9%、「13時以降」の割合が10.5%となっています。

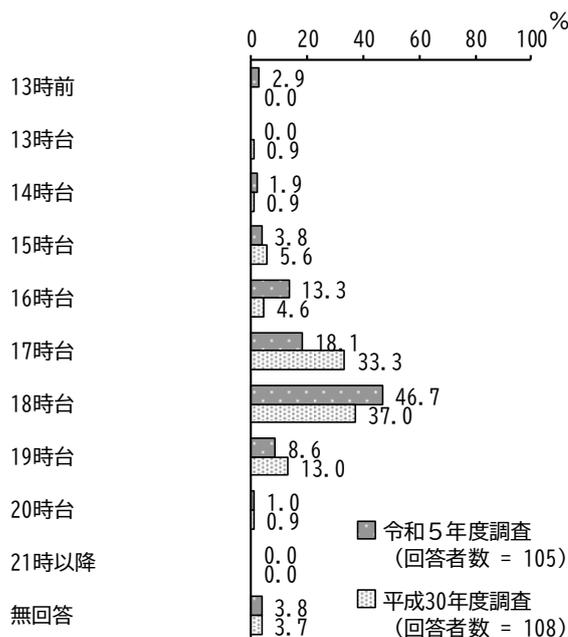
平成30年度調査と比較すると、「8時台」の割合が減少しています。



利用希望終了時刻

「18 時台」の割合が 46.7%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 18.1%、「16 時台」の割合が 13.3%となっています。

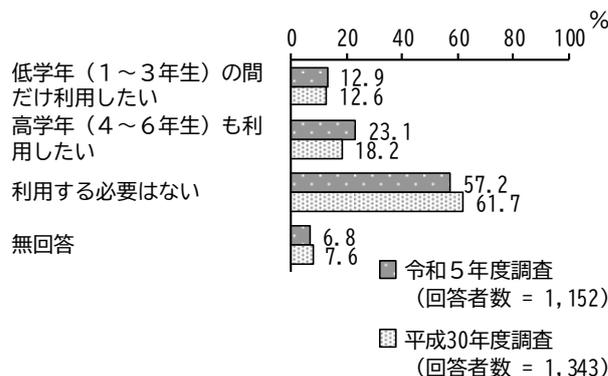
平成 30 年度調査と比較すると、「16 時台」、「18 時台」の割合が増加しています。一方、「17 時台」の割合が減少しています。



問 18 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。（1つだけに○）また利用したい時間帯を、（ ）内に（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

「利用する必要はない」の割合が 57.2%と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）も利用したい」の割合が 23.1%、「低学年（1～3年生）の間だけ利用したい」の割合が 12.9%となっています。

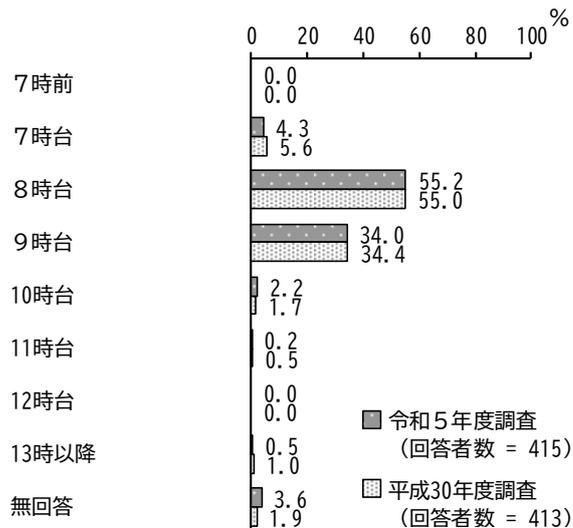
平成 30 年度調査と比較すると、「高学年（4～6年生）も利用したい」の割合が増加しています。一方、「利用する必要はない」の割合が減少しています。



利用希望開始時刻

「8時台」の割合が55.2%と最も高く、次いで「9時台」の割合が34.0%となっています。

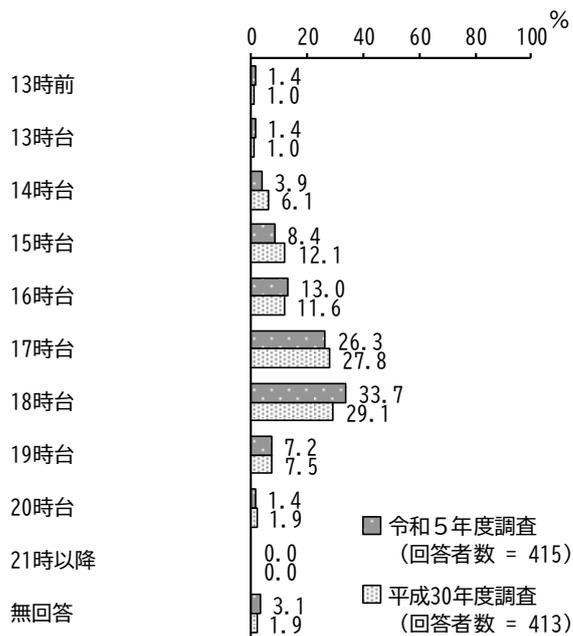
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



利用希望終了時刻

「18時台」の割合が33.7%と最も高く、次いで「17時台」の割合が26.3%、「16時台」の割合が13.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「18時台」の割合が増加しています。



問19 宛名のお子さんを、登校時間前に預けたことがありますか。
 (預けたことがある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

「預けたことはない」の割合が87.7%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,152

預けたことはない

祖父母、親戚等

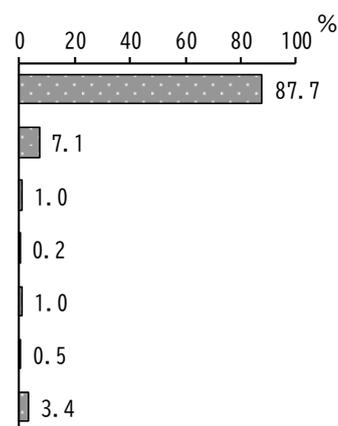
ファミリー・サポート・センターの活用

キッズシッター等の自宅に来てもらうサービス

民間学童等

その他

無回答



【その他の意見】

・移動支援

・友人

・ご近所宅

問20 登校時間前にお子様を預けられるサービスがあった場合、利用したいと思いますか。
 (あてはまる番号1つに○をつけ、利用したい場合はおおよその回数を記載してください。)

「利用しない」の割合が64.1%と最も高く、次いで「わからない」の割合が26.7%となっています。

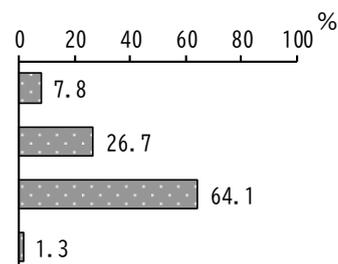
回答者数 = 1,152

利用したい

わからない

利用しない

無回答



利用したい日数

「4～5日」の割合が32.2%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が31.1%、「1日」の割合が18.9%となっています。

回答者数 = 90

1日

2～3日

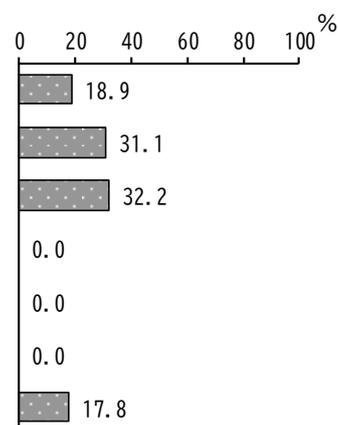
4～5日

6～9日

10～19日

20日以上

無回答

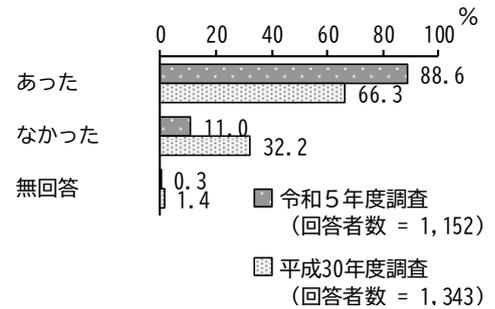


(5) 病気の際の対応について

問 21 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことがありますか。(1つだけに○)

「あった」の割合が88.6%、「なかった」の割合が11.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「あった」の割合が増加しています。一方、「なかった」の割合が減少しています。

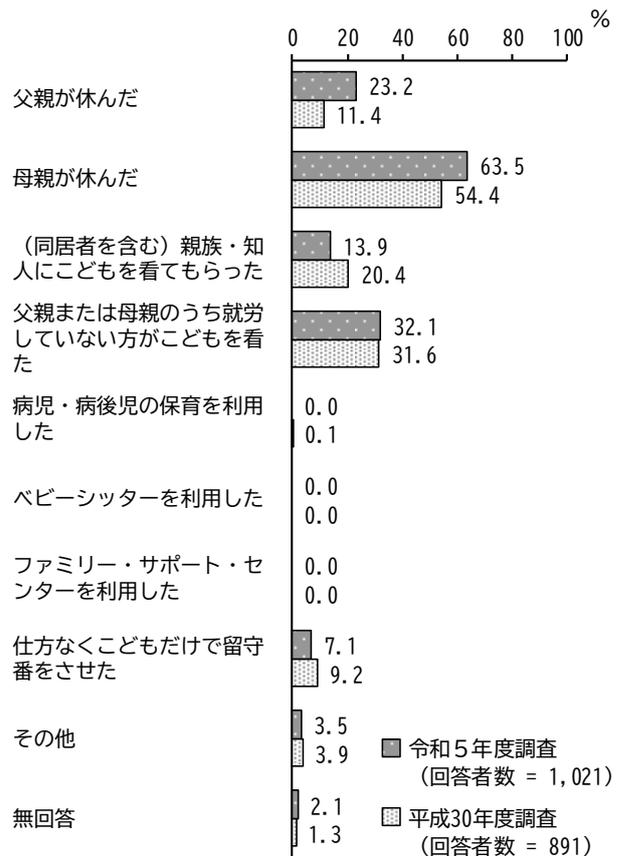


問 21-1 この1年間に行った対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)。

1年間の対処方法

「母親が休んだ」の割合が63.5%と最も高く、次いで「父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た」の割合が32.1%、「父親が休んだ」の割合が23.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「父親が休んだ」、「母親が休んだ」の割合が増加しています。一方、「(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった」の割合が減少しています。



【その他の意見】

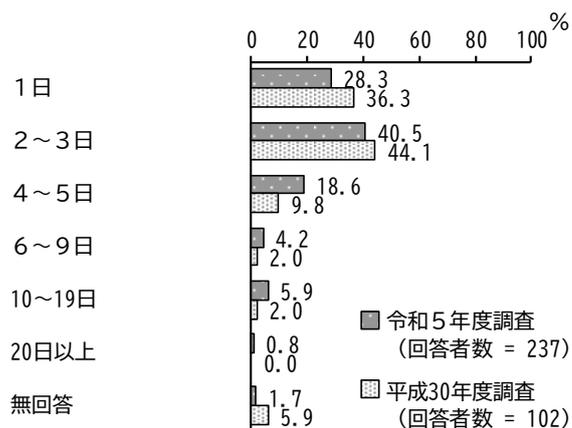
- ・自営業なので連れて行った
- ・在宅勤務で対応した
- ・父親・母親が在宅勤務で対応
- ・自宅で仕事をした
- ・リモートワークをしながら様子を見た

年間日数

1. 父親が休んだ

「2～3日」の割合が40.5%と最も高く、次いで「1日」の割合が28.3%、「4～5日」の割合が18.6%となっています。

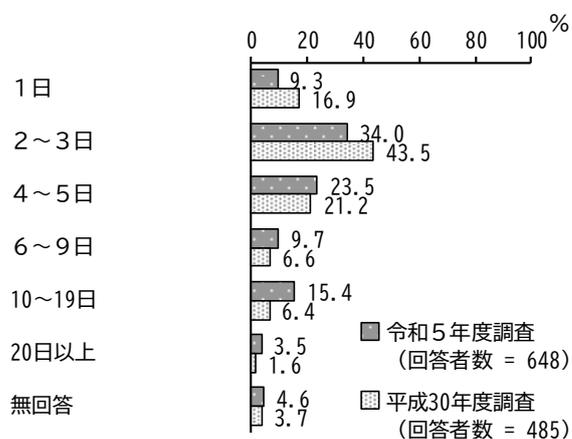
平成30年度調査と比較すると、「4～5日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。



2. 母親が休んだ

「2～3日」の割合が34.0%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が23.5%、「10～19日」の割合が15.4%となっています。

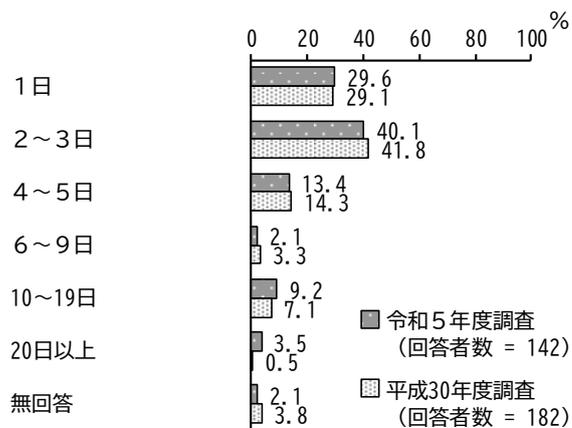
平成30年度調査と比較すると、「10～19日」の割合が増加しています。一方、「1日」、「2～3日」の割合が減少しています。



3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった

「2～3日」の割合が40.1%と最も高く、次いで「1日」の割合が29.6%、「4～5日」の割合が13.4%となっています。

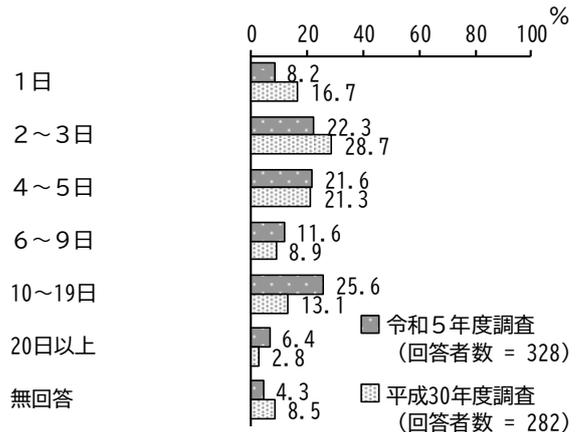
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



4. 父親または母親のうち就労していない方がこどもを看た

「10～19日」の割合が25.6%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が22.3%、「4～5日」の割合が21.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「10～19日」の割合が増加しています。一方、「1日」、「2～3日」の割合が減少しています。



5. 病児・病後児の保育を利用した

有効回答がありませんでした。

6. ベビーシッターを利用した

有効回答がありませんでした。

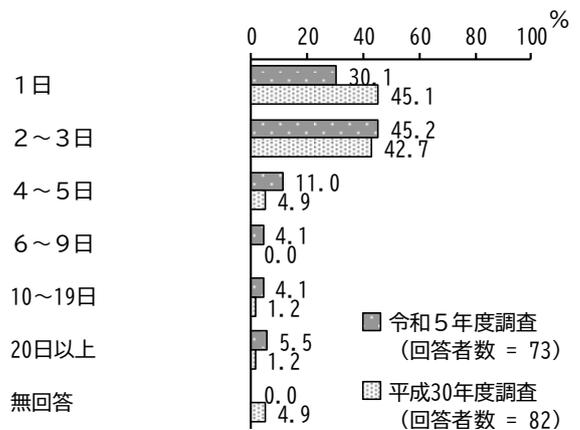
7. ファミリー・サポート・センターを利用した

有効回答がありませんでした。

8. 仕方なくこどもだけで留守番をさせた

「2～3日」の割合が45.2%と最も高く、次いで「1日」の割合が30.1%、「4～5日」の割合が11.0%となっています。

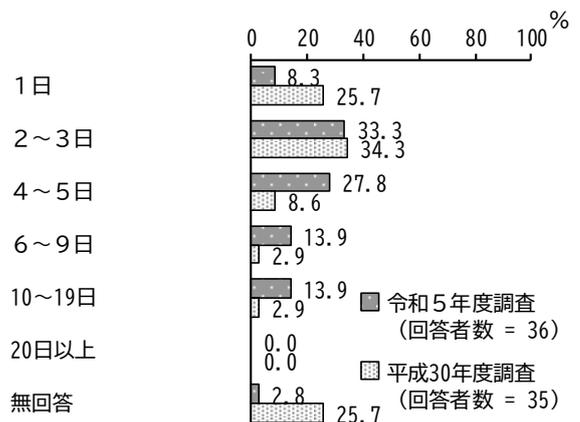
平成30年度調査と比較すると、「4～5日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。



9. その他

「2～3日」の割合が33.3%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が27.8%、「6～9日」、「10～19日」の割合が13.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4～5日」、「6～9日」、「10～19日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。

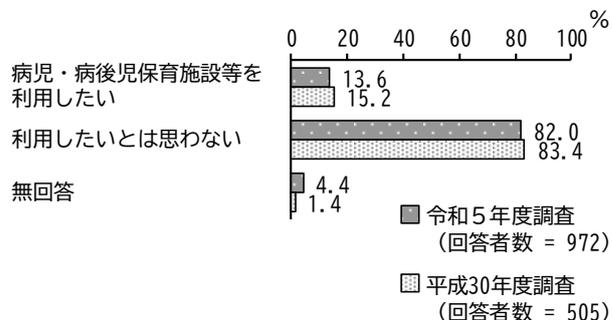


問21-2 問21-1で「1」～「4」のいずれかに回答した方にかがいます。

その際、「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、日数（1年間当たり）についても（ ）内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

「病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が13.6%、「利用したいとは思わない」の割合が82.0%となっています。

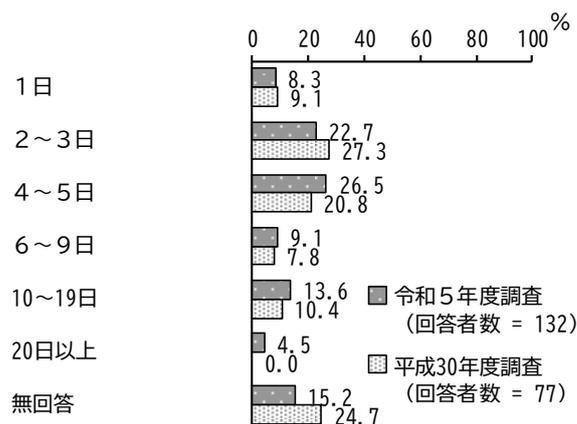
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



病児・病後児保育施設等を利用したい日数

「4～5日」の割合が26.5%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が22.7%、「10～19日」の割合が13.6%となっています。

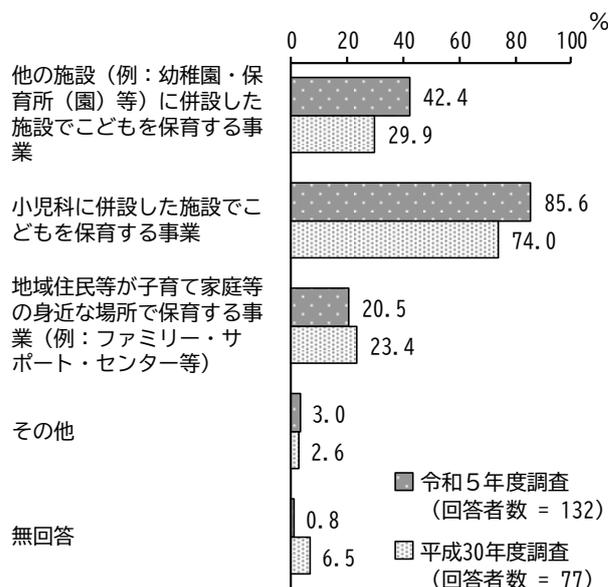
平成30年度調査と比較すると、「4～5日」の割合が増加しています。



問 21-3 問 21-2 で「1 病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にかがいます。
 上記の目的でこどもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるか。(あてはまるものすべてに○)

「小児科に併設した施設でこどもを保育する事業」の割合が 85.6%と最も高く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育所（園）等）に併設した施設でこどもを保育する事業」の割合が 42.4%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」の割合が 20.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「他の施設（例：幼稚園・保育所（園）等）に併設した施設でこどもを保育する事業」、「小児科に併設した施設でこどもを保育する事業」の割合が増加しています。



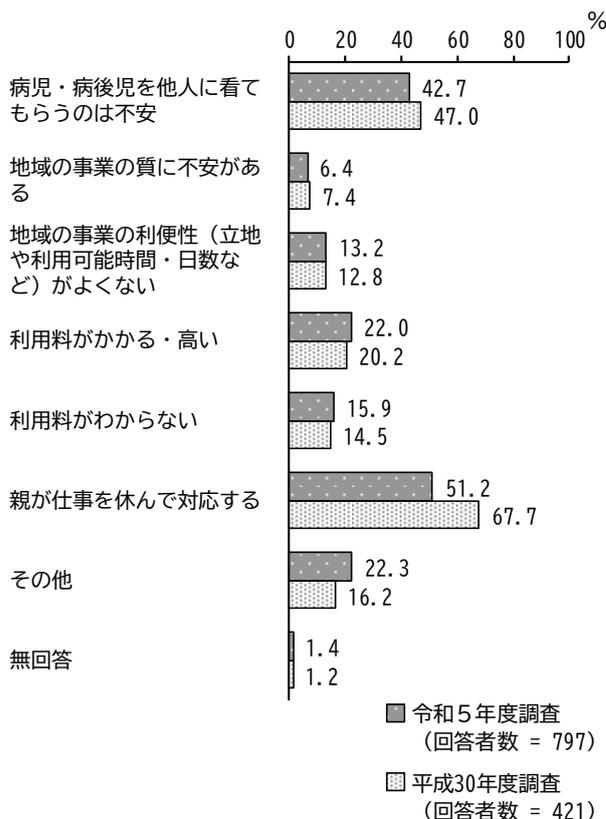
【その他の意見】

- ・併設している必要はない
- ・家の近くの施設、小児科がありがたいです。
- ・病児の知識を持ったベビーシッターの様なプロの方
- ・学校の保険室又は学校及び学童に併設した施設

問21-4 問21-2で「2 利用したいと思わない」に○をつけた方にかがいます。そのように思われる理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

「親が仕事を休んで対応する」の割合が51.2%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安」の割合が42.7%、「利用料がかかる・高い」の割合が22.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「親が仕事を休んで対応する」の割合が減少しています。



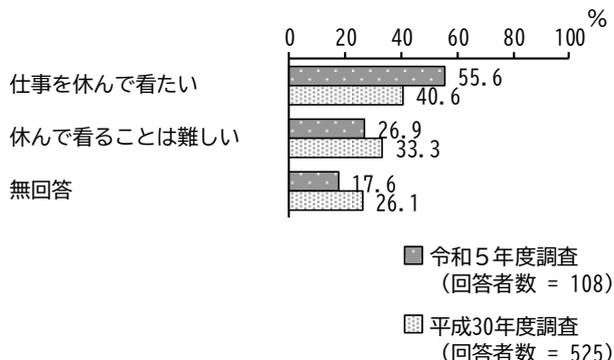
【その他の主な意見】

- ・ 母親が就労していないため
- ・ 就労していない保護者が看る
- ・ 祖父母が同居なので必要がない
- ・ 特に他人に看ていただく必要がない
- ・ 就労していない方が看る為
- ・ 今は就労していないので。
- ・ 親が仕事を休んで対応したい
- ・ 現在は母親が対応可能なため

問21-5 問21-1で「5」～「9」のいずれかに回答した方にかがいます。
 その際、「父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、問21-1の「5」～「9」の日数のうち、仕事を休んで看たかった日数も数字でご記入ください。

「仕事を休んで看たい」の割合が55.6%、「休んで看るとは難しい」の割合が26.9%となっています。

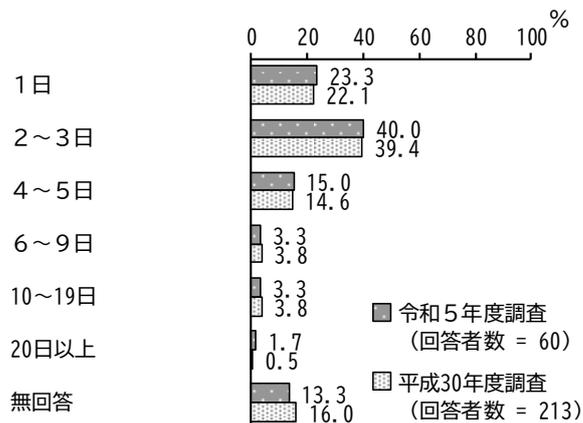
平成30年度調査と比較すると、「仕事を休んで看たい」の割合が増加しています。一方、「休んで看るとは難しい」の割合が減少しています。



仕事を休んで看たい日数

「2～3日」の割合が40.0%と最も高く、次いで「1日」の割合が23.3%、「4～5日」の割合が15.0%となっています。

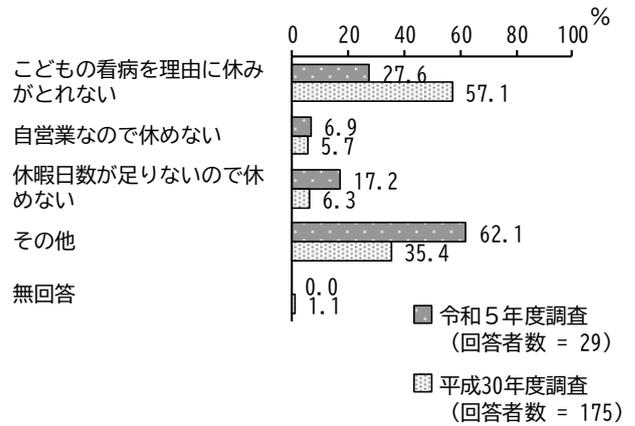
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問21-6 問21-5で「2 休んで見ることは難しい」に○をつけた方にかがいます。そう思われる理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

「こどもの看病を理由に休みがとれない」の割合が27.6%と最も高く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」の割合が17.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「休暇日数が足りないので休めない」の割合が増加しています。一方、「こどもの看病を理由に休みがとれない」の割合が減少しています。



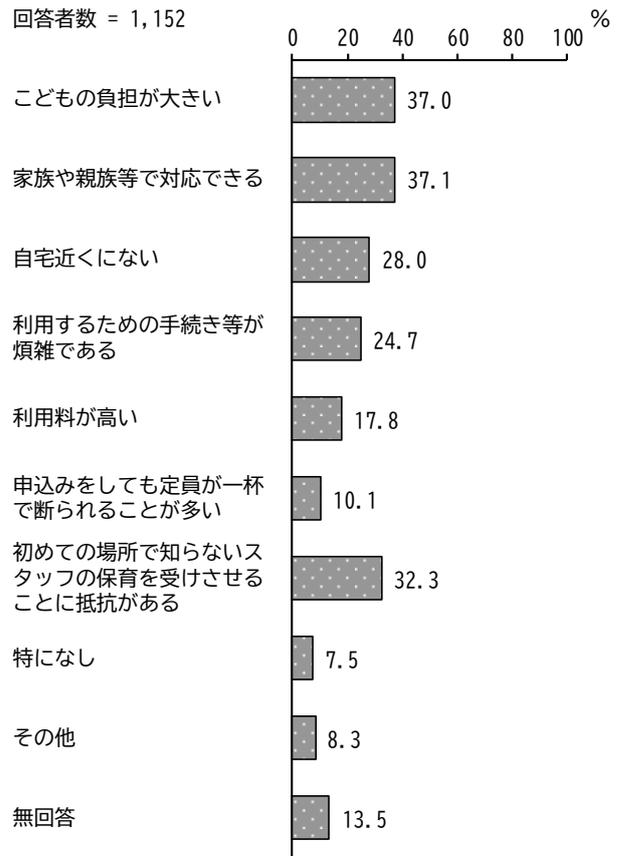
【その他の主な意見】

- ・ 仕事柄、休みにくい。
- ・ 人員が足りなかった。
- ・ 病気の度合による。
- ・ 休まなくても仕事ができる
- ・ 入社→在宅ワークに切替える。
- ・ 続けて休むことが難しい
- ・ すでに元気だし高学年。
- ・ 在宅勤務なので対応可
- ・ 仕事が忙しく休めない
- ・ スタッフの人数が少なく厳しい。

問 22 病児・病後児保育について、利用したことがある、なしに関わらず、感じていることをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

「家族や親族等で対応できる」の割合が 37.1% と最も高く、次いで「こどもの負担が大きい」の割合が 37.0%、「初めての場所で知らないスタッフの保育を受けさせることに抵抗がある」の割合が 32.3%となっています。

回答者数 = 1,152



【その他の主な意見】

- ・そもそも利用していないので分からない
- ・引越したばかりで、まだよく知らない
- ・手続き方法等調べてないので分からない
- ・病児・病後保育について詳しく知らない
- ・使えない場合（インフルエンザなど）が多い
- ・その施設があることを知らない。
- ・病児・病後児保育自体知らなかった。
- ・どの程度で利用できるかわからない。
- ・私は主婦なので自宅で看ます

(6) 不定期の一時預かりや宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も（ ）内に数字でご記入ください。

利用している事業

「利用していない」の割合が96.9%と最も高くなっています。
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）

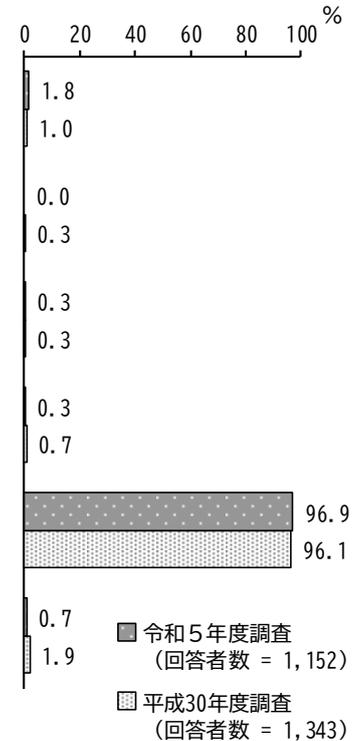
子育て短期支援事業（トワイライトステイ）（児童養護施設等で夜間、子どもを保護する事業）

ベビーシッター

その他

利用していない

無回答



【その他の意見】

- ・ インターナショナルスクール
- ・ ショートステイ

- ・ 自分の親
- ・ 放課後等ディサービス

事業別年間日数

1. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）

「1日」の割合が28.6%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が19.0%、「2～3日」の割合が14.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。一方、「2～3日」、「20日以上」の割合が減少しています。

1日

2～3日

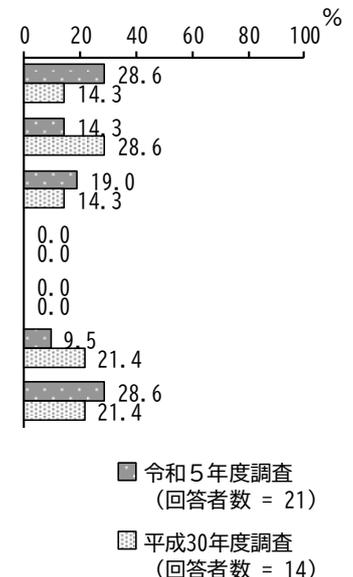
4～5日

6～9日

10～19日

20日以上

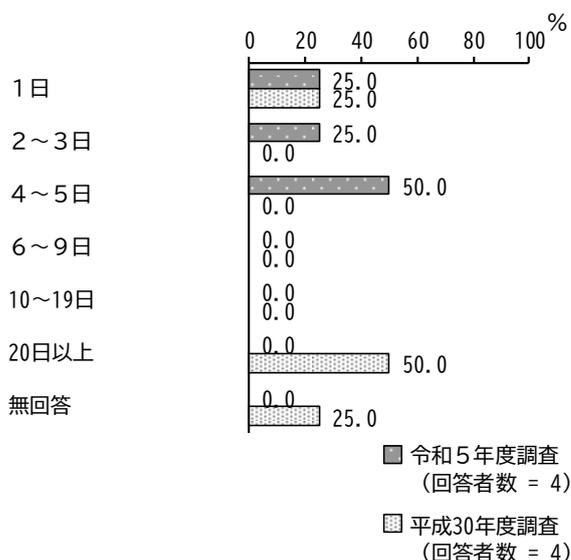
無回答



2. 子育て短期支援事業（トワイライトステイ）（児童養護施設等で夜間、子どもを保護する事業）
有効回答がありませんでした。

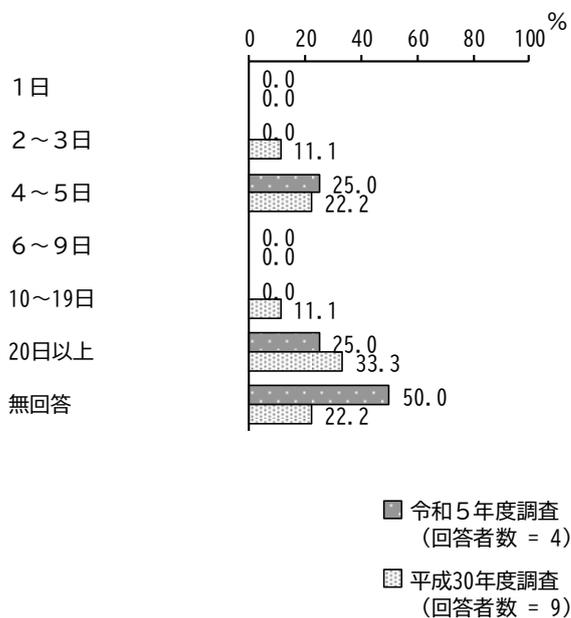
3. ベビーシッター

「4～5日」が2件となっています。「1日」、
「2～3日」が1件となっています。
平成30年度調査と比較すると、「2～3日」、
「4～5日」の割合が増加しています。一方、「20
日以上」の割合が減少しています。



4. その他

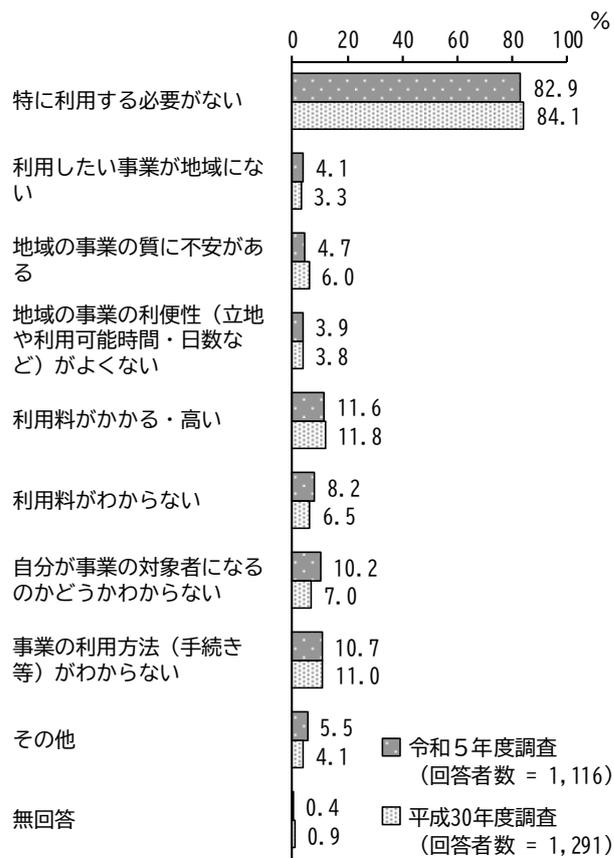
「4～5日」、「20日以上」が1件となっていま
す。
平成30年度調査と比較すると、「2～3日」、
「10～19日」、「20日以上」の割合が減少してい
ます。



問23-1 問23で「5 利用していない」と回答した方にうかがいます。
現在利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「特に利用する必要がない」の割合が82.9%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」の割合が11.6%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」の割合が10.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【その他の主な意見】

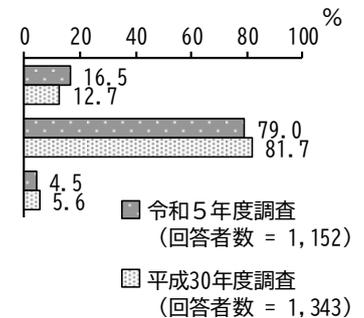
- ・ 祖母や上に兄弟がいる為
- ・ 放課後デイサービスに預っていただいている。
- ・ 家族主人・父母に依頼している
- ・ もっと小さい頃なら利用したかった
- ・ プライバシーを侵害される気がするから。
- ・ その施設があることを知らない。
- ・ 子どもが発達障害のため預けるのが難しい
- ・ 子供のメンタル面に不安がある為。
- ・ 遠方の両親を呼んでお願いする為
- ・ 利用したい日にすぐ出来る訳でない為

問 24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

「利用したい」の割合が16.5%、「利用する必要はない」の割合が79.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用したい」の割合が増加しています。

利用したい
利用する必要はない
無回答



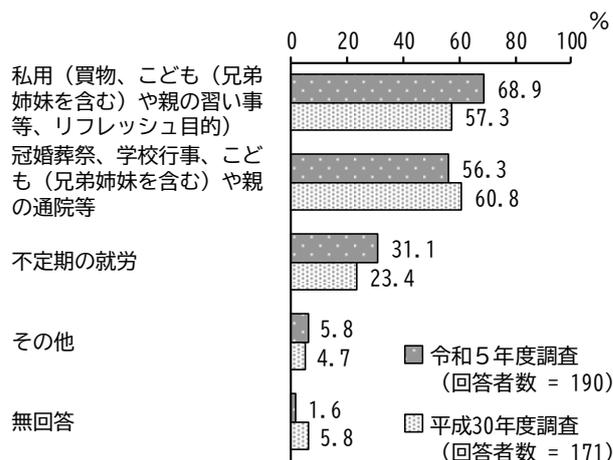
【その他の意見】

- ・親の体調不良
- ・親の就労で子の習い事の送り迎え
- ・親の資格試験
- ・夏休み
- ・入院、手術など
- ・何かあった時に安心
- ・事業が明確でないので回答できない
- ・急な学校休校時など
- ・通院

利用したい事業

「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的）」の割合が 68.9% と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が 56.3%、「不定期の就労」の割合が 31.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的）」、「不定期の就労」の割合が増加しています。

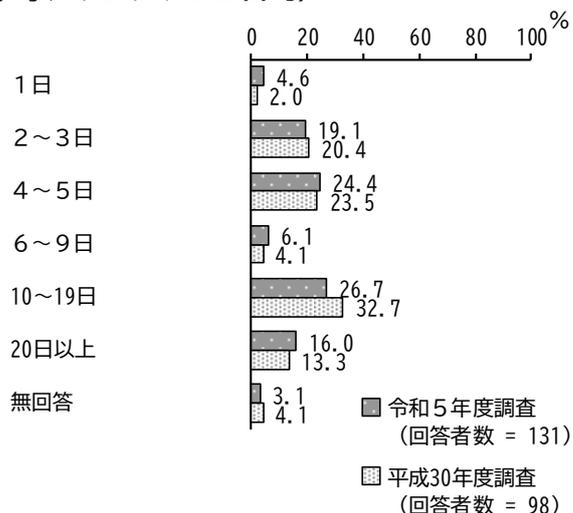


年間日数

1 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的)

「10～19日」の割合が 26.7% と最も高く、次いで「4～5日」の割合が 24.4%、「2～3日」の割合が 19.1%となっています。

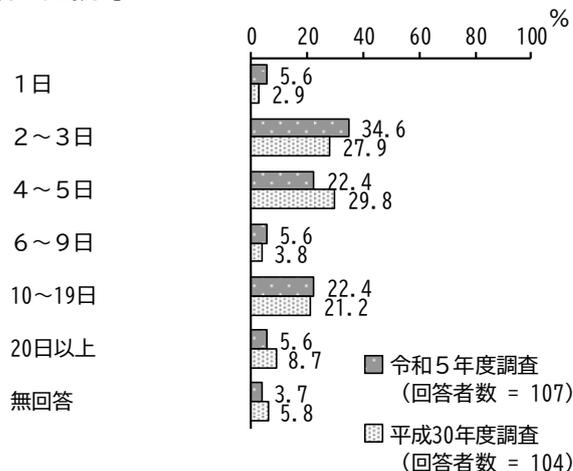
平成 30 年度調査と比較すると、「10～19日」の割合が減少しています。



2 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等

「2～3日」の割合が 34.6% と最も高く、次いで「4～5日」、「10～19日」の割合が 22.4%となっています。

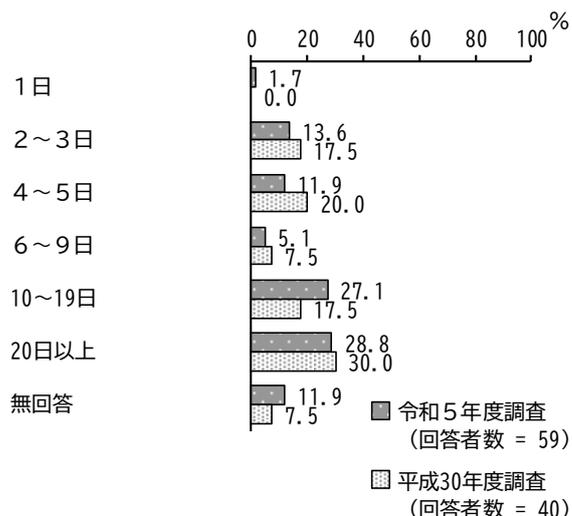
平成 30 年度調査と比較すると、「2～3日」の割合が増加しています。一方、「4～5日」の割合が減少しています。



3 不定期の就労

「20日以上」の割合が28.8%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が27.1%、「2～3日」の割合が13.6%となっています。

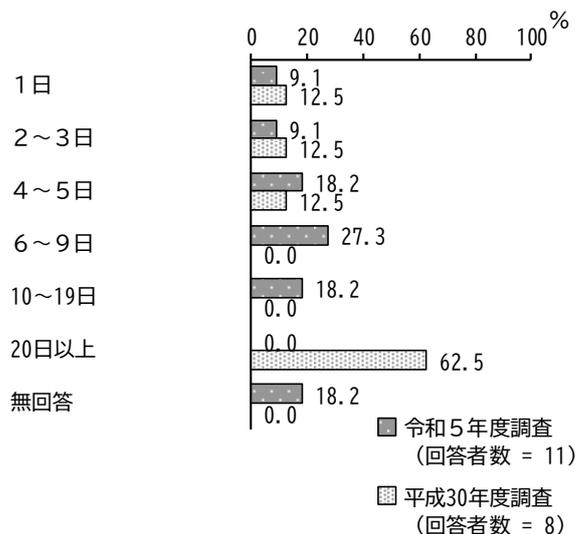
平成30年度調査と比較すると、「10～19日」の割合が増加しています。一方、「4～5日」の割合が減少しています。



4 その他

「6～9日」の割合が27.3%と最も高く、次いで「4～5日」、「10～19日」の割合が18.2%となっています。

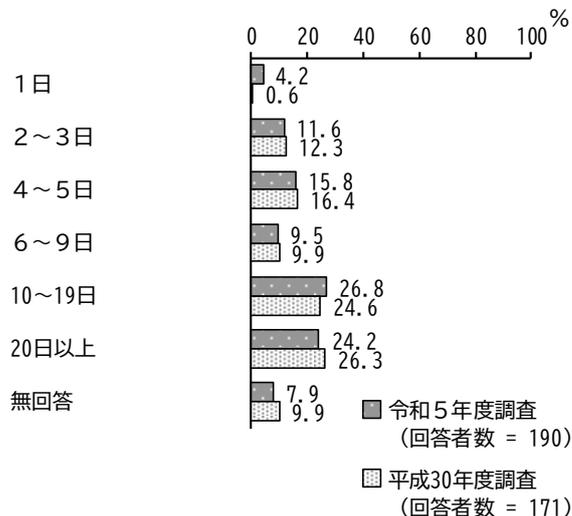
平成30年度調査と比較すると、「4～5日」、「6～9日」、「10～19日」の割合が増加しています。一方、「20日以上」の割合が減少しています。



合計日数

「10～19日」の割合が26.8%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が24.2%、「4～5日」の割合が15.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



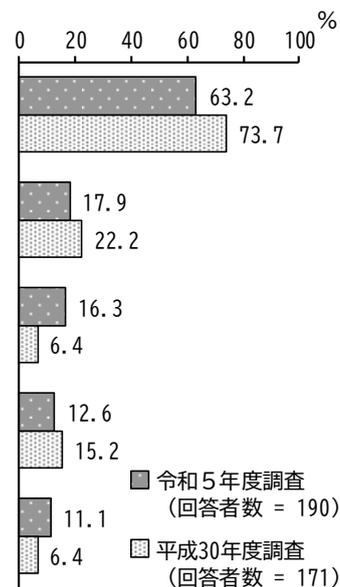
問 24-1 問 24 で「1 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号すべてに○をつけ、事業別の利用したい日数を（ ）内に数字でご記入ください。

利用したい事業

「ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）」の割合が 63.2%と最も高く、次いで「子育て短期支援事業（トワイライトステイ）（児童養護施設等で夜間、子どもを保護する事業）」の割合が 17.9%、「ベビーシッター」の割合が 16.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「ベビーシッター」の割合が増加しています。一方、「ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）」の割合が減少しています。

ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
子育て短期支援事業（トワイライトステイ）（児童養護施設等で夜間、子どもを保護する事業）
ベビーシッター
その他
無回答



【その他の主な意見】

- ・学童、保育園のような公的なもの
- ・日中親が息抜きできる時間がほしい。
- ・集団で預かってくれる一時預かり所
- ・安心して預けられる事業所があれば。
- ・そういった場所で良さそうな所があれば
- ・必要があるという場面は突然である。
- ・どの事業にすれば良いのか分からない
- ・発達障害があるためどこが適切かわからない
- ・利用はしたくない
- ・保育の資格・経験がある方にあずけたい。

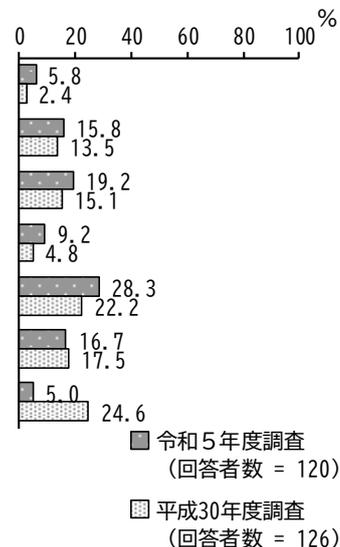
年間日数

1. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）

「10～19 日」の割合が 28.3%と最も高く、次いで「4～5 日」の割合が 19.2%、「20 日以上」の割合が 16.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「10～19 日」の割合が増加しています。

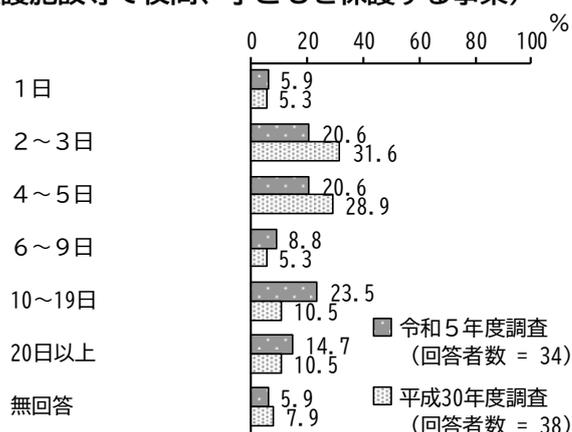
1日
2～3日
4～5日
6～9日
10～19日
20日以上
無回答



2. 子育て短期支援事業（トワイライトステイ）（児童養護施設等で夜間、子どもを保護する事業）

「10～19日」の割合が23.5%と最も高く、次いで「2～3日」、「4～5日」の割合が20.6%となっています。

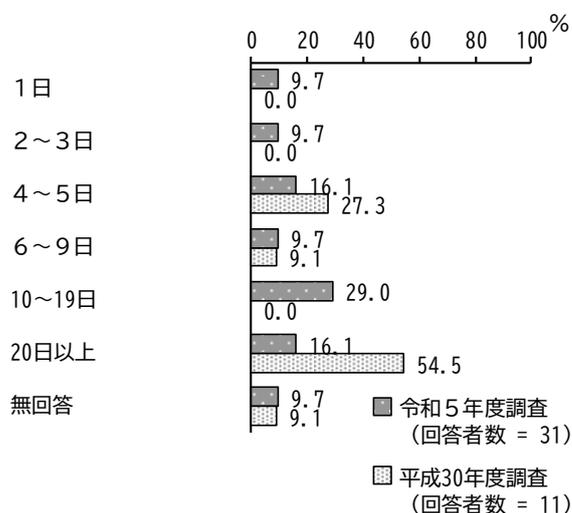
平成30年度調査と比較すると、「10～19日」の割合が増加しています。一方、「2～3日」、「4～5日」の割合が減少しています。



3. ベビーシッター

「10～19日」の割合が29.0%と最も高く、次いで「4～5日」、「20日以上」の割合が16.1%となっています。

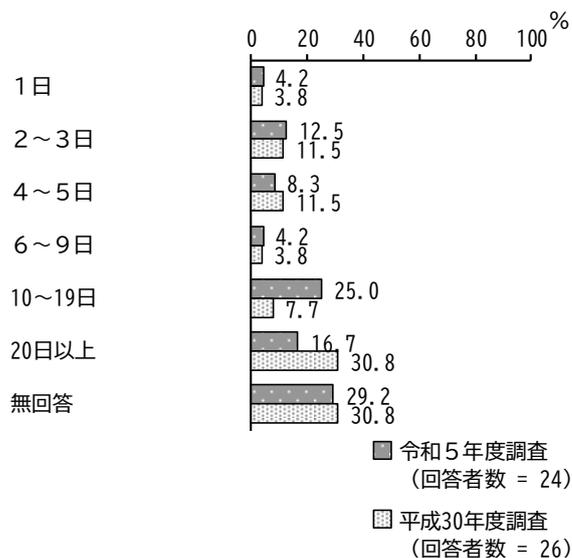
平成30年度調査と比較すると、「1日」、「2～3日」、「10～19日」の割合が増加しています。一方、「4～5日」、「20日以上」の割合が減少しています。



4. その他

「10～19日」の割合が25.0%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が16.7%、「2～3日」の割合が12.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「10～19日」の割合が増加しています。一方、「20日以上」の割合が減少しています。

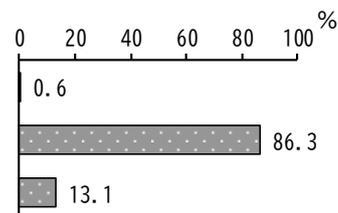


問 25 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、こどもを保護する事業）の利用希望の有無についてあてはまる番号すべてに○をつけ、利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を（ ）内に数字でご記入ください。なお事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

「利用したい」の割合が0.6%、「利用する必要はない」の割合が86.3%となっています。

回答者数 = 1,152

利用したい
利用する必要はない
無回答

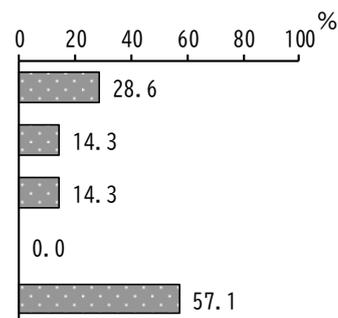


利用したい用事

「冠婚葬祭」が2件となっています。「保護者や家族の育児疲れ・不安」、「保護者や家族の病気」が1件となっています。

回答者数 = 7

冠婚葬祭
保護者や家族の育児疲れ・不安
保護者や家族の病気
その他
無回答



【その他の意見】

- ・リフレッシュ
- ・仕事
- ・時と場合による
- ・子供がすすんで楽しめる環境であれば

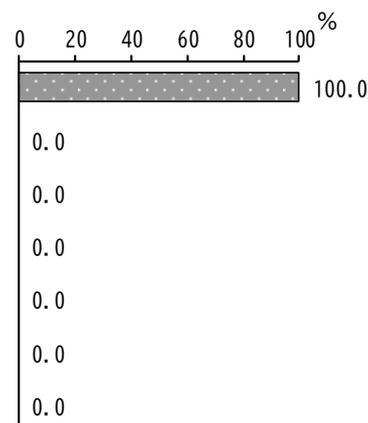
対処方法別日数

1 冠婚葬祭

「1泊」が2件となっています。

回答者数 = 2

1泊
2泊～3泊
4泊～5泊
6泊～9泊
10泊～19泊
20泊以上
無回答



2 保護者や家族の育児疲れ・不安
有効回答がありませんでした。

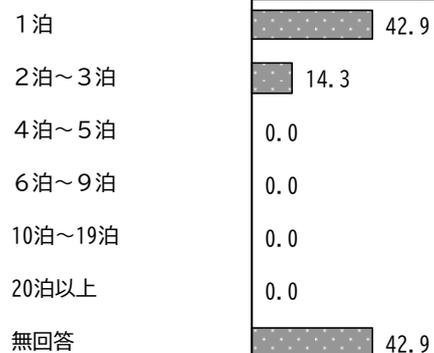
3 保護者や家族の病気
有効回答がありませんでした。

4 その他
有効回答がありませんでした。

合計日数

「1泊」が3件となっています。「2泊～3泊」
が1件となっています。

回答者数 = 7



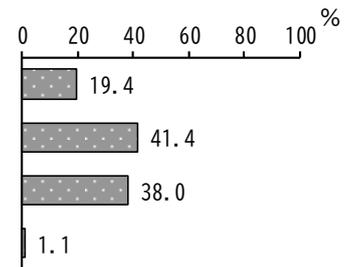
(7) こどもの権利について

問 26 あなたは、「こども基本法」を知っていますか。(1つだけに○)

「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が41.4%と最も高く、次いで「知らなかった」の割合が38.0%、「名前も内容も知っている」の割合が19.4%となっています。

回答者数 = 1,152

名前も内容も知っている
名前は知っているが内容は知らなかった
知らなかった
無回答

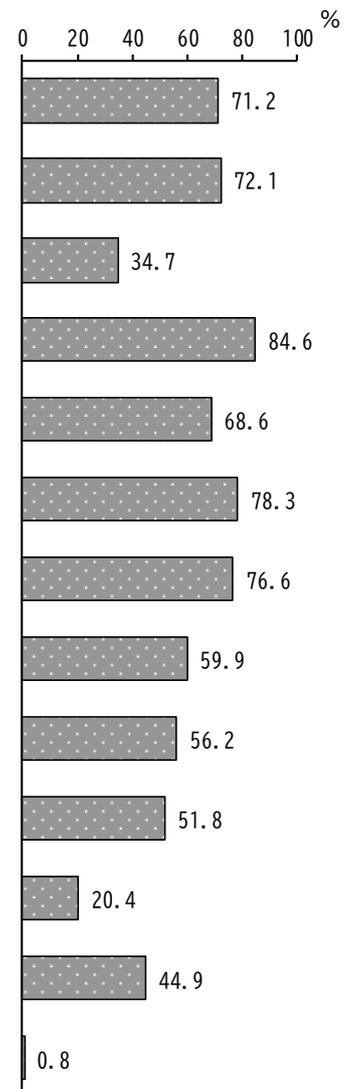


問 27 こどもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「言葉や暴力で傷つけられないこと」の割合が84.6%と最も高く、次いで「自分の考えを自由に言えること」の割合が78.3%、「人と違う自分らしさが認められること」の割合が76.6%となっています。

回答者数 = 1,152

人種や性別、宗教などで差別されないこと
障がいのある子が差別されないこと
こどもが知りたいことを隠されないこと
言葉や暴力で傷つけられないこと
家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと
自分の考えを自由に言えること
人と違う自分らしさが認められること
自分の秘密が守られること
自分のことは自分で決められること
自由な時間をもつこと
自由な呼び掛けでグループを作り集まれること
必要な情報を知ることや、参加する手助けを受けられること
無回答

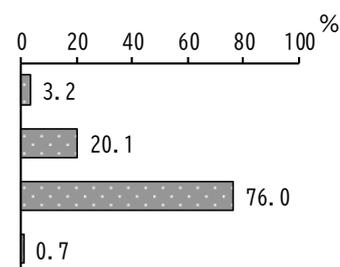


問 28 茅ヶ崎市はこどもの意見を施策に反映できる環境にあると思いますか。
(1つだけに○)

「わからない」の割合が76.0%と最も高く、次いで「できていない」の割合が20.1%となっています。

回答者数 = 1,152

できている
できていない
わからない
無回答

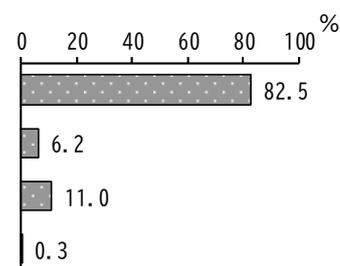


問 29 あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。(1つだけに○)

「名前も内容も知っている」の割合が82.5%と最も高く、次いで「知らなかった」の割合が11.0%となっています。

回答者数 = 1,152

名前も内容も知っている
名前は知っているが内容は知らなかった
知らなかった
無回答

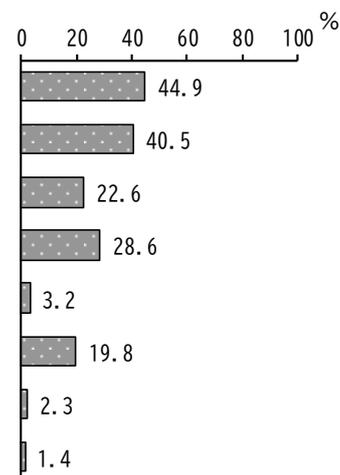


問 30 あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応をしますか。(あてはまるものすべてに○)

「本人に様子を聞く」の割合が44.9%と最も高く、次いで「家族、知人、友人に相談する」の割合が40.5%、「関係機関に相談する」の割合が28.6%となっています。

回答者数 = 1,152

本人に様子を聞く
家族、知人、友人に相談する
先生や部活の顧問等に相談する
関係機関に相談する
何もしない
わからない
その他
無回答



【その他の主な意見】

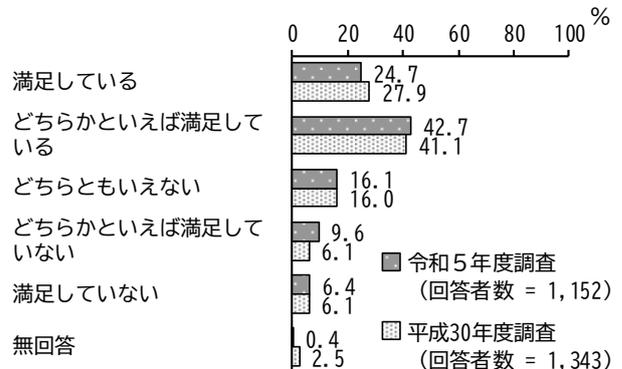
- ・他人の人生に興味はない
- ・自分が手伝える事があったら手伝う
- ・助けを求めているのか考える
- ・言葉の意味が分からない
- ・ヤングケアラーが何か知らない
- ・どのように対応したらよいか調べる
- ・場合、程度による。
- ・援助できることがあれば援助したい
- ・保健所に電話したことがあります。
- ・その時その相手次第で対応が変わる。

(8) こどもの育ちをめぐる環境について

問31 あなたは、こどもを育てている現在の生活に、満足していますか。
(1つだけに○)

「どちらかといえば満足している」の割合が42.7%と最も高く、次いで「満足している」の割合が24.7%、「どちらともいえない」の割合が16.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

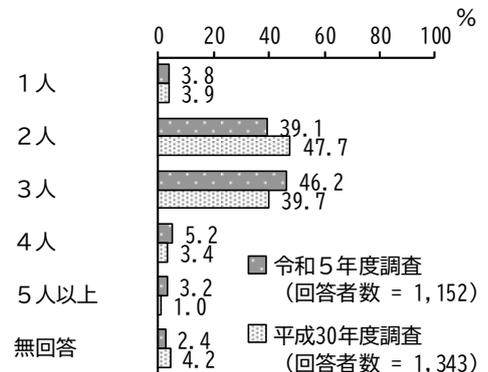


問32 あなたにとって理想的なこどもの人数は何人ですか。また、あなたは現実的に何人のこどもを持つことができそうですか。「①理想的なこどもの人数」、「②現実的に持つことができそうなこどもの数」をそれぞれ数字で記入してください。

①理想的なこどもの数

「3人」の割合が46.2%と最も高く、次いで「2人」の割合が39.1%となっています。

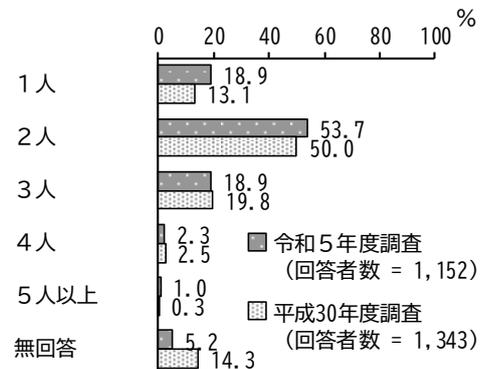
平成30年度調査と比較すると、「3人」の割合が増加しています。一方、「2人」の割合が減少しています。



②現実的に持つことができそうなこどもの数

「2人」の割合が53.7%と最も高く、次いで「1人」、「3人」の割合が18.9%となっています。

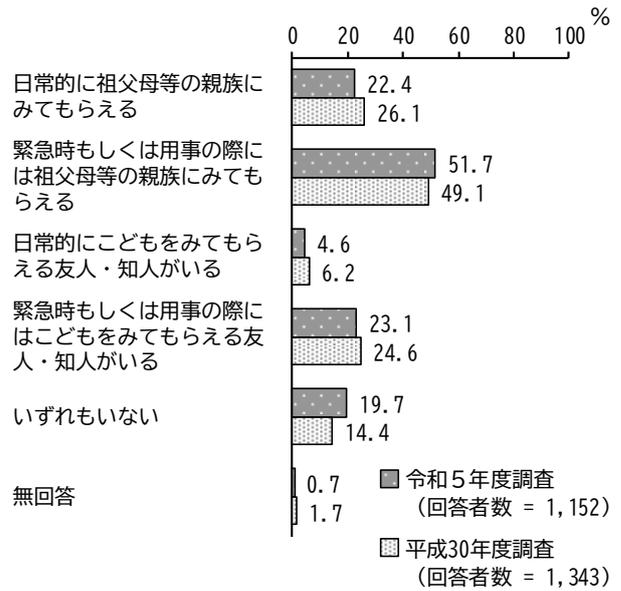
平成30年度調査と比較すると、「1人」の割合が増加しています。



問 33 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。
(あてはまるものすべてに○)

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が51.7%と最も高く、次いで「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が23.1%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が22.4%となっています。

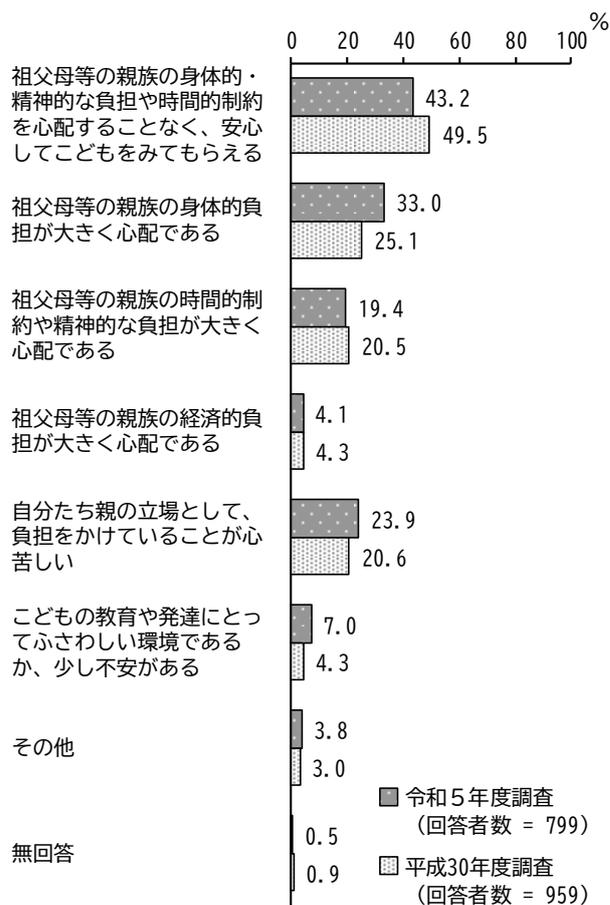
平成30年度調査と比較すると、「いずれもない」の割合が増加しています。



問33-1 問33で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。
 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
 (あてはまるものすべてに○)

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が43.2%と最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」の割合が33.0%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が23.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」の割合が増加しています。一方、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が減少しています。



【その他の主な意見】

- ・みてもらった事がないから分かりません。
- ・祖父母の負担にならない程度に願う事がある。
- ・なるべく負担かけないよう、主人と2人でみています。
- ・自分(両親のみ)たちで何とかやってきました。
- ・義祖父母に願うのでたのみずらい所がある
- ・実際にみてもらった事がない(緊急時がない)
- ・甘えすぎてしまい、自立の妨げになっていると思う
- ・病気の時はうつらないかが心配になる。
- ・大きく心配ではないが、弱干気がかり。
- ・多少は負担を心配してます。

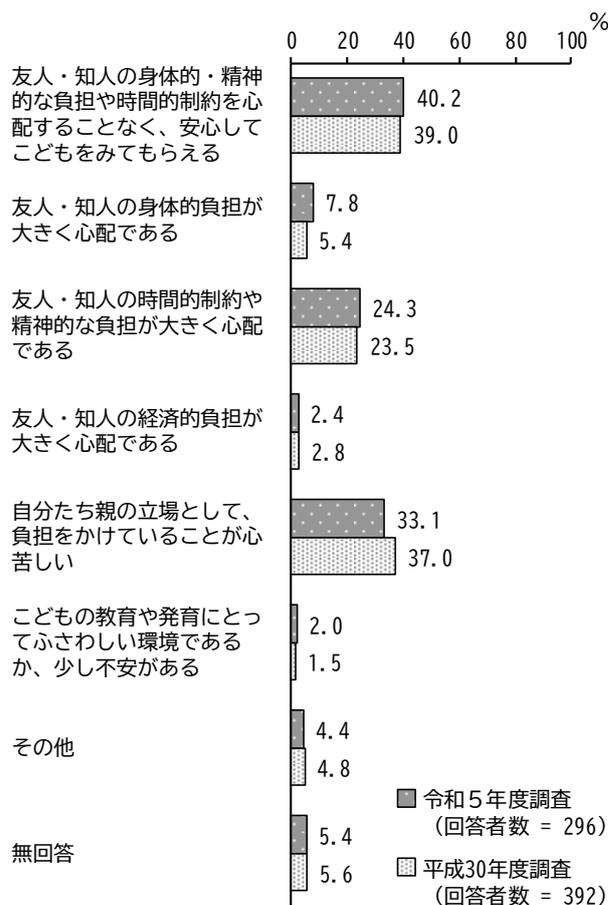
問 33-2 問 33で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。
友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心してこどもをみてもらえる」の割合が 40.2%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が 33.1%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が 24.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【その他の主な意見】

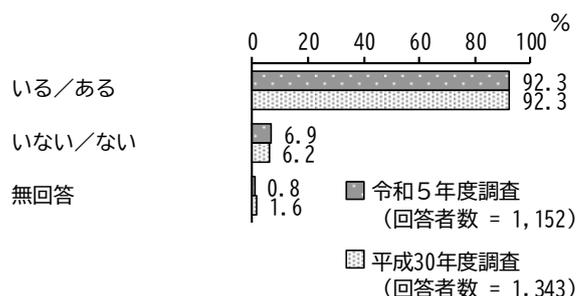
- ・ なった事がない。
- ・ 日常的に頼んでいるわけではない。
- ・ 実際に見てもらった事はないです。
- ・ お互いの感謝の上でお互い様で成り立っている。
- ・ 今のところ、そのような状況にはなっていない。
- ・ 祖父母が県外のためお泊まり程度でしか会わない。
- ・ 実際にみてもらうことがまだないため、分からない
- ・ 頼もうと思える友人はいるけれども、頼んだことはない。
- ・ みてもらえる友人はいるが、実際にあずけたことはまだない
- ・ 身内が難しい状況なので仕方なくお願いするしかないが、申し訳ない。



問 34 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(1つだけに○)

「いる／ある」の割合が 92.3%、「いない／ない」の割合が 6.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

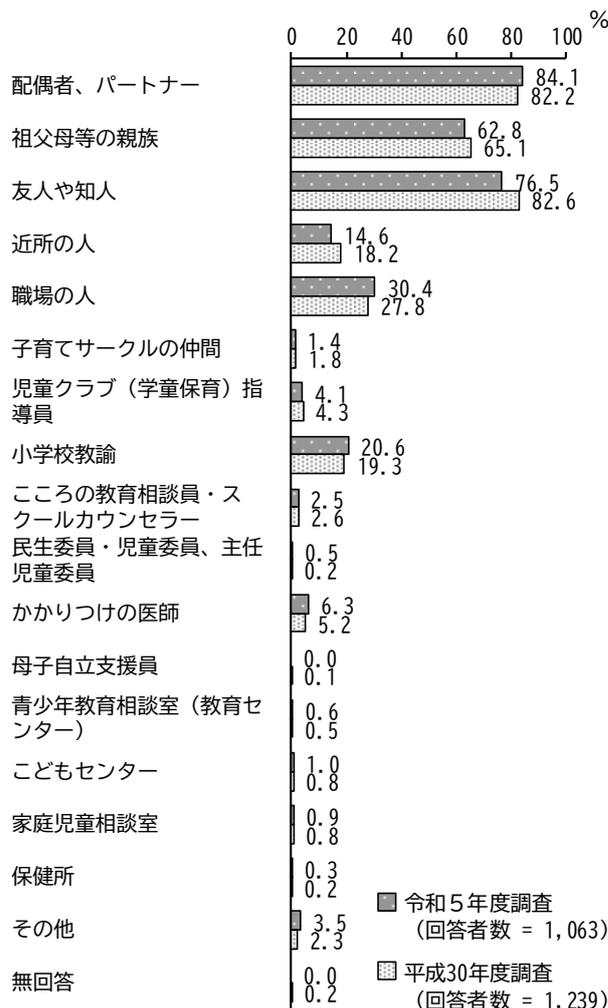


問 34-1 問 34で「1 いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。
 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
 （あてはまるものすべてに○）

「配偶者、パートナー」の割合が84.1%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が76.5%、「祖父母等の親族」の割合が62.8%となっています。
 平成30年度調査と比較すると、「友人や知人」の割合が減少しています。

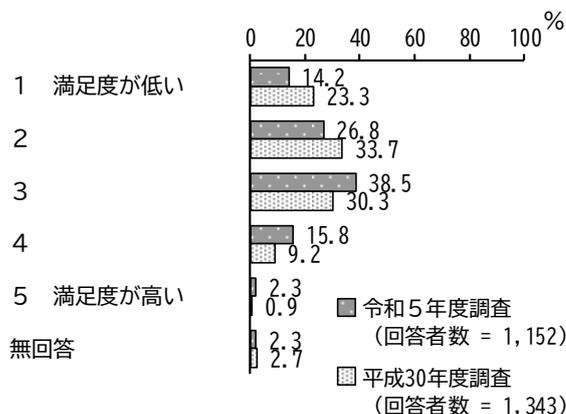
【その他の主な意見】

- ・塾の先生
- ・放課後ディサービスの先生
- ・療育の先生
- ・フリースクールの先生
- ・かかりつけのST
- ・子育て支援センター、フリースペース
- ・市役所障害福祉課
- ・子ども会の保護者



問 35 茅ヶ崎市における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。
 （1つだけに○）

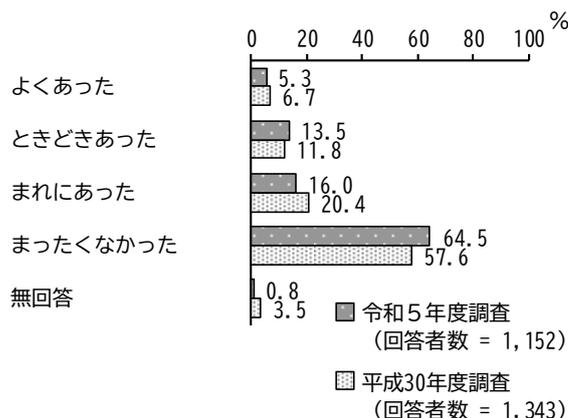
「3」の割合が38.5%と最も高く、次いで「2」の割合が26.8%、「4」の割合が15.8%となっています。
 平成30年度調査と比較すると、「3」、「4」の割合が増加しています。一方、「1 満足度が低い」、「2」の割合が減少しています。



問 37 あなたの世帯では、過去1年の間に、急な出費などで家計のやりくりができないことがありましたか。(1つだけに○)

「まったくなかった」の割合が64.5%と最も高く、次いで「まれにあった」の割合が16.0%、「ときどきあった」の割合が13.5%となっています。

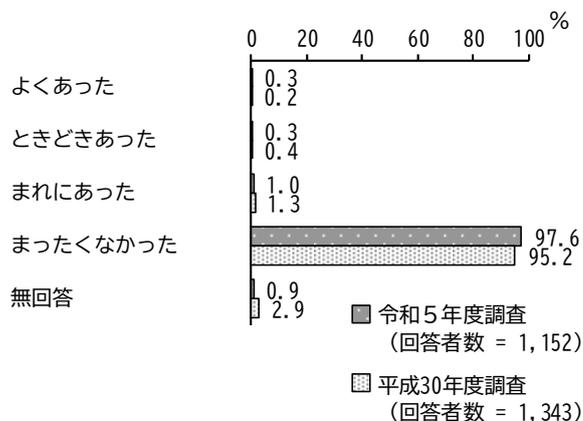
平成30年度調査と比較すると、「まったくなかった」の割合が増加しています。



問 38 あなたの世帯では、過去1年の間に、経済的な理由による料金滞納のために、電気、ガス、水道を止められたことがありましたか。(1つだけに○)

「まったくなかった」の割合が97.6%となっています。

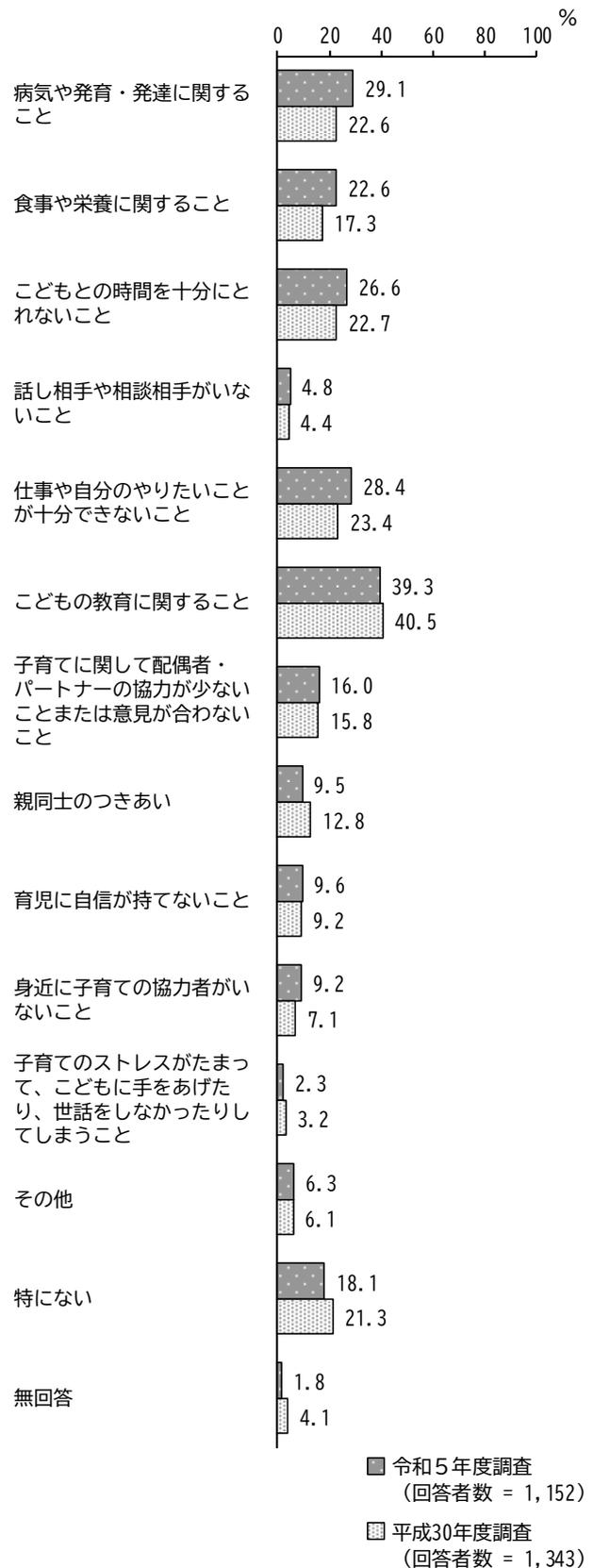
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 39 子育てに関して、日頃悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

「こどもの教育に関すること」の割合が 39.3%と最も高く、次いで「病気や発育・発達に関すること」の割合が 29.1%、「仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」の割合が 28.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「病気や発育・発達に関すること」、「食事や栄養に関すること」、「仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」の割合が増加しています。



【その他の主な意見】

- ・でも働かないと生活できない。
- ・すぐにイライラしてしまうこと。
- ・金銭的な問題、お金がかかる
- ・子どもはまだ産みたいけど、お金がない。
- ・父は無神論者、母はキリスト教信者。
- ・子供の自立や将来へのビジョン
- ・もっと気持ちに余裕をもちたい。
- ・元気な生活リズムがつかれなかった。
- ・アレルギーに関する事、性教育の教え方
- ・子供のお友達と、子供の関わり。

問 40 こどもの発育や健康状態、授乳・食事などについて不安・疑問がある場合に、平
 日夜間・休日に対応した専門職による「web フォームでの相談」、「チャットでのオ
 ンライン相談」などのサービスがあれば、利用したいと思いますか。
 (1つだけに○)

「無料なら利用したい」の割合が 69.3%と最も
 高く、次いで「利用したくない」の割合が 22.4%
 となっています。

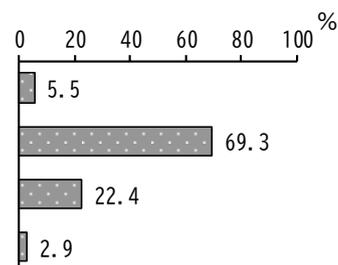
回答者数 = 1,152

有料でも利用したい

無料なら利用したい

利用したくない

無回答



問 41 子育てをする上で、知りたい情報についてお答えください。
 (あてはまるもの3つまでに○)

「夜間や休日に受診できる医療機関に関する
 情報」の割合が 44.4%と最も高く、次いで「行政
 の子育て支援に関する情報」の割合が 34.6%、
 「こどもの遊び場に関する情報」の割合が 30.9%
 となっています。

回答者数 = 1,152

こどもの教育・保育事業
 や施設に関する情報

行政の子育て支援に関す
 る情報

子育ての悩みの相談先に
 関する情報

子育てやこどもの発達、
 健康などに関する情報

夜間や休日に受診できる
 医療機関に関する情報

住宅に関する情報

こどもの遊び場に関する
 情報

地域のイベントやおまつ
 りに関する情報

地域の子育てサークルに
 関する情報

こどもの習いごとや塾等
 に関する情報

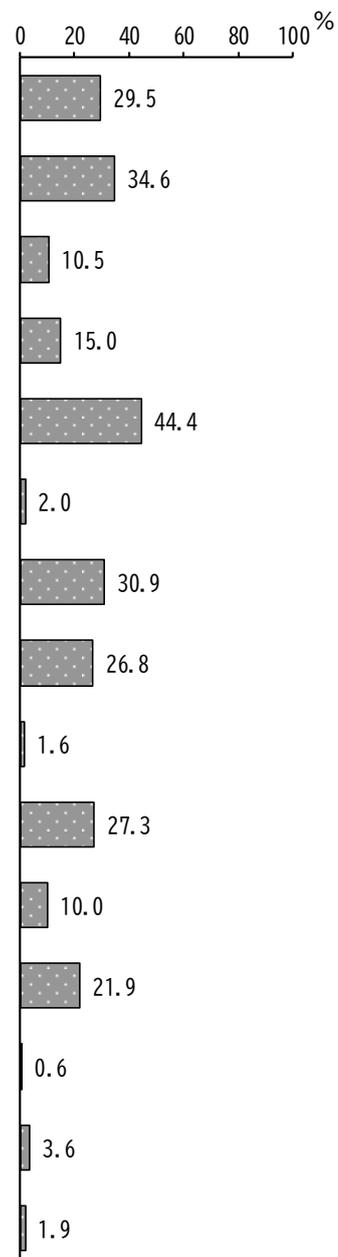
経済的支援制度に関する
 情報

子育て中の方を対象とし
 た割引や優待等に関する
 情報

その他

特に知りたい情報はない

無回答



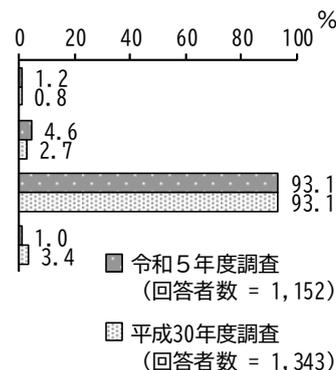
【その他の主な意見】

- ・ 子供に対するいたずらや犯罪情報、学校の教育レベル
- ・ 公立小学校の様子や授業内容
- ・ こどもの教育資金について、何才でいくら等
- ・ 知りたい情報は発信されていると感じているし、不明な事は聞いたり調べるので現状困っていない。
- ・ 堤地区ライフトアウン内に住所あり、生活圏が藤沢の為実際利用するのも不便であり、本当に近くで知りたい情報が全く入ってこない。
- ・ 学校の様子
- ・ 小・中学校のPTA活動内容について
- ・ 3つにはしぼれないのでよく検索する2つです
- ・ 茅ヶ崎市内の公立高校について詳しく知りたい

問 42 宛名のお子さんが、犯罪の被害にあったことはありますか。(1つだけに○)

「ない」の割合が93.1%と最も高くなっています。
 平成30年度調査と比較すると、「あいそうになったことはある」の割合が増加しています。

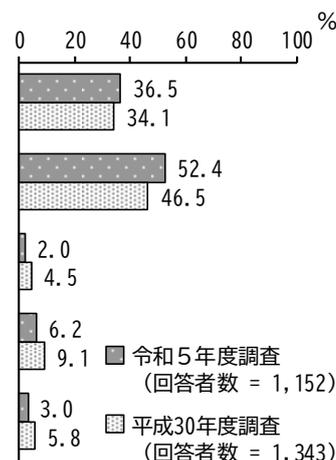
ある
 あいそうになったことはある
 ない
 無回答



問 43 父親が、子育てにあまりかかわらない、かかわる時間がないなどと言われていますが、このことについてどう思いますか。(1つだけに○)

「社会的には問題だが、わが家にはあてはまらないと思う」の割合が52.4%と最も高く、次いで「社会的にも問題だし、わが家でも問題である」の割合が36.5%となっています。
 平成30年度調査と比較すると、「社会的には問題だが、わが家にはあてはまらないと思う」の割合が増加しています。

社会的にも問題だし、わが家でも問題である
 社会的には問題だが、わが家にはあてはまらないと思う
 子育ては母親が中心となっていけばよいので、あまり大きな問題ではないと思う
 その他
 無回答



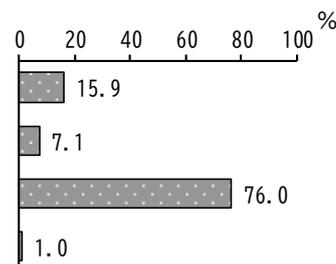
【その他の主な意見】

- ・ 構造的な問題が多分にあると思う。
- ・ 簡単に選択できる回答では、そもそもない。
- ・ 父親だけでなく母親にも言えるのでは？
- ・ その家庭それぞれの形があっていいと思う。
- ・ 週休3日制や就労時間が短くなったらいい。
- ・ 母子家庭のわが家は父親の質問は関係ない。
- ・ 必要でないと思っているわけではない。
- ・ 家庭によるので一概には言えない。
- ・ 家は父親も子育てしてます。
- ・ 父親の性格もあると思います。

問 44 こども誰でも通園制度を知っていますか。(1つだけに○)

「知らなかった」の割合が76.0%と最も高く、次いで「名前も内容も知っている」の割合が15.9%となっています。

回答者数 = 1,152
 名前も内容も知っている
 名前は知っているが内容は知らなかった
 知らなかった
 無回答

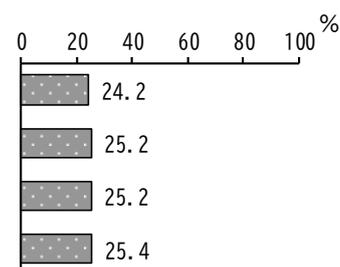


問 45 お子さんが0～2歳の頃、在宅保育をしていた方にうかがいます。
 当時、こども誰でも通園制度があった場合、利用していましたか。(1つだけに○)

「無料なら利用していた」、「利用しなかった」
 の割合が25.2%と最も高く、次いで「有料でも利
 用していた」の割合が24.2%となっています。

回答者数 = 1,152

有料でも利用していた
 無料なら利用していた
 利用しなかった
 無回答

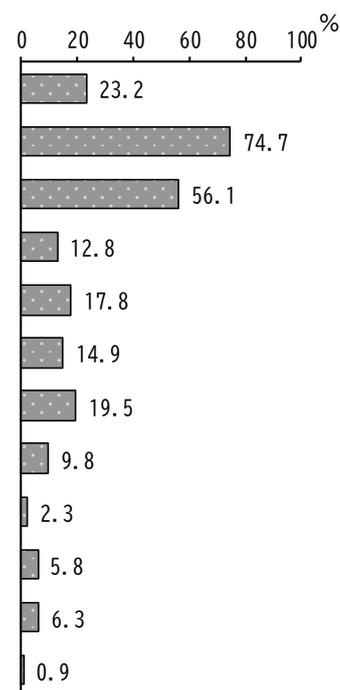


問 45-1 問 45 で「1 有料でも利用していた」または「2 無料なら利用してい
 た」に○をつけた方にうかがいます。
 利用したい・してみたい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「育児疲れの軽減」の割合が74.7%と最も高
 く、次いで「自分の自由時間を作るため」の割合
 が56.1%、「夫婦共働きのため」の割合が23.2%
 となっています。

回答者数 = 569

夫婦共働きのため
 育児疲れの軽減
 自分の自由時間を作るため
 趣味の時間を増やすため
 妊娠・出産のため
 ご自身の病気のため
 求職活動のため
 友人・仲間づくりのため
 ご自身またはパートナーの
 就学のため
 同居家族・親族の介護や看
 護のため
 その他
 無回答



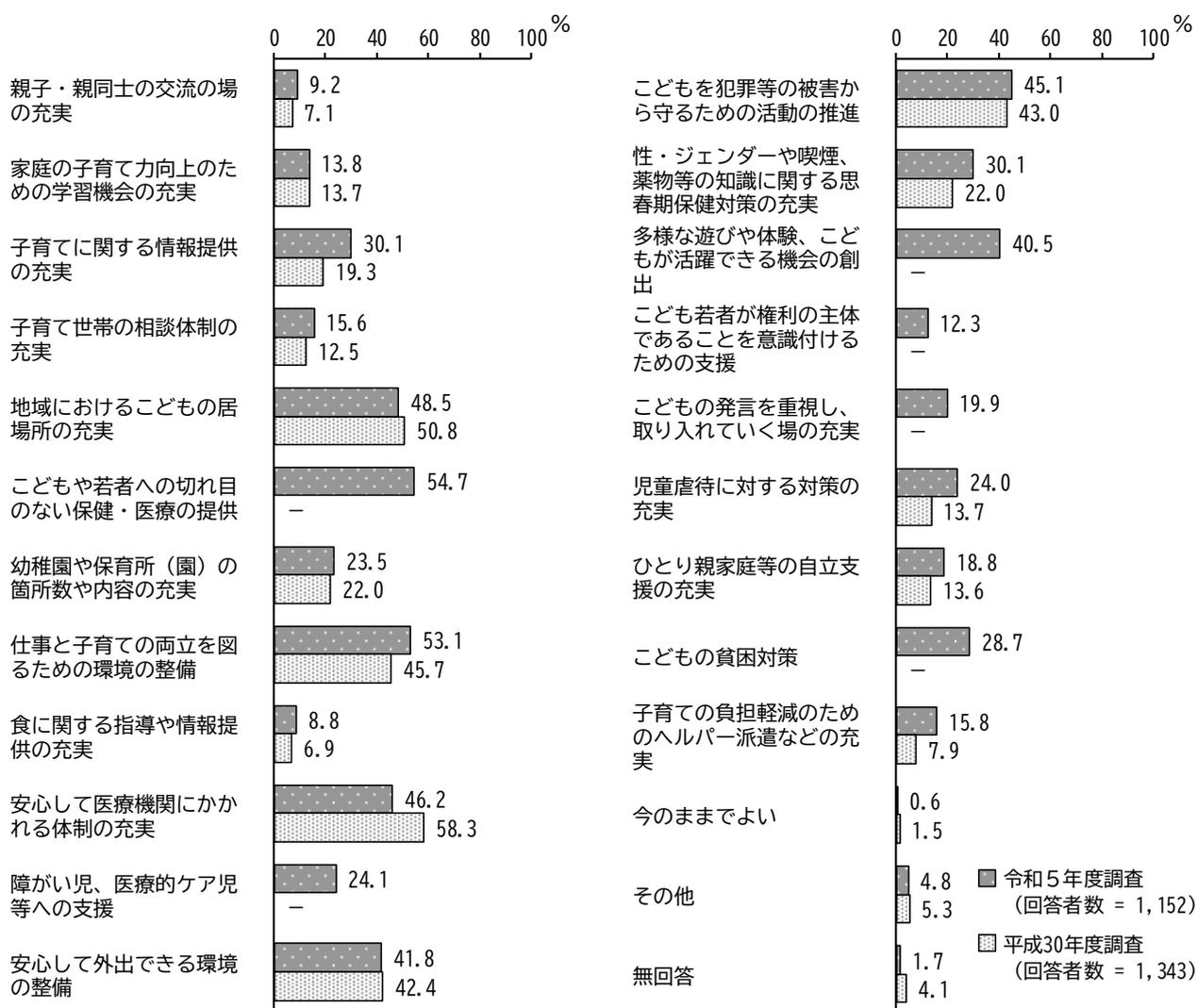
【その他の主な意見】

- ・免許の更新、病院など預けたい状況の時
- ・不妊治療通院していたため
- ・自身の通院（不妊治療）
- ・ほんの少しの時間でもパートに出られる為。
- ・子供自身も楽しくすごせる、双子でたいへんだった
- ・手続きやちょっとした普段とは異なる家事をするため
- ・通院の送迎が子連れで大変でした。
- ・こどもや親の通院、学校行事、冠婚葬祭のため
- ・他の子どもと遊ばせたい
- ・本人の情緒教育の一環として

問 46 茅ヶ崎市の子ども・子育て支援策として、今後何に力を入れていくべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「こどもや若者への切れ目のない保健・医療の提供」の割合が 54.7%と最も高く、次いで「仕事と子育ての両立を図るための環境の整備」の割合が 53.1%、「地域におけるこどもの居場所の充実」の割合が 48.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「子育てに関する情報提供の充実」、「仕事と子育ての両立を図るための環境の整備」、「性・ジェンダーや喫煙、薬物等の知識に関する思春期保健対策の充実」、「児童虐待に対する対策の充実」、「ひとり親家庭等の自立支援の充実」、「子育ての負担軽減のためのヘルパー派遣などの充実」の割合が増加しています。一方、「安心して医療機関にかかれる体制の充実」の割合が減少しています。



※前回調査では、「こどもや若者への切れ目のない保健・医療の提供」、「障がい児、医療的ケア児等への支援」、「多様な遊びや体験、こどもが活躍できる機会の創出」、「こども若者が権利の主体であることを意識付けるための支援」、「こどもの発言を重視し、取り入れていく場の充実」、「こどもの貧困対策」の選択肢はありませんでした。

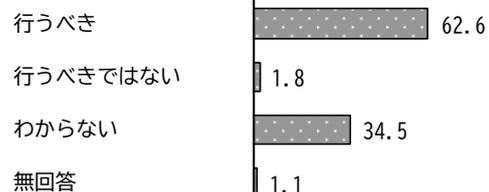
【その他の主な意見】

- ・ そういう人へのサポートなどがあるといい。
- ・ 平等に教育の機会が与えられるようにする。
- ・ 小学校の開放施設利用の充実、柔軟な運用
- ・ 子供の学費は大学まで無償にすべき
- ・ 室内で完全に囲われているものならいいです。
- ・ 産後の支援にケアホテル導入や助産師さんとの連携
- ・ 中学の給食は弁当でなく、給食方式にしろ
- ・ 給食費無料、中学校給食、教材費無料。
- ・ 中学給食と全ての中学校で早急に！
- ・ 図書館を充実させていただきたい。

問 47 茅ヶ崎市として少子化対策を行うべきだと思いますか。(1つだけに○)

「行うべき」の割合が 62.6%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 34.5%となっています。

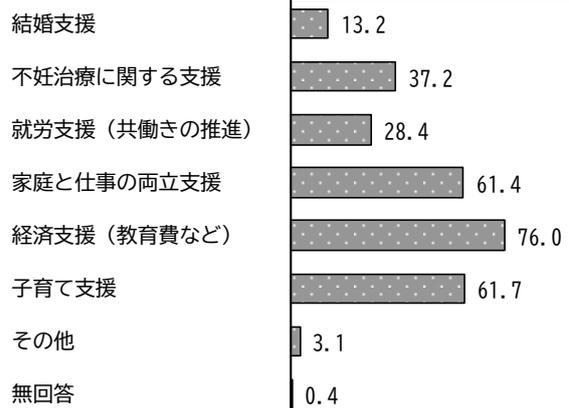
回答者数 = 1,152



問 48 問 47 で「1 行うべき」に○をつけた方にうかがいます。少子化対策として、今後何に力を入れていくべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「経済支援（教育費など）」の割合が 76.0%と最も高く、次いで「子育て支援」の割合が 61.7%、「家庭と仕事の両立支援」の割合が 61.4%となっています。

回答者数 = 721



【その他の主な意見】

- ・ 2人育てるのも大変、高校も。
- ・ 子育て世帯の住宅手当制度の検討。
- ・ 議員を減らすなどの対策、工夫必要。
- ・ 金銭面の不安当もあると思いますが…。
- ・ 安心できる社会であれば不妊率も下がると思う
- ・ 母親の孤立を無くしていく事が必要と思います
- ・ 大学無償化を2人（子ども）からにして欲しい。
- ・ 企業誘致をして少子化対策に使える財源を増やす。
- ・ 家計と一緒にやりくりちゃんとしてちゃんと黒字にして。
- ・ 子育てファミリー層に選ばれるような自治体になるべき

問 49 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境やこどもへの支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

回答者から寄せられた自由回答の総数は 467 件でした。回答の主な内容は、下記のとおりです。
 なお、「その他の子育て支援サービスに関すること」が 70 件と最も多くなっています。

【小学校生活に関する要望・意見】

①小学校に関すること	55 件
②児童クラブ（学童保育）に関すること	26 件
③その他	15 件

【子育て支援全般に関する要望・意見】

①医療費助成、医療体制の充実について	33 件
②手当・補助制度の充実、費用負担に関すること	29 件
③障害児への支援充実に関すること	13 件
④子育て情報に関すること	13 件
⑤その他の子育て支援サービスに関すること	70 件

【子育て環境に関する要望・意見】

①子どもの遊び場の充実に関すること	57 件
②まちづくり、公共施設等に関すること	38 件
③その他	14 件

【子育て中の保護者の状況に関する要望・意見】

①子育てと仕事の両立に関すること	15 件
②その他	3 件

【その他】

①教育・保育施設に関すること	30 件
②アンケートに関すること	19 件
③中学校の給食に関すること	11 件
④その他	26 件

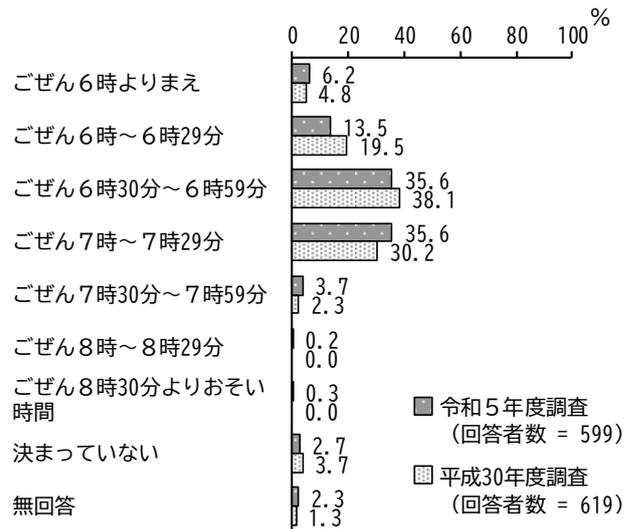
3 小学生（本人）

(1) あなたのふだんの家庭や学校での生活について

問1 あなたは学校がある日は朝何時に起きますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「ごぜん6時30分～6時59分」、「ごぜん7時～7時29分」の割合が35.6%と最も高く、次いで「ごぜん6時～6時29分」の割合が13.5%となっています。

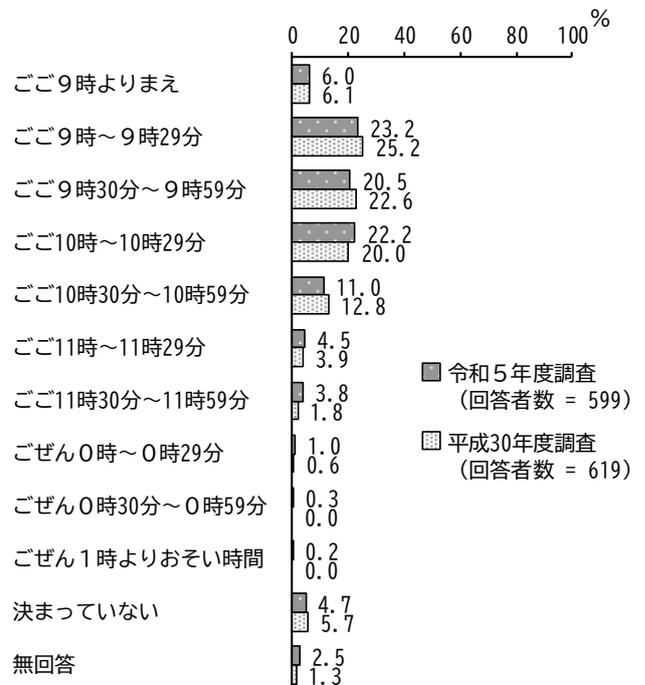
平成30年度調査と比較すると、「ごぜん7時～7時29分」の割合が増加しています。一方、「ごぜん6時～6時29分」の割合が減少しています。



問2 あなたは次の日に学校があるときは何時に寝ますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「ごご9時～9時29分」の割合が23.2%と最も高く、次いで「ごご10時～10時29分」の割合が22.2%、「ごご9時30分～9時59分」の割合が20.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



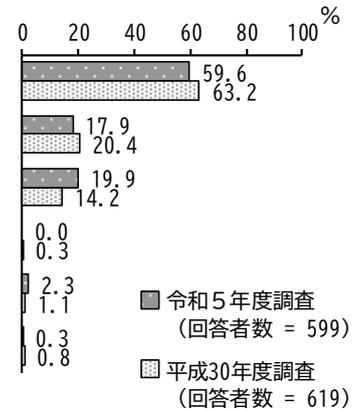
問3 あなたはだれといっしょによく食事をしていますか。それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

① 学校のある日の朝ごはん

「家族といっしょに食べる」の割合が59.6%と最も高く、次いで「1人で食べる」の割合が19.9%、「子どもたちだけで食べる」の割合が17.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1人で食べる」の割合が増加しています。

家族といっしょに食べる
子どもたちだけで食べる
1人で食べる
家族以外の大人と食べる
食べない
無回答

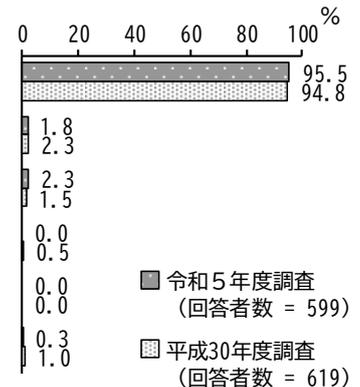


② 学校のある日の夕ごはん

「家族といっしょに食べる」の割合が95.5%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

家族といっしょに食べる
子どもたちだけで食べる
1人で食べる
家族以外の大人と食べる
食べない
無回答

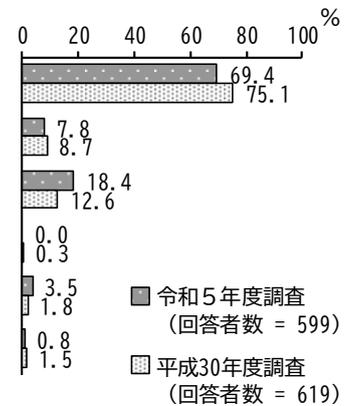


③ 学校のない日の朝ごはん

「家族といっしょに食べる」の割合が69.4%と最も高く、次いで「1人で食べる」の割合が18.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1人で食べる」の割合が増加しています。一方、「家族といっしょに食べる」の割合が減少しています。

家族といっしょに食べる
子どもたちだけで食べる
1人で食べる
家族以外の大人と食べる
食べない
無回答

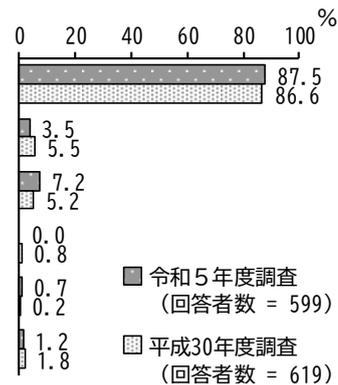


④ 学校のない日の昼ごはん

「家族といっしょに食べる」の割合が87.5%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

家族といっしょに食べる
 子どもたちだけで食べる
 1人で食べる
 家族以外の大人と食べる
 食べない
 無回答

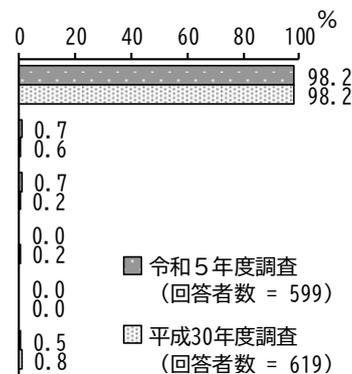


⑤ 学校のない日の夕ごはん

「家族といっしょに食べる」の割合が98.2%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

家族といっしょに食べる
 子どもたちだけで食べる
 1人で食べる
 家族以外の大人と食べる
 食べない
 無回答

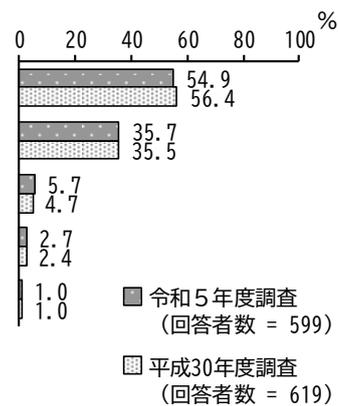


問4 あなたは学校での時間が楽しいですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「楽しい」の割合が54.9%と最も高く、次いで「まあまあ楽しい」の割合が35.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

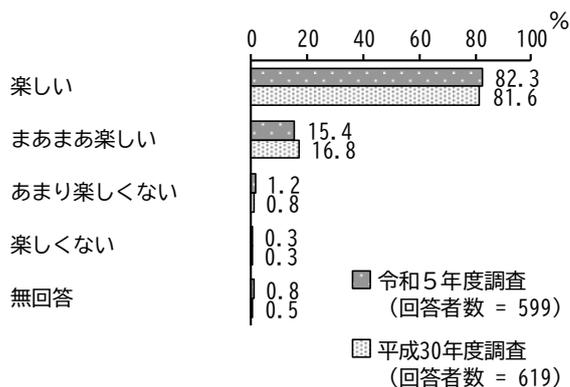
楽しい
 まあまあ楽しい
 あまり楽しくない
 楽しくない
 無回答



問5 あなたは友だちといっしょにいて楽しいですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

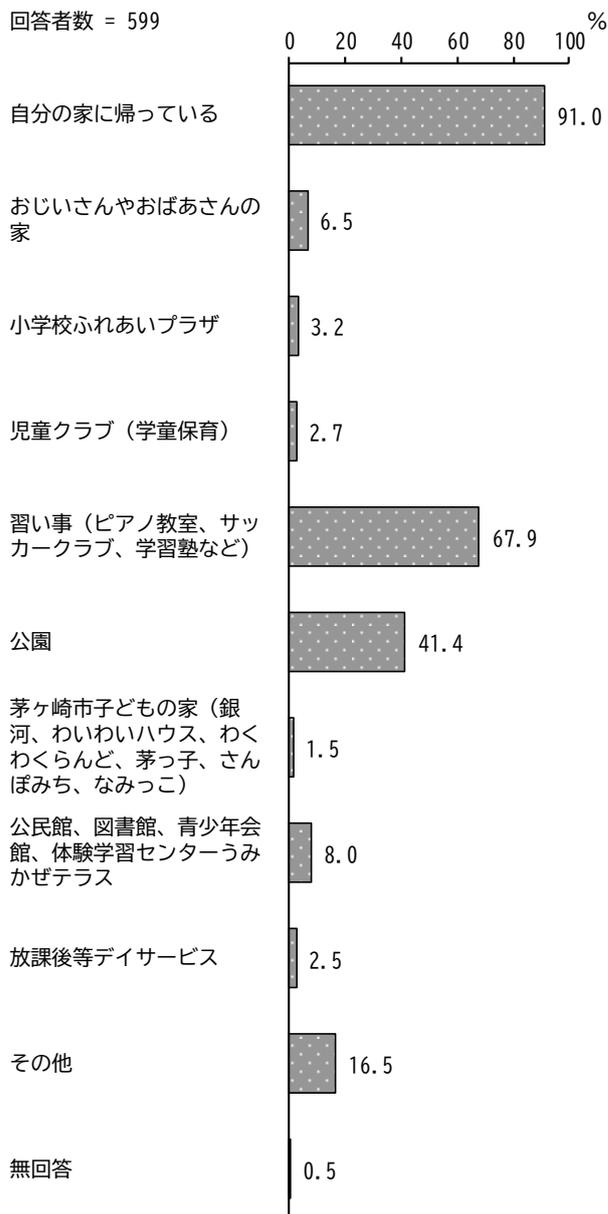
「楽しい」の割合が82.3%と最も高く、次いで「まあまあ楽しい」の割合が15.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問6 あなたは放課後（平日の学校が終わったあと）はどこで過ごしていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「自分の家に帰っている」の割合が91.0%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が67.9%、「公園」の割合が41.4%となっています。

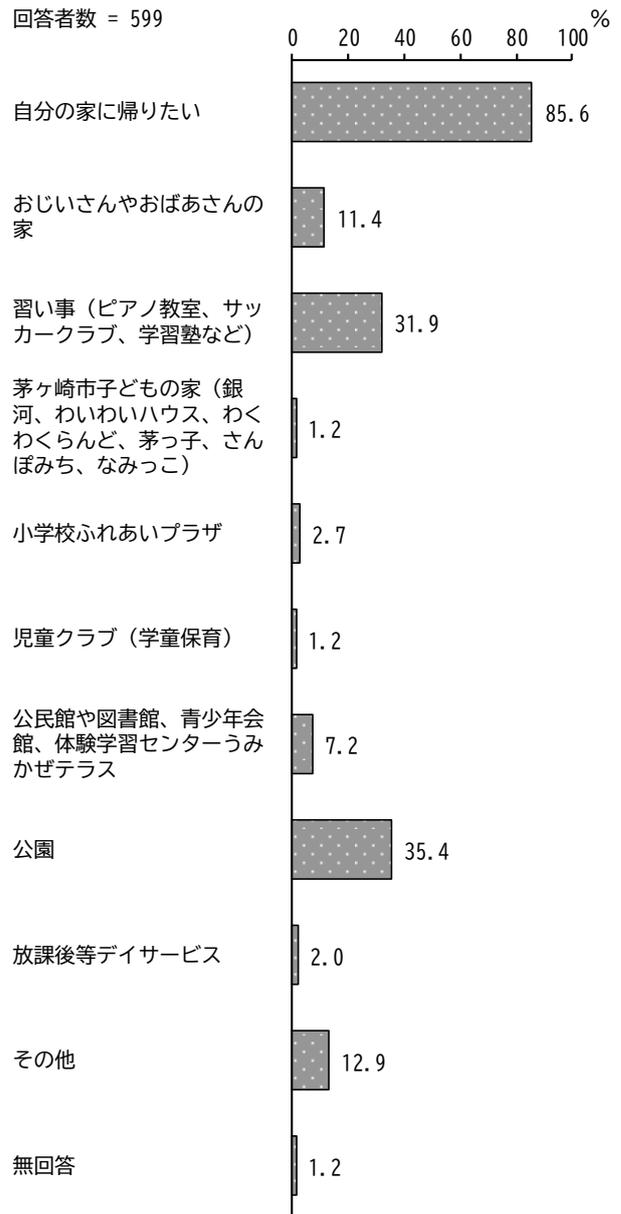


【その他の主な意見】

- ・友達と遊ぶ
- ・かやっこクラブ
- ・お友達の家
- ・友だちの家、学校
- ・しんせきのいえ
- ・学校のグラウンド
- ・学校の音楽室
- ・学校の校てい

問7 あなたは放課後（平日の学校が終わったあと）、どこで過ごしたいと思いますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「自分の家に帰りたい」の割合が85.6%と最も高く、次いで「公園」の割合が35.4%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が31.9%となっています。



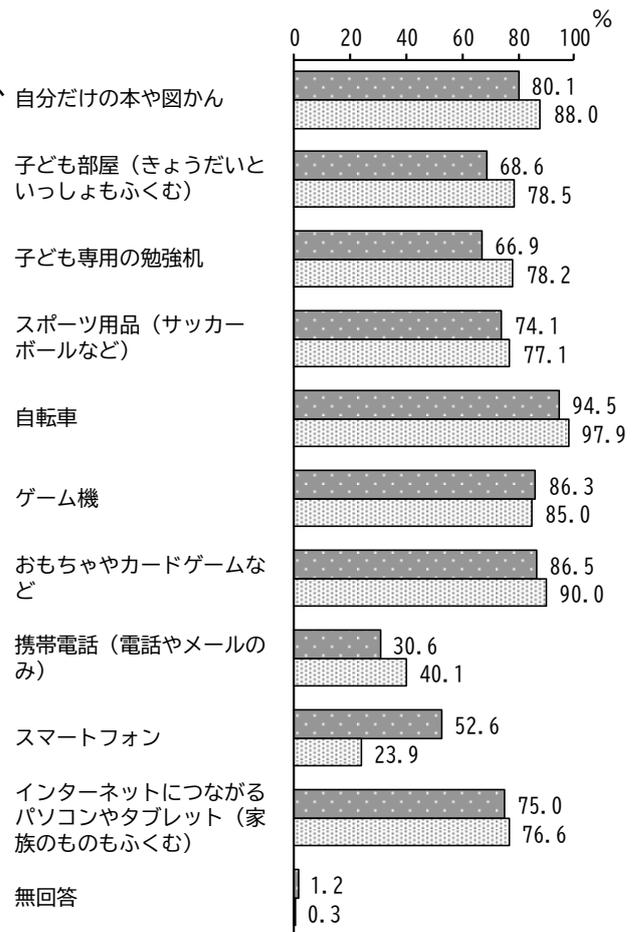
【その他の主な意見】

- ・友達とあそぶ
- ・マンションの体育会
- ・学校のグラウンド
- ・お友達の家
- ・外で遊ぶ
- ・学校で遊びたい

問8 あなたが持っているものはなんですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「自転車」の割合が94.5%と最も高く、次いで「おもちゃやカードゲームなど」の割合が86.5%、「ゲーム機」の割合が86.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「スマートフォン」の割合が増加しています。一方、「自分だけの本や図かん」、「子ども部屋（きょうだいといっしょもふくむ）」、「子ども専用の勉強机」、「スポーツ用品（サッカーボールなど）」の割合が減少しています。



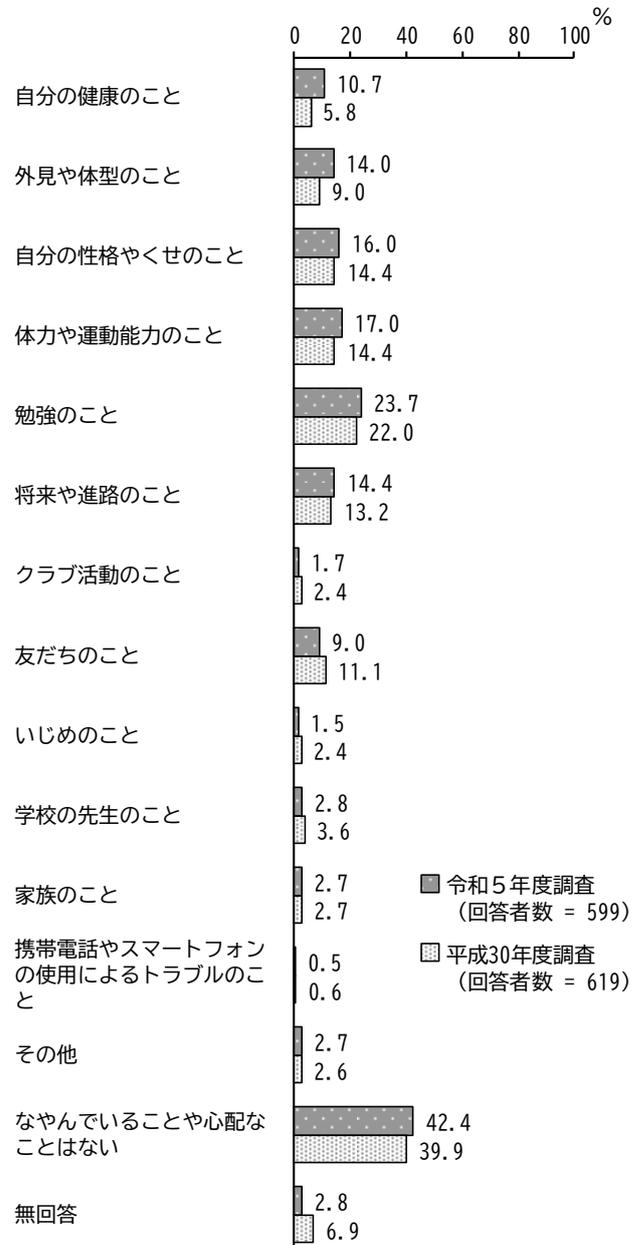
■ 令和5年度調査
(回答者数 = 599)
 □ 平成30年度調査
(回答者数 = 619)

(2) あなたの考えについて

問9 あなたには、なやんでいることや心配なこと、こまっていることがありますか。あてはまる番号3つまでに○をつけてください。

「なやんでいることや心配なことはない」の割合が42.4%と最も高く、次いで「勉強のこと」の割合が23.7%、「体力や運動能力のこと」の割合が17.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「外見や体形のこと」、「自分の健康のこと」の割合が増加しています。



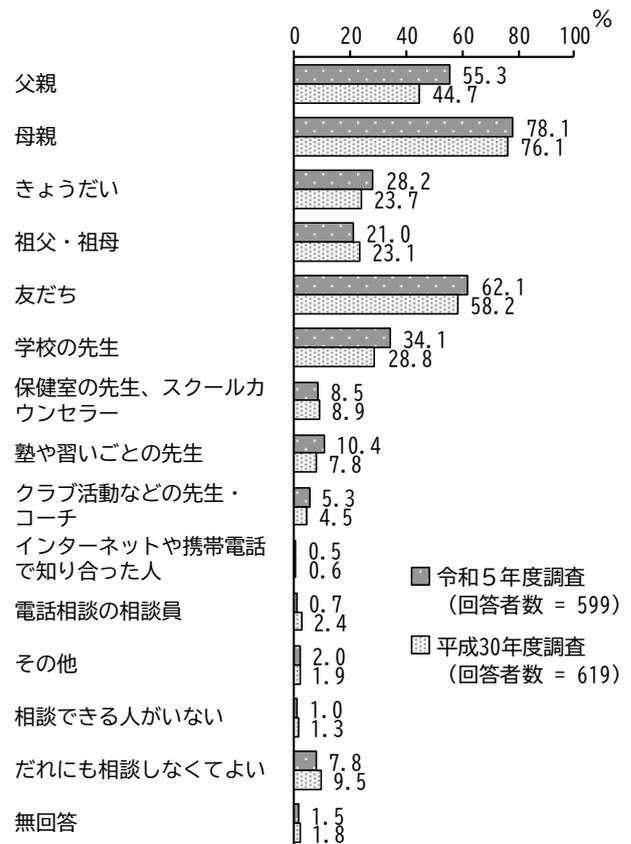
【その他の主な意見】

- ・好ききらいがある
- ・わからない
- ・特になし
- ・しりよく
- ・あるかもしれないかも
- ・スイミングの生先
- ・習い事
- ・自然災害
- ・身長
- ・お金

問10 なやみや心配ごとがあるとき、話したり、相談したりできる人がいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「母親」の割合が78.1%と最も高く、次いで「友だち」の割合が62.1%、「父親」の割合が55.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「父親」、「学校の先生」の割合が増加しています。



【その他の意見】

- ・ りょういく
- ・ おばさん
- ・ 心の病院の先生
- ・ 悩んだりした事がない。
- ・ ペット
- ・ せんせい (たんになん) にそうだん
- ・ そうだん室の先生
- ・ いとこ
- ・ 放デイの先生

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、11歳（6年生）で「友だち」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	父親	母親	きょうだい	祖父・祖母	友だち	学校の先生	保健室の先生、 カウンセラー
全 体	590	55.1	78.5	27.8	20.8	62.0	33.7	8.0
6歳（1年生）	—	—	—	—	—	—	—	—
7歳（2年生）	—	—	—	—	—	—	—	—
8歳（3年生）	1	—	100.0	100.0	—	100.0	—	—
9歳（4年生）	203	57.6	82.3	30.5	24.1	58.1	36.9	6.9
10歳（5年生）	192	55.2	75.5	25.5	22.4	60.9	33.9	7.3
11歳（6年生）	172	54.1	78.5	27.3	15.7	68.0	29.1	10.5

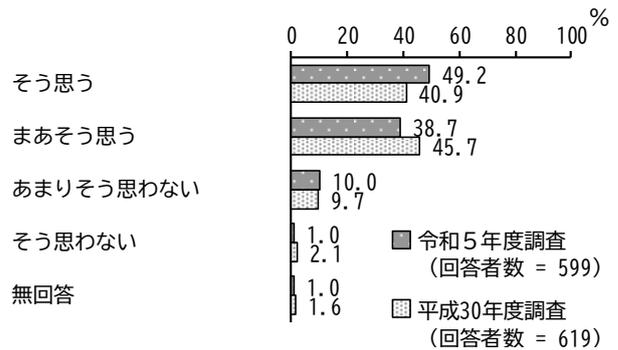
区分	塾や習いごとの先生	クラブ活動などの先生・ コーチ	インターネットや携帯 電話で知り合った人	電話相談の相談員	その他	相談できる人がいない	だれにも相談しなくて よい	無回答
全 体	10.0	5.3	0.3	0.7	1.9	1.0	8.0	1.4
6歳（1年生）	—	—	—	—	—	—	—	—
7歳（2年生）	—	—	—	—	—	—	—	—
8歳（3年生）	—	—	—	—	—	—	—	—
9歳（4年生）	8.4	6.9	0.5	0.5	3.0	1.0	4.4	1.0
10歳（5年生）	10.4	4.2	—	1.0	1.6	1.0	11.5	1.0
11歳（6年生）	12.2	5.2	0.6	0.6	0.6	0.6	7.0	2.3

問11 あなたは、次のことについてどう思いますか。それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

① 自分にはよいところがある

「そう思う」の割合が49.2%と最も高く、次いで「まあそう思う」の割合が38.7%、「あまりそう思わない」の割合が10.0%となっています。

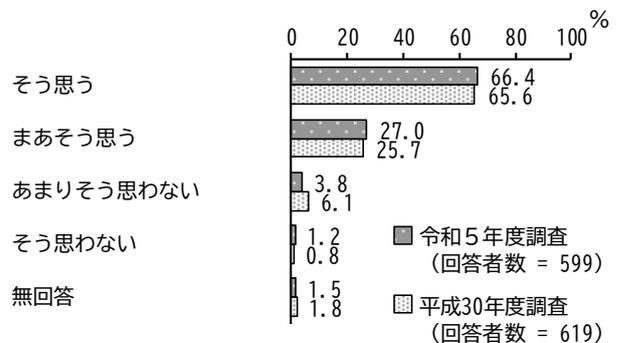
平成30年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が増加しています。一方、「まあそう思う」の割合が減少しています。



② がんばれば、よいことがある

「そう思う」の割合が66.4%と最も高く、次いで「まあそう思う」の割合が27.0%となっています。

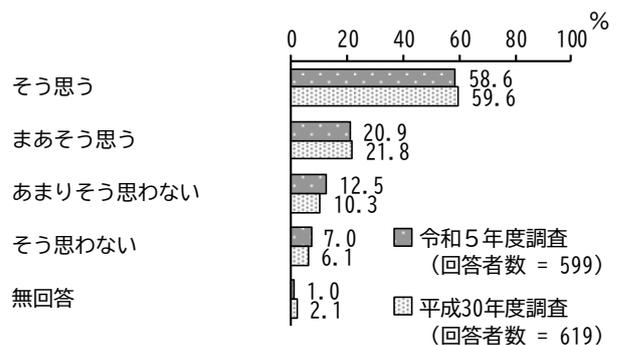
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



③ 自分には将来の夢や目標がある

「そう思う」の割合が58.6%と最も高く、次いで「まあそう思う」の割合が20.9%、「あまりそう思わない」の割合が12.5%となっています。

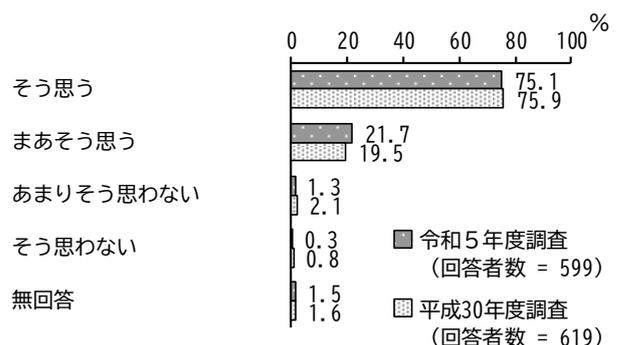
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



④ 自分は家族に大事にされている

「そう思う」の割合が75.1%と最も高く、次いで「まあそう思う」の割合が21.7%となっています。

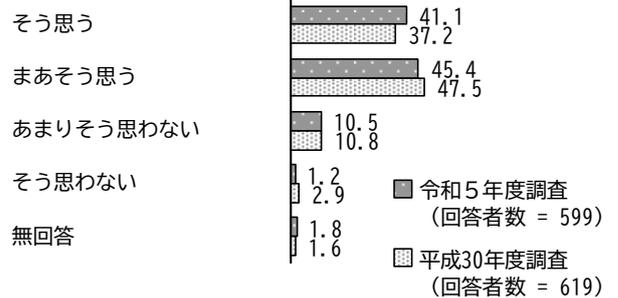
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



⑤ 自分は友だちに好かれている

「まあそう思う」の割合が45.4%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が41.1%、「あまりそう思わない」の割合が10.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



⑥ 毎日の生活が楽しい

「そう思う」の割合が61.8%と最も高く、次いで「まあそう思う」の割合が31.2%となっています。

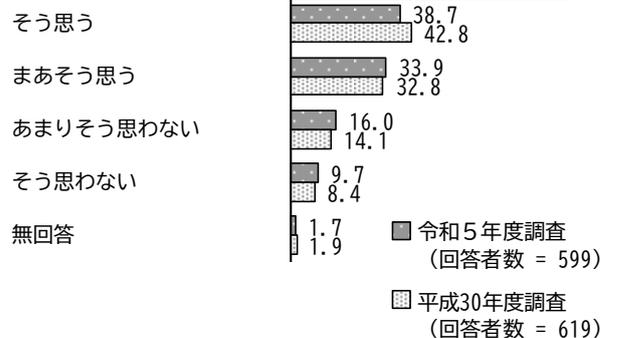
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



⑦ さびしさや不安を感じることはない

「そう思う」の割合が38.7%と最も高く、次いで「まあそう思う」の割合が33.9%、「あまりそう思わない」の割合が16.0%となっています。

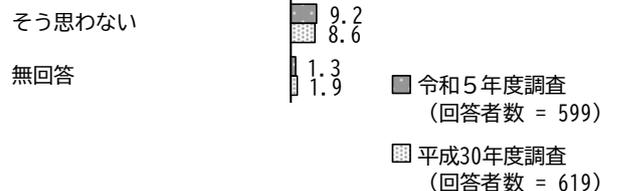
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



⑧ 自分のことが好きだ

「まあそう思う」の割合が38.2%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が35.6%、「あまりそう思わない」の割合が15.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問12 子どもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「障がいのある子が差別されないこと」の割合が70.1%と最も高く、次いで「自由な時間をもつこと」の割合が69.9%、「言葉や暴力で傷つけられないこと」の割合が68.1%となっています。

回答者数 = 599

人種や性別、宗教などで差別されないこと

障がいのある子が差別されないこと

こどもが知りたいことを隠されないこと

言葉や暴力で傷つけられないこと

家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと

自分の考えを自由に言えること

人と違う自分らしさが認められること

自分の秘密が守られること

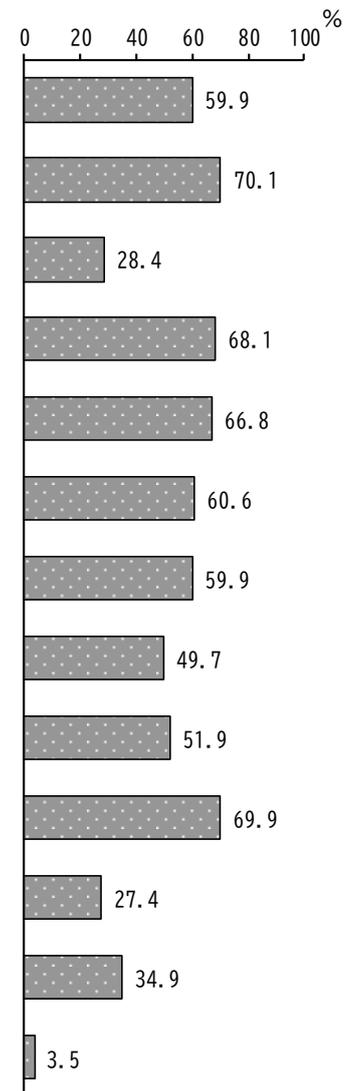
自分のことは自分で決められること

自由な時間をもつこと

自由な呼び掛けでグループを作り集まれること

必要な情報を知ることや、参加する手助けを受けられる

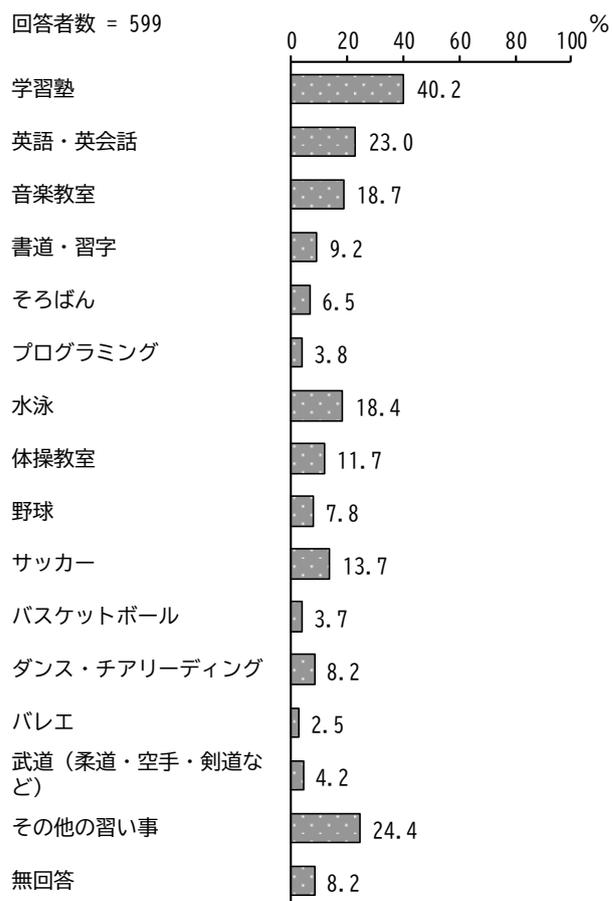
無回答



問13 あなたが、今やっている習い事はなんですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「学習塾」の割合が40.2%と最も高く、次いで「その他の習い事」の割合が24.4%、「英語・英会話」の割合が23.0%となっています。

回答者数 = 599



問 14 あなたが今やってみたいこと、チャレンジしたいと思っていることはありますか。自由に書いてください。

回答者から寄せられた自由回答の総数は 435 件でした。回答の主な内容は、下記のとおりです。
なお、「勉強」、「料理、お菓子作り」が 21 件と最も多くなっています。

【スポーツ】

④野球、ソフトボール	17 件
⑤サッカー	15 件
⑥体操	14 件
⑦バスケットボール	12 件
⑧スポーツ	10 件
⑨水泳	10 件
⑩テニス	7 件
⑪陸上	6 件
⑫武道（柔道、空手、剣道）	6 件
⑬バレーボール	5 件
⑭スノーボード、スキー	4 件
⑮パルクール、スケートボード	3 件
⑯サーフィン	2 件
⑰その他	14 件

【勉強】

⑥勉強	21 件
⑦語学	16 件
⑧プログラミング	14 件
⑨塾	8 件
⑩受験	8 件
⑪工作	5 件
⑫書道	5 件
⑬そろばん	3 件

【趣味】

④料理、お菓子作り	21件
⑤音楽（ピアノ、ギター、歌）	20件
⑥旅行	18件
⑦ゲーム	17件
⑧ダンス	16件
⑨絵を描く	12件
⑩バンジージャンプ	6件
⑪手芸	5件
⑫読書	5件
⑬登山	4件
⑭大食い大会	4件
⑮空を飛ぶ	3件
⑯キャンプ	2件
⑰その他	20件

【職業】

③女優、モデル、歌手	5件
④YouTuber、VTuber	3件
⑤イラストレーター	3件
⑥その他	8件

【生活】

⑤友達を増やす	15件
⑥ペットを飼う	5件
⑦家族	3件

【その他】

①その他	35件
------	-----

茅ヶ崎市

子ども・子育て支援に関するアンケート調査

発行年月：令和6年3月

発行：茅ヶ崎市 子育て支援部 子育て政策課

〒253-8686

茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目1番1号

電話：0467-81-7168